

---

# 保健医療に関する県民意識調査 報告書

---

平成 19 年 3 月

福 島 県  
保 健 福 祉 部



---

# 目次

---

## I 調査概要

1. 調査の設計 .....	1
2. 回収結果 .....	1
3. 回答者の構成 .....	1

## II 調査結果

1. 現在の健康状態 .....	3
2. 健康診断・人間ドック・がん検診 .....	5
(1) 過去1年間における受診の有無 .....	5
(2) 直近の健康診断の種類 .....	7
(3) がん検診の受診状況 .....	9
①過去1年間に受けたがん検診の種類 .....	9
②がん検診を受けなかった理由 .....	13
3. 入院・通院治療 .....	17
(1) 過去1年間における入院・通院治療の有無 .....	17
(2) 入院や通院治療で困ったこと .....	19
4. 地域医療 .....	24
(1) 最初に受診する医療施設 .....	24
(2) かかりつけ医の有無 .....	26
(3) 医療施設の充足状況 .....	28
①医療施設の充足感 .....	28
②不足している診療科 .....	30
(4) 休日・夜間における医療体制 .....	35
①休日・夜間における医療体制の整備度合い .....	35
②休日・夜間における医療体制で整備不足な点 .....	37
(5) 歯科の保健・医療に関する要望 .....	40
(6) 医療機関への要望 .....	44
(7) 地域医療について今後充実を望むこと .....	49
5. カルテの閲覧希望 .....	54

6. セカンドオピニオン .....	56
(1) 他の医師へ相談したいと思ったことの有無 .....	56
(2) 他の医師への相談経験 .....	58
(3) 他の医師へ相談した時の状況 .....	60
7. 医療機関について知りたいこと .....	62
8. 臓器提供意思表示カード .....	67
(1) 臓器提供意思表示カードの認知 .....	67
(2) 臓器提供意思表示カードの所持状況 .....	69
9. 在宅医療・緩和ケア .....	71
(1) 在宅医療の受療希望 .....	71
(2) 緩和ケアの認知 .....	73
(3) 緩和ケアの受療希望 .....	75
10. 通院状況 .....	77
(1) 通院の有無 .....	77
(2) 通院している診療科数 .....	79
(3) 飲み薬の種類 .....	82
11. かかりつけ薬局 .....	85
(1) かかりつけ薬局の有無 .....	85
(2) かかりつけ薬局を決めている理由 .....	87
(3) かかりつけ薬局を決めていない理由 .....	91
12. 献血 .....	95
(1) 献血をした経験の有無 .....	95
(2) 献血をしない理由 .....	97
(3) 献血についての知識・情報の入手経路 .....	102
(4) 今後充実してほしい献血の推進策 .....	105
13. 健康づくりの知識・情報の入手経路 .....	110
14. 病院・診療所に関する情報の入手経路 .....	115
15. 保健医療に関する自由意見 .....	120

<b>Ⅲ 調査票様式</b> .....	<b>155</b>
----------------------	------------

# I 調査概要

◇ 本報告書の利用にあたっての注意点

1. 本文及び図表中の回答者の割合は、百分比（％）で表し、小数点第2位を四捨五入してある。そのため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
2. 図表中の「n（number of cases の略）」とは、回答者総数（該当者質問では該当者数）のことで、100％が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
3. 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

## 1. 調査の設計

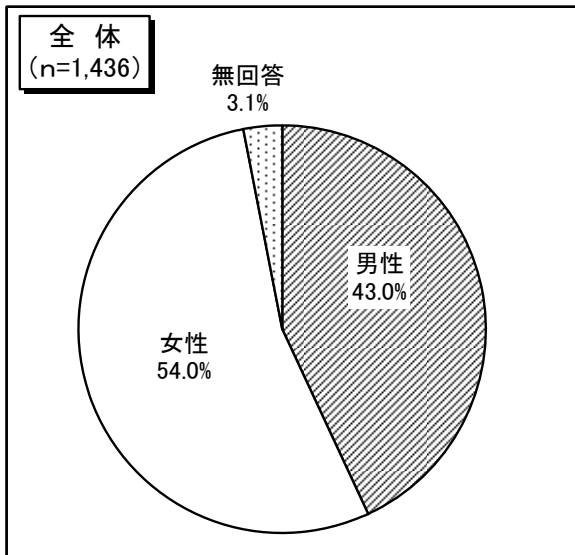
- (1) 調査地域：福島県全域
- (2) 調査対象：福島県内に居住する20歳以上の男女個人
- (3) 標本数：2,500（人）
- (4) 抽出方法：層化二段無作為抽出法（市町村の保有する住民基本台帳より抽出）
- (5) 調査方法：調査票の配布・回収とも郵送による自記式アンケート
- (6) 調査期間：平成19年3月16日（金）～3月27日（火）

## 2. 回収結果

有効回収数 1,436（有効回収率57.4%）

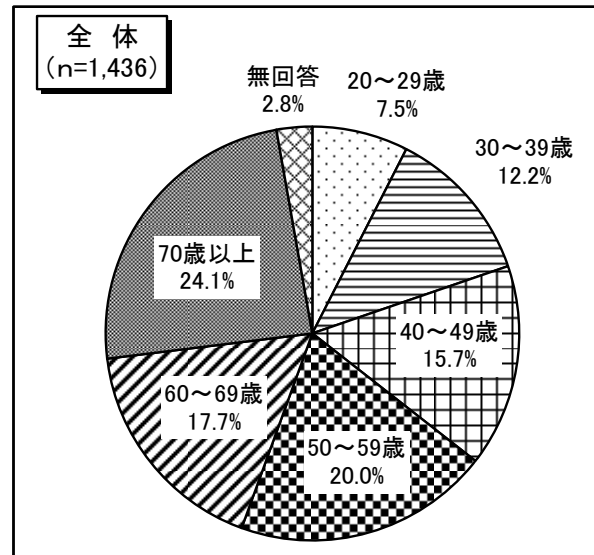
## 3. 回答者の構成

【性別】

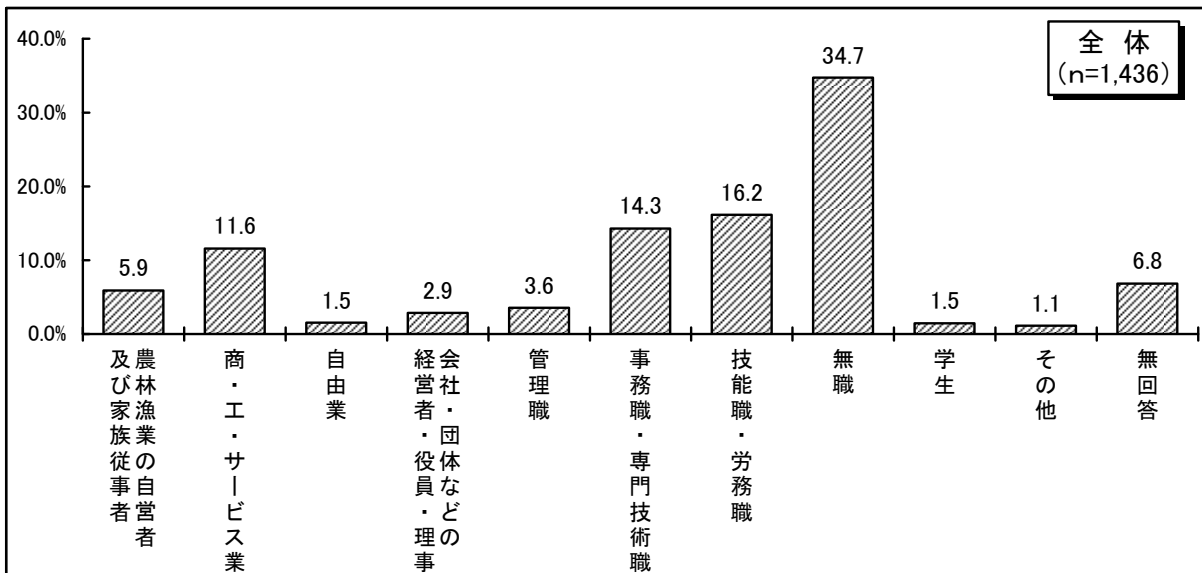


【年齢】

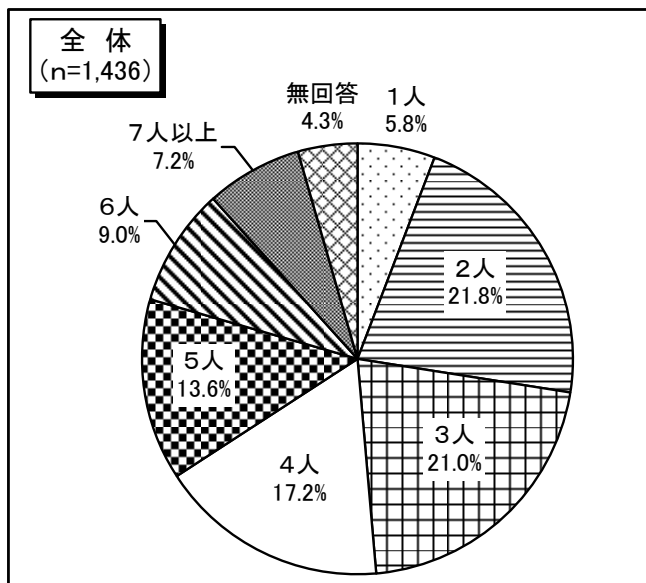
(65歳以上 34.2%)



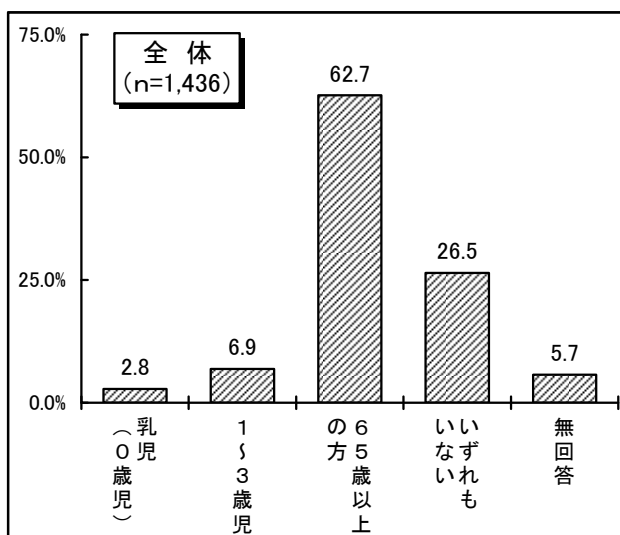
【職業】



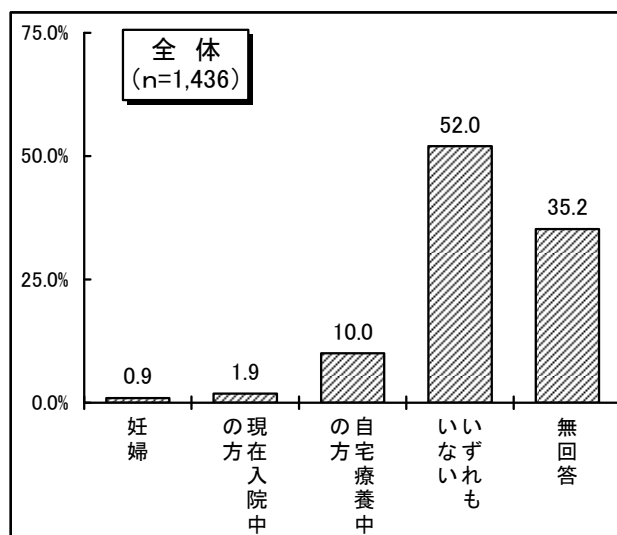
【同居の家族人数】



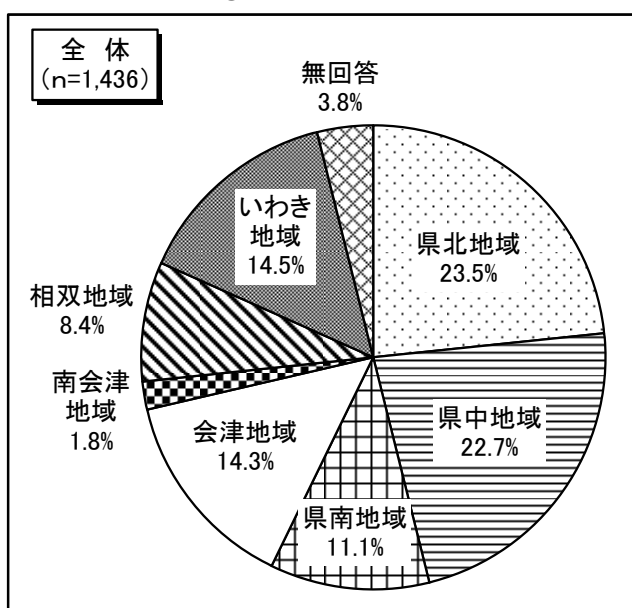
【同居の家族】 ①子ども・高齢者



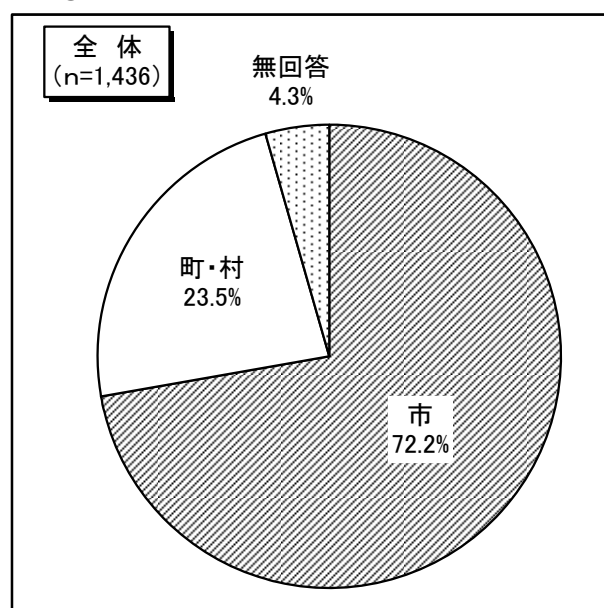
②妊婦・入院中・療養中



【居住地域】 ①地域



②市・町村別

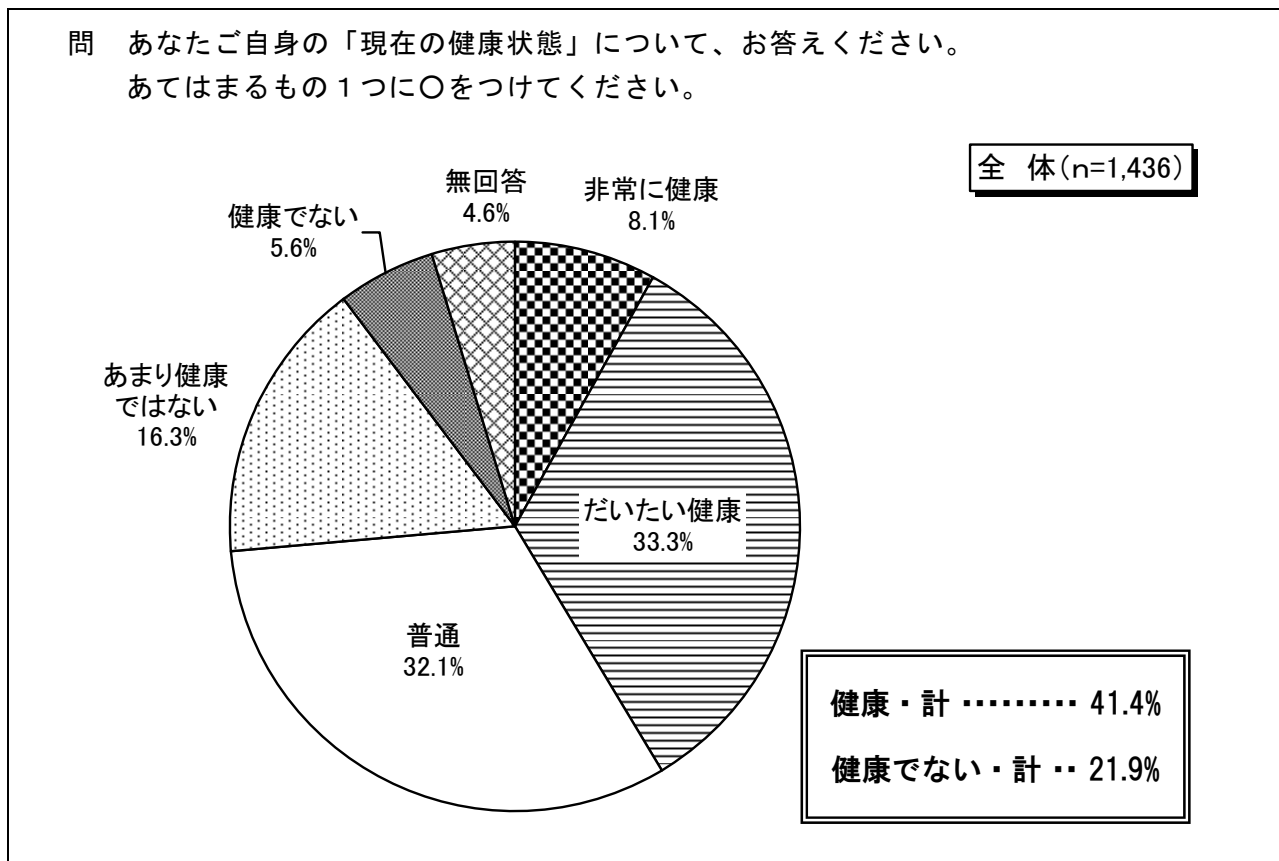




## Ⅱ 調査結果



# 1. 現在の健康状態



## 【全体結果】

「非常に健康」(8.1%)、「だいたい健康」(33.3%)を合計した『健康・計』(41.4%)が4割強を占めた。「普通」(32.1%)は3割強、「健康でない」(5.6%)と「あまり健康でない」(16.3%)を合計した『健康でない・計』(21.9%)は2割強となっている。

## 【性別】

男女でほとんど差が見られない。

『健康・計』は、男性 41.7%、女性 41.9%、『健康でない・計』は、男性 23.0%、女性 20.6%である。

## 【年齢別】

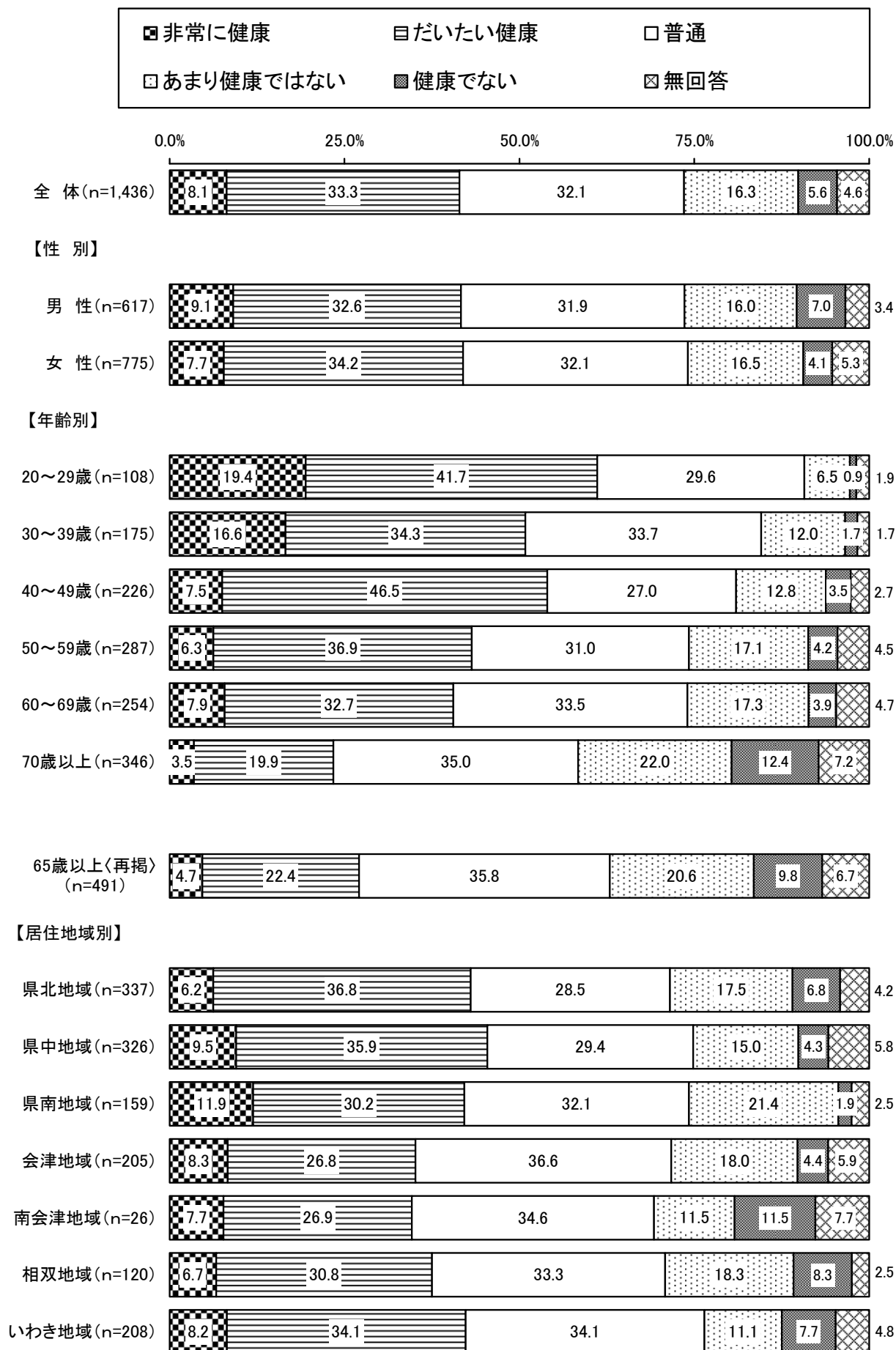
40代で「だいたい健康」(46.5%)の割合が高くなっているため、はっきりとしたかたちに表れていないが、『健康・計』の割合は年齢が上がるにつれ低下する傾向が見られる。

逆に『健康でない・計』は、年齢が上がるほど割合が上昇する傾向にあり、70歳以上では34.4%となっている。

## 【居住地域別】

『健康・計』の割合は、県中地域(45.4%)、県北地域(43.0%)、いわき地域(42.3%)、県南地域(42.1%)は4割以上を占めるが、相双地域(37.5%)、会津地域(35.1%)、南会津地域(34.6%)はやや低く3割台となっている。

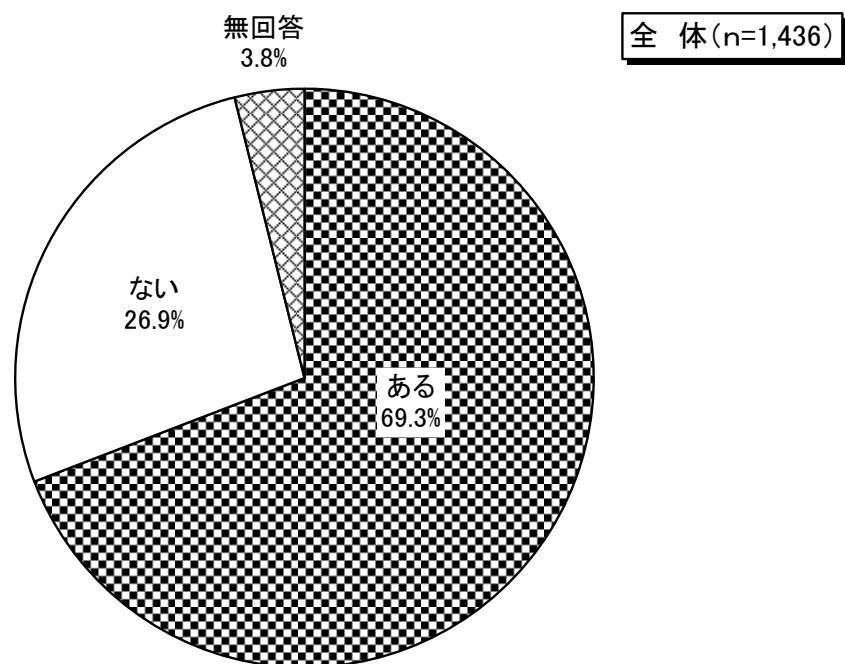
図1 現在の健康状態（全体／性別／年齢別／居住地域別）



## 2. 健康診断・人間ドック・がん検診

### (1) 過去1年間における受診の有無

問 あなたは過去1年間に、健康診断（定期健康診査や一般住民健診）や人間ドックを受けたことがありますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



#### 【全体結果】

過去1年間に健康診断（定期健康診査や一般住民健診）を受けた人（以下、受診者と表記）は7割（69.3%）、受けなかった人は26.9%となっている。

#### 【性別】

受診者の割合は、男性が72.6%、女性が67.9%で、男性の方が高い。

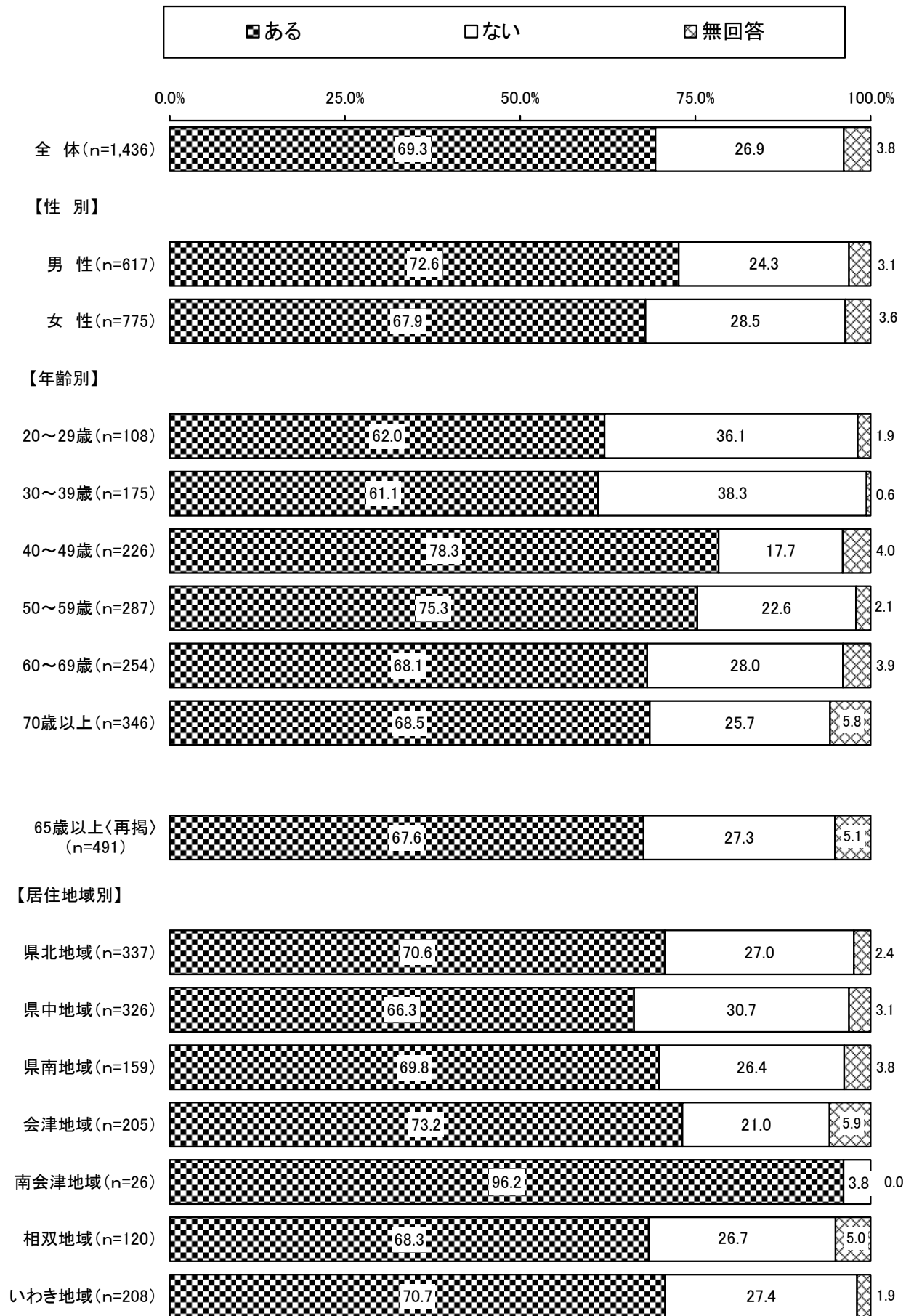
#### 【年齢別】

受診者の割合は、40代（78.3%）と50代（75.3%）で高く、20代（62.0%）と30代（61.1%）で低い。60代（68.1%）と70歳以上（68.5%）は7割弱となっている。

#### 【居住地域別】

受診者の割合は、会津地域（73.2%）と南会津地域（96.2%）で比較的高い。

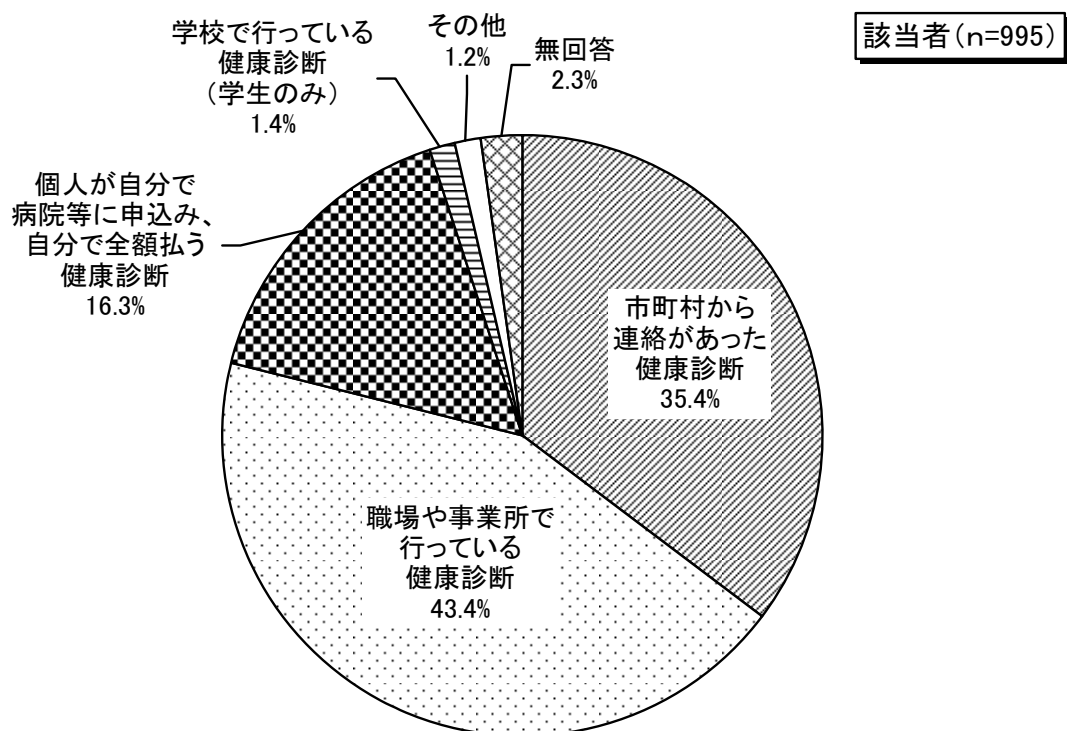
図2 過去1年間における受診の有無（全体／性別／年齢別／居住地域別）



## (2) 直近の健康診断の種類

(前問で「ある」とお答えの方にお尋ねします。)

問 いちばん最近の健康診断や人間ドックは、どのような健康診断でしたか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



### 【全体結果】

「職場や事業所で行っている健康診断」を受けた人が 43.4%で最も多く、次いで「市町村から連絡があった健康診断」(35.4%)が多かった。

「個人が病院等に申込み、自分で全額払う健康診断」が 16.3%、「学校で行っている健康診断 (学生のみ)」は 1.4%となっている。

### 【性別】

「職場や事業所で行っている健康診断」(男性 55.1%、女性 34.6%)の割合は、男性の方が高く、「市町村から連絡があった健康診断」(男性 24.6%、女性 43.9%)は、女性の方が高い。

### 【年齢別】

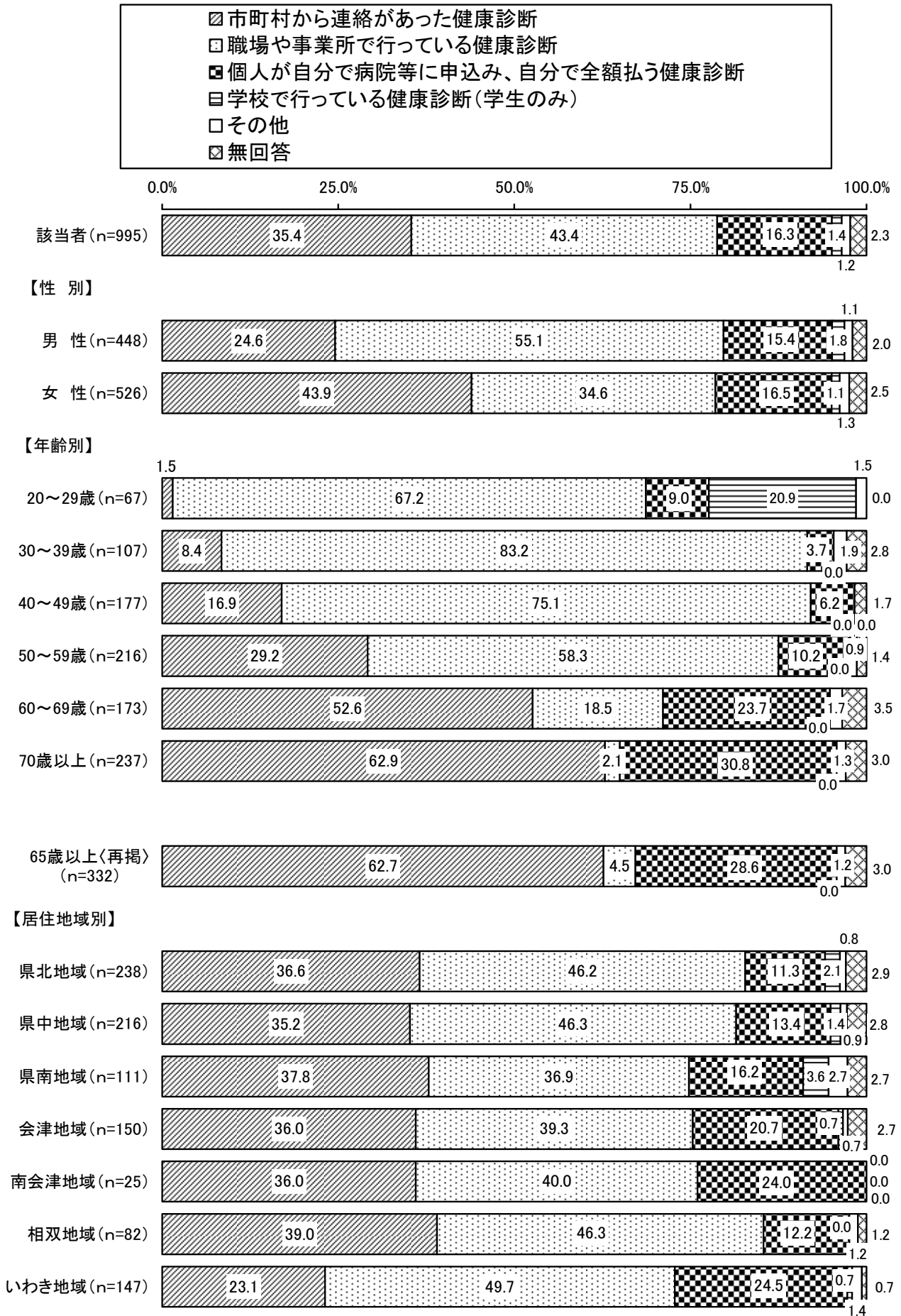
年齢が上がるほど「職場や事業所で行っている健康診断」の割合は低下し、「市町村から連絡があった健康診断」の割合は上昇している。

20代で「学校で行っている健康診断 (学生のみ)」(20.9%)が2割を占めている。

### 【居住地域別】

いわき地域は「市町村から連絡があった健康診断」(23.1%)の割合が低い。また、会津地域、南会津地域、いわき地域では、「個人が病院等に申込み、自分で全額払う健康診断」の割合が比較的高く2割を超えている。

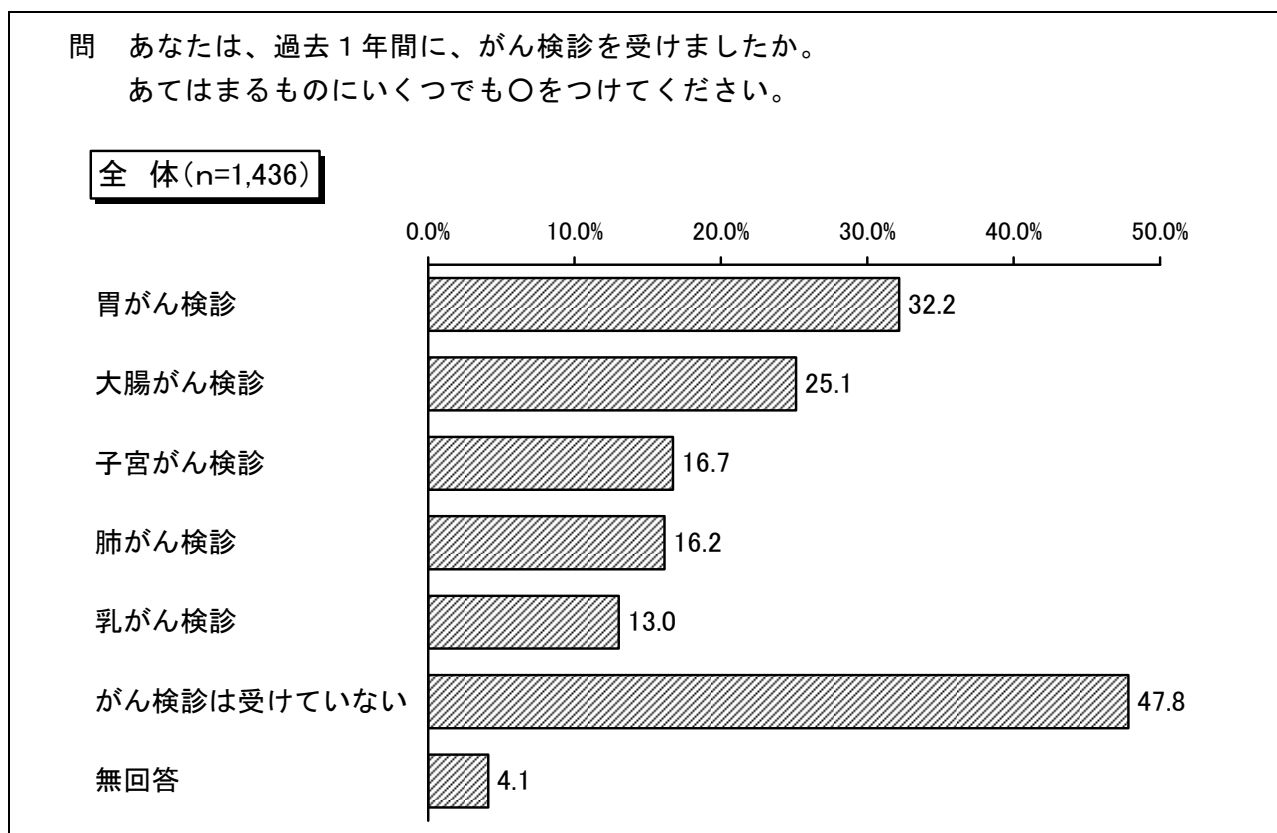
図3 直近の健康診断の種類（全体／性別／年齢別／居住地域別）





### (3) がん検診の受診状況

#### ①過去1年間に受けたがん検診の種類



#### 【全体結果】

過去1年間に何らかのがん検診を受けた人（以下、がん検診受診者と表記）は、5割弱（48.1%：全体から「がん検診は受けていない」と「無回答」を引いた人数の割合）となっている。

最も多く受診されているのは「胃がん検診」（32.2%）で、ほぼ3人に1人が受診している。「大腸がん検診」（25.1%）が次いで多く、以下、「子宮がん検診」（16.7%）、「肺がん検診」（16.2%）、「乳がん検診」（13.0%）が各1割台となっている。

#### 【性別】

がん検診受診者の割合は、女性（54.6%）の方が男性（40.7%）よりも高い。女性は半数以上が何らかのがん検診を受けている。

「胃がん検診」「大腸がん検診」「肺がん検診」の受診者の割合は、いずれも男女で差が見られない。

#### 【年齢別】

がん検診受診者の割合は、概ね年齢とともに上昇しており、20代（15.7%）が最も低く、70歳以上（59.5%）が最も高い。50代以上になるとがん検診受診者が5割を超えている。

がん検診の種類を見ると、「胃がん検診」「大腸がん検診」「肺がん検診」は、いずれも年齢が上がるほど受診者の割合も上昇する傾向が見られる。

「子宮がん検診」は30代から50代、「乳がん検診」は40代以上の割合が高い。

### 【居住地域別】

がん検診受診者の割合は、会津地域（58.0%）、南会津地域（69.2%）が比較的高く、いわき地域（41.3%）が低い。

がん検診の種類を見ると、全般的に会津地域、南会津地域は受診者の割合が高く、いわき地域は低い。

図 4-1 がん検診受診者の割合（全体／性別／年齢別／居住地域別）

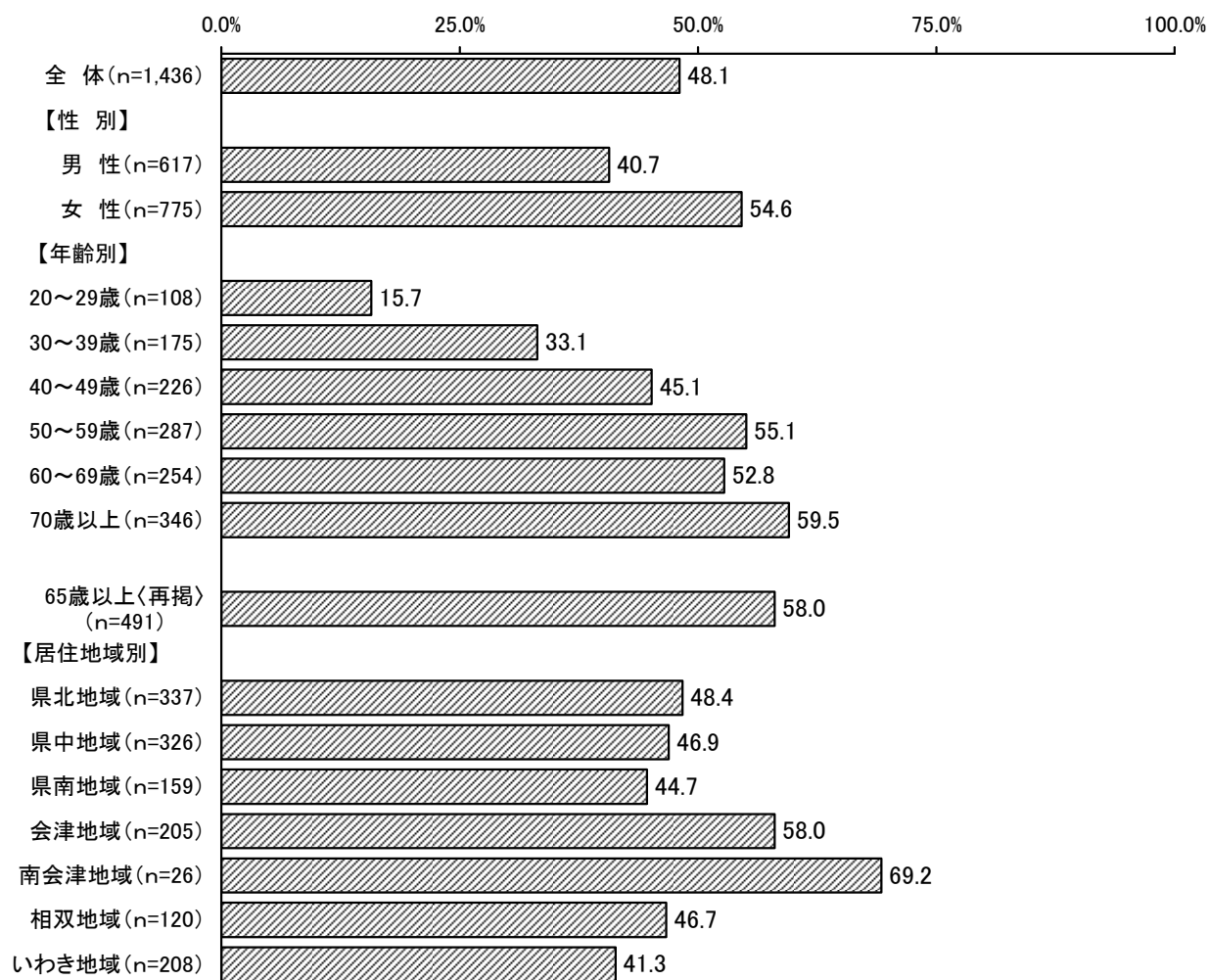
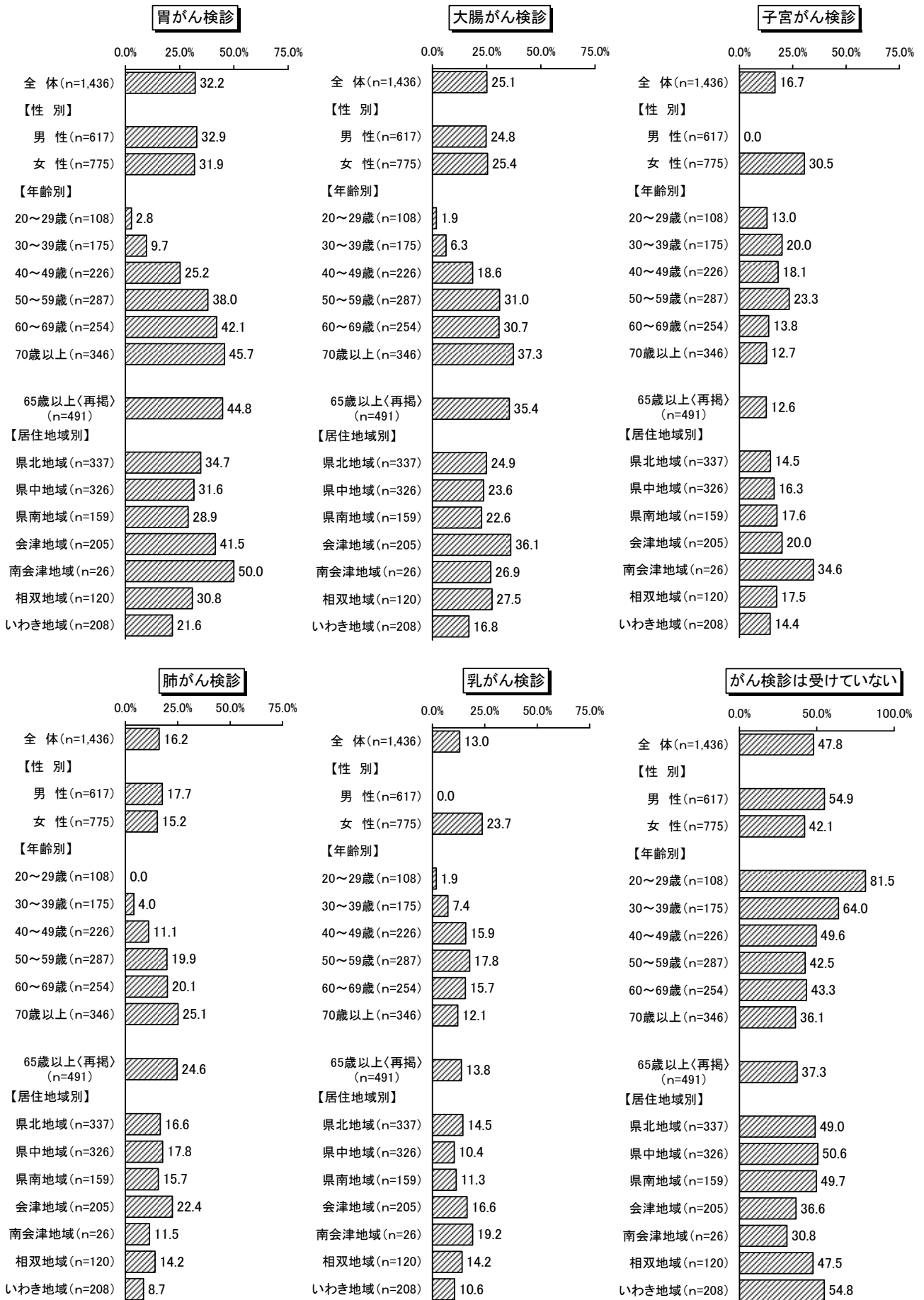
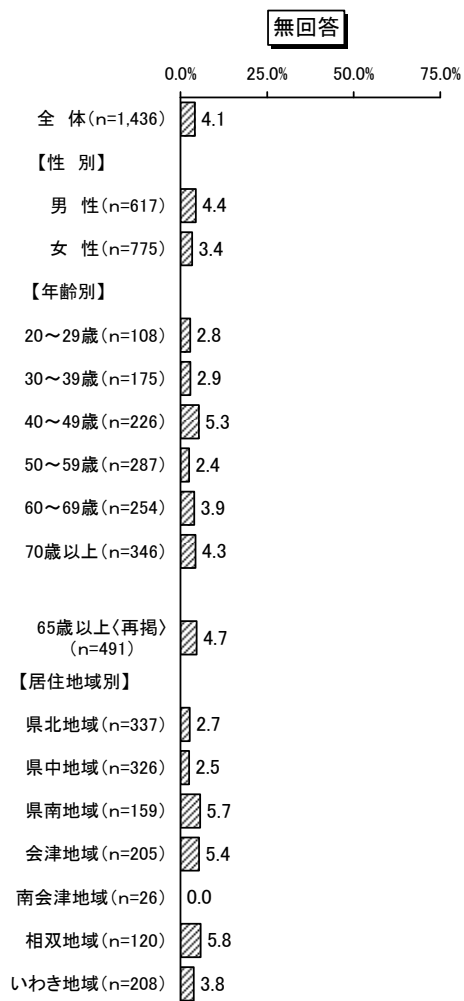


図 4-2 過去 1 年間に受けたがん検診の種類 (全体/性別/年齢別/居住地域別)



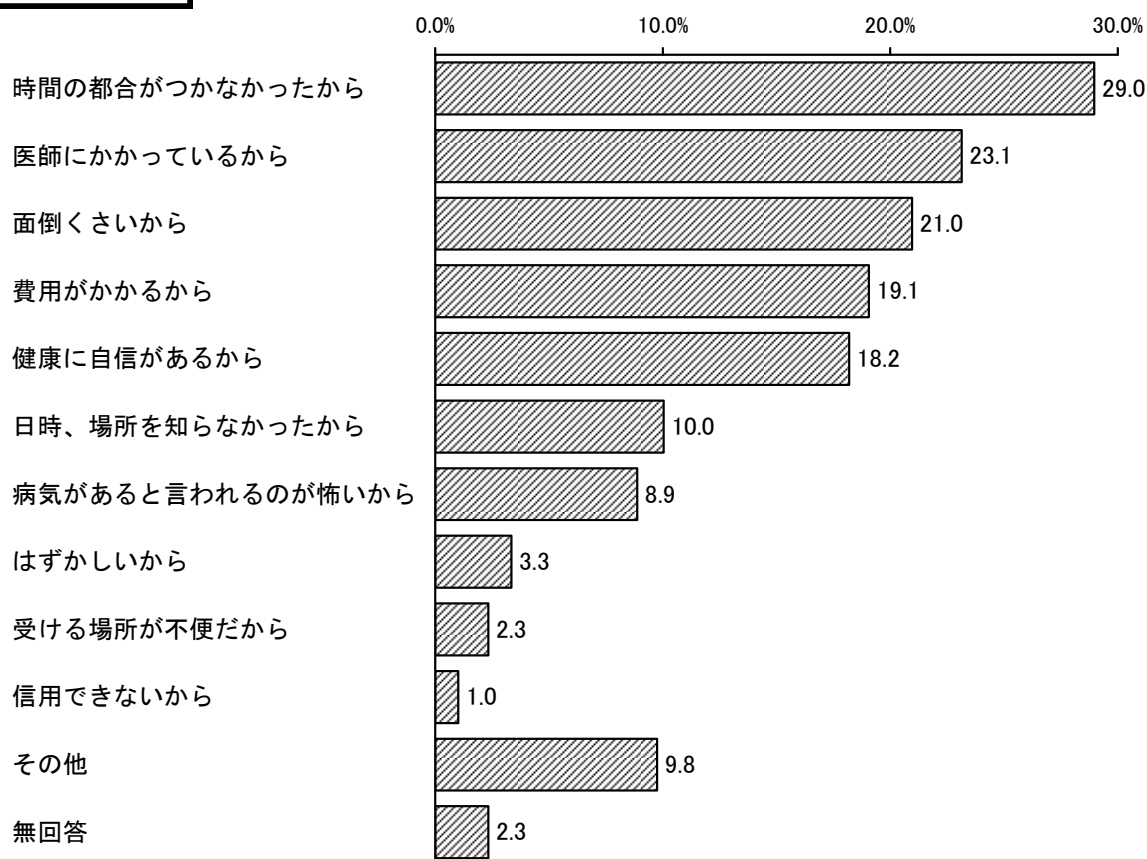


## ②がん検診を受けなかった理由

(前問で「がん検診は受けていない」とお答えの方にお尋ねします。)

問 がん検診を受けなかったのはなぜですか。  
あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。

該当者(n=687)



### 【全体結果】

がん検診を受けなかった理由は、「時間の都合がつかなかったから」(29.0%)をあげる人が最も多く、以下、「医師にかかっているから」(23.1%)、「面倒くさいから」(21.0%)、「費用がかかるから」(19.1%)、「健康に自信があるから」(18.2%)が続いている。

「その他」の理由をあげた人が1割弱(9.8%)となっているが、その内容は主に「年齢がまだ若いから」「職場などで健康診断を受けているから」「必要性を感じないから」などである。

### 【性別】

「費用がかかるから」(男性 20.6%、女性 18.7%)、「健康に自信があるから」(男性 20.4%、女性 16.6%)、「日時、場所を知らなかったから」(男性 12.4%、女性 8.3%)という理由は、男性の方がやや高い割合となっている。

上記以外の理由は女性の方が高いか、同程度の割合となっており、「医師にかかっているから」(男性 20.4%、女性 25.2%)、「病気があると言われるのが怖いから」(男性 6.2%、女性 11.3%)、「はずかしいから」(男性 0.9%、女性 5.8%)は、比較的男女差が大きい。

#### 【年齢別】

「時間の都合がつかなかったから」「費用がかかるから」は、どちらも30代の割合が最も高く、30代以上は年齢が上がるほど割合が低下している。また、「日時、場所を知らなかった」も30代の割合（23.2%）が最も高い。

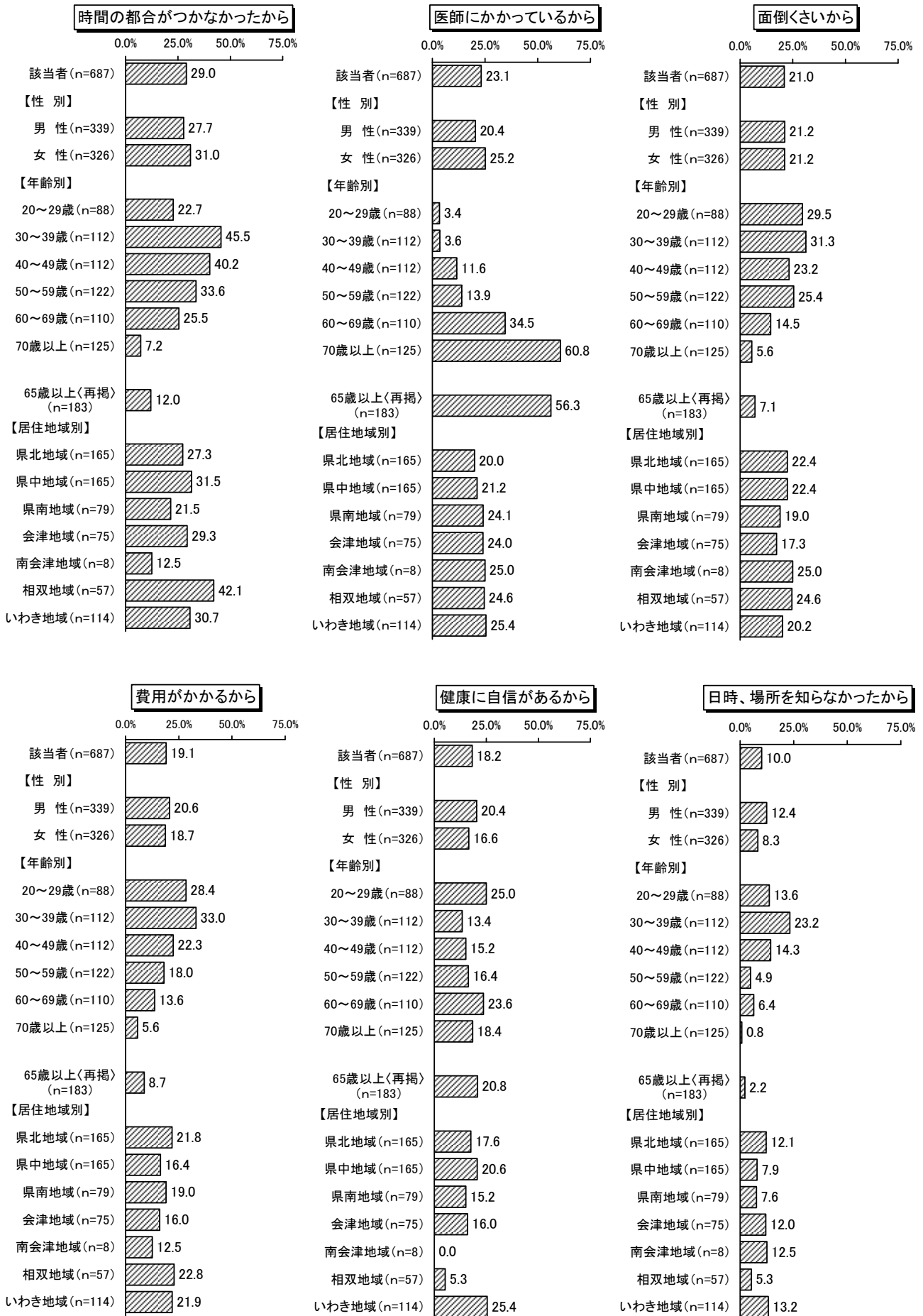
「医師にかかっているから」は、年齢が上がるほど割合が上昇しており、70歳以上（60.8%）では6割に達している。

「面倒くさいから」は20代（29.5%）と30代（31.3%）で、「健康に自信があるから」は20代（25.0%）と60代（23.6%）で、それぞれ高い割合となっている。

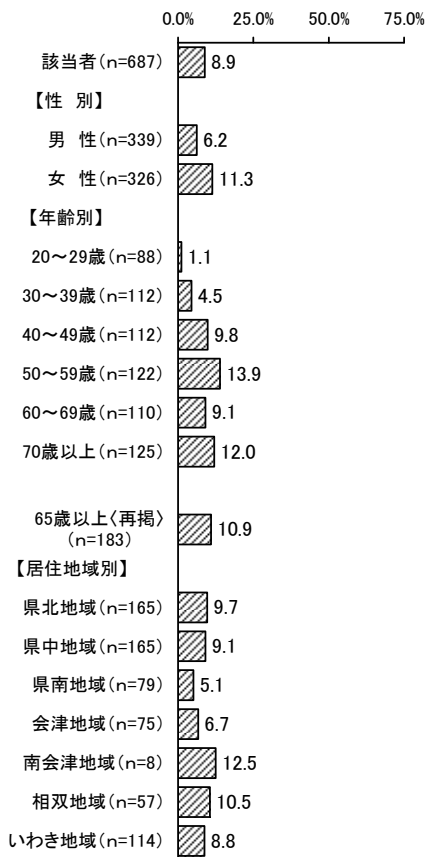
#### 【居住地域別】

「時間の都合がつかなかったから」は相双地域（42.1%）で、「健康に自信があるから」はいわき地域（25.4%）で、それぞれ高い割合となっている。

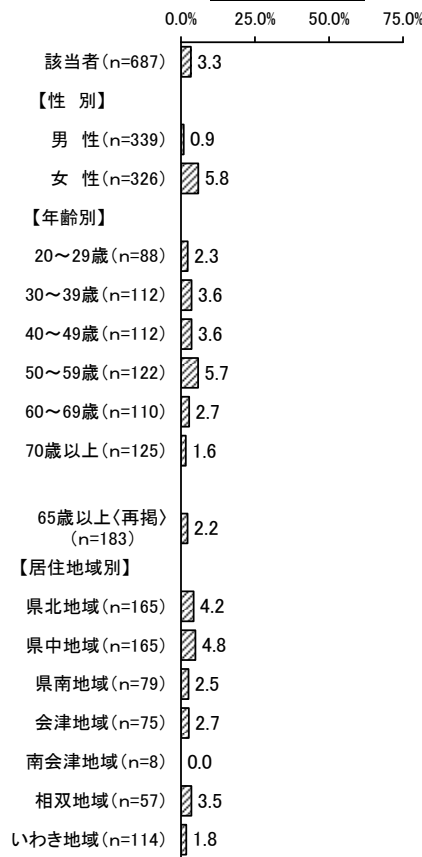
図5 がん検診を受けなかった理由（該当者／性別／年齢別／居住地域別）



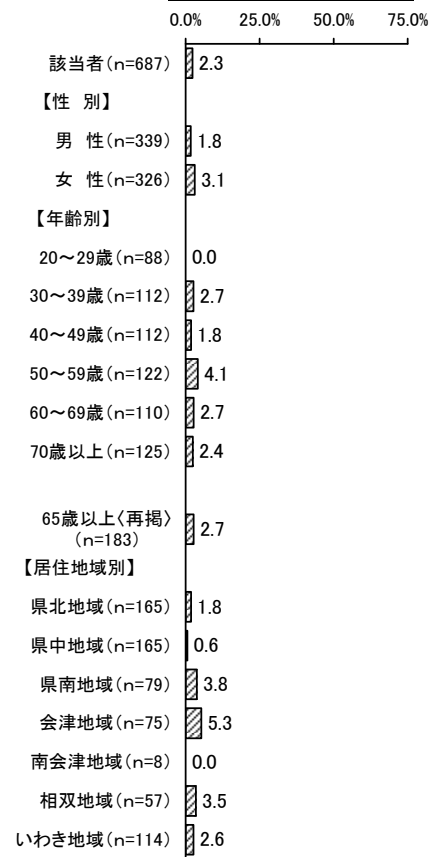
病気があると言われるのが怖いから



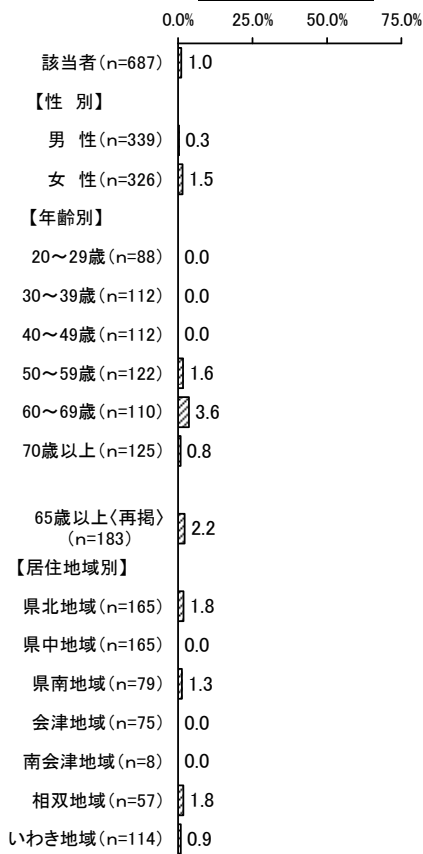
はずかしいから



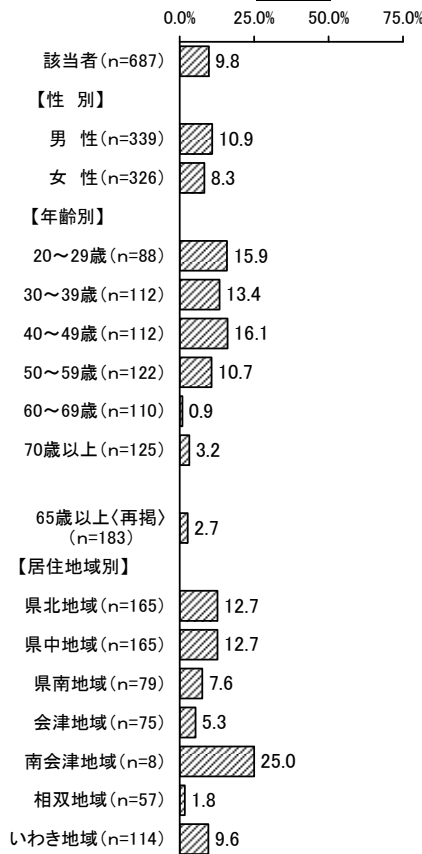
受ける場所が不便だから



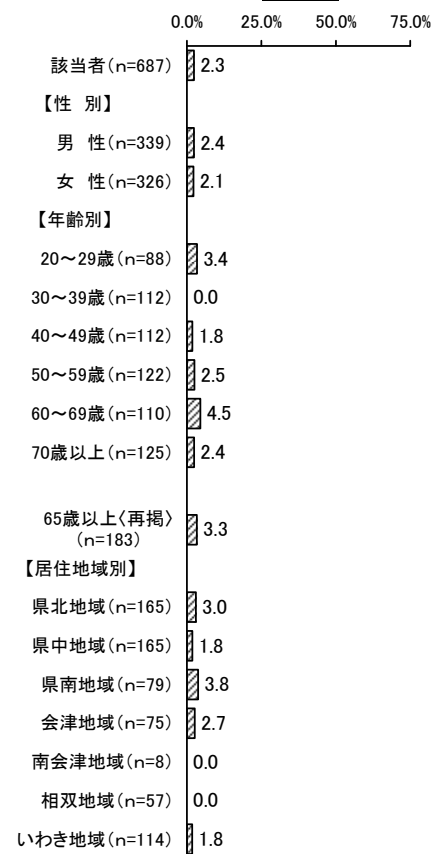
信用できないから



その他



無回答

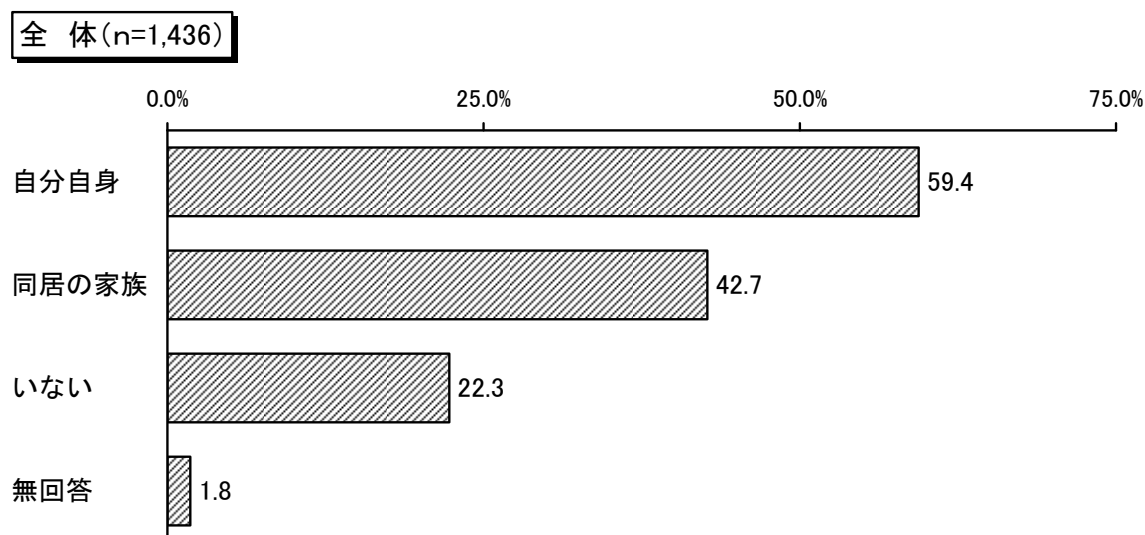




### 3. 入院・通院治療

#### (1) 過去1年間における入院・通院治療の有無

問 あなたご自身または同居のご家族の中で、最近1年間に病気やケガで入院や通院治療を受けた方、または現在入院や通院治療を受けている方はいらっしゃいますか。  
(出産は除きます)  
あてはまるものにくつでも○をつけてください。



#### 【全体結果】

「自分自身」(59.4%)が6割、「同居の家族」(42.7%)が4割強、「いない」(22.3%)が2割強となっている。

過去1年間に、自分を含めた同居の家族の誰かが入院または通院治療を受けた経験のある人は75.9%(全体から「いない」と「無回答」を引いた人数の割合)で、3人に2人の割合となっている。

#### 【性別】

「同居の家族」(男性45.1%、女性40.9%)は、男性の方がやや高い割合となっている。

#### 【年齢別】

「自分自身」の割合は、年齢が上がるほど上昇しており、70歳以上(83.8%)では8割強となっている。

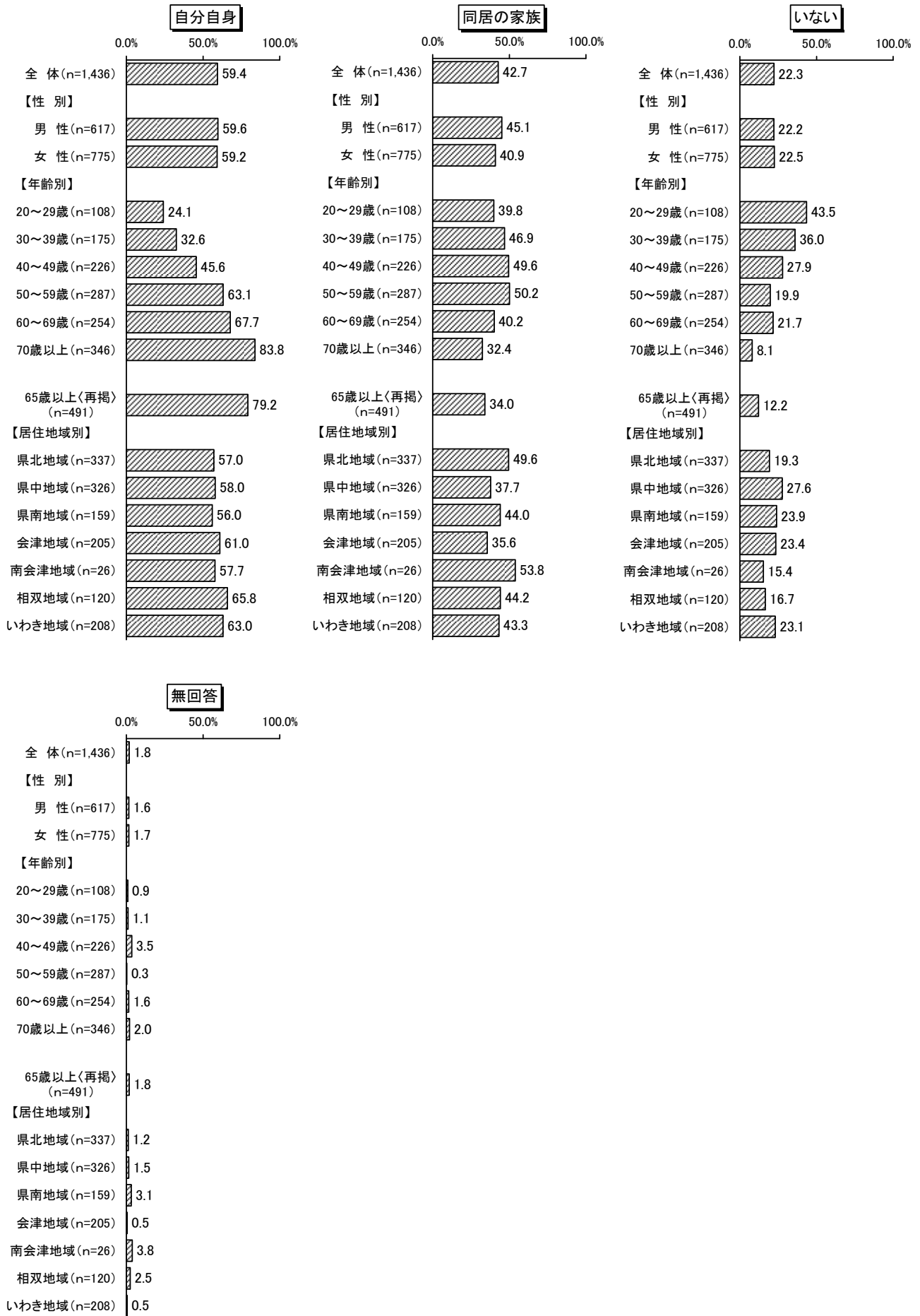
逆に「いない」の割合は、20代(43.5%)が最も高く、年齢が上がるほど低下する傾向が見られる。

#### 【居住地域別】

「自分自身」の割合は、相双地域(65.8%)、いわき地域(63.0%)、会津地域(61.0%)が比較的高い。

「同居の家族」の割合は、県北地域(49.6%)、南会津地域(53.8%)が比較的高い。

図6 過去1年間における入院・通院治療の有無（全体／性別／年齢別／居住地域別）

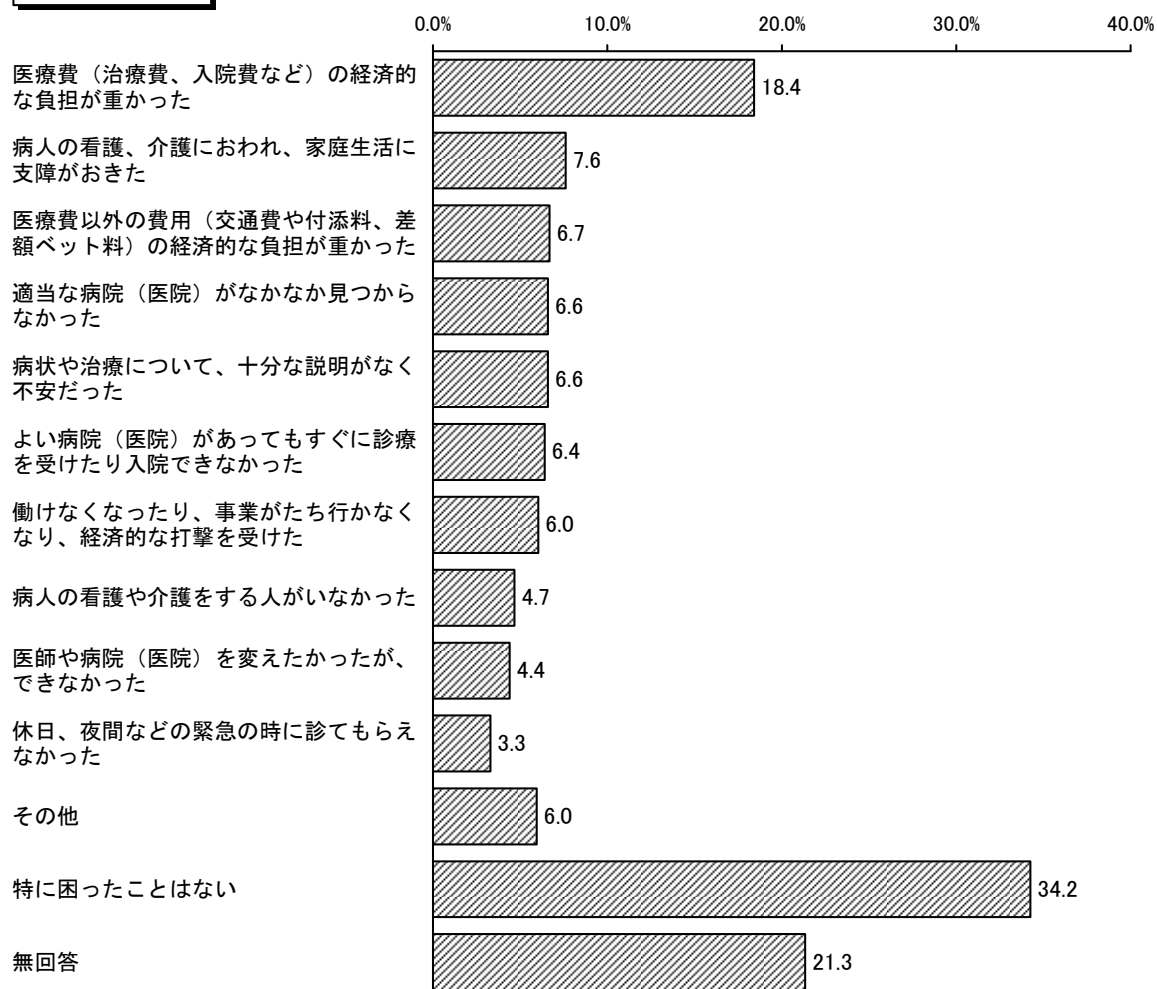


## (2) 入院や通院治療で困ったこと

(前問で「自分自身」「同居の家族」をお答えの方にお尋ねします。)

問 入院や通院治療の時には、どのようなことに困りましたか。(困っていますか。)  
あてはまるものに3つまで○をつけてください。

該当者(n=1,092)



### 【全体結果】

入院や通院治療で困ったことは「医療費（治療費、入院費など）の経済的な負担が重かった」（18.4%）をあげる人が最も多い。

以下、「病人の看護、介護に追われ、家庭生活に支障がおきた」（7.6%）、「医療費以外の費用（交通費や付添料、差額ベット料）の経済的な負担が重かった」（6.7%）、「適当な病院（医院）がなかなか見つからなかった」「病状や治療について、十分な説明がなく不安だった」（各 6.6%）、「よい病院（医院）があってもすぐに診療を受けたり入院できなかった」（6.4%）、「働けなくなったり、事業がたち行かなくなり、経済的な打撃を受けた」（6.0%）、「病人の看護や介護をする人がいなかった」（4.7%）、「医師や病院（医院）を変えたかったが、できなかった」（4.4%）、「休日、夜間など緊急の時に診てもらえなかった」（3.3%）となっているが、いずれも1割に満たない。

「特に困ったことはない」（34.2%）が3割強を占めている。

### 【性別】

「医療費（治療費、入院費など）の経済的な負担が重かった」（男性 20.6%、女性 16.6%）をはじめ、ほとんど項目で男性の方が高い割合となっている。

### 【年齢別】

「医療費（治療費、入院費など）の経済的な負担が重かった」の割合は、30代（30.9%）が最も高く、30代以上は年齢が上がるほど割合が低下している。60代以上では1割強となっている。

「医療費以外の費用（交通費や付添料、差額ベット料）の経済的な負担が重かった」は20代（11.7%）、30代（11.8%）の割合が高い。

「病人の看護、介護に追われ、家庭生活に支障がおきた」は40代（13.5%）と30代（10.9%）で、「適当な病院（医院）がなかなか見つからなかった」は20代から40代で、それぞれ高い割合となっている。20代では「働けなくなったり、事業がたち行かなくなり、経済的な打撃を受けた」（13.3%）、「病人の看護や介護をする人がいなかった」（10.0%）も比較的高い。

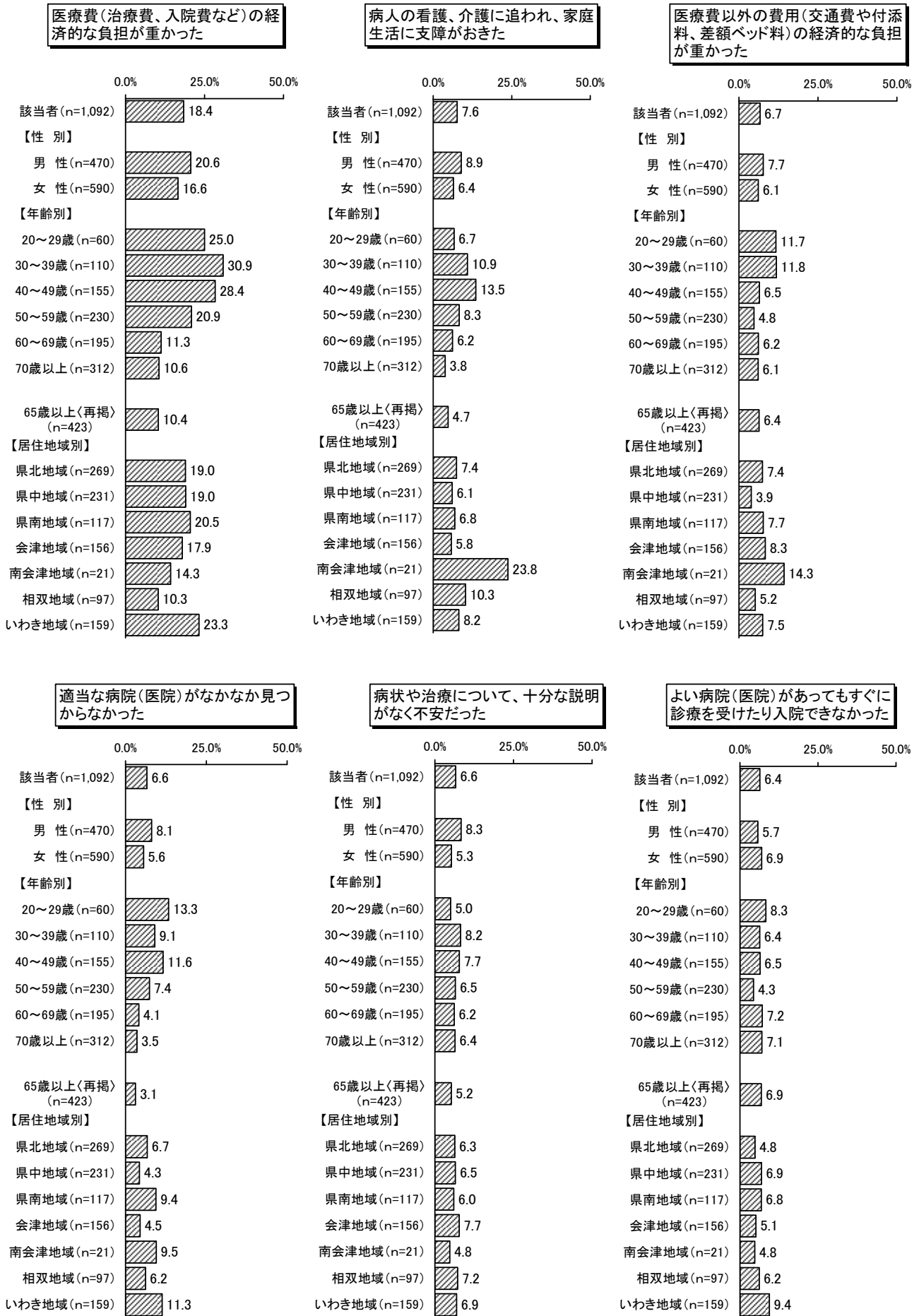
また「特に困ったことはない」の割合を見ると、20代から40代は3割前後で、50代以上に比べ低くなっている。

### 【居住地域別】

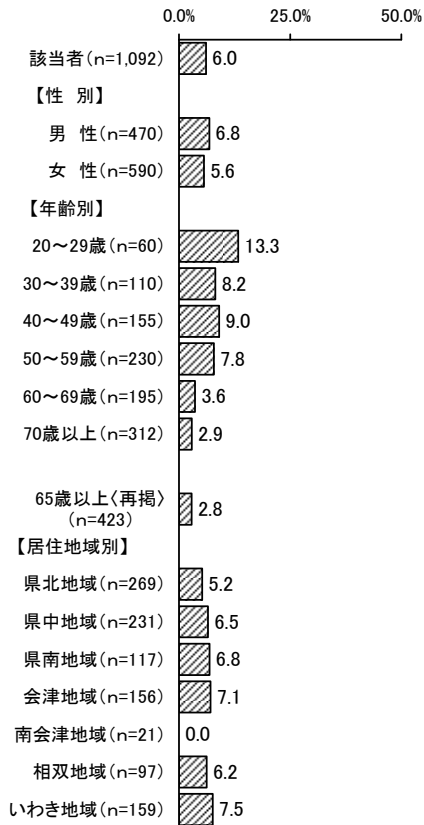
「医療費（治療費、入院費など）の経済的な負担が重かった」の割合は、いわき地域（23.3%）がやや高く、相双地域（10.3%）、南会津地域（14.3%）が低い。

また「特に困ったことはない」の割合を見ると、いわき地域（25.2%）と会津地域（26.3%）は、他の地域に比べ低くなっている。

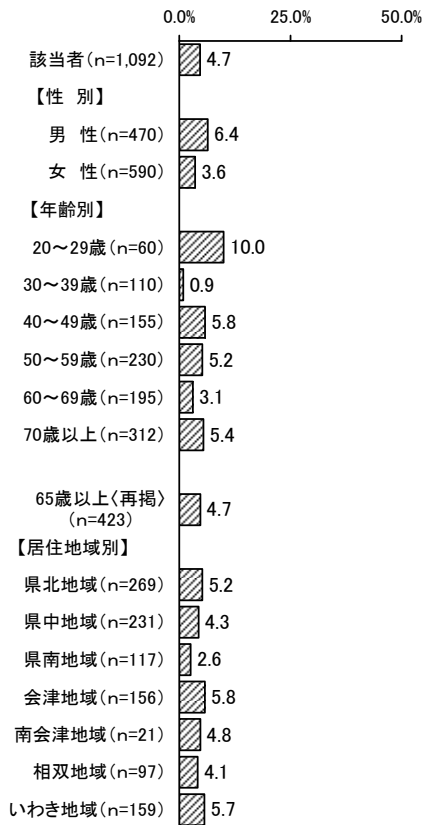
図7 入院や通院治療で困ったこと（該当者／性別／年齢別／居住地域別）



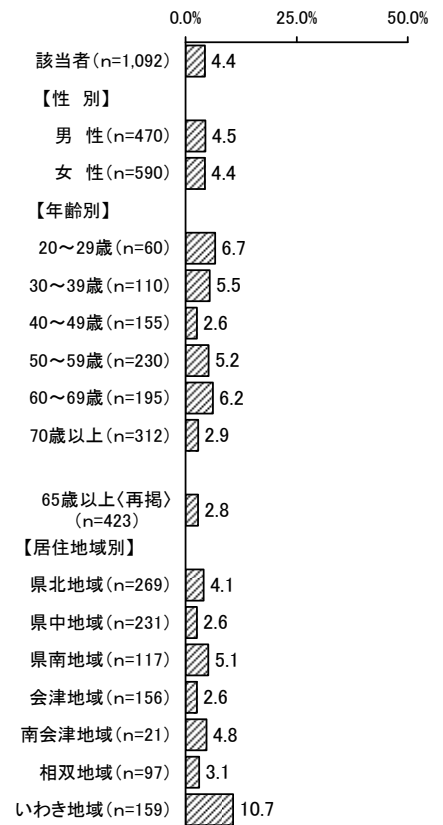
働けなくなったり、事業がたち行かなくなり、経済的な打撃を受けた



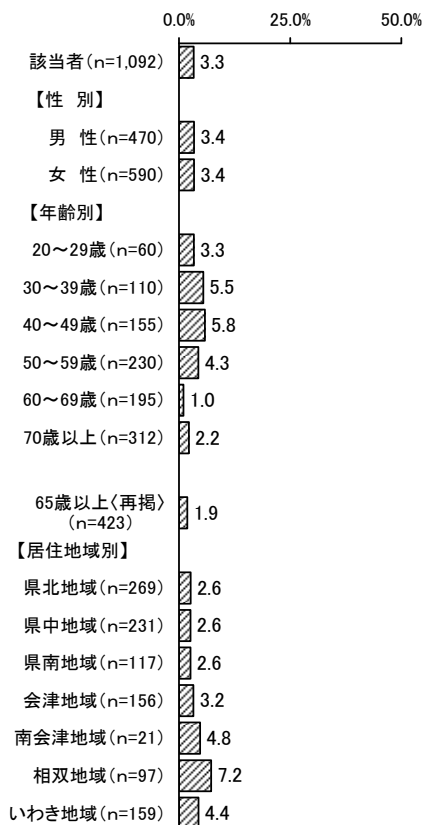
病人の看護や介護をする人がいなかった



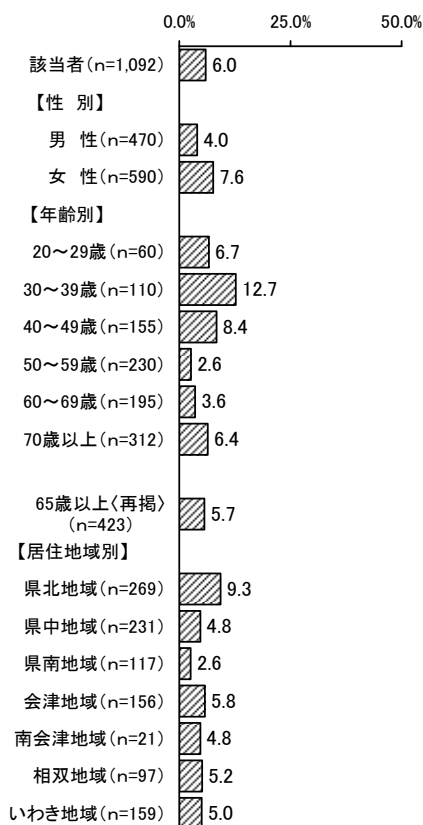
医師や病院(医院)を変えたかったが、できなかった



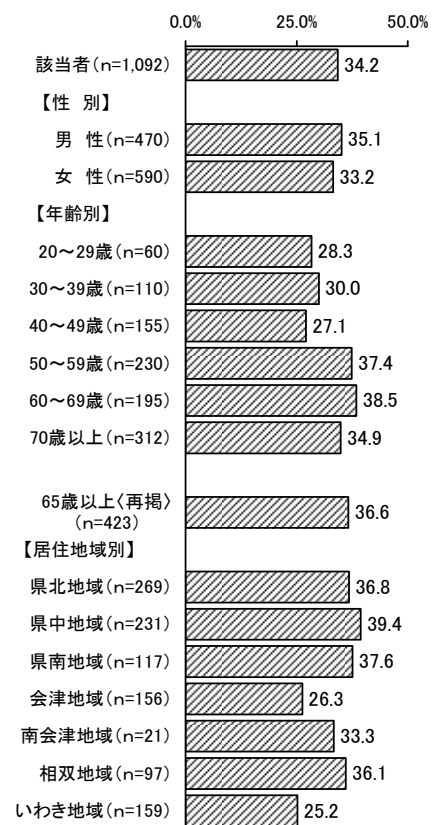
休日、夜間などの緊急の時に診てもらえなかった

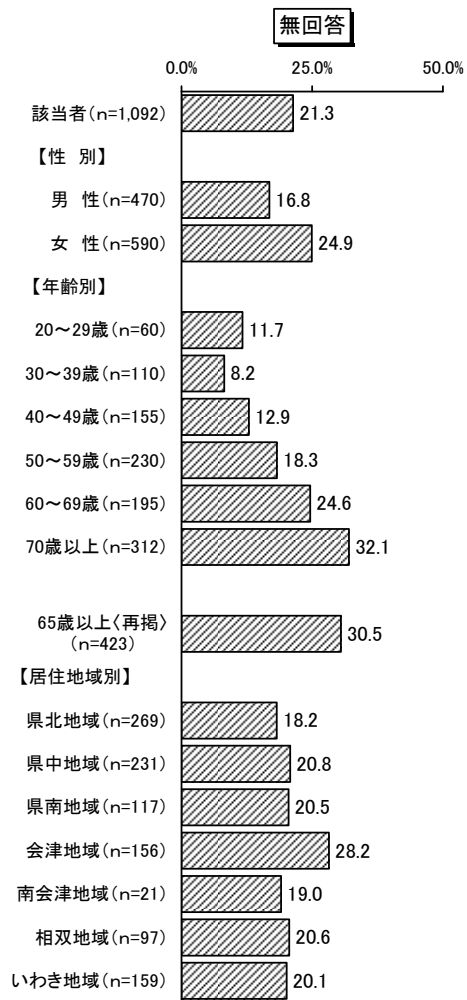


その他



特に困ったことはない

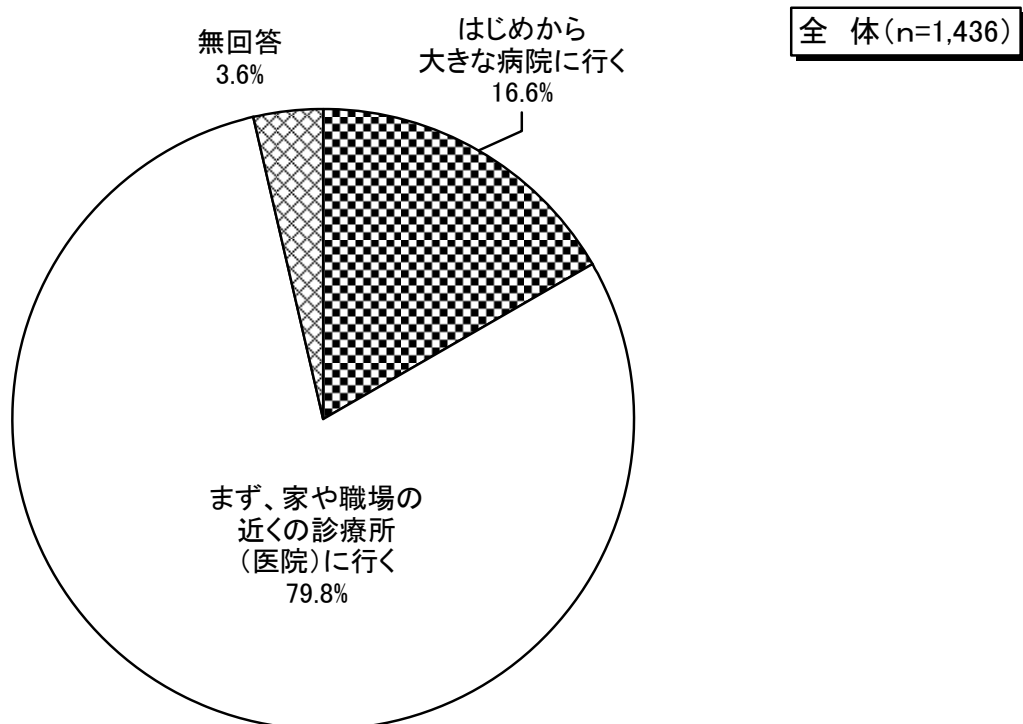




## 4. 地域医療

### (1) 最初に受診する医療施設

問 あなたは例えば、“熱が出たり”、“お腹が痛かったりするとき” 医者にかかるとしたらどのようにしますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



#### 【全体結果】

「まず、家や職場の近くの診療所（医院）に行く」（79.8%）が8割を占めた。「はじめから大きな病院に行く」は16.6%となっている。

#### 【性別】

「まず、家や職場の近くの診療所（医院）に行く」（男性77.8%、女性81.5%）は、女性の方が高い割合となっている。

#### 【年齢別】

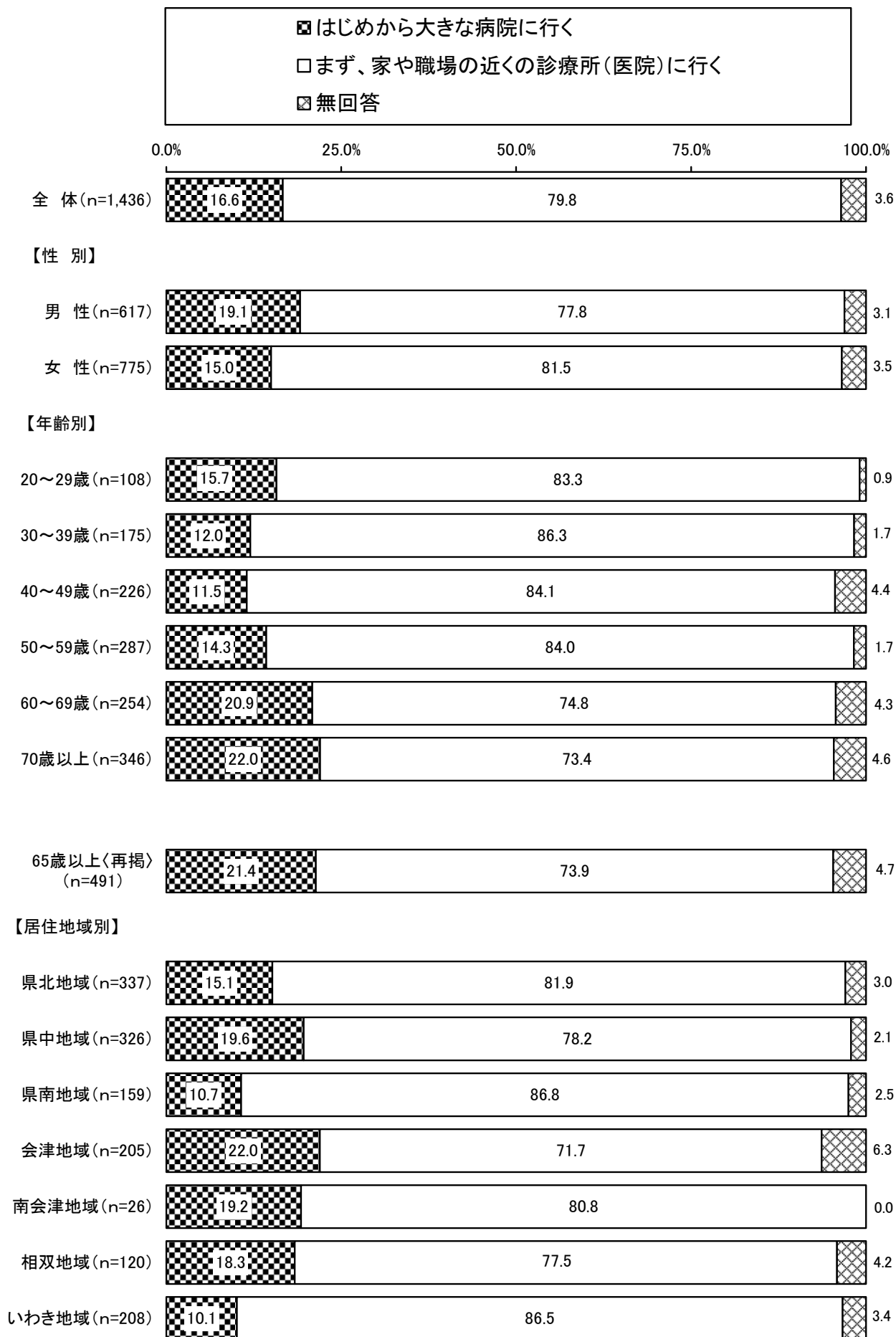
「まず、家や職場の近くの診療所（医院）に行く」の割合は60代以上で低い。60代以上は「はじめから大きな病院に行く」（60代20.9%、70歳以上22.0%）が2割以上となっている。

#### 【居住地域別】

「まず、家や職場の近くの診療所（医院）に行く」の割合は、県南地域（86.8%）といわき地域（86.5%）で高く、会津地域（71.7%）で低い。



図8 最初に受診する医療施設（全体／性別／年齢別／居住地域別）

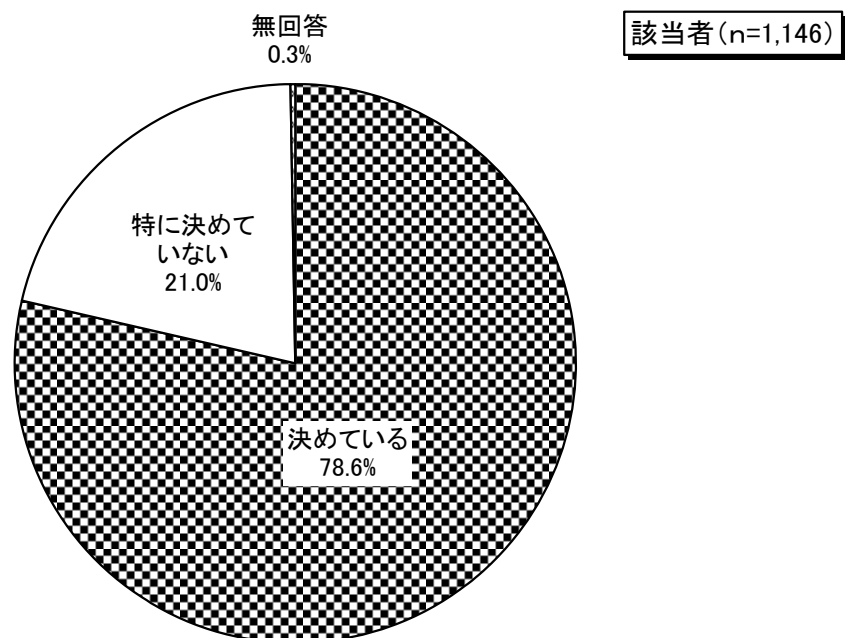


## (2) かかりつけ医の有無

(前問で「まず、家や職場の近くの診療所(医院)に行く」とお答えの方にお尋ねします。)

問 このような場合、かかる診療所(医院)を決めていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



### 【全体結果】

かかる診療所(医院)を「決めている」(78.6%)が8割弱を占めた。「特に決めていない」(21.0%)は2割強となっている。

### 【性別】

かかる診療所(医院)を「決めている」の割合は、女性(83.1%)の方が男性(73.8%)よりも高い。

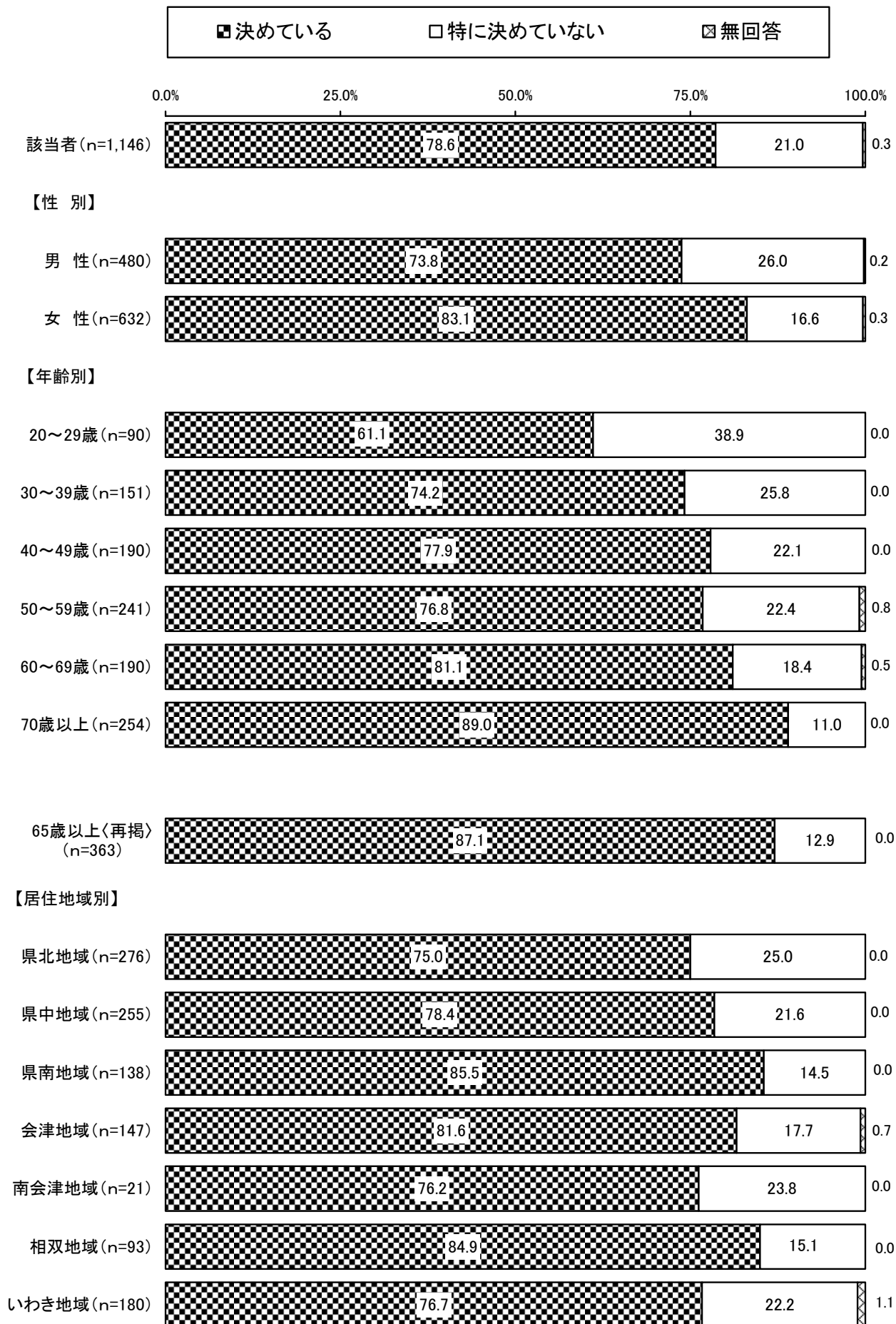
### 【年齢別】

かかる診療所(医院)を「決めている」の割合は、年齢が上がるほど割合も上昇する傾向が見られ、20代(61.1%)が最も低く、70歳以上(89.0%)が最も高い。

### 【居住地域別】

かかる診療所(医院)を「決めている」の割合は、県南地域(85.5%)、相双地域(84.9%)、会津地域(81.6%)が比較的高く8割以上となっている。

図9 かかりつけ医の有無（該当者／性別／年齢別／居住地域別）

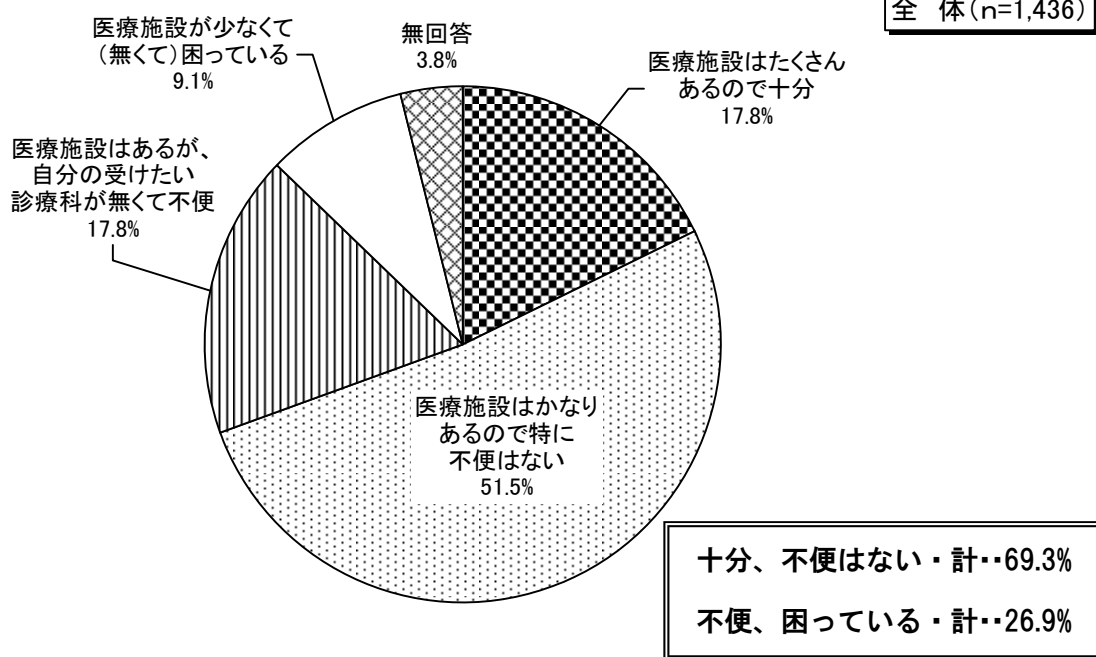


### (3) 医療施設の充足状況

#### ① 医療施設の充足感

問 あなたが住んでいる地域の医療施設（病院・診療所）について、どのように感じていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



#### 【全体結果】

「医療施設はかなりあるので特に不便はない」（51.5%）が過半数を占めた。また、「医療施設はたくさんあるので十分」（17.8%）が2割弱で、両者を合計した『十分、不便はない・計』（69.3%）は7割となる。

一方、「医療施設が少なくて（無くて）困っている」（9.1%）は1割弱、「医療施設はあるが、自分の受けたい診療科が無くて不便」（17.8%）は2割弱で、両者を合計した『不便、困っている・計』は26.9%となっている。

#### 【性別】

女性で「医療施設はあるが、自分の受けたい診療科が無くて不便」（男性 15.1%、女性 20.0%）の割合が高くなっているのが目立つ。

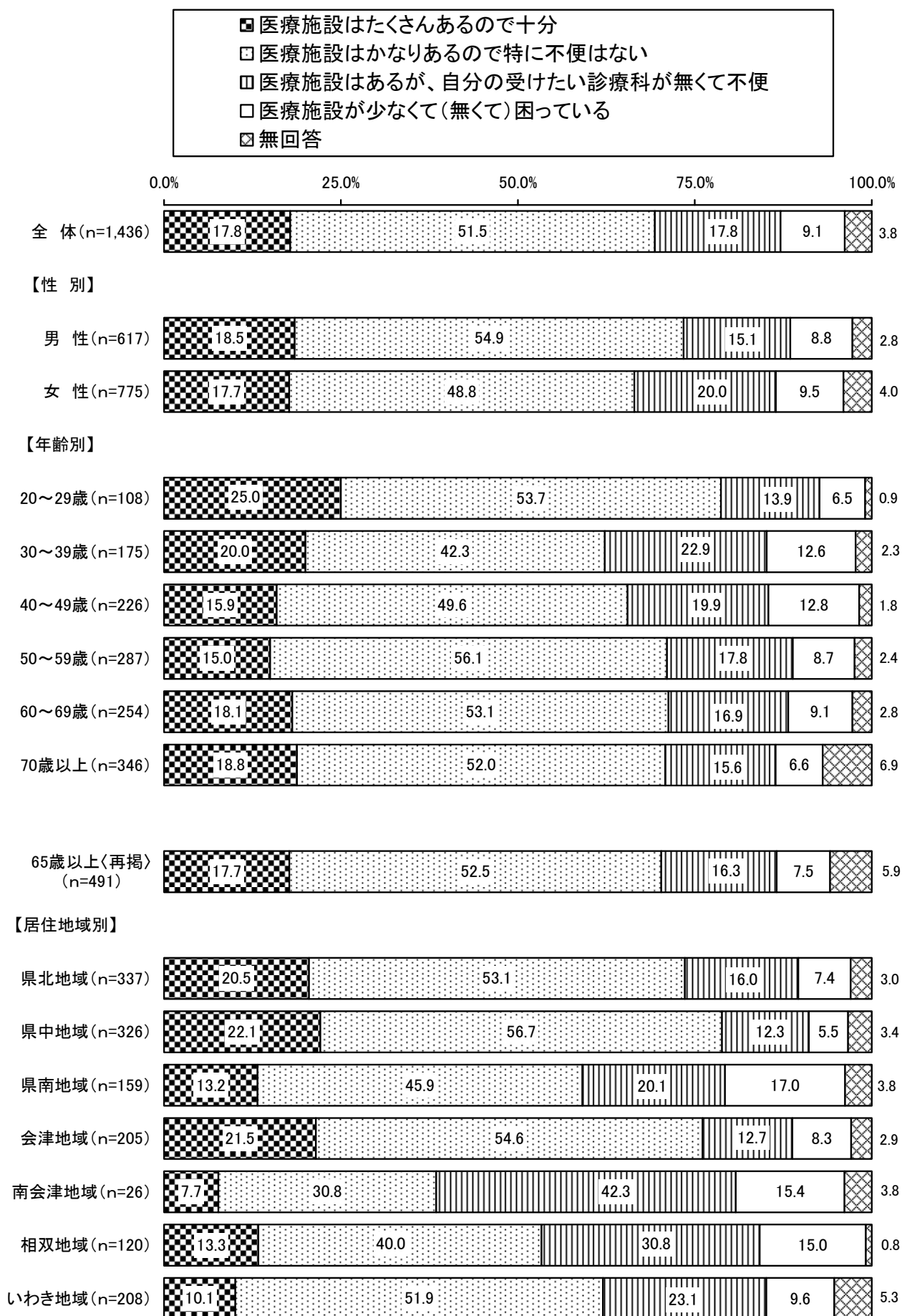
#### 【年齢別】

20代で「医療施設はたくさんあるので十分」（25.0%）の割合が高い。「医療施設はあるが、自分の受けたい診療科が無くて不便」は、30代（22.9%）で高く、30代以上は年齢が上がるほど割合が低下している。

#### 【居住地域別】

「医療施設はたくさんあるので十分」の割合は、相双地域（13.3%）、県南地域（13.2%）、いわき地域（10.1%）、南会津地域（7.7%）で比較的低い。これら4地域では「医療施設はあるが、自分の受けたい診療科が無くて不便」「医療施設が少なくて（無くて）困っている」の割合が高くなっている。

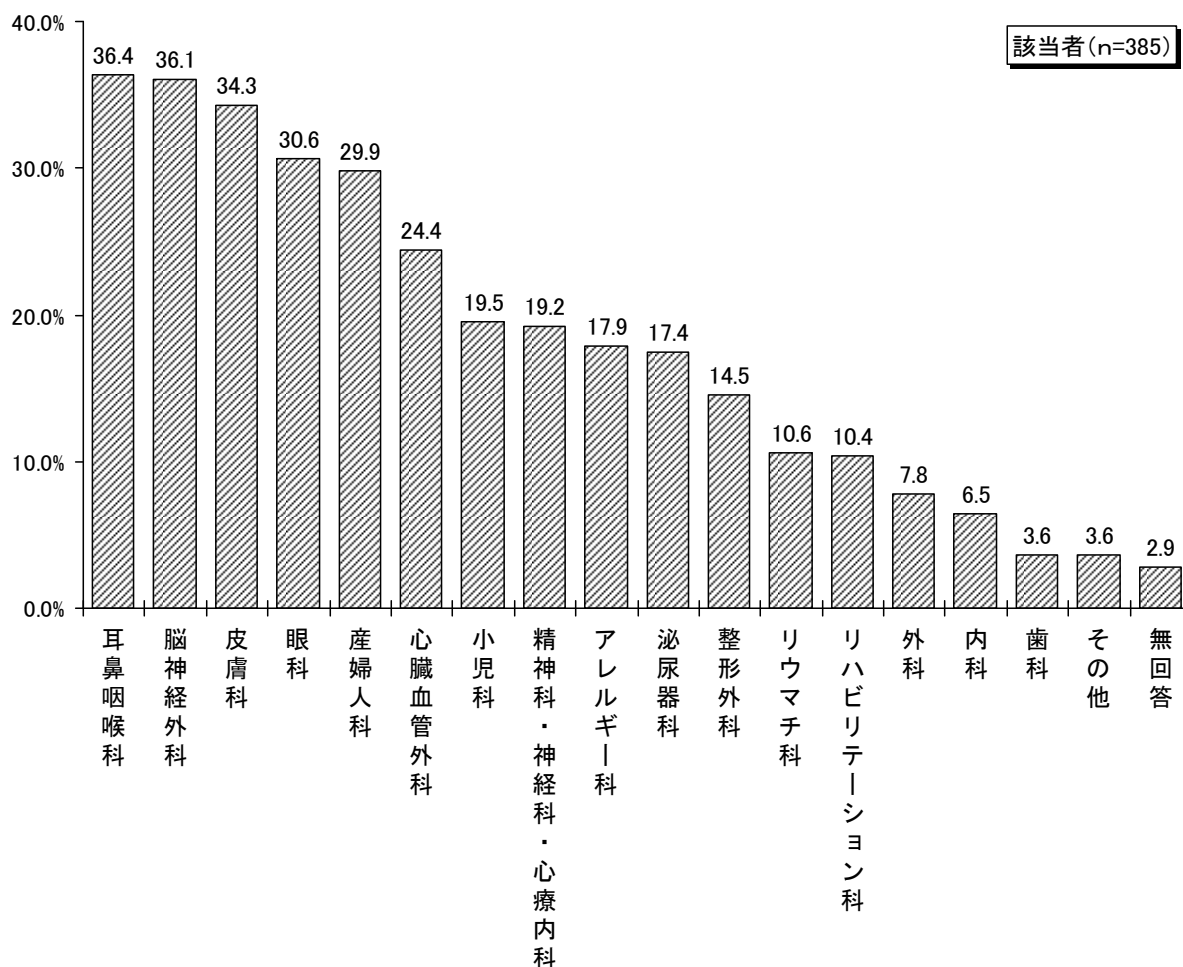
図 10 医療施設の充足感（全体／性別／年齢別／居住地域別）



## ②不足している診療科

(前問で「医療施設はあるが、自分の受たい診療科が無くて不便」または「医療施設が少なくて(無くて)困っている」とお答えの方にお尋ねします。)

問 あなたが住んでいる地域に「無くて困っている診療科」は何ですか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



### 【全体結果】

「耳鼻咽喉科」(36.4%)、「脳神経外科」(36.1%)、「皮膚科」(34.3%)がトップ3を占めた。以下、「眼科」(30.6%)、「産婦人科」(29.9%)が3割、「心臓血管外科」(24.4%)が2割台で続いている。

その他として、「肛門科」「甲状腺科」「呼吸器科」「膠原病科」「脳神経内科」「形成外科」「神経内科」「腎臓(専門科)」「がん(専門科)」「子ども歯科」「東洋治療」などがあげられた。

### 【性別】

「耳鼻咽喉科」(男性29.3%、女性40.6%)、「皮膚科」(男性28.6%、女性38.0%)、「眼科」(男性26.5%、女性32.8%)、「産婦人科」(男性19.0%、女性36.7%)、「精神科・神経科・診療内科」(男性16.3%、女性20.1%)、「アレルギー科」(男性10.9%、女性22.3%)、「リウマチ科」(男性6.8%、女性12.7%)、「リハビリテーション科」(男性6.1%、女性12.7%)は、いずれも女性の方が高い割合となっている。

逆に、「脳神経外科」（男性 38.1%、女性 34.1%）、「内科」（男性 10.2%、女性 3.9%）は、男性の方が高い。

#### 【年齢別】

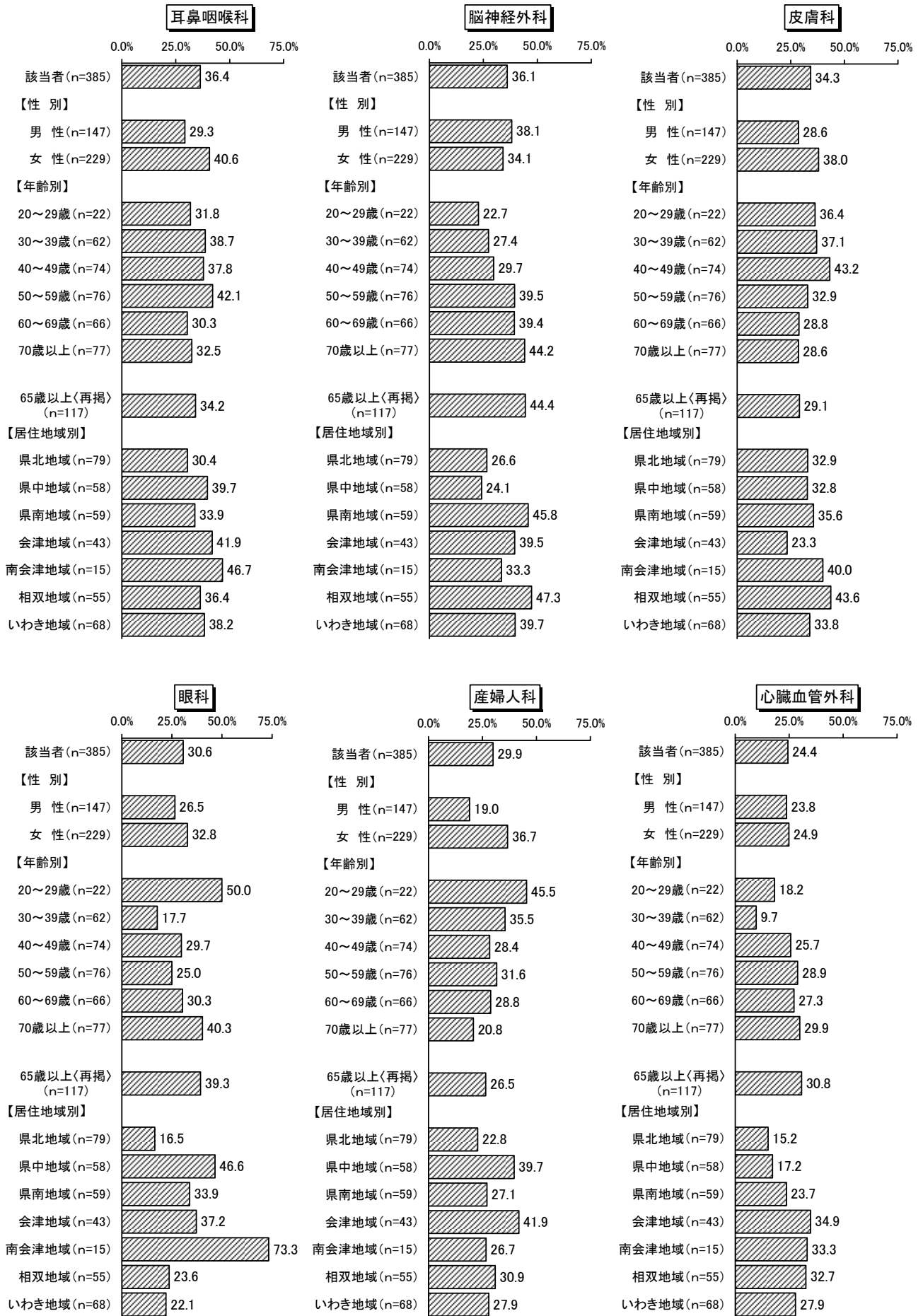
「脳神経外科」と「整形外科」は、年齢が上がるほど割合も上昇する傾向が見られる。「産婦人科」は逆に年齢が上がるほど割合が低下する傾向にある。

「小児科」は 20 代から 30 代で、「眼科」「泌尿器科」は 20 代と 70 歳以上で高い割合となっている。

#### 【居住地域別】

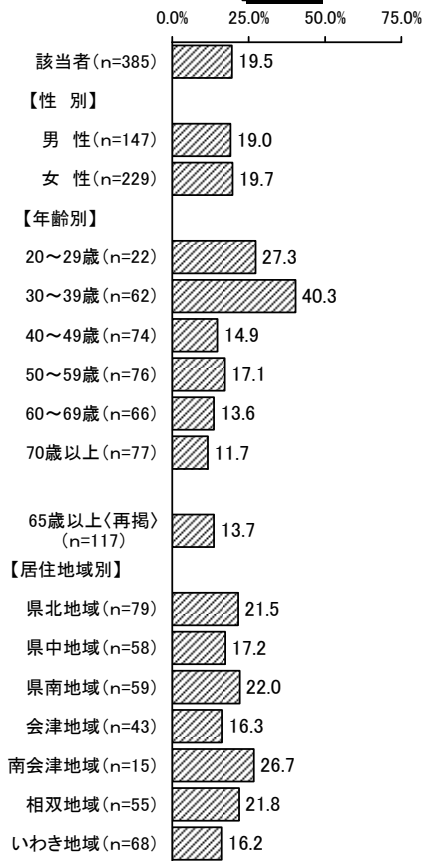
「脳神経外科」は相双地域と県南地域の割合が高く、「皮膚科」は相双地域と南会津地域、「眼科」は県中地域と南会津地域、「産婦人科」は県中地域と会津地域、「心臓血管外科」は会津地域、南会津地域、相双地域、「精神科・神経科・心療内科」は相双地域と南会津地域、「アレルギー科」は県南地域と南会津地域、「内科」は県南地域で、それぞれ高い割合となっている。

図 11 不足している診療科（該当者／性別／年齢別／居住地域別）

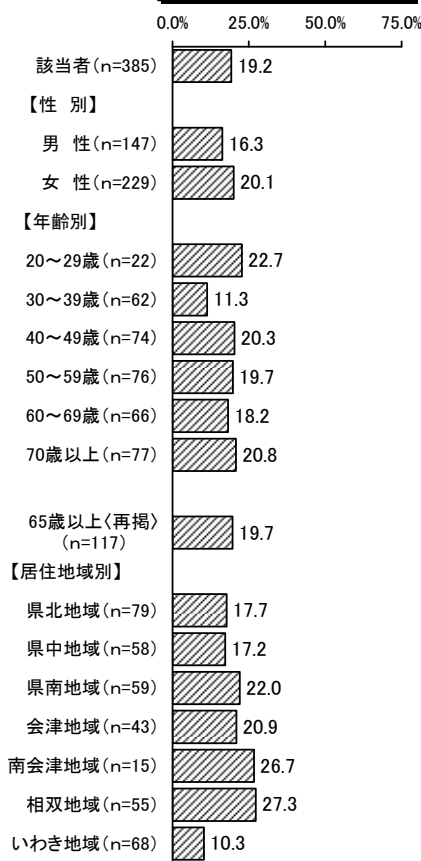




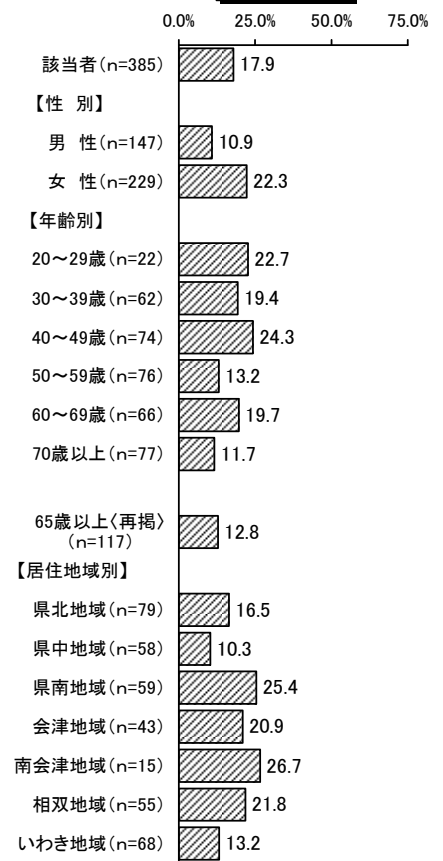
**小児科**



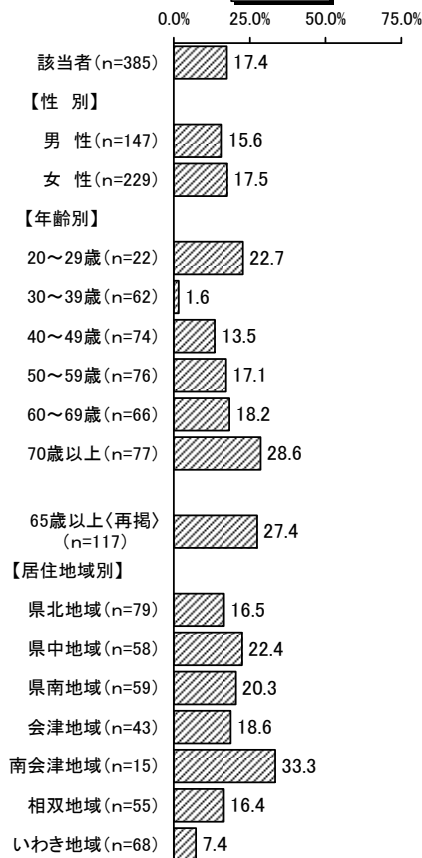
**精神科・神経科・心療内科**



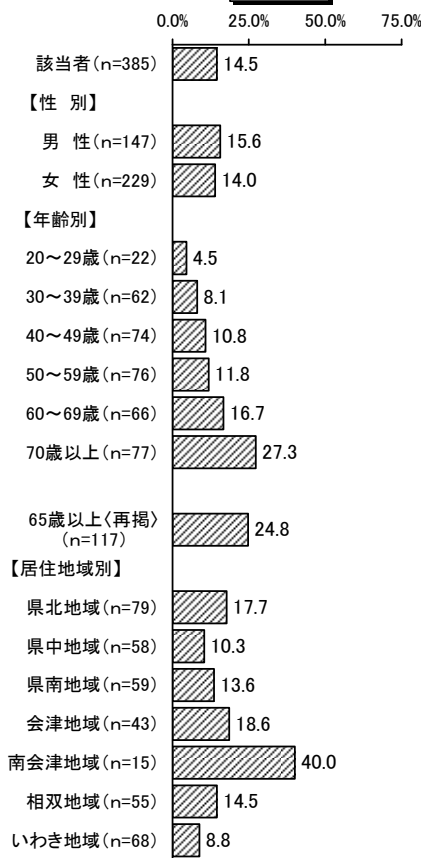
**アレルギー科**



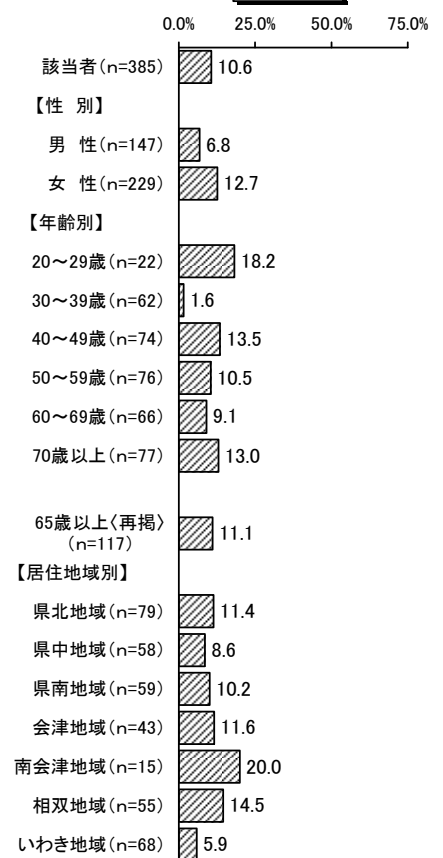
**泌尿器科**

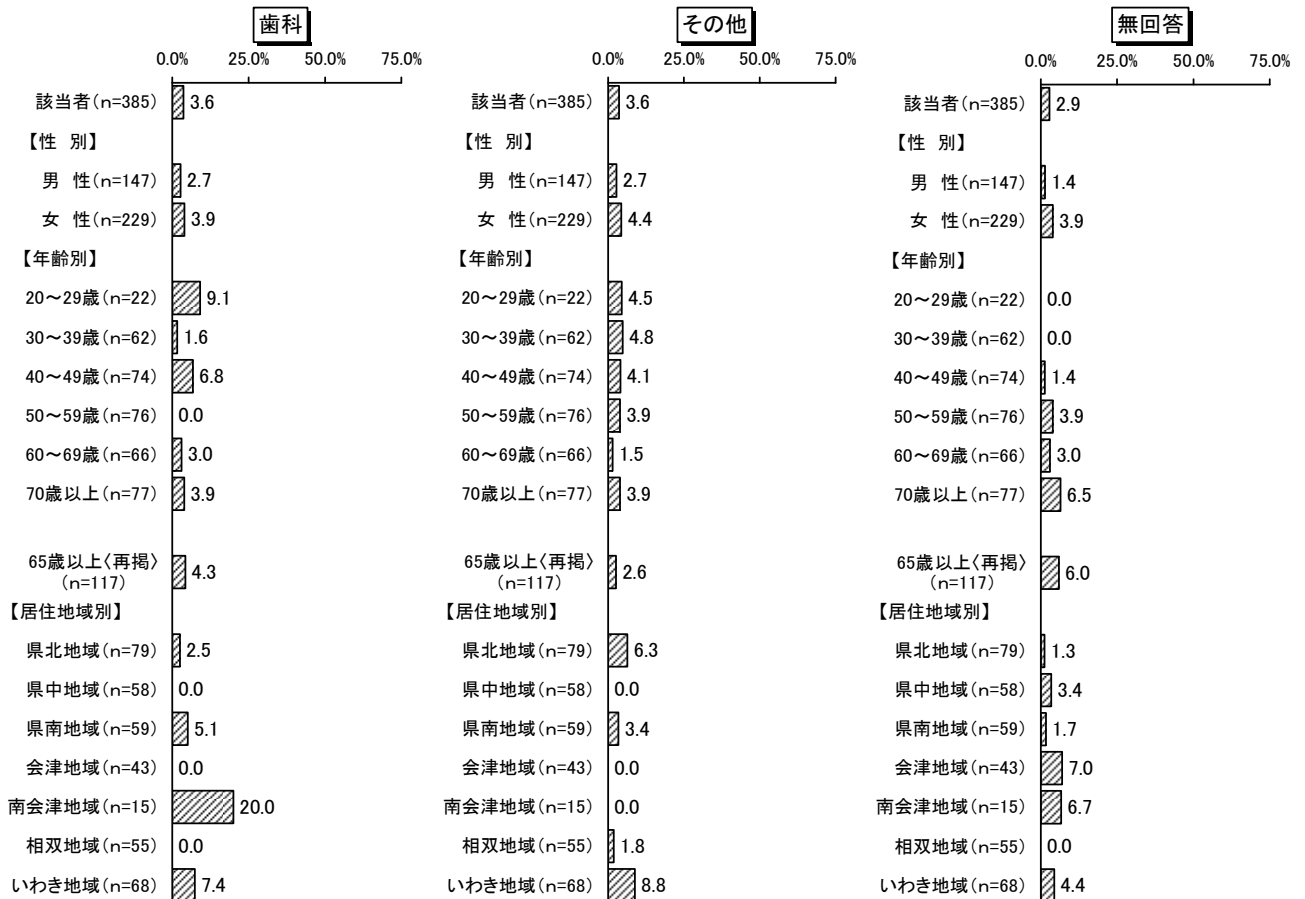
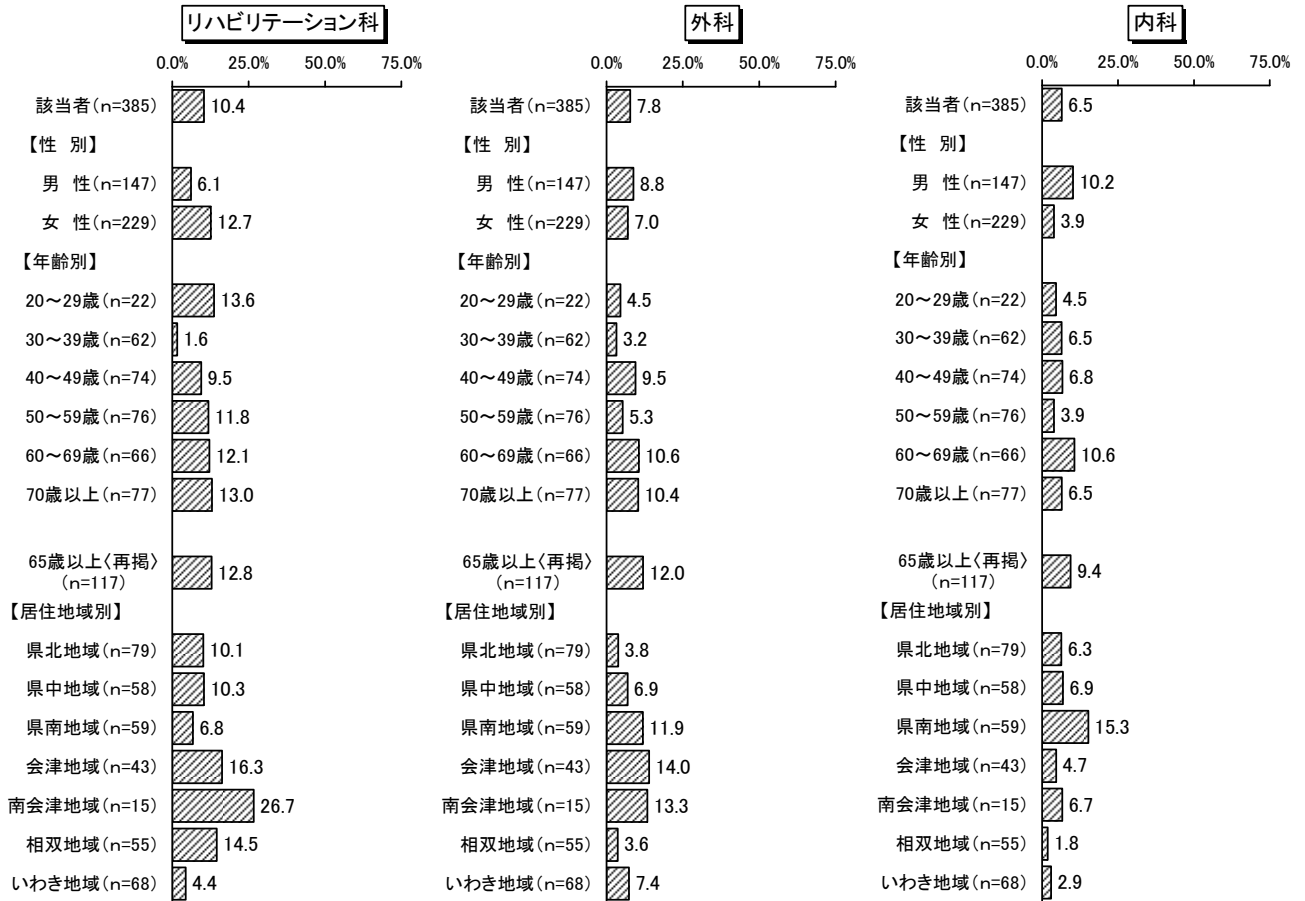


**整形外科**



**リウマチ科**



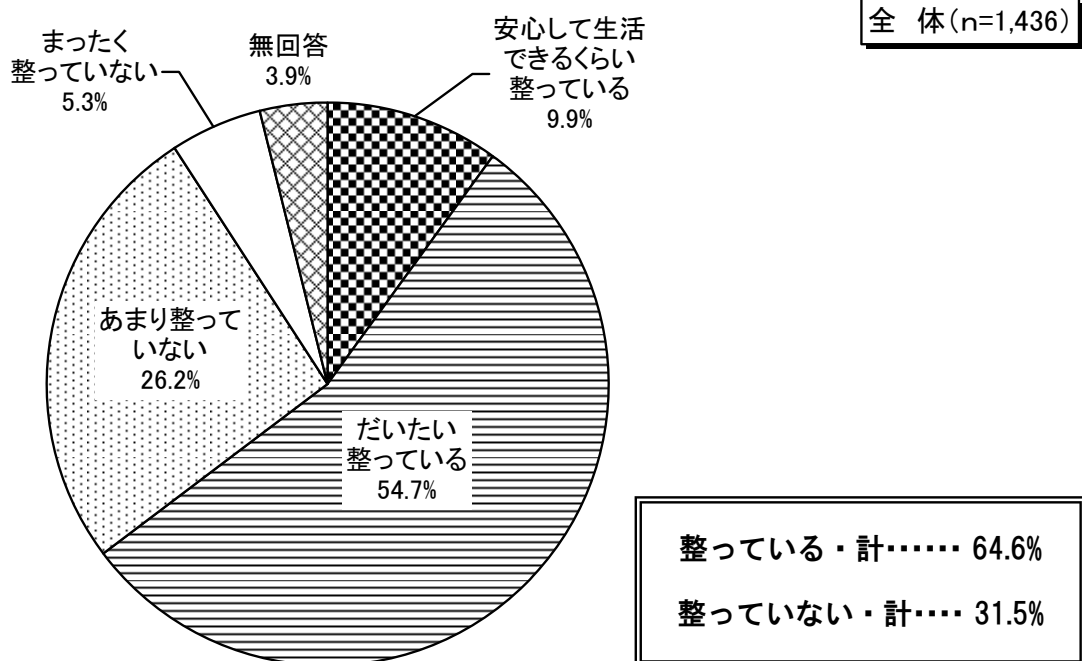


## (4) 休日・夜間における医療体制

### ①休日・夜間における医療体制の整備度合い

問 あなたが住んでいる地域の休日・夜間における医療体制は、どの程度整っていると思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



#### 【全体結果】

「だいたい整っている」(54.7%)が過半数を占めた。「安心して生活できるくらい整っている」(9.9%)が1割で、両者を合計した『整っている・計』(64.6%)は6割強となる。

一方、「まったく整っていない」(5.3%)と「あまり整っていない」(26.2%)を合計した『整っていない・計』(31.5%)は3割強となっている。

#### 【性別】

『整っている・計』(男性 68.6%、女性 62.4%)の割合は男性の方が高く、『整っていない・計』(男性 28.9%、女性 33.4%)は女性の方が高い。

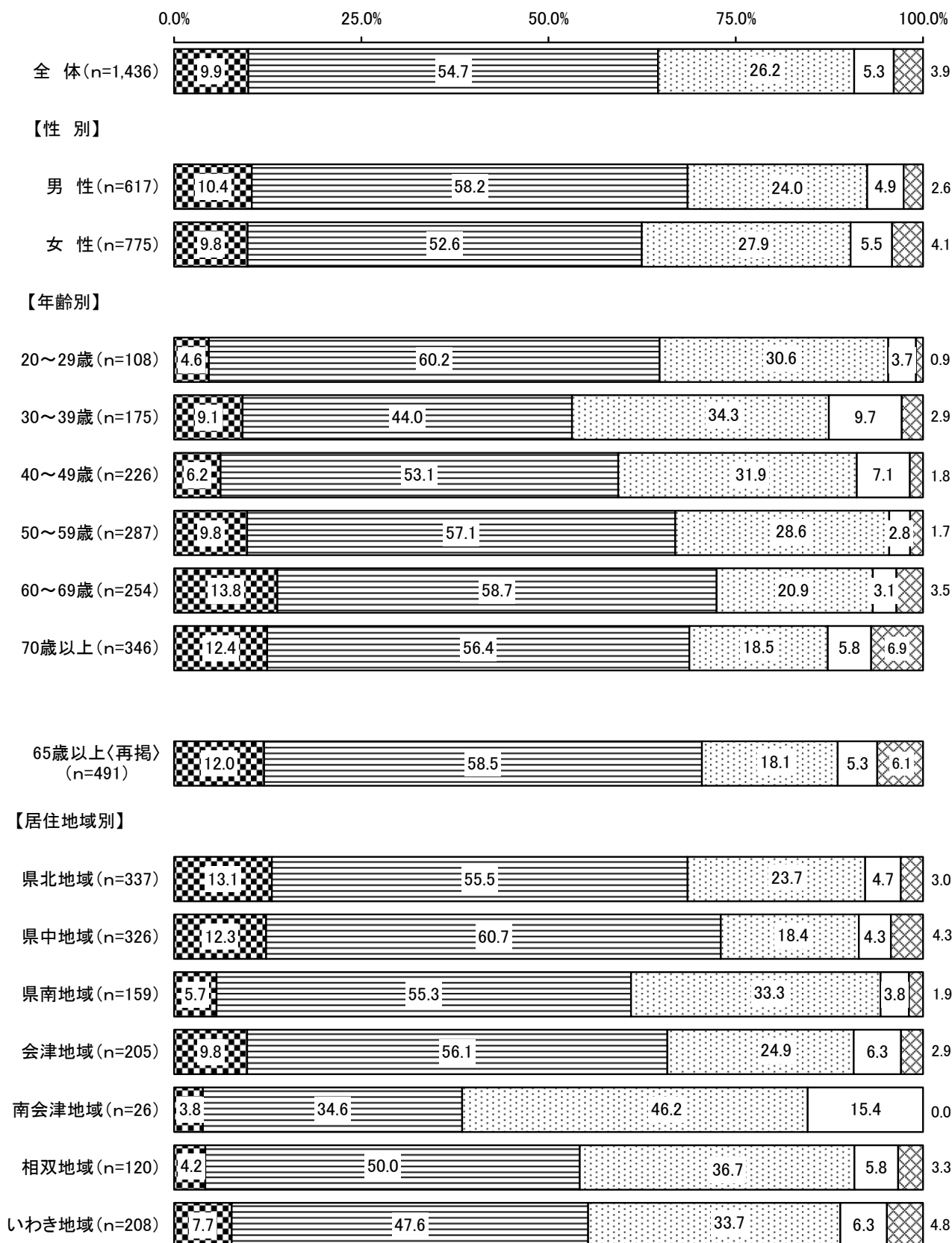
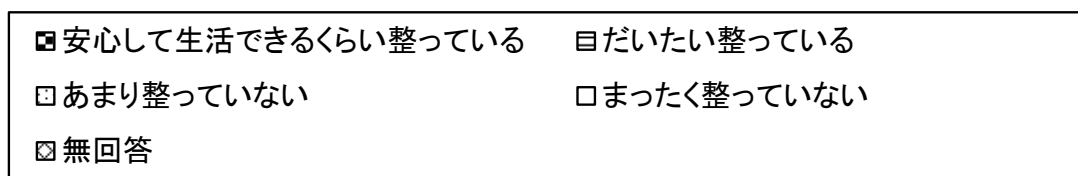
#### 【年齢別】

『整っている・計』の割合は、30代(53.1%)で低く、60代(72.5%)までは年齢が上がるほど上昇している。『整っていない・計』は30代(44.0%)と40代(39.0%)で高い割合となっている。

#### 【居住地域別】

『整っている・計』の割合は、県中地域(73.0%)が最も高く、南会津地域(38.4%)、相双地域(54.2%)、いわき地域(55.3%)で低くなっている。

図 12 休日・夜間における医療体制の整備度合い（全体／性別／年齢別／居住地域別）

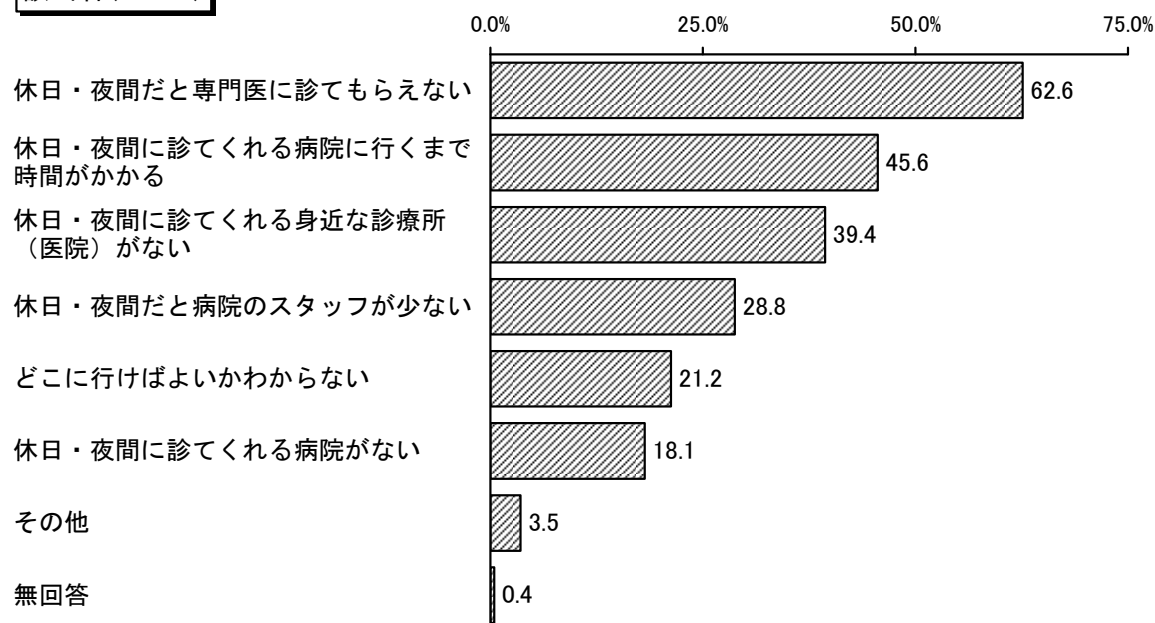


## ②休日・夜間における医療体制で整備不足な点

(前問で「あまり整っていない」または「まったく整っていない」とお答えの方にお尋ねします。)

問 どのような点が整っていないと思いますか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

該当者(n=452)



### 【全体結果】

「休日・夜間だと専門医に診てもらえない」(62.6%)が最も多く、次いで「休日・夜間に診てくれる病院に行くまで時間がかかる」(45.6%)が多かった。

以下、「休日・夜間に診てくれる身近な診療所(医院)がない」(39.4%)、「休日・夜間だと病院のスタッフが少ない」(28.8%)、「どこに行けばよいかわからない」(21.2%)、「休日・夜間に診てくれる病院がない」(18.1%)となっている。

### 【性別】

「専門医に診てもらえない」(男性53.9%、女性69.1%)、「病院に行くまでに時間がかかる」(男性41.0%、女性49.8%)は、女性の方が高い割合となっている。

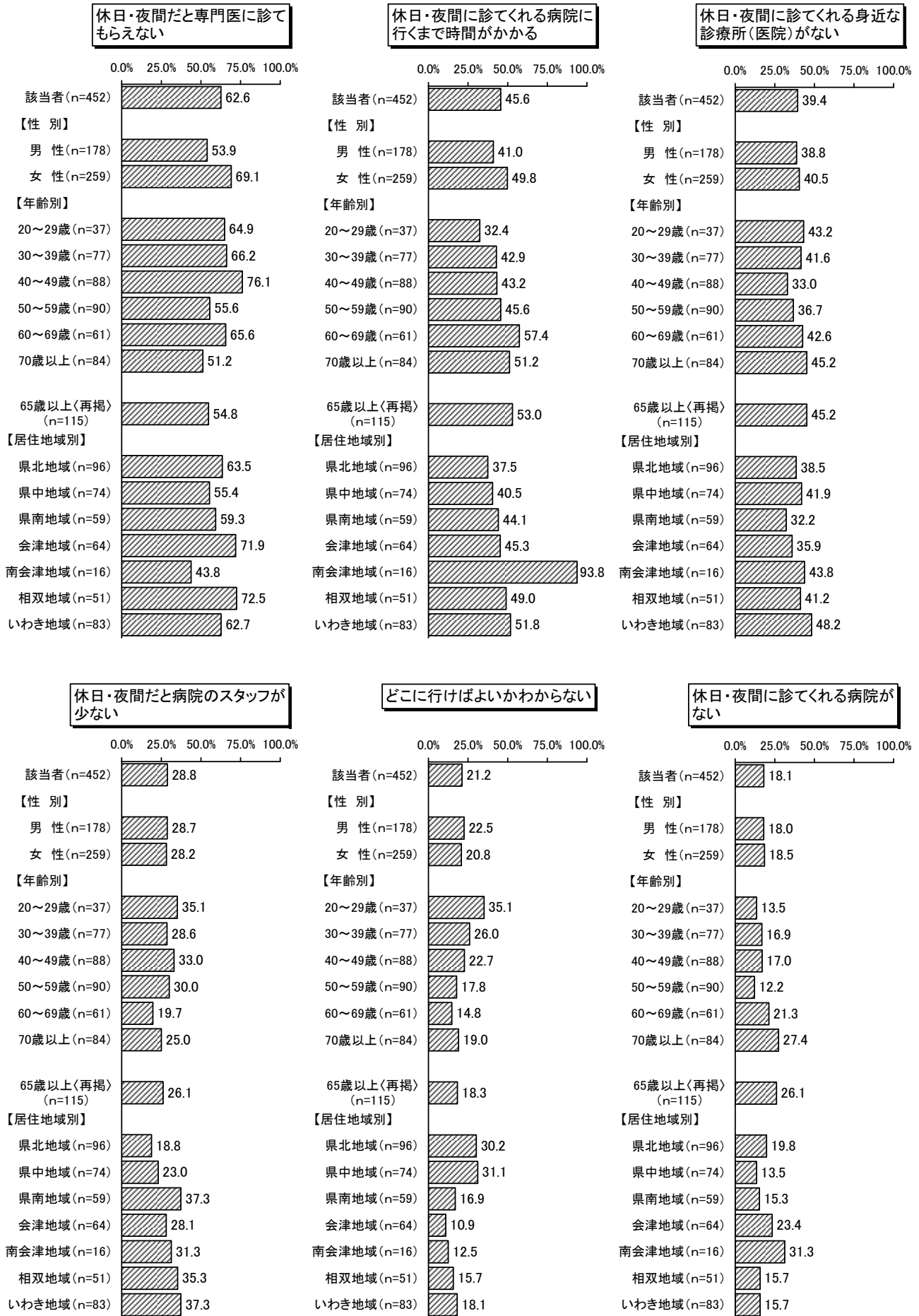
### 【年齢別】

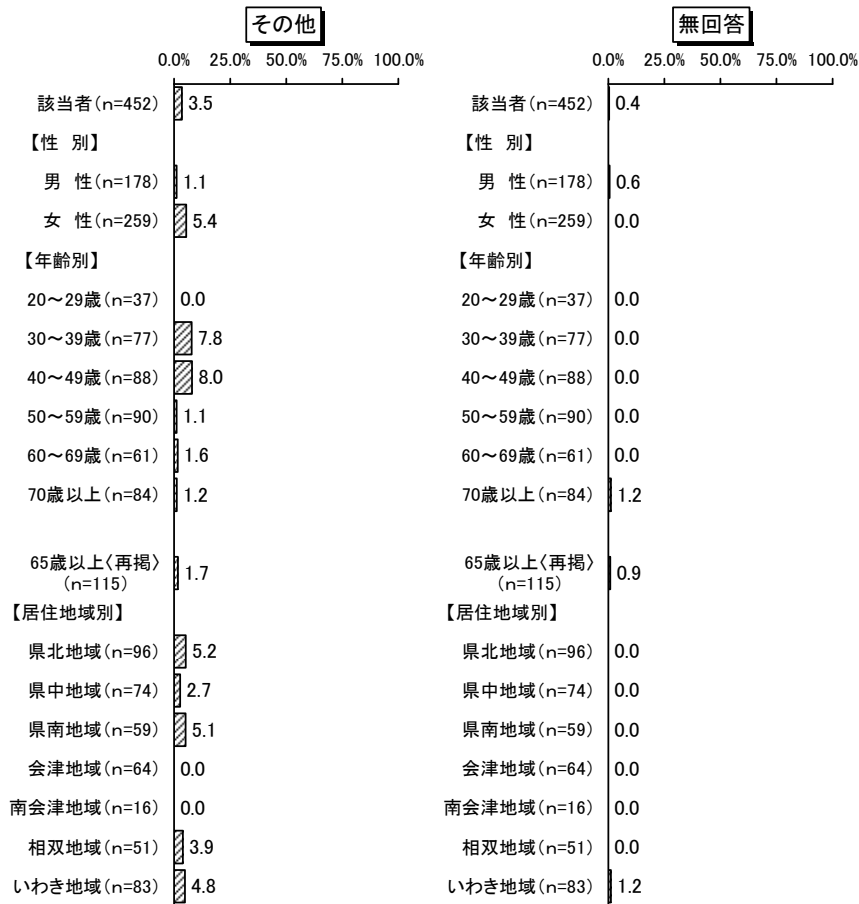
「専門医に診てもらえない」の割合は40代(76.1%)が最も高く、「病院に行くまでに時間がかかる」は60代(57.4%)、「どこに行けばよいかわからない」は20代(35.1%)で高い割合となっている。

### 【居住地域別】

「専門医に診てもらえない」の割合は相双地域(72.5%)と会津地域(71.9%)が比較的高い。「病院に行くまでに時間がかかる」は南会津地域(93.8%)、「どこに行けばよいかわからない」は県北地域(30.2%)と県中地域(31.1%)が比較的高い割合となっている。

図 13 休日・夜間における医療体制で整備不足な点（該当者／性別／年齢別／居住地域別）

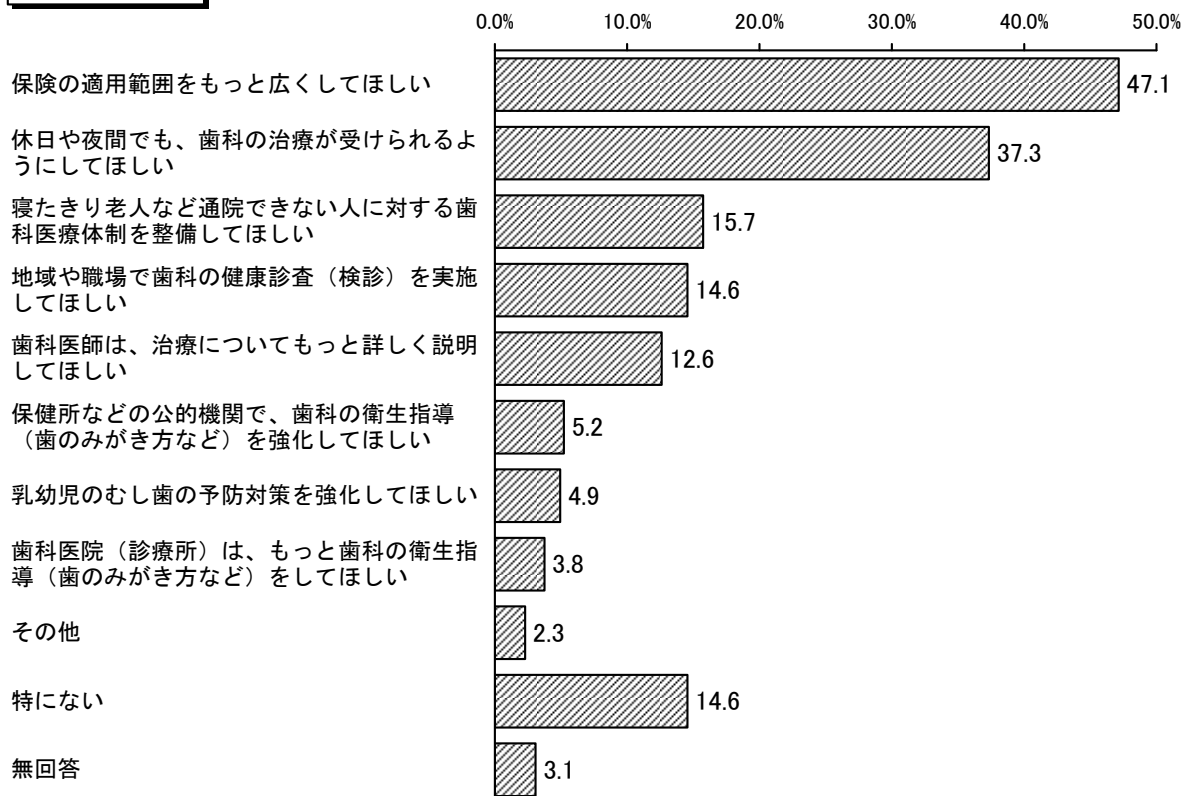




## (5) 歯科の保健・医療に関する要望

問 あなたは、「歯科」の保健・医療についてどのようなことを望みますか。  
あてはまるものに2つまで○をつけてください。

全 体 (n=1,436)



### 【全体結果】

「保険の適用範囲をもっと広げてほしい」（47.1%）を望む人が多い。次いで多かったのは「休日や夜間でも、歯科の治療が受けられるようにしてほしい」（37.3%）である。

以下、「寝たきり老人など通院できない人に対する歯科医療体制を整備してほしい」（15.7%）、「地域や職場で歯科の健康診査（健診）を実施してほしい」（14.6%）、「歯科医師は、治療についてもっと詳しく説明してほしい」（12.6%）が各1割台となっている。

また「特にない」（14.6%）が1割強を占めている。

### 【性別】

「保険の適用範囲をもっと広げてほしい」（男性 50.1%、女性 45.4%）と「休日や夜間でも、歯科の治療が受けられるようにしてほしい」（男性 39.7%、女性 35.5%）は、どちらも男性の方が高い割合となっている。

逆に「寝たきり老人など通院できない人に対する歯科医療体制を整備してほしい」（男性 12.3%、女性 17.8%）は女性の方が高い。

### 【年齢別】

「保険の適用範囲をもっと広げてほしい」の割合は40代（65.0%）が最も高く、40代をピークに年齢が上がるほど低下している。

「休日や夜間でも、歯科の治療が受けられるようにしてほしい」は20代から50代の幅広



い年齢層で4割以上となっており、60代（32.7%）、70代（25.4%）に比べ高い。

「地域や職場で歯科の健康診査（健診）を実施してほしい」は20代（26.9%）が最も高く、年齢が上がるほど割合が低下している

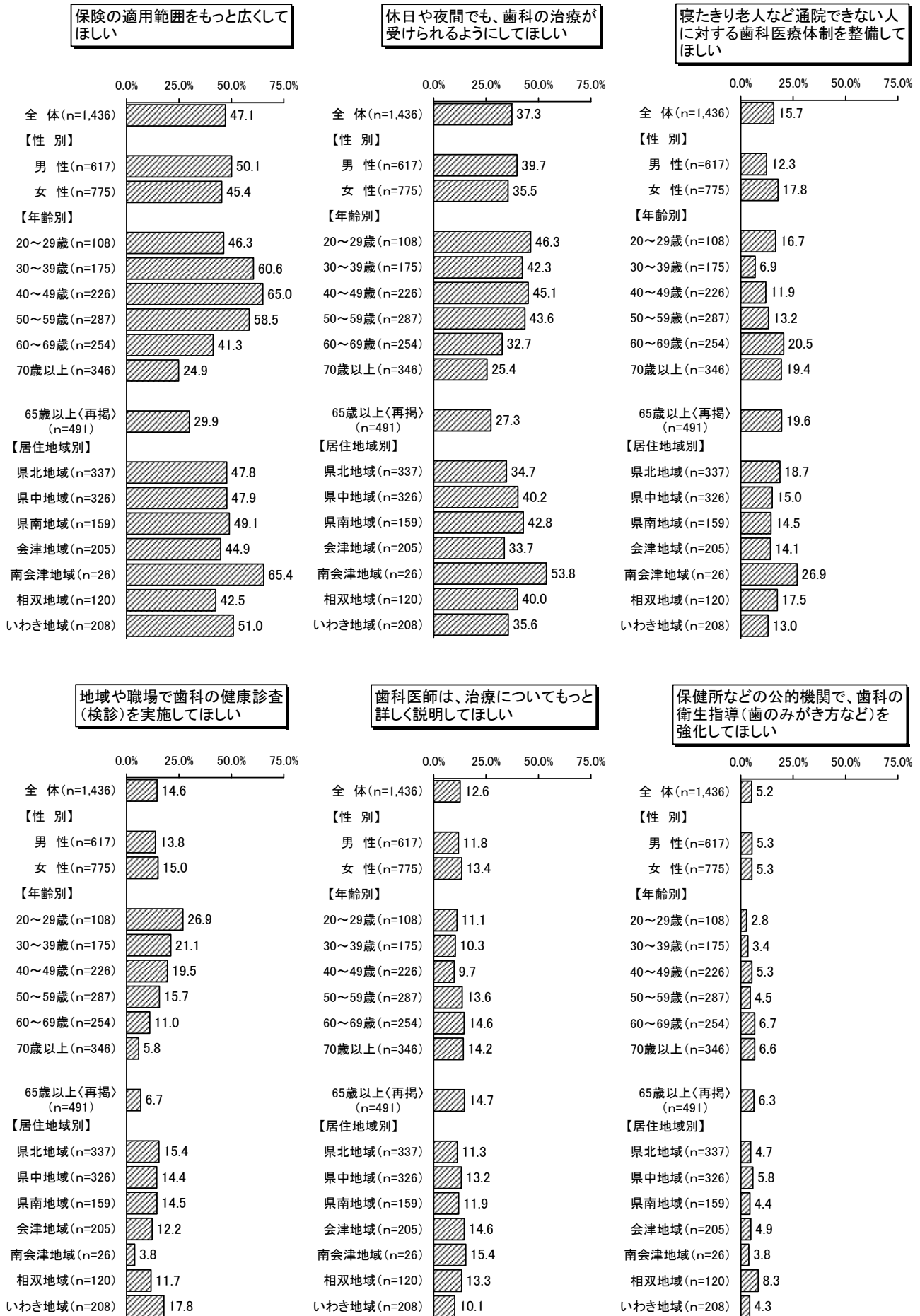
上記以外では30代で「乳幼児のむし歯の予防対策を強化してほしい」（12.0%）の割合が高いのが目立つ。

#### 【居住地域別】

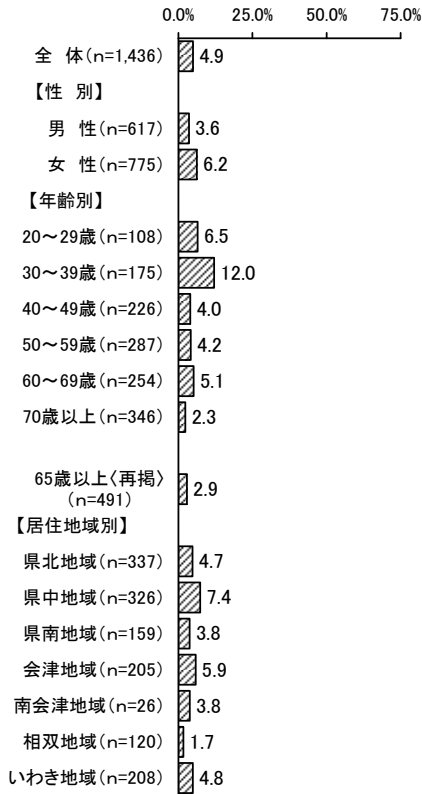
「保険の適用範囲をもっと広げてほしい」の割合は、会津地域（44.9%）と相双地域（42.5%）がやや低い割合となっている。

「休日や夜間でも、歯科の治療が受けられるようにしてほしい」は、県中地域（40.2%）、県南地域（42.8%）、南会津地域（53.8%）、相双地域（40.0%）の4地域は4割以上であるが、県北地域（34.7%）、会津地域（33.7%）、いわき地域（35.6%）の3地域はやや低く3割台となっている。

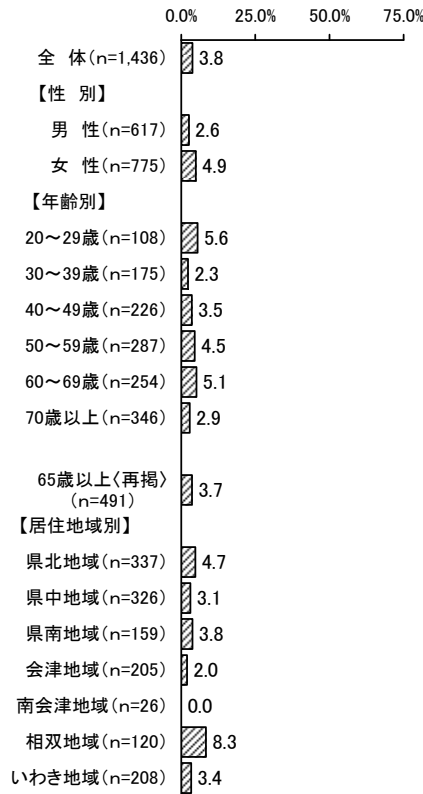
図 14 歯科の保健・医療に関する要望（全体／性別／年齢別／居住地域別）



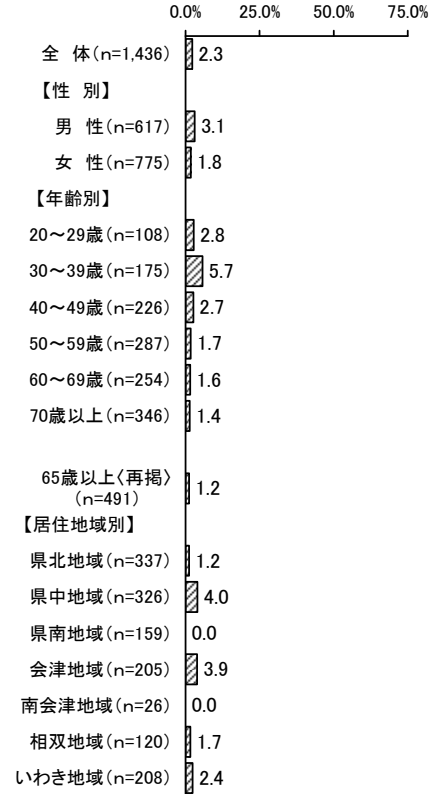
乳幼児のむし歯の予防対策を強化してほしい



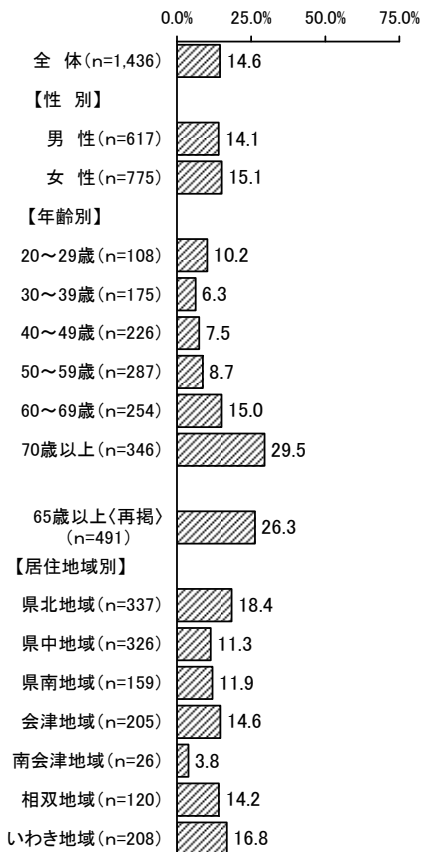
歯科医院(診療所)は、もっと歯科の衛生指導(歯のみがき方など)をしてほしい



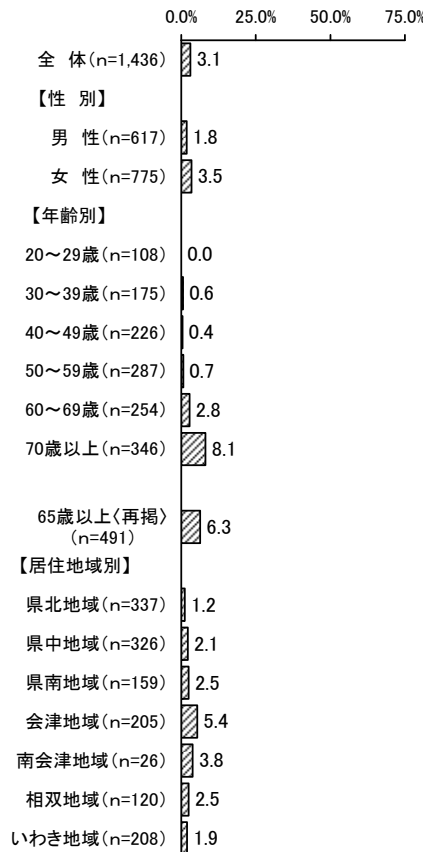
その他



特にない



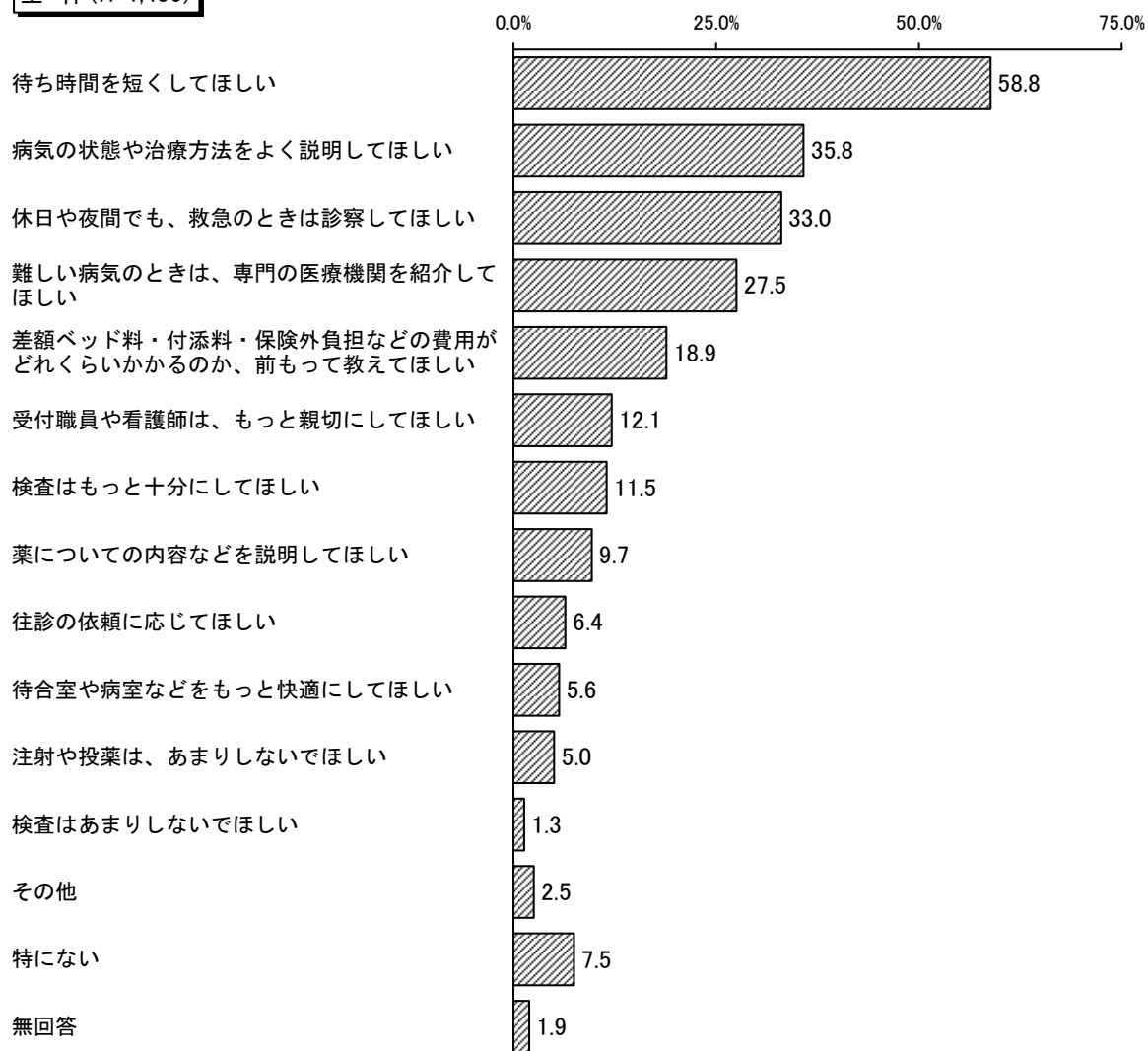
無回答



## (6) 医療機関への要望

問 あなたが住んでいる地域の医療機関に対してどのようなことを望みますか。  
あてはまるものに3つまで○をつけてください。

全体(n=1,436)



### 【全体結果】

「待ち時間を短くしてほしい」(58.8%)が最も望まれており、6割弱がこれをあげている。かなり割合は低下するが「病気の状態や治療方法をよく説明してほしい」(35.8%)、「休日や夜間でも、救急のときは診察してほしい」(33.0%)が3割台で続いている。

以下、「難しい病気の場合は、専門の医療機関を紹介してほしい」(27.5%)、「差額ベッド料・付添料・保険外負担などの費用がどれくらいかかるのか、前もって教えてほしい」(18.9%)などとなっている。

### 【性別】

「待ち時間を短くしてほしい」(男性62.4%、女性56.3%)の割合は、男性の方が高い。逆に「難しい病気の場合は、専門の医療機関を紹介してほしい」(男性25.3%、女性28.8%)と「受付職員や看護師は、もっと親切にしてほしい」(男性10.4%、女性13.5%)は、女性の方がやや高い割合となっている。

### 【年齢別】

「待ち時間を短くしてほしい」の割合は、年齢が上がると徐々に低下する傾向が見られ、20代（67.6%）が最も高く、70歳以上（48.0%）は5割弱となっている。

また「休日や夜間でも、救急のときは診察してほしい」「待合室や病室などをもっと快適にしてほしい」も年齢が上がるほど割合が低下する傾向が見られる。

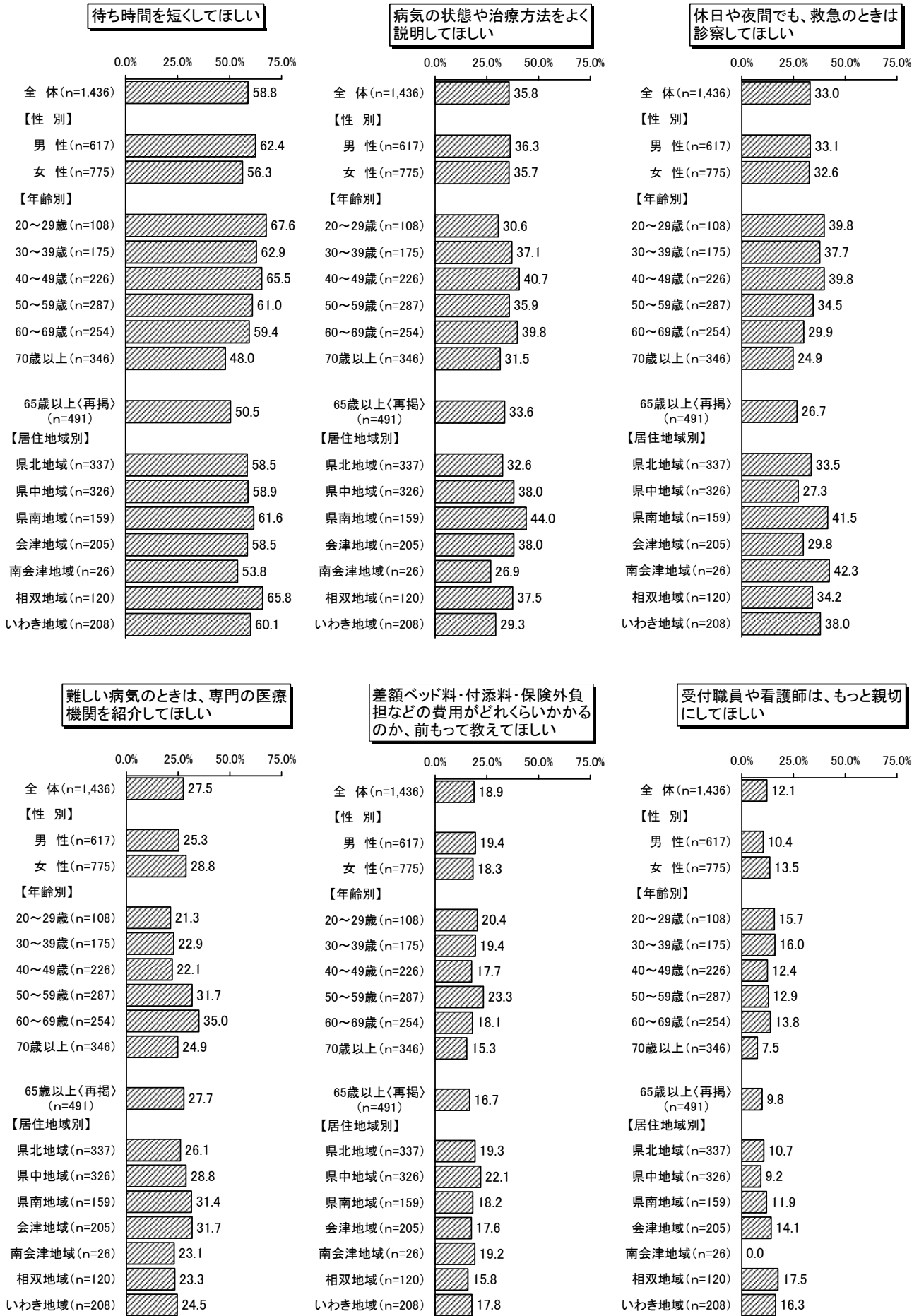
「病気の状態や治療方法をよく説明してほしい」は40代（40.7%）、60代（39.8%）で比較的高く、「難しい病気の場合は、専門の医療機関を紹介してほしい」の割合は50代（31.7%）、60代（35.0%）で、「検査はもっと十分にしてほしい」は20代（21.3%）が高い。

### 【居住地域別】

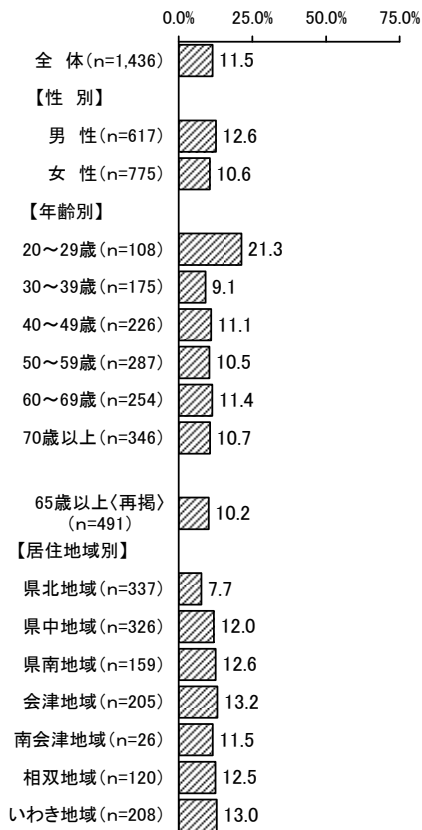
「待ち時間を短くしてほしい」の割合は、相双地域（65.8%）で高い。「病気の状態や治療方法をよく説明してほしい」は県南地域（44.0%）、「休日や夜間でも、救急のときは診察してほしい」も県南地域（41.5%）と南会津地域（42.3%）で高い。

また、「難しい病気の場合は、専門の医療機関を紹介してほしい」は、会津地域（31.7%）と県南地域（31.4%）で比較的高く3割を超えた。

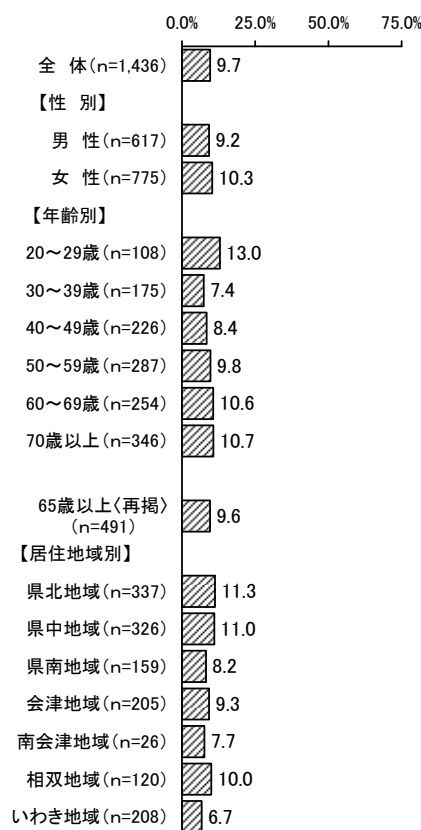
図 15 医療機関への要望（全体／性別／年齢別／居住地域別）



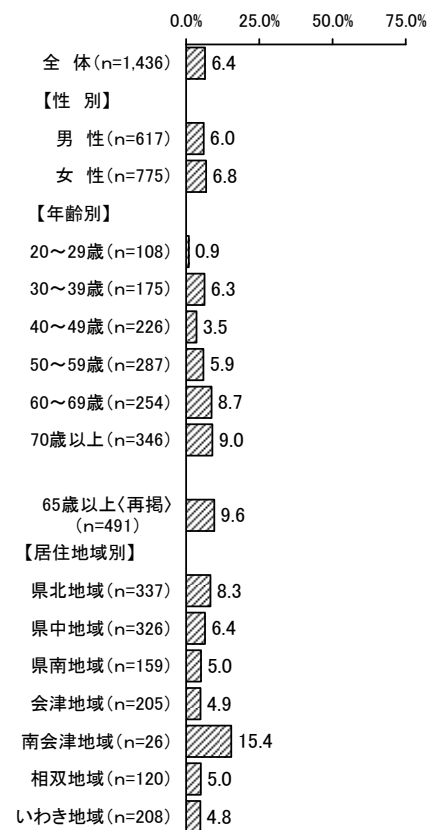
検査はもっと十分にしてほしい



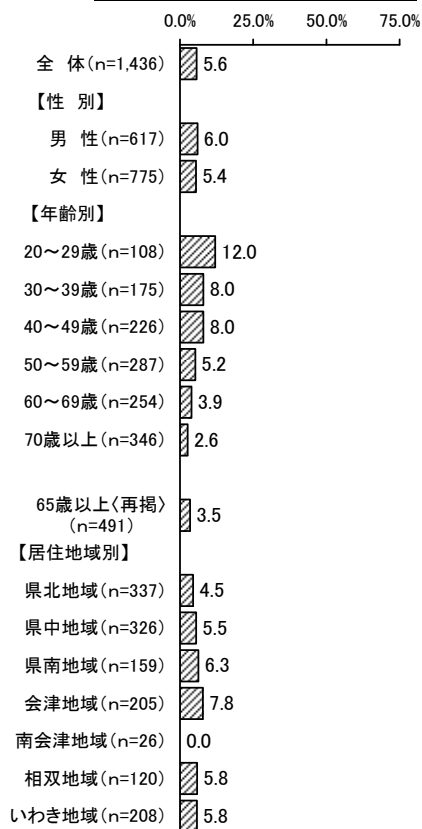
薬についての内容などを説明してほしい



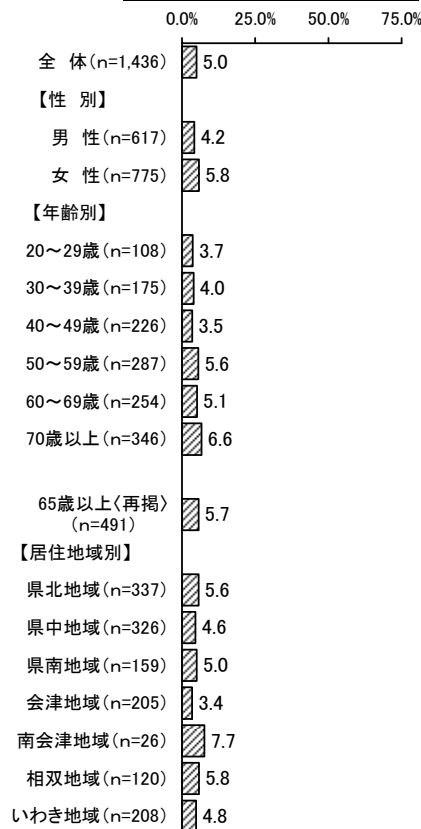
往診の依頼に応じてほしい



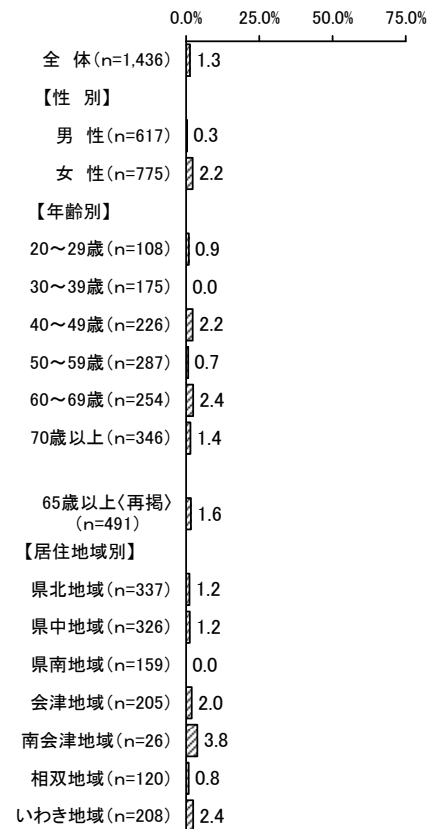
待合室や病室などをもっと快適にほしい

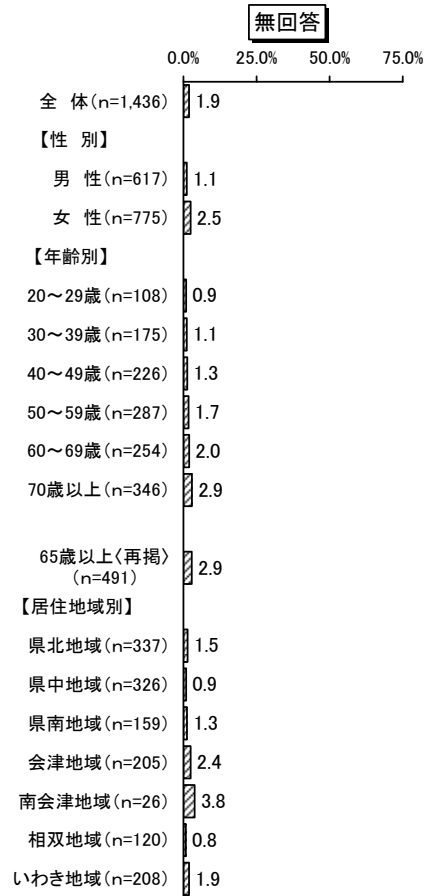
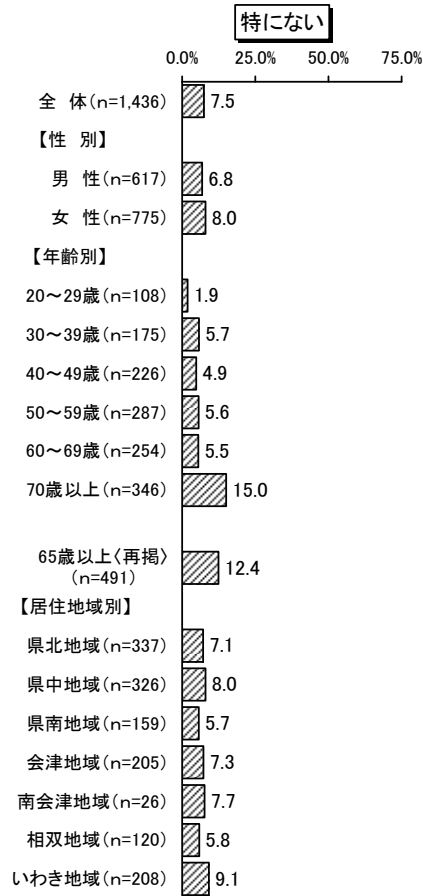
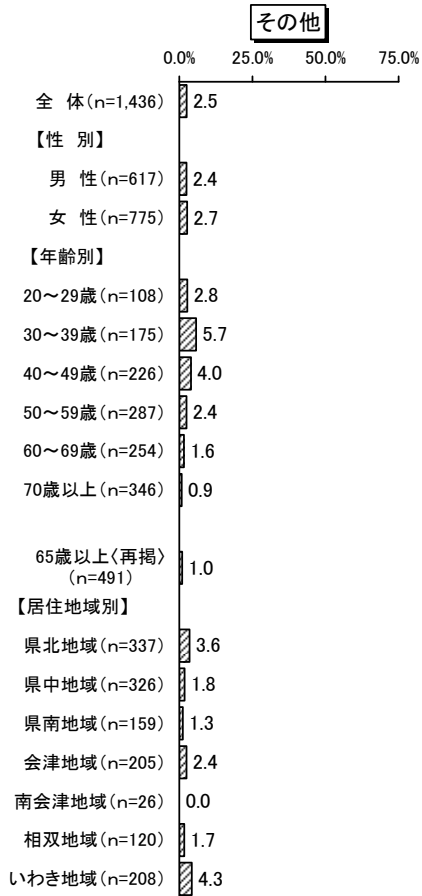


注射や投薬は、あまりしないでほしい



検査はあまりしないでほしい





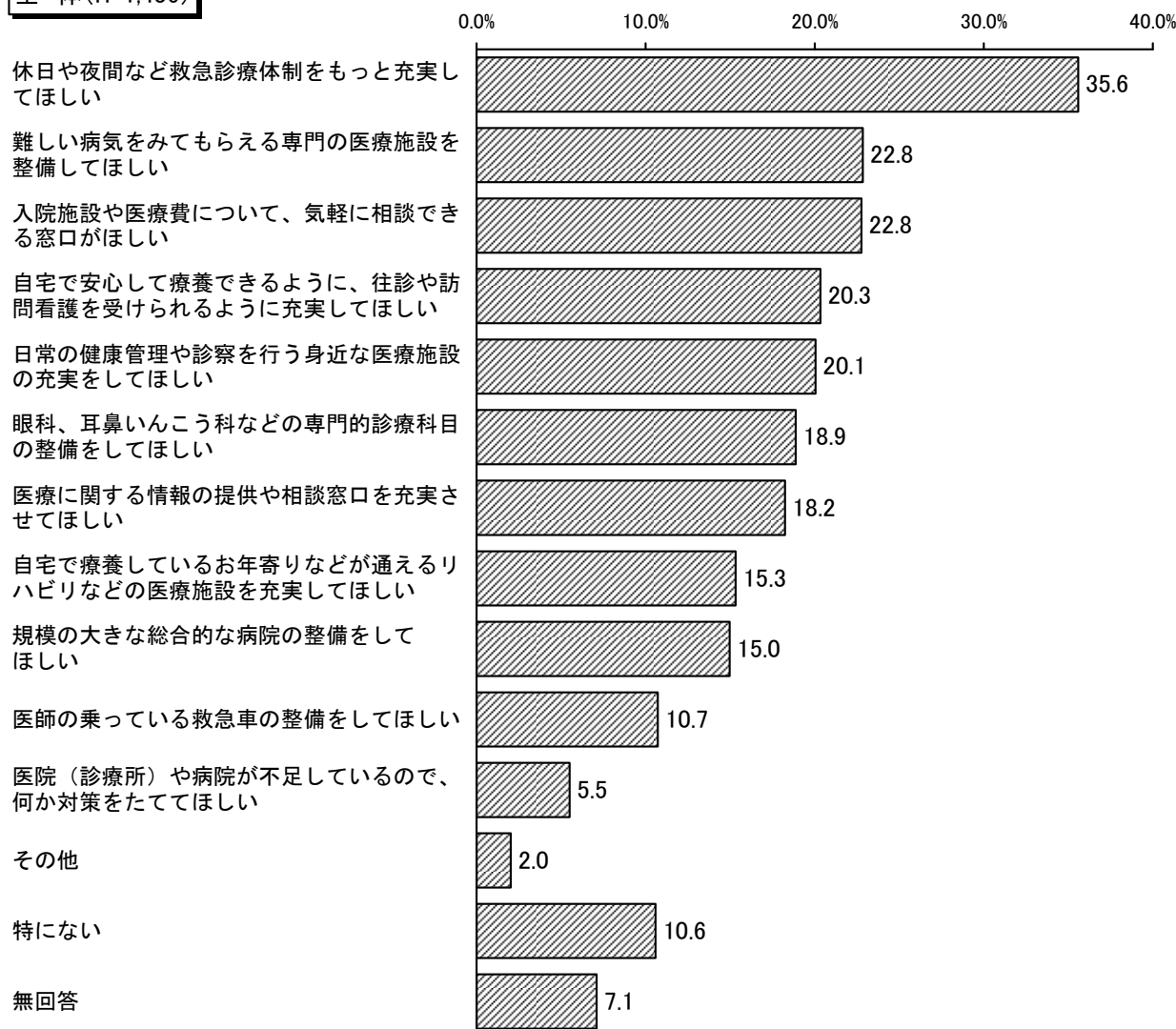


## (7) 地域医療について今後充実を望むこと

問 あなたが住んでいる地域の医療について、これから充実してほしいと思うことは何ですか。

あてはまるものに3つまで○をつけてください。

全体(n=1,436)



### 【全体結果】

「休日や夜間など救急診療体制をもっと充実してほしい」（35.6%）が最も望まれている。以下、「難しい病気をみてもらえる専門の医療施設を整備してほしい」「入院施設や医療費について、気軽に相談できる窓口がほしい」（各 22.8%）、「自宅で安心して療養できるように、往診や訪問看護を受けられるように充実してほしい」（20.3%）、「日常の健康管理や診察を行う身近な医療施設の充実をしてほしい」（20.1%）、「眼科、耳鼻咽喉科などの専門的診療科目の整備をしてほしい」（18.9%）、「医療に関する情報の提供や相談窓口を充実してほしい」（18.2%）が2割前後となっている。

また、「特にない」（10.6%）が1割を占めている。

### 【性別】

「休日や夜間など救急診療体制をもっと充実してほしい」（男性 39.4%、女性 33.3%）と

「難しい病気をみてもらえる専門の医療施設を整備してほしい」（男性 24.8%、女性 21.5%）は男性の方がやや高い割合となっている。

逆に「眼科、耳鼻咽喉科などの専門的診療科目の整備をしてほしい」（男性 16.9%、女性 20.4%）と「自宅で療養しているお年寄りなどが通えるリハビリなどの医療施設を充実してほしい」（男性 13.6%、女性 16.9%）は、女性の方が高い。

#### 【年齢別】

「休日や夜間など救急診療体制をもっと充実してほしい」と「医療に関する情報の提供や相談窓口を充実してほしい」の割合は、30代、40代で高く、50代以上になると低下する傾向が見られる。

また、「自宅で安心して療養できるように、往診や訪問看護を受けられるように充実してほしい」は、年齢が上がるほど割合が上昇している。

「入院施設や医療費について、気軽に相談できる窓口がほしい」の割合が20代（31.5%）で高く、「自宅で療養しているお年寄りなどが通えるリハビリなどの医療施設を充実してほしい」が30代（5.7%）で低いのが目立つ。

#### 【居住地域別】

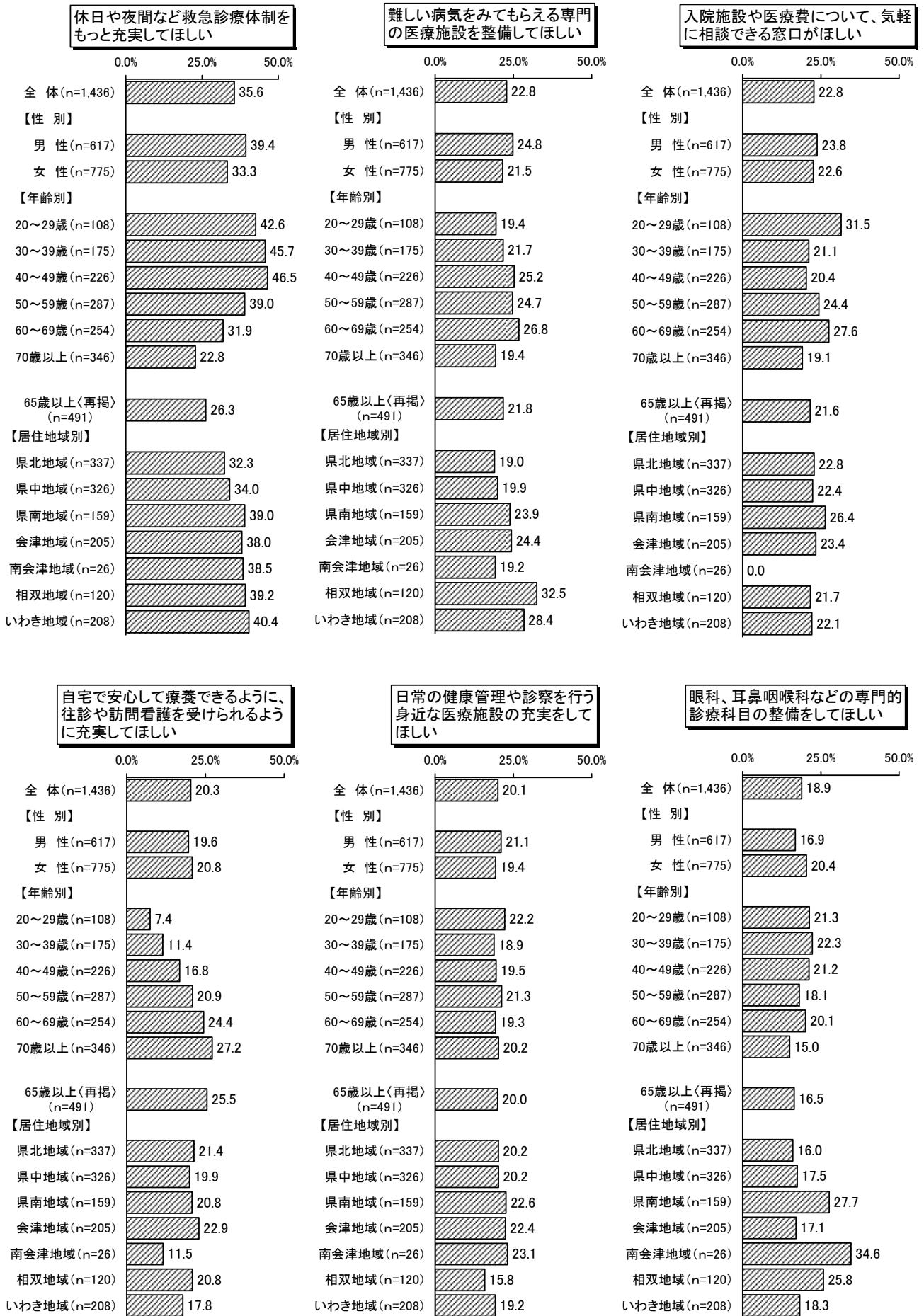
「休日や夜間など救急診療体制をもっと充実してほしい」の割合は、県北地域（32.3%）と県中地域（34.0%）で低く3割強、他の5地区は4割程度となっている。

「難しい病気をみてもらえる専門の医療施設を整備してほしい」は、相双地域（32.5%）といわき地域（28.4%）で比較的高い。

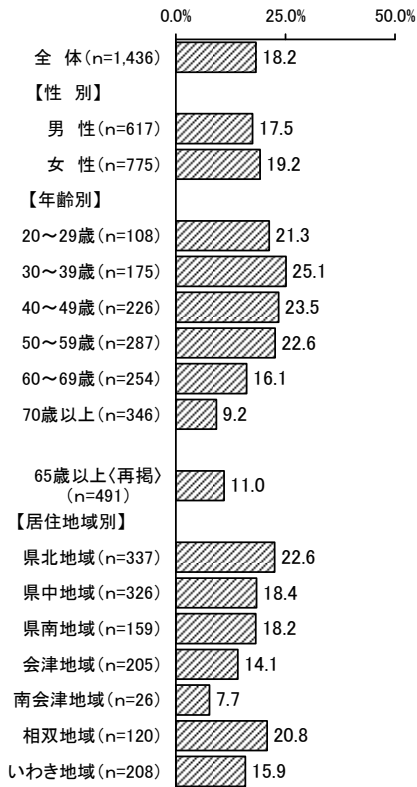
「眼科、耳鼻咽喉科などの専門的診療科目の整備をしてほしい」は、県南地域（27.7%）、相双地域（25.8%）、南会津地域（34.6%）で比較的高い。

「自宅で療養しているお年寄りなどが通えるリハビリなどの医療施設を充実してほしい」は県北地域（20.5%）と南会津地域（26.9%）で、「規模の大きな総合的な病院の整備をしてほしい」はいわき地域（24.0%）で、それぞれ高い割合となっている。

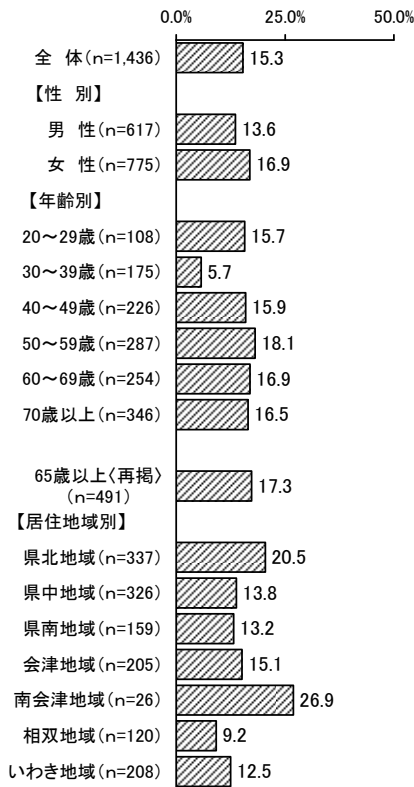
図 16 地域医療について今後充実を望むこと（全体／性別／年齢別／居住地域別）



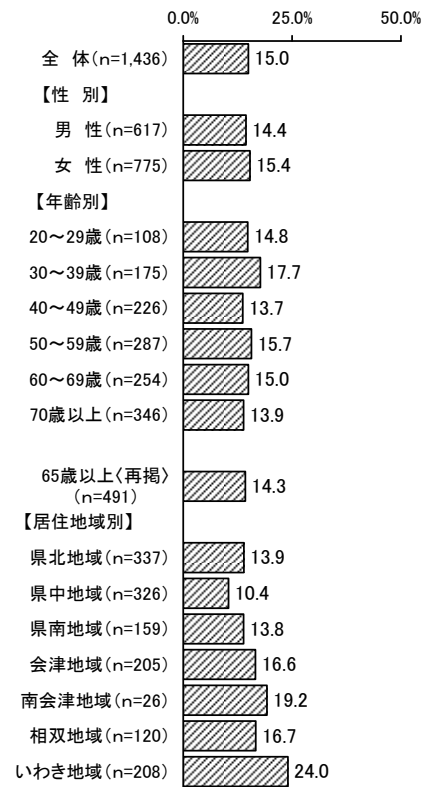
医療に関する情報の提供や相談窓口を充実させてほしい



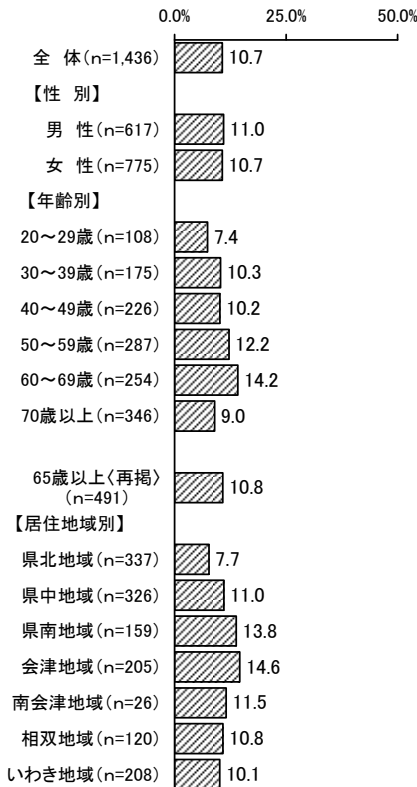
自宅で療養しているお年寄りなどが通えるリハビリなどの医療施設を充実させてほしい



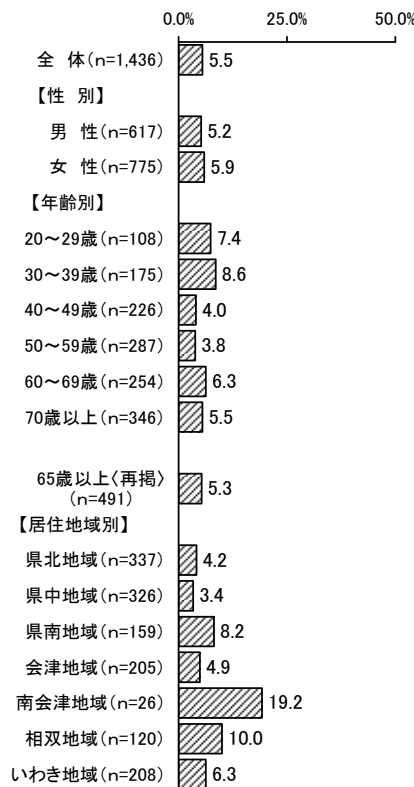
規模の大きな総合的な病院の整備をしてほしい



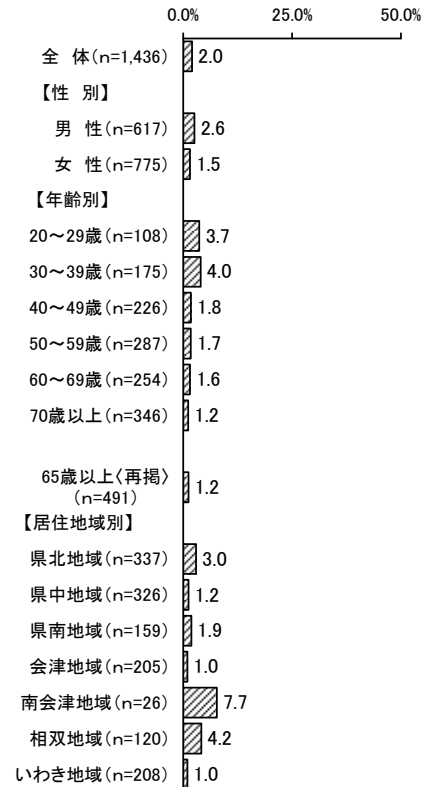
医師の乗っている救急車の整備をしてほしい

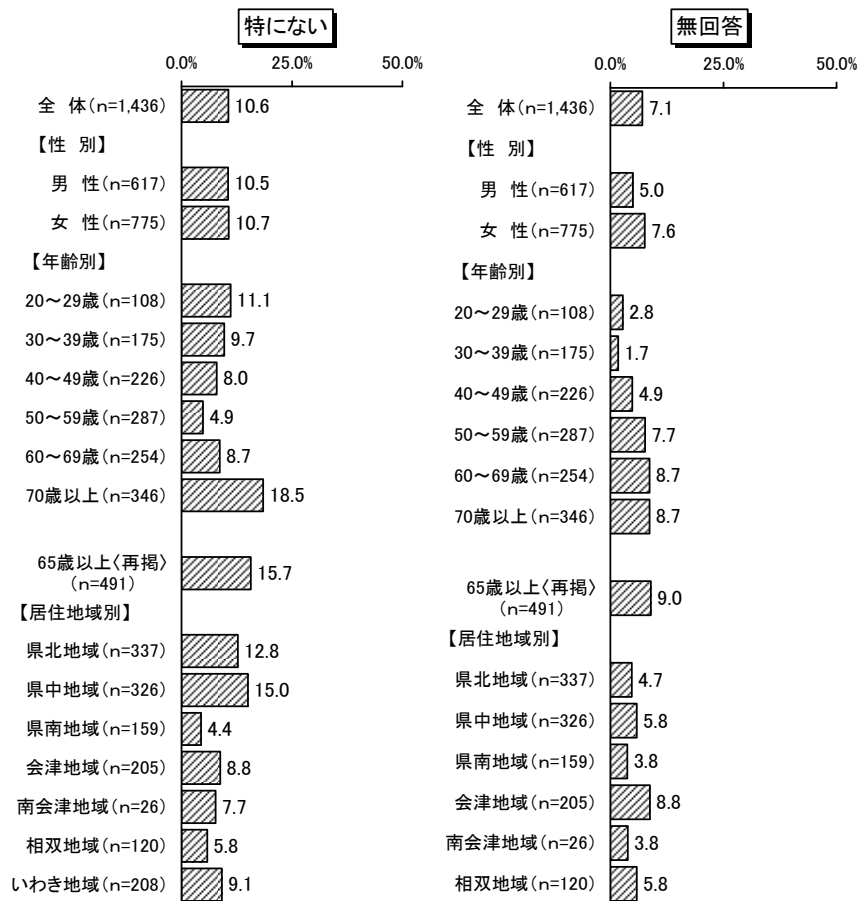


医院(診療所)や病院が不足しているので、何か対策をたててほしい



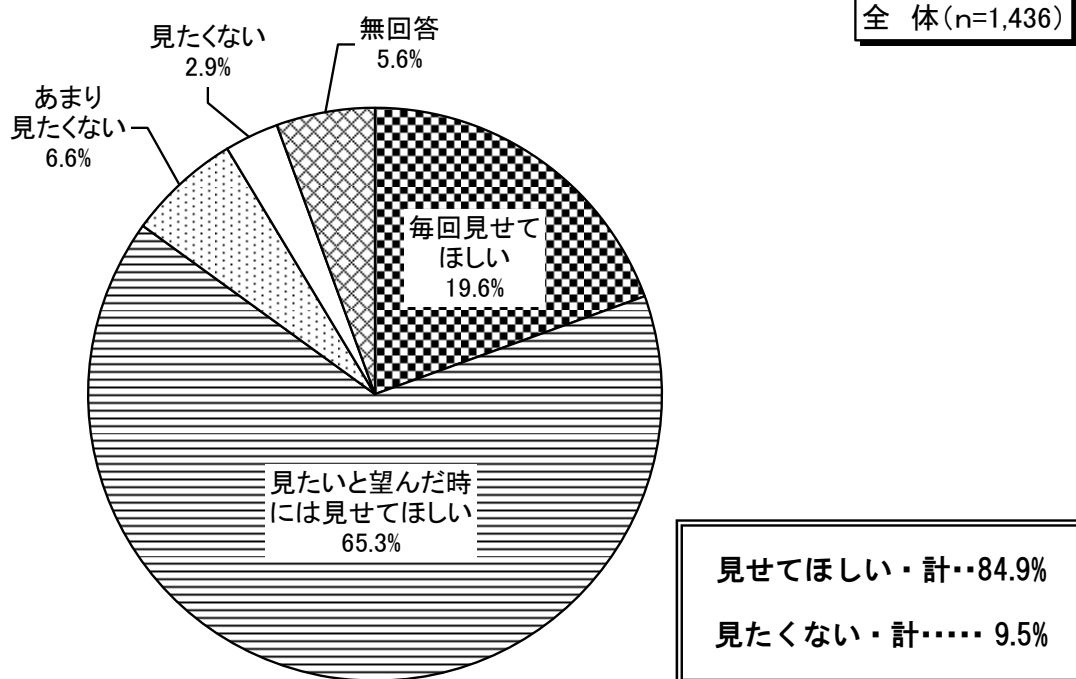
その他





## 5. カルテの閲覧希望

問 あなたは、自分が病院・医院にかかった時、自分のカルテ（診療録）を見たいと思いますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



### 【全体結果】

「見たいと望んだ時には見せてほしい」（65.3%）が多数を占めた。「毎回みせてほしい」（19.6%）が2割で、両者を合計した『見せてほしい・計』（84.9%）は8割を超えている。一方、「見たくない」は2.9%、「あまり見たくない」は6.6%で、両者を合計した『見たくない・計』（9.5%）は1割となっている。

### 【性別】

男女であまり差が見られない。「毎回みせてほしい」（男性21.2%、女性18.1%）は男性の方がやや高く、「見たいと望んだ時には見せてほしい」（男性64.0%、女性67.7%）は女性の方がやや高い。

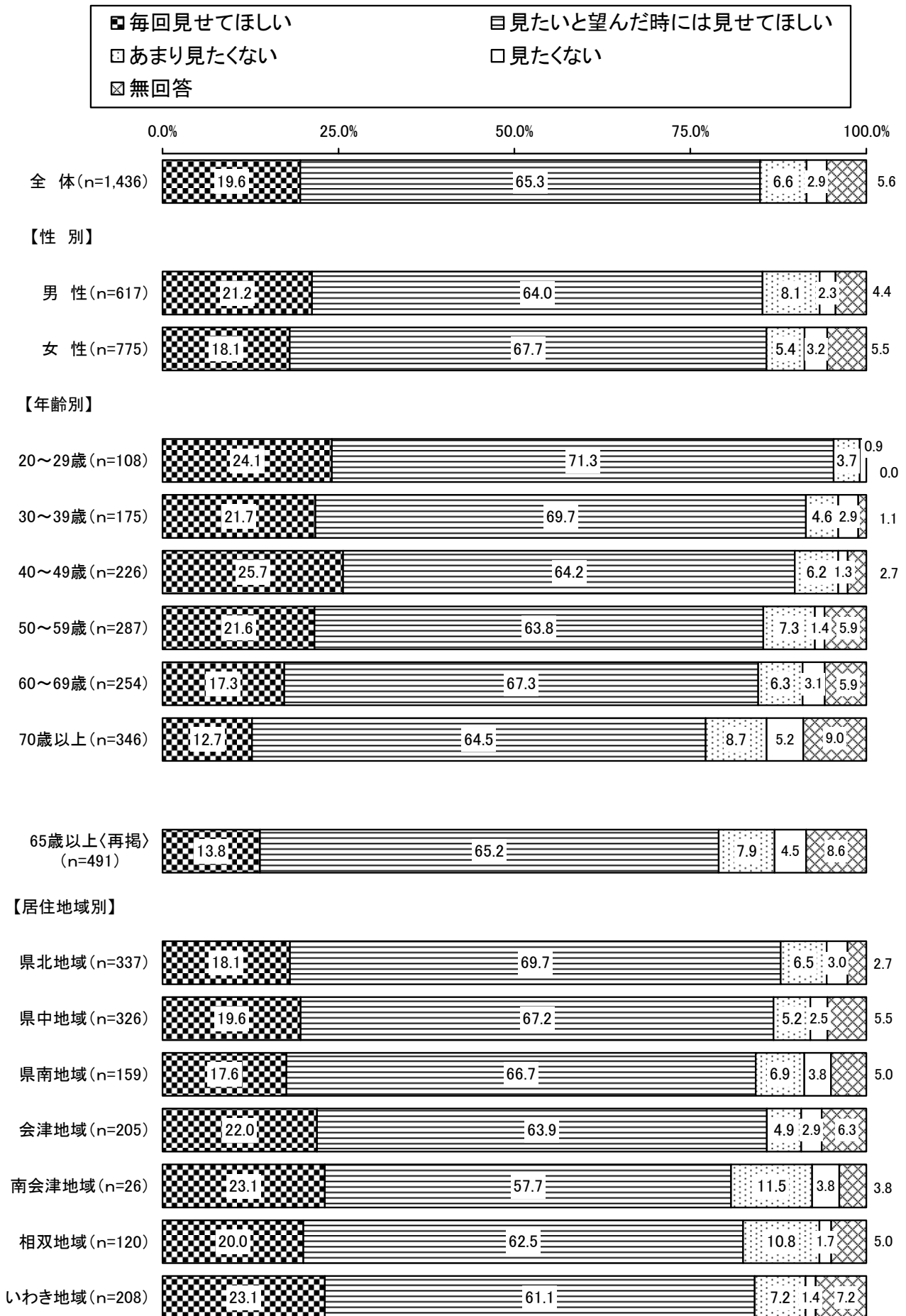
### 【年齢別】

『見せてほしい・計』の割合は20代（95.4%）が最も高く、年齢が上がるほど低下している。

### 【居住地域別】

『見せてほしい・計』の割合は、相双地域（82.5%）と南会津地域（80.8%）でやや低い程度で、あまり差が見られない。

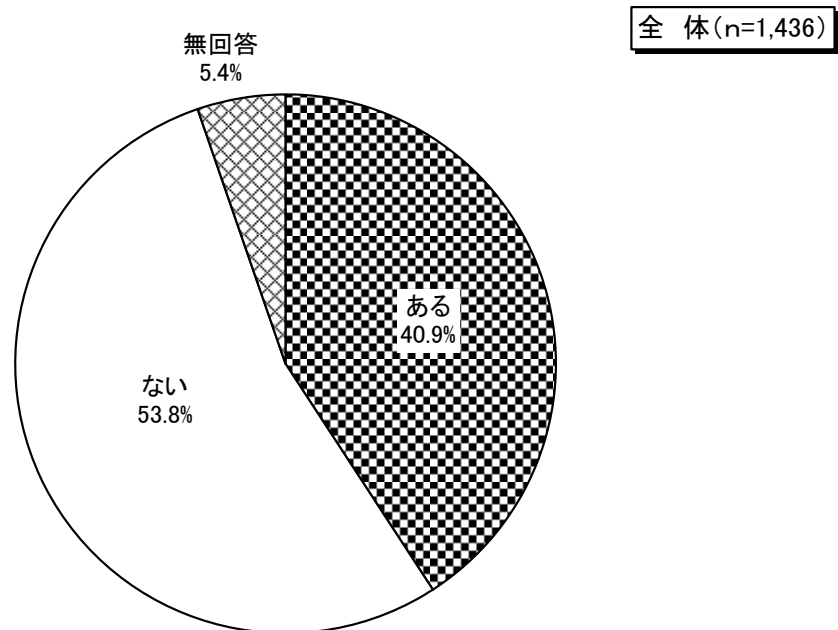
図 17 カルテの閲覧希望（全体／性別／年齢別／居住地域別）



## 6. セカンドオピニオン

### (1) 他の医師へ相談したいと思ったことの有無

問 あなたは、これまでに自分や家族などの病気について、かかっている医師以外に相談したいと思ったことがありますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



#### 【全体結果】

他の医師に相談したいと思ったことが「ある」(40.9%)が4割、「ない」(53.8%)が5割強となっている。

#### 【性別】

男女とも「ある」(男性40.0%、女性41.7%)は4割程度で、ほとんど差は見られない。

#### 【年齢別】

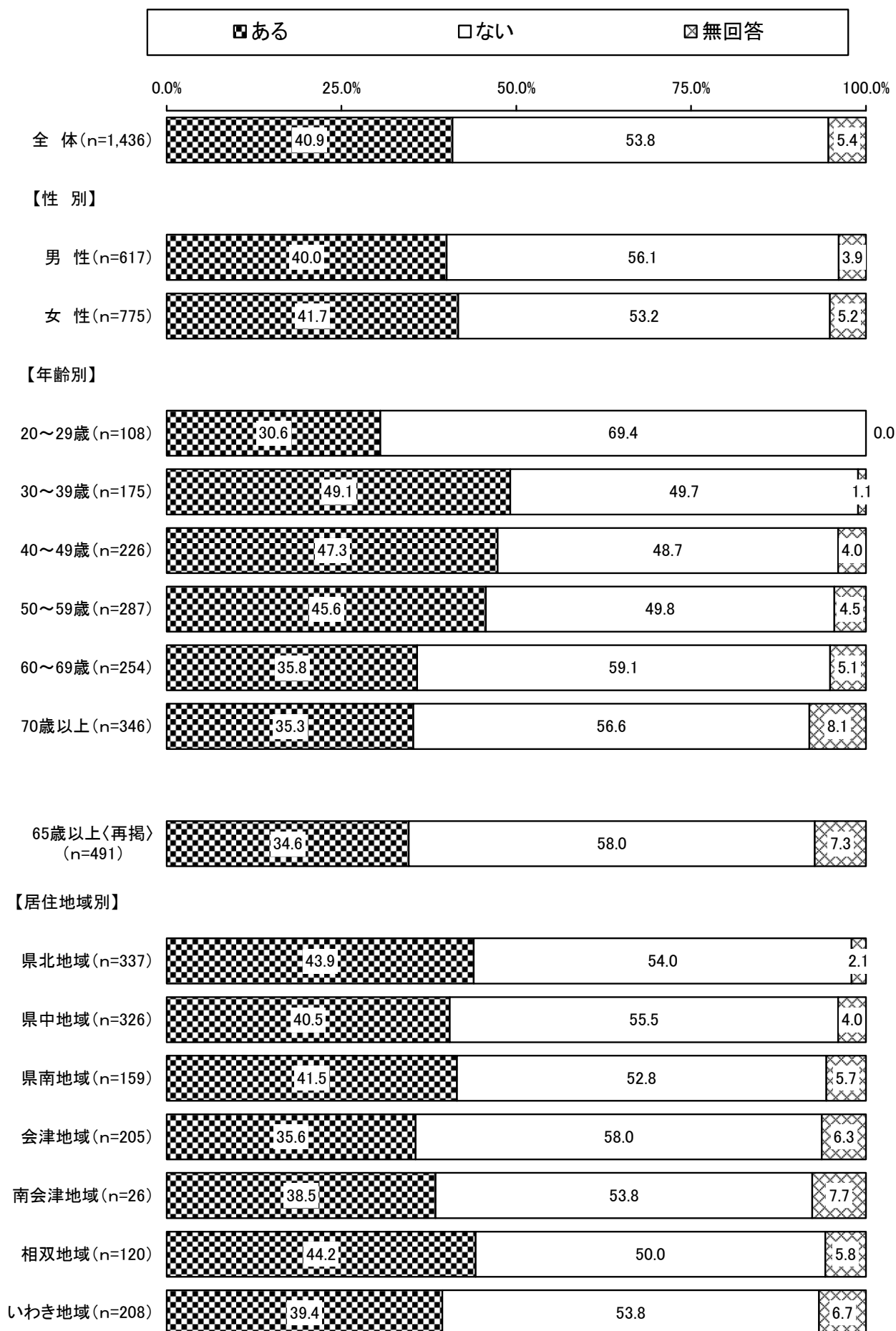
「ある」の割合は、30代(49.1%)、40代(47.3%)、50代(45.6%)が高い。

#### 【居住地域別】

「ある」の割合は、相双地域(44.2%)と県北地域(43.9%)が比較的高い。



図 18 他の医師へ相談したいと思ったことの有無（全体／性別／年齢別／居住地域別）

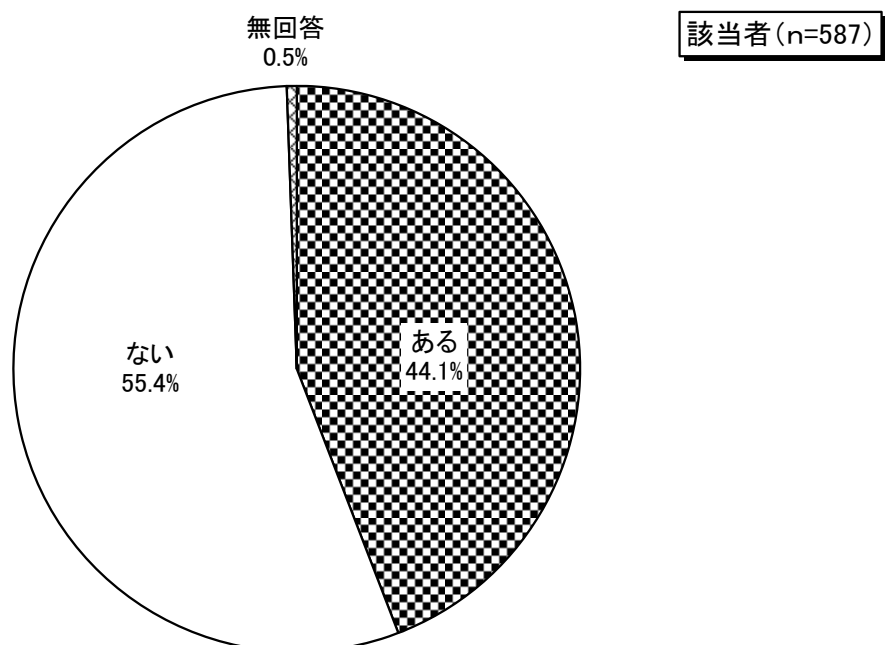


## (2) 他の医師への相談経験

(前問で「ある」とお答えの方にお尋ねします。)

問 その時、かかっている医師に続けてかかりながら、実際に他の医師に相談したことがありますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



### 【全体結果】

他の医師に相談した経験は、「ある」が44.1%、「ない」が55.4%となっている。

### 【性別】

「ある」(男性44.1%、女性44.0%)の割合は、男女とも同程度で、差が見られない。

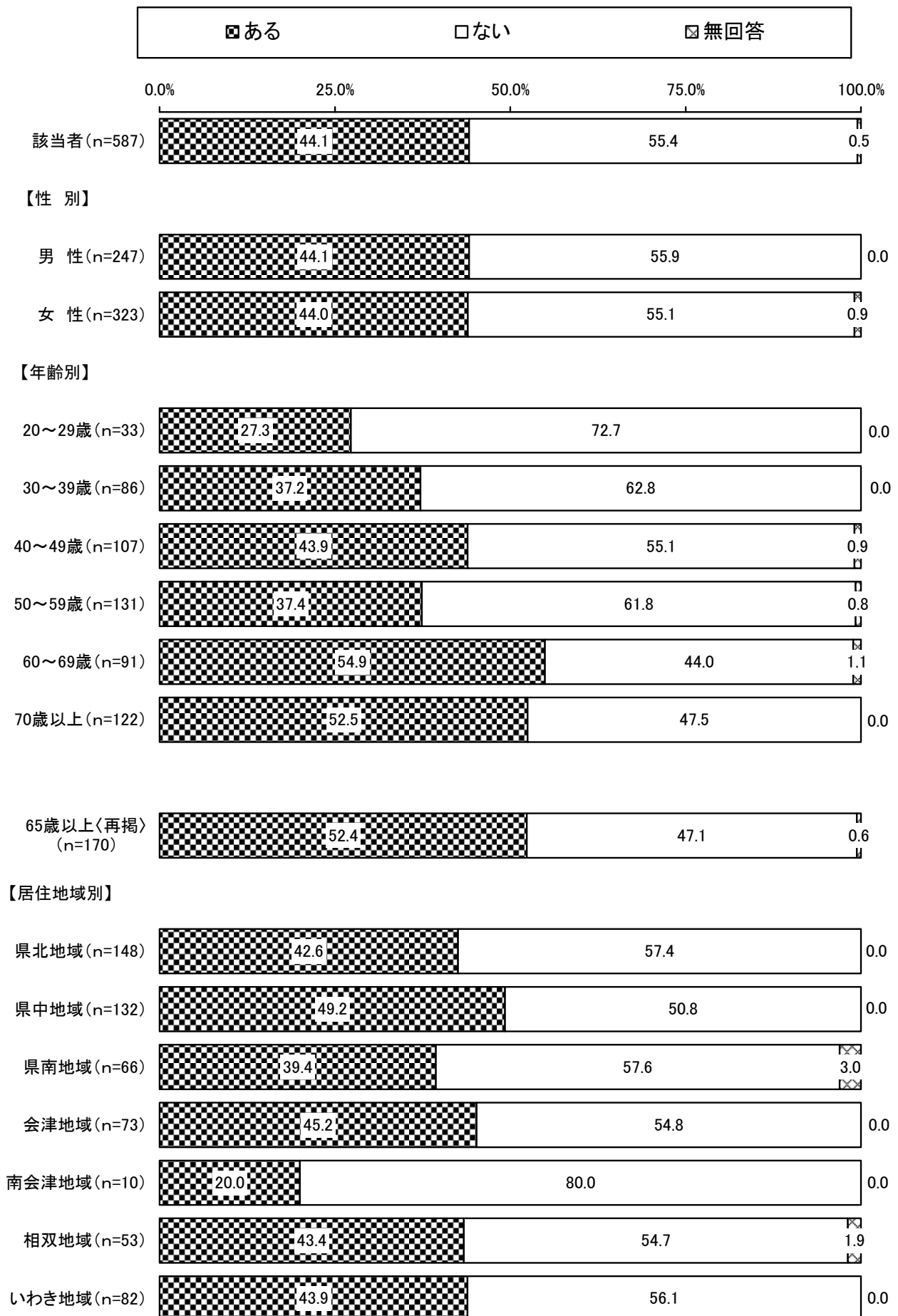
### 【年齢別】

「ある」の割合は、60代(54.9%)、70歳以上(52.5%)が高く、5割を超えている。

### 【居住地域別】

「ある」の割合は県中地域(49.2%)が比較的高い。

図 19 他の医師への相談経験（該当者／性別／年齢別／居住地域別）

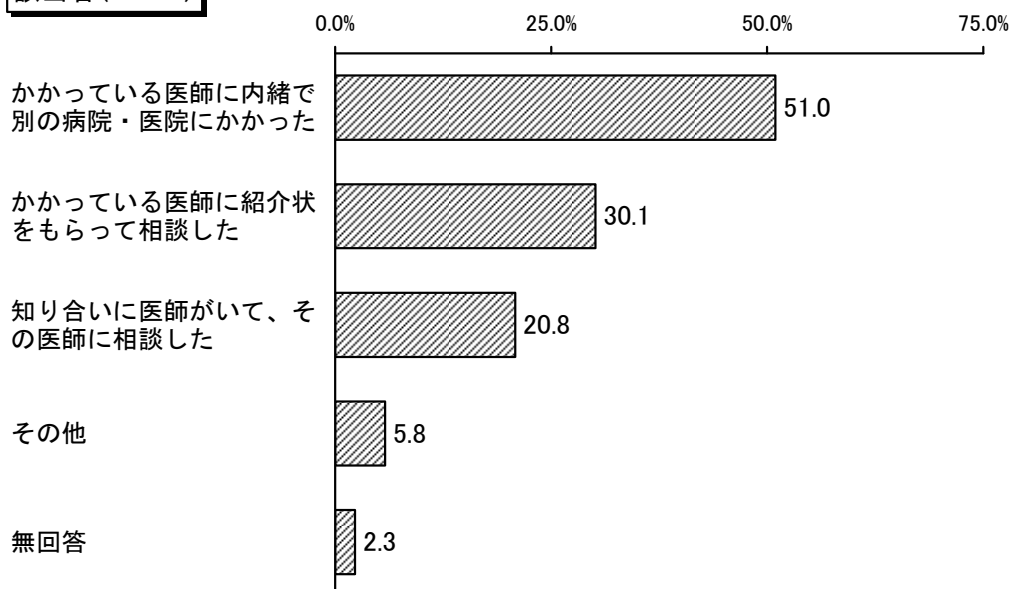


### (3) 他の医師へ相談した時の状況

(前問で「ある」とお答えの方にお尋ねします。)

問 そのときの状況はどのようなものでしたか。  
あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。

該当者(n=259)



#### 【全体結果】

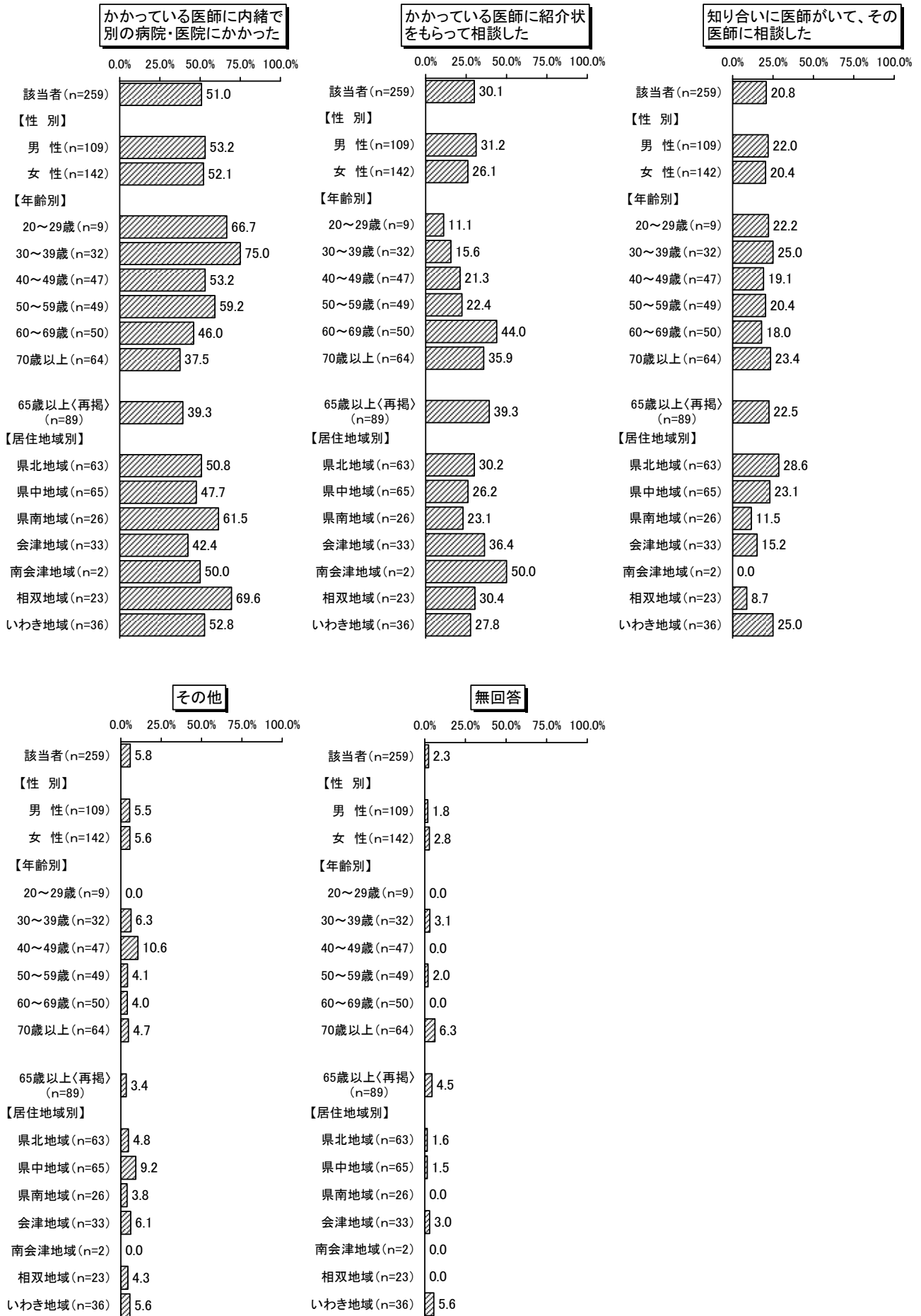
別の医師に相談した時の状況は、「かかっている医師に内緒で別の病院・医院にかかった」(51.0%)が最も多い。「かかっている医師に紹介状をもらって相談した」(30.1%)が3割、「知り合いに医師がいて、その医師に相談した」(20.8%)が2割となっている。

#### 【性別】

「かかっている医師に内緒で別の病院・医院にかかった」(男性 53.2%、女性 52.1%)と「知り合いに医師がいて、その医師に相談した」(男性 22.0%、女性 20.4%)は、どちらも男女で差が見られない。「かかっている医師に紹介状をもらって相談した」(男性 31.2%、女性 26.1%)は、男性の方が高い割合となっている。

※該当者が 259 人と少ないため【年齢別】【居住地域別】は図表のみの掲載とし、コメントは差し控える。

図 20 他の医師へ相談した時の状況（該当者／性別／年齢別／居住地域別）

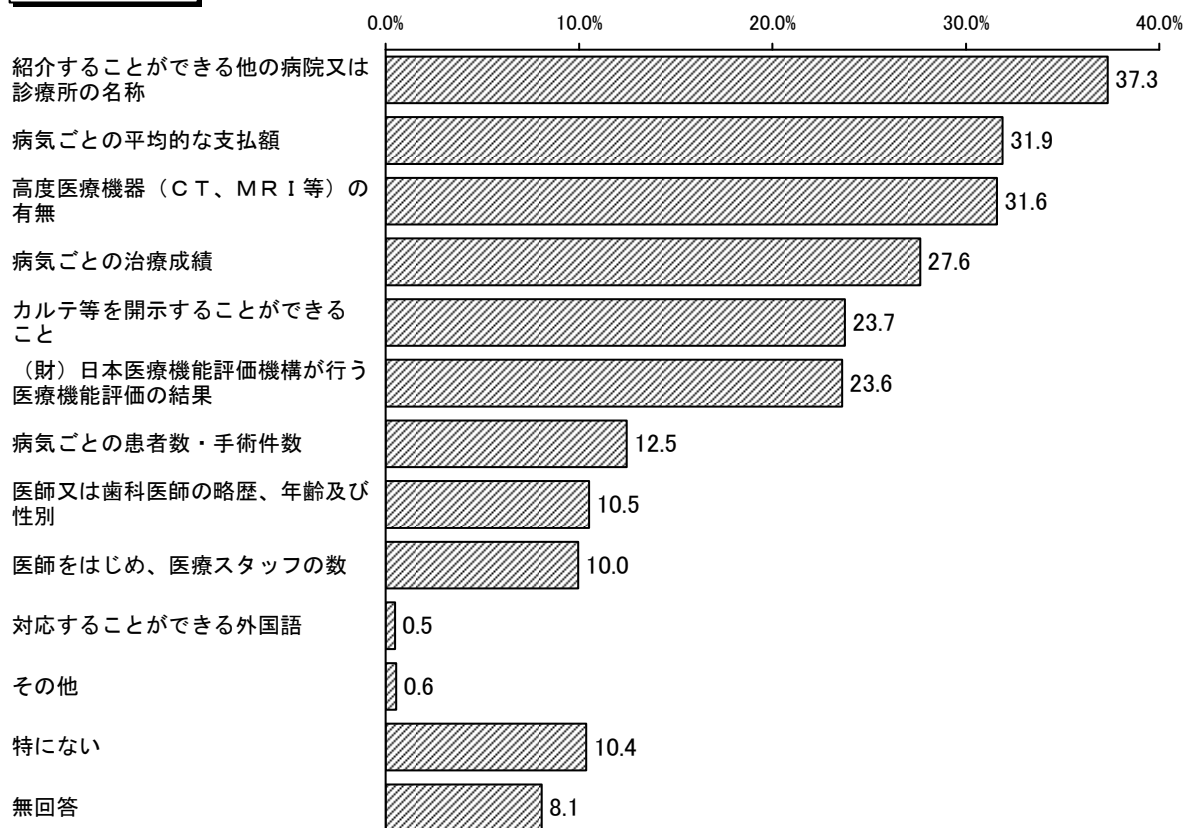


## 7. 医療機関について知りたいこと

問 医療機関が下記のことからについて広告するとしたら、あなたは知りたいと思いませんか。

あなたが特に知りたいと思うものに3つまで○をつけてください。

全体(n=1,436)



### 【全体結果】

「紹介することができる他の病院又は診療所の名称」（37.3%）が最も多く、「病気ごとの平均的な支払額」（31.9%）、「高度医療機器（CT、MRI等）の有無」（31.6%）が続いている。

以下、「病気ごとの治療成績」（27.6%）、「カルテ等を開示することができること」（23.7%）、「（財）日本医療機能評価機構が行う医療機能評価の結果」（23.6%）が2割台、「病気ごとの患者数・手術件数」（12.5%）、「医師又は歯科医師の略歴、年齢及び性別」（10.5%）、「医師をはじめ、医療スタッフの数」（10.0%）が1割台となっている。

また、「特になし」（10.4%）が1割を占めている。

### 【性別】

「紹介することができる他の病院又は診療所の名称」（男性35.2%、女性39.9%）は、女性の方がやや高い割合となっている。

逆に「高度医療機器（CT、MRI等）の有無」（男性35.3%、女性29.3%）と「病気ごとの患者数・手術件数」（男性15.6%、女性10.3%）は、男性の方が高い。

### 【年齢別】

「紹介することができる他の病院又は診療所の名称」の割合は 50 代（42.2%）と 60 代（41.7%）で高く 4 割を超えている。

「病気ごとの平均的な支払額」「カルテ等を開示することができること」は 20 代で、「病気ごとの治療成績」は 30 代（36.6%）と 40 代（38.5%）で、それぞれ高い割合となっている。

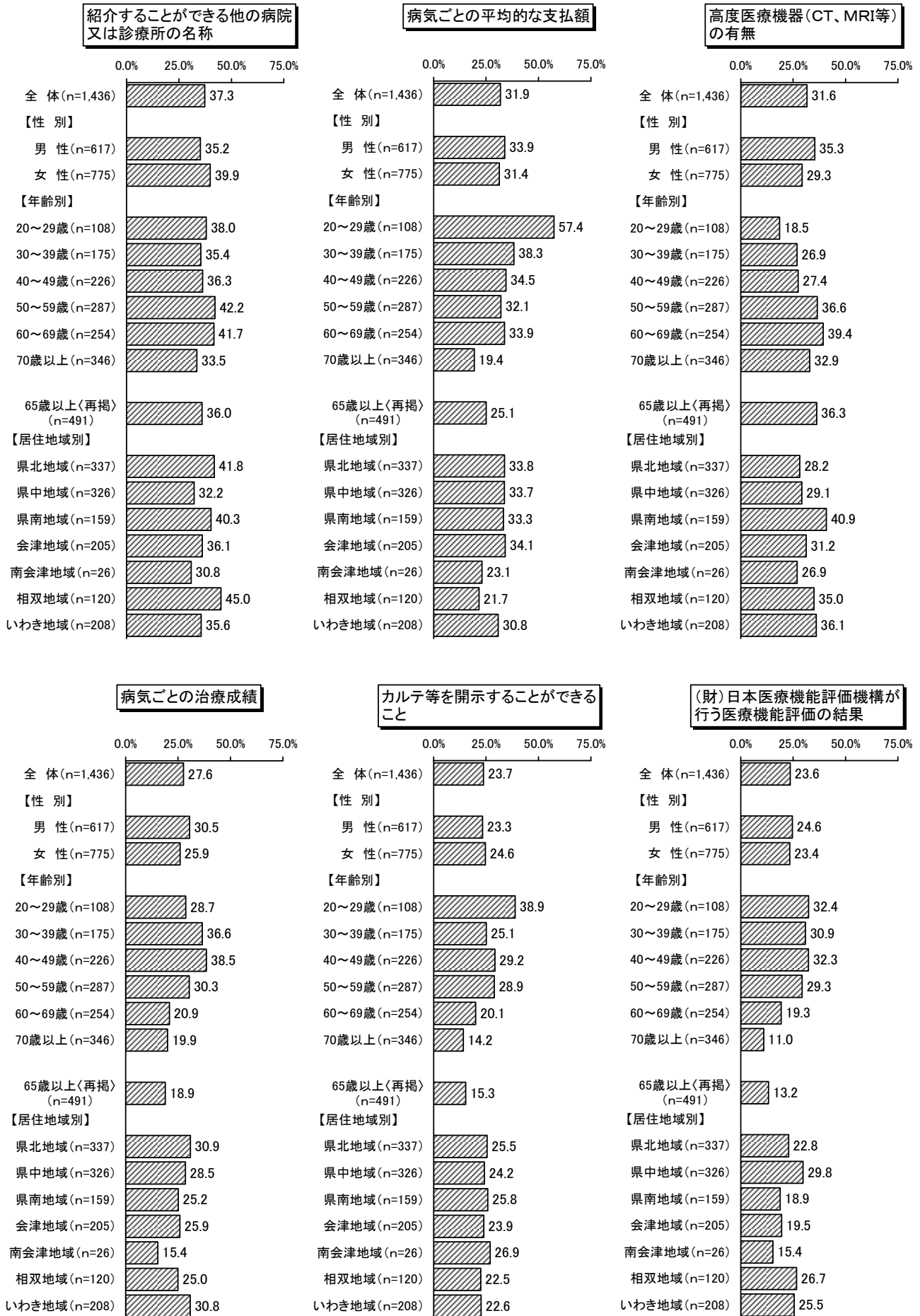
「高度医療機器（C T、MR I 等）の有無」は、年齢が上がるほど割合も上昇する傾向が見られる。逆に「（財）日本医療機能評価機構が行う医療機能評価の結果」「病気ごとの患者数・手術件数」「医師又は歯科医師の略歴、年齢及び性別」は、年齢が上がるほど割合が低下する傾向が見られる。

### 【居住地域別】

「紹介することができる他の病院又は診療所の名称」の割合は、相双地域（45.0%）、県北地域（41.8%）、県南地域（40.3%）が比較的高い。

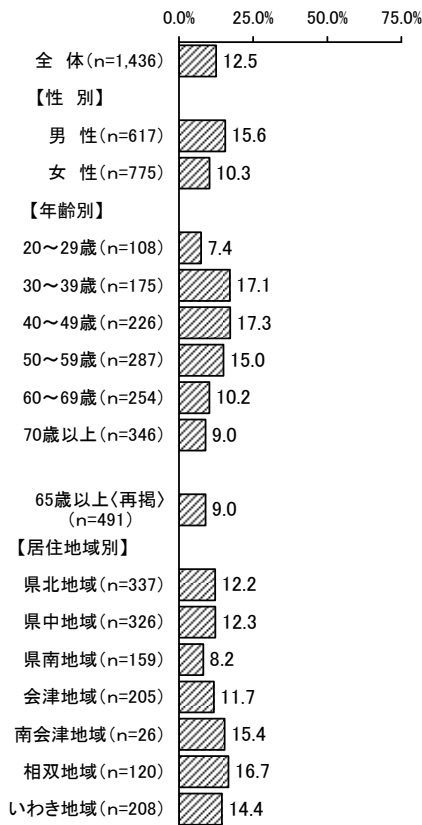
「病気ごとの平均的な支払額」は、相双地域（21.7%）と南会津地域（23.1%）で低く、「高度医療機器（C T、MR I 等）の有無」は県南地域（40.9%）が比較的高い。

図 21 医療機関について知りたいこと（全体／性別／年齢別／居住地域別）

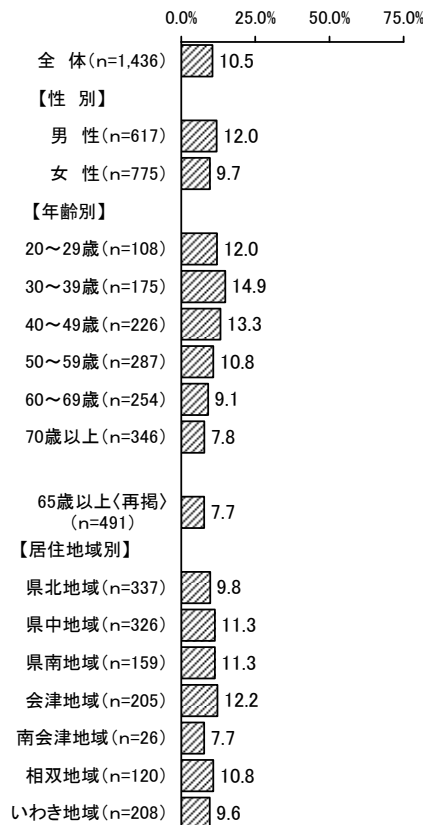




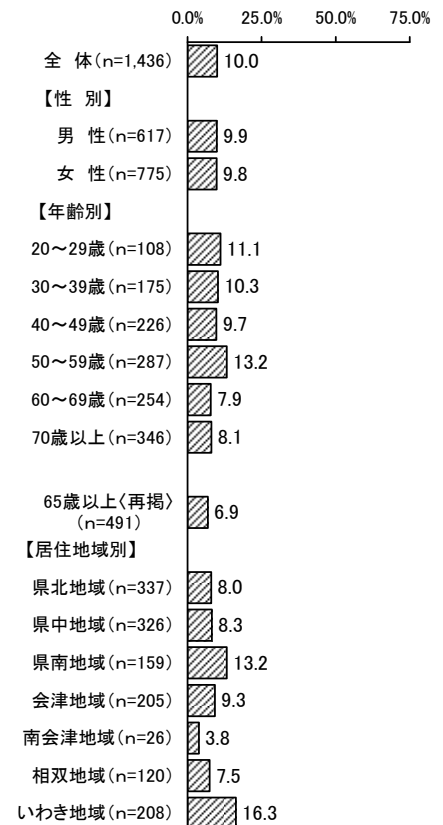
病気ごとの患者数・手術件数



医師又は歯科医師の略歴、年齢及び性別



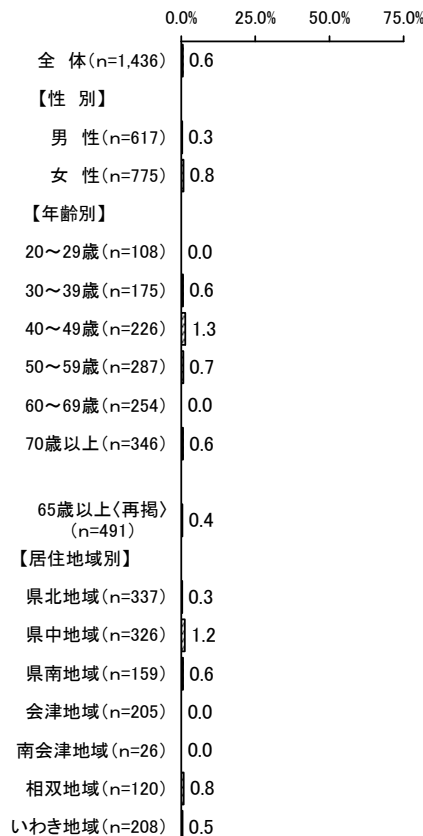
医師をはじめ、医療スタッフの数



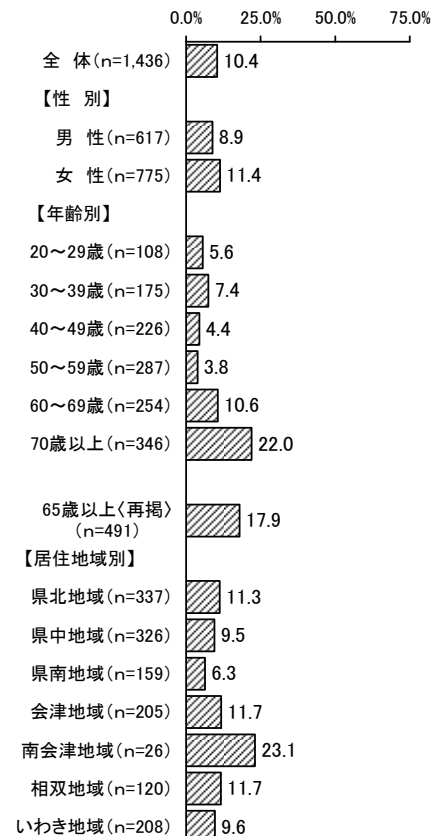
対応することができる外国語

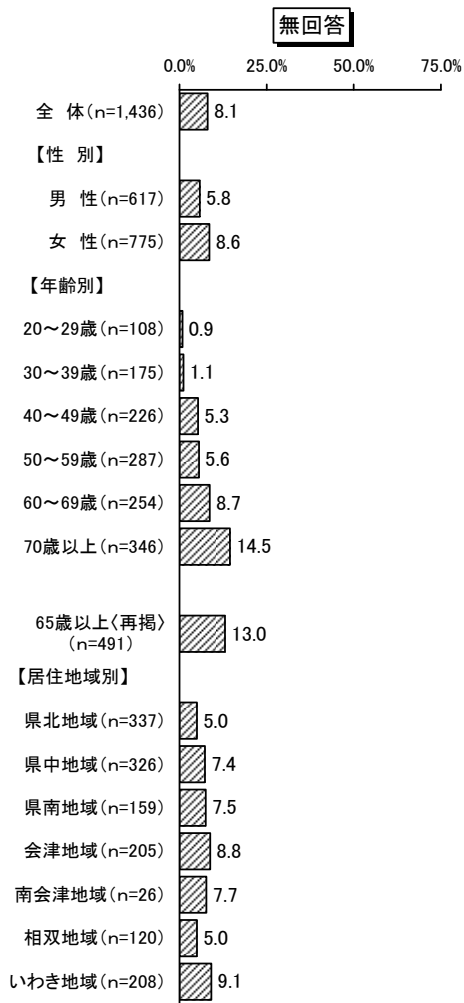


その他



特になし

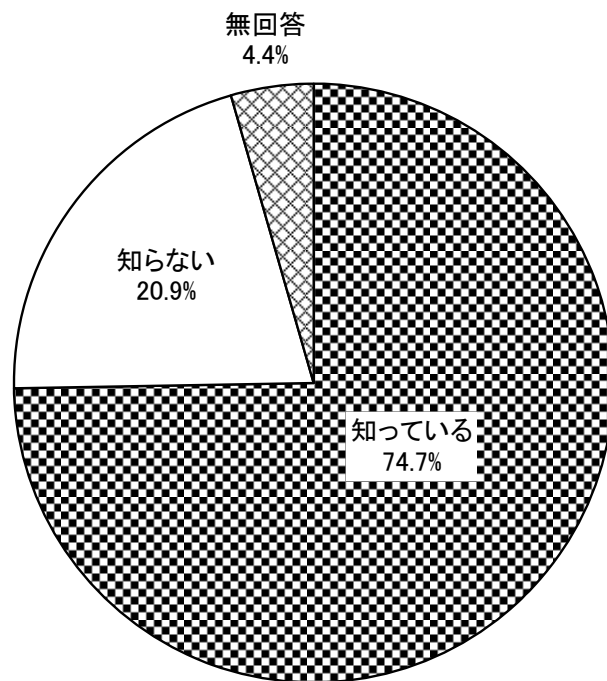




## 8. 臓器提供意思表示カード

### (1) 臓器提供意思表示カードの認知

問 あなたは、臓器移植のための「臓器提供意思表示カード」を知っていますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



#### 【全体結果】

「知っている」(74.7%)が7割以上を占めた。「知らない」(20.9%)は2割となっている。

#### 【性別】

「知っている」(男性78.6%、女性72.9%)の割合は、男性の方が女性よりも高い。

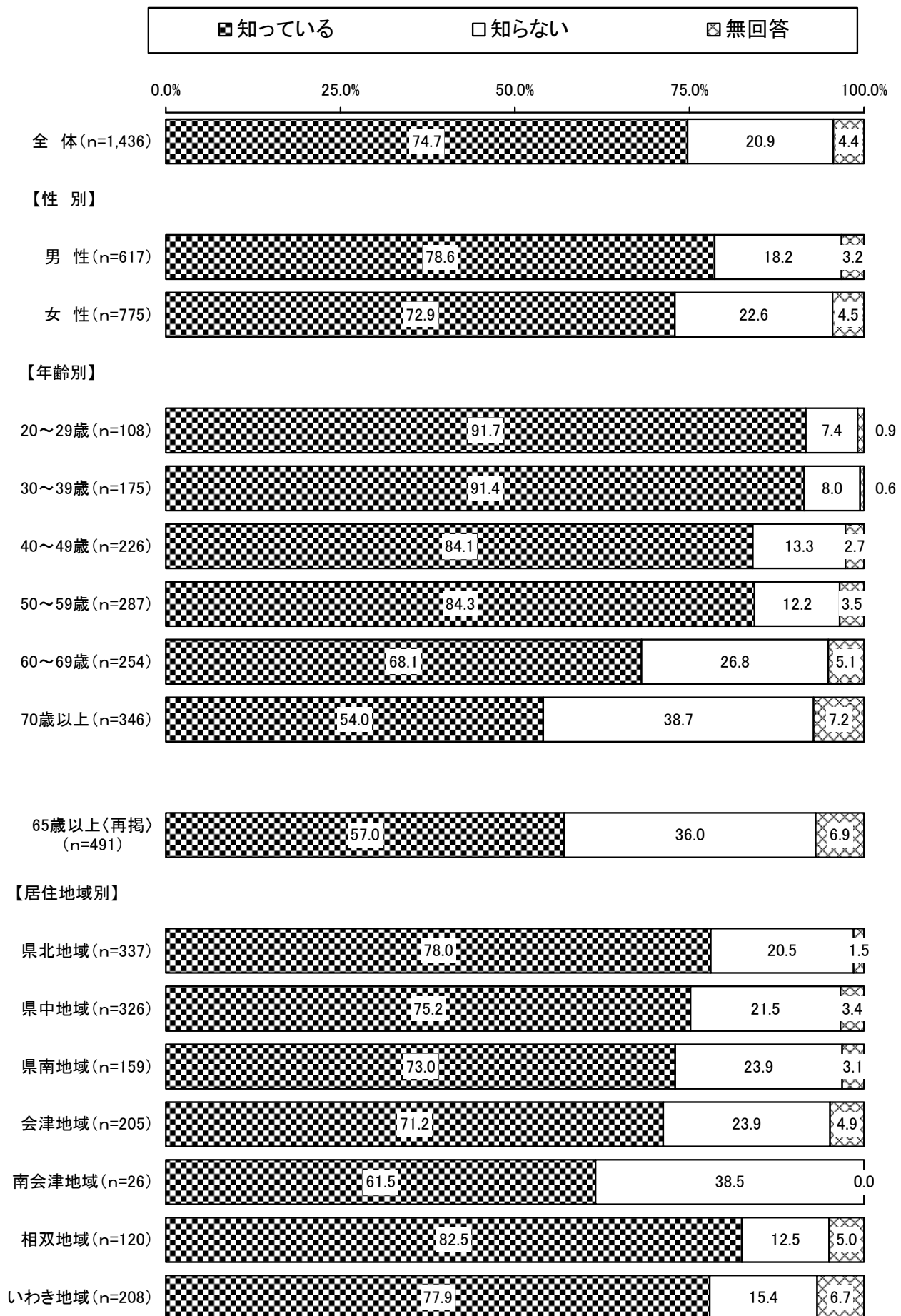
#### 【年齢別】

「知っている」の割合は、20代(91.7%)と30代(91.4%)では9割を超えているが、年齢が上がるほど低下し、70歳以上(54.0%)では5割強となっている。

#### 【居住地域別】

「知っている」の割合は、相双地域(82.5%)が比較的高い。

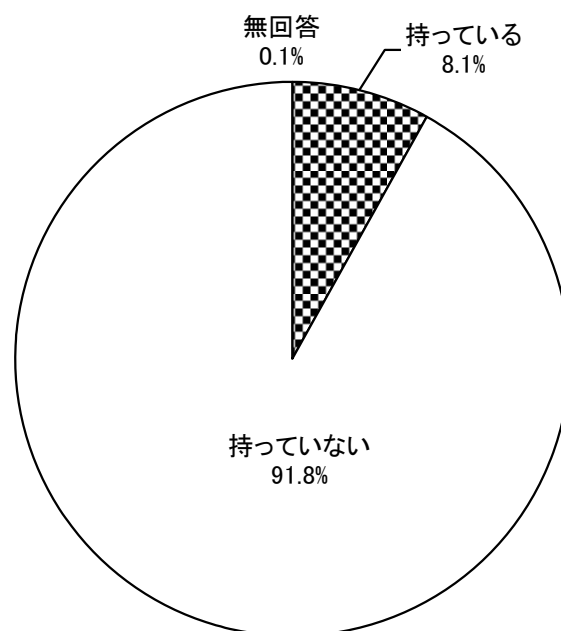
図 22 臓器提供意思表示カードの認知（全体／性別／年齢別／居住地域別）



## (2) 臓器提供意思表示カードの所持状況

(前問で「知っている」とお答えの方にお尋ねします。)

問 あなたは、臓器提供意思表示カードを持っていますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



### 【全体結果】

「持っていない」(91.8%)が大多数を占めた。「持っている」(8.1%)は1割に満たない。

### 【性別】

「持っている」(男性6.4%、女性9.7%)の割合は、女性の方がやや高い。

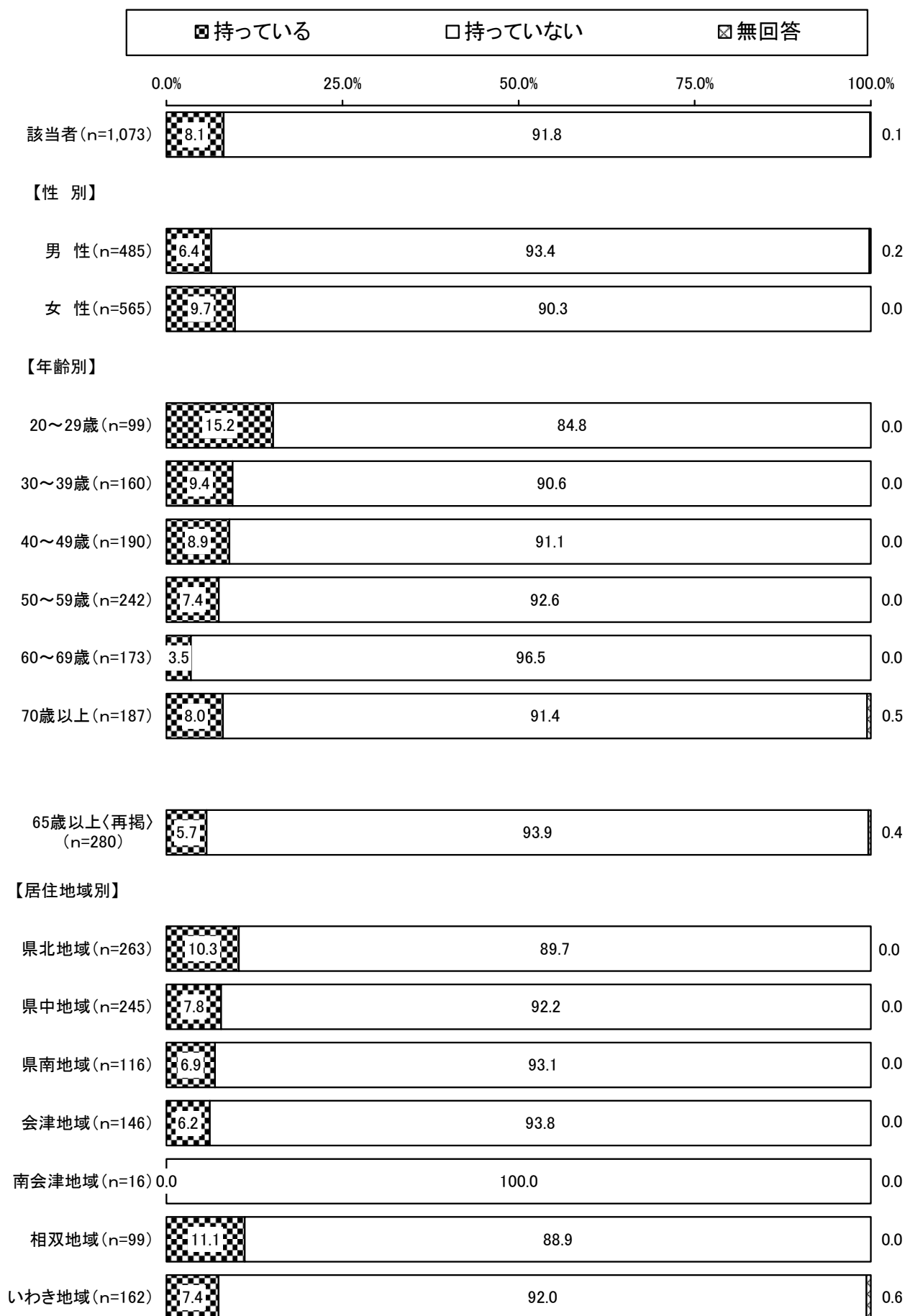
### 【年齢別】

「持っている」の割合は、20代(15.2%)が最も高く、60代(3.5%)までは年齢が上がるほど低下する傾向が見られる。70歳以上は8.0%となっている。

### 【居住地域別】

「持っている」の割合は、相双地域(11.1%)と県北地域(10.3%)が比較的高い。

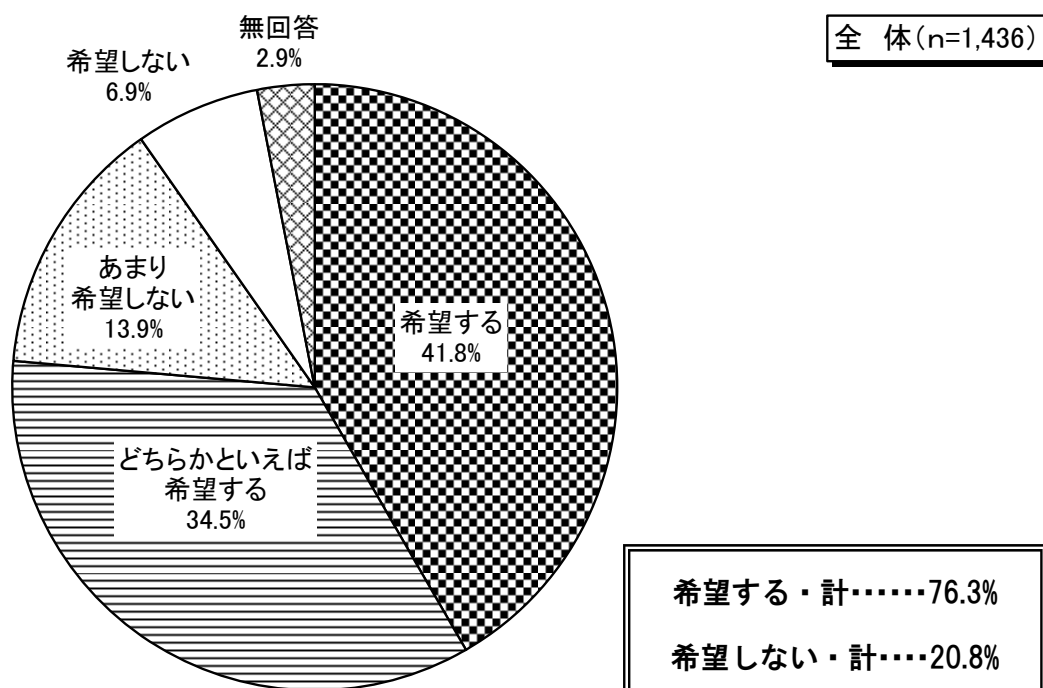
図 23 臓器提供意思表示カードの所持状況（該当者／性別／年齢別／居住地域別）



## 9. 在宅医療・緩和ケア

### (1) 在宅医療の受療希望

問 在宅医療や介護保険による居宅介護サービスの充実により、自宅での療養が身近なものとなりつつあります。あなたは、在宅医療や居宅介護サービスが必要となった場合、可能であれば在宅での療養を望みますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



#### 【全体結果】

「希望する」(41.8%)が4割強、「どちらかといえば希望する」(34.5%)が3割強で、両者を合計した『希望する・計』は76.3%となる。

一方、「希望しない」(6.9%)と「あまり希望しない」(13.9%)を合計した『希望しない・計』(20.8%)は2割となっている。

#### 【性別】

「希望する」(男性47.6%、女性37.2%)の割合は男性の方が高く、「どちらかといえば希望する」(男性33.4%、女性36.1%)は女性の方がやや高い。

『希望する・計』は、男性が81.0%、女性が73.3%となっている。

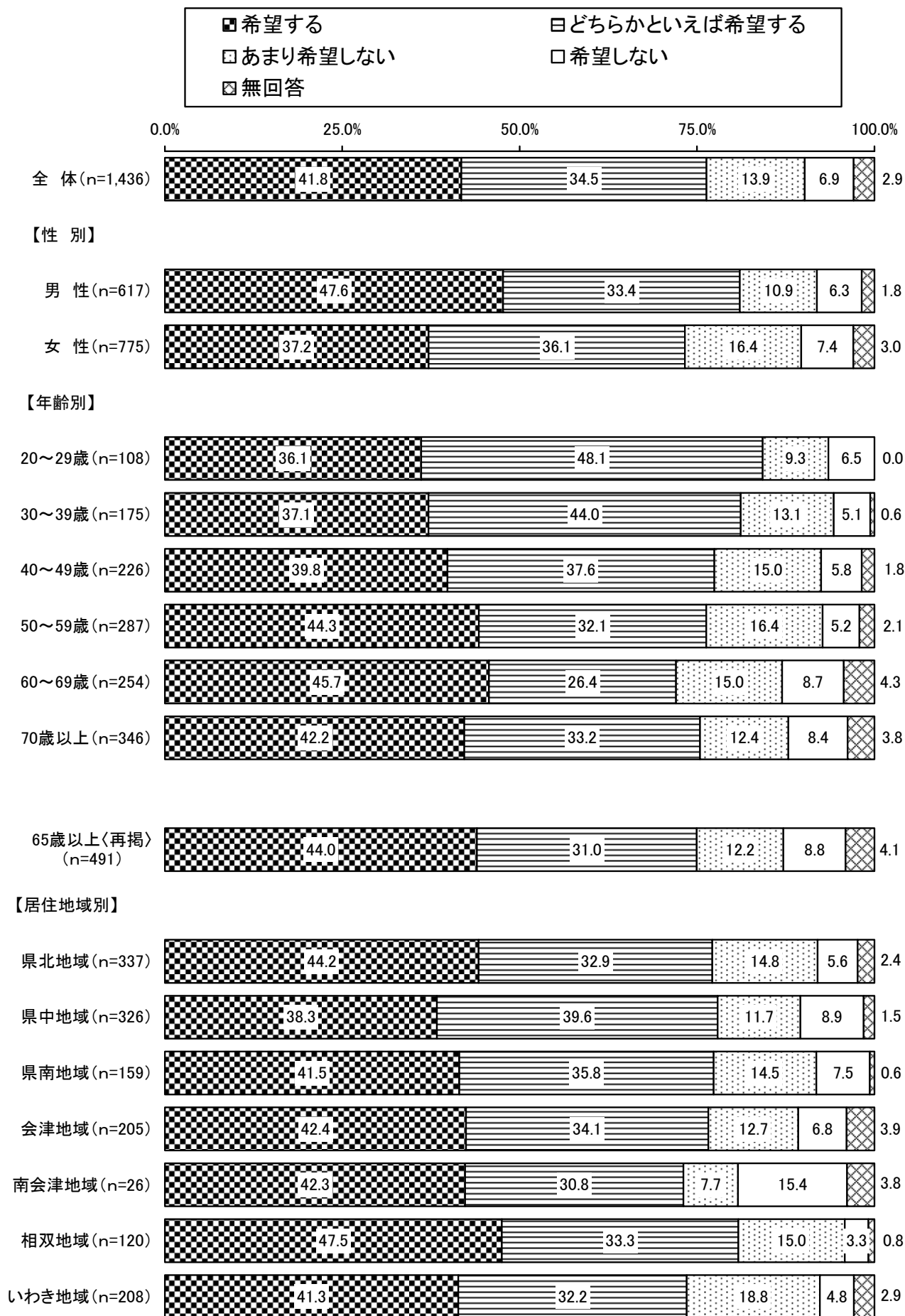
#### 【年齢別】

「希望する」の割合は20代(36.1%)から60代(45.7%)までは年齢が上がるほど上昇しているが、「どちらかといえば希望する」は年齢が上がるほど割合が低下している。このため、『希望する・計』の割合は60代までは年齢が上がるほど低下する傾向となっている。

#### 【居住地域別】

『希望する・計』の割合は相双地域(80.8%)で比較的高くなっている。

図 24 在宅医療の受療希望（全体／性別／年齢別／居住地域別）

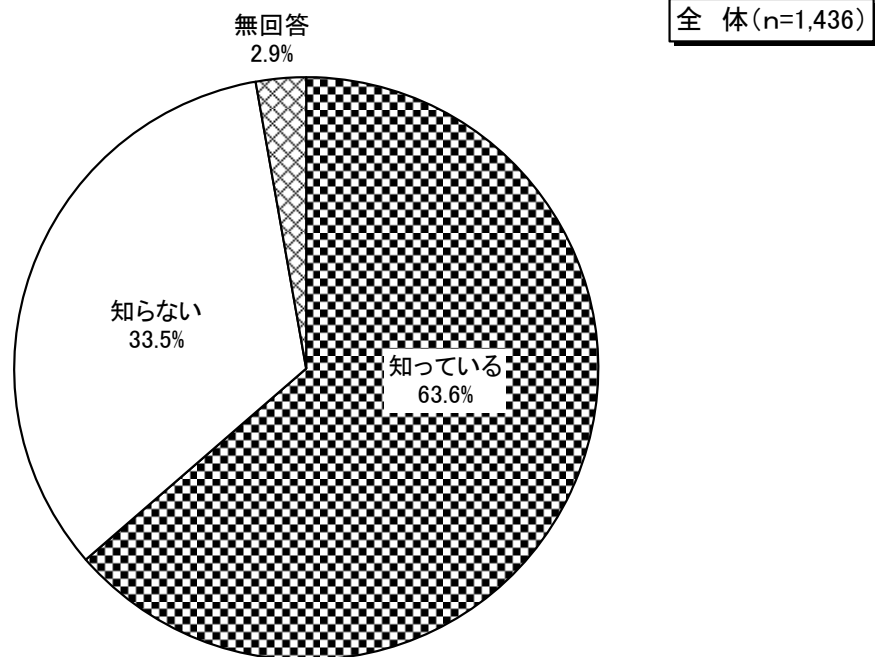




## (2) 緩和ケアの認知

問 がん患者などに対して、治療や救命を最優先するという考え方ではなく、痛みを抑えること、日常に近い生活をおくれることなど、生活の質を重視した、“緩和ケア”（ホスピス、終末期医療・末期医療、ターミナルケア）というものがあることを知っていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



### 【全体結果】

「知っている」(63.6%)が6割強を占めた。「知らない」(33.5%)は3割強となっている。

### 【性別】

「知っている」(男性58.8%、女性68.9%)の割合は、女性の方が高い。

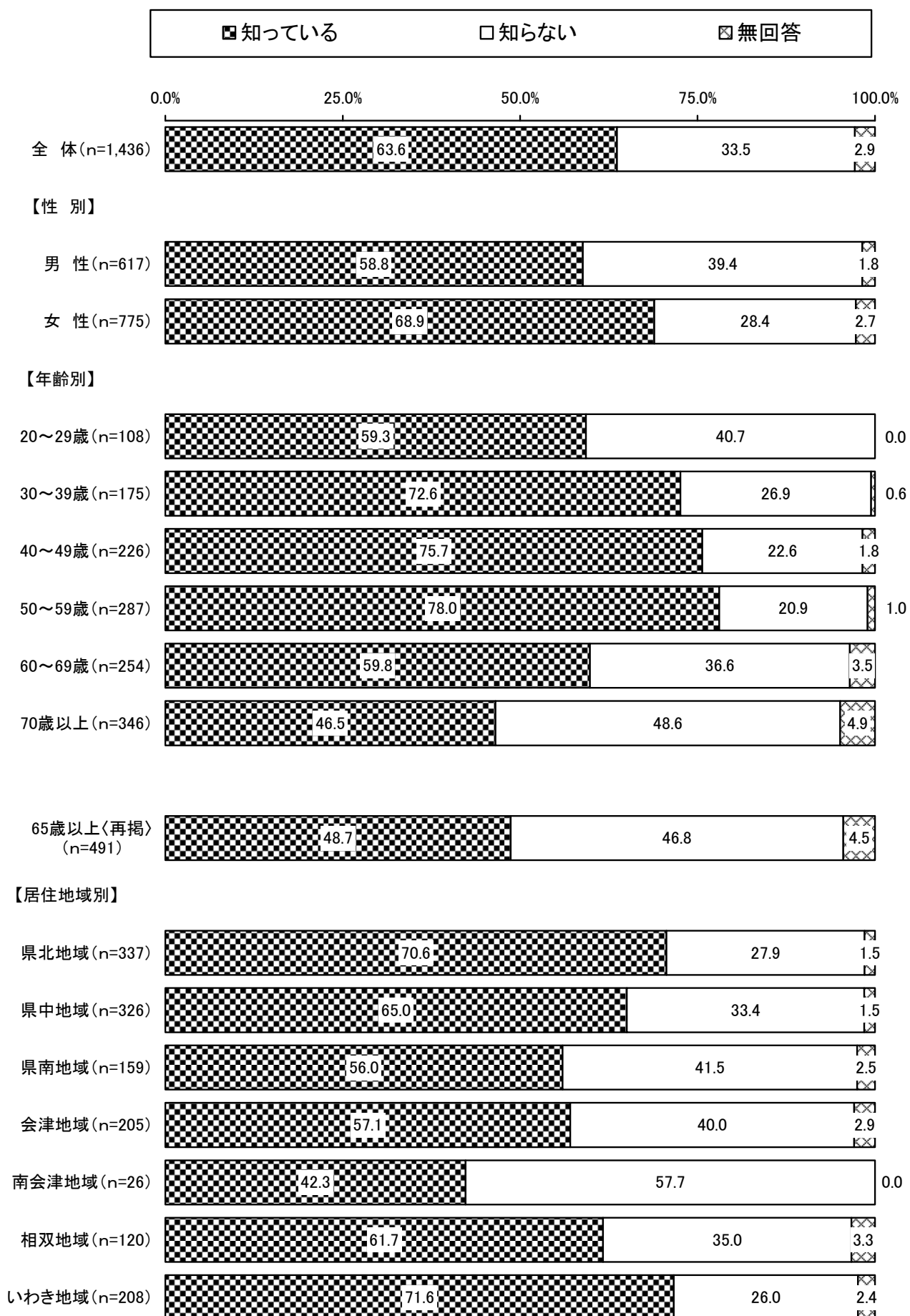
### 【年齢別】

「知っている」の割合は50代(78.0%)までは年齢が上がるほど上昇しており、50代をピークに60代(59.8%)、70歳以上(46.5%)は低下している。

### 【居住地域別】

「知っている」の割合は、いわき地域(71.6%)と県北地域(70.6%)が高い。

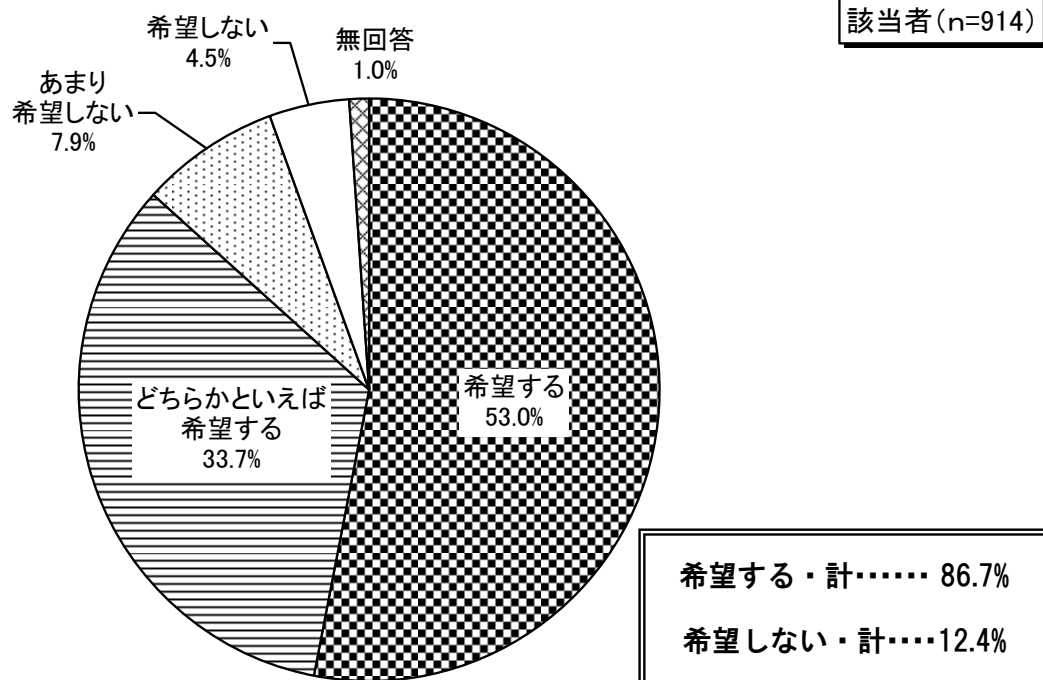
図 25 緩和ケアの認知（全体／性別／年齢別／居住地域別）



### (3) 緩和ケアの受療希望

(前問で「知っている」とお答えの方にお尋ねします。)

問 あなたは、もしもの場合“緩和ケア”を望みますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



#### 【全体結果】

「希望する」(53.0%)が過半数を占めた。「どちらかといえば希望する」(33.7%)が3割強で、両者を合計した『希望する・計』(86.7%)は9割弱に達している。

一方、「希望しない」(4.5%)と「あまり希望しない」(7.9%)を合計した『希望しない・計』(12.4%)は1割強となっている。

#### 【性別】

「希望する」(男性 49.6%、女性 55.4%)の割合は、女性の方が高く、『希望する・計』(男性 84.9%、女性 88.4%)も女性の方が高い。

#### 【年齢別】

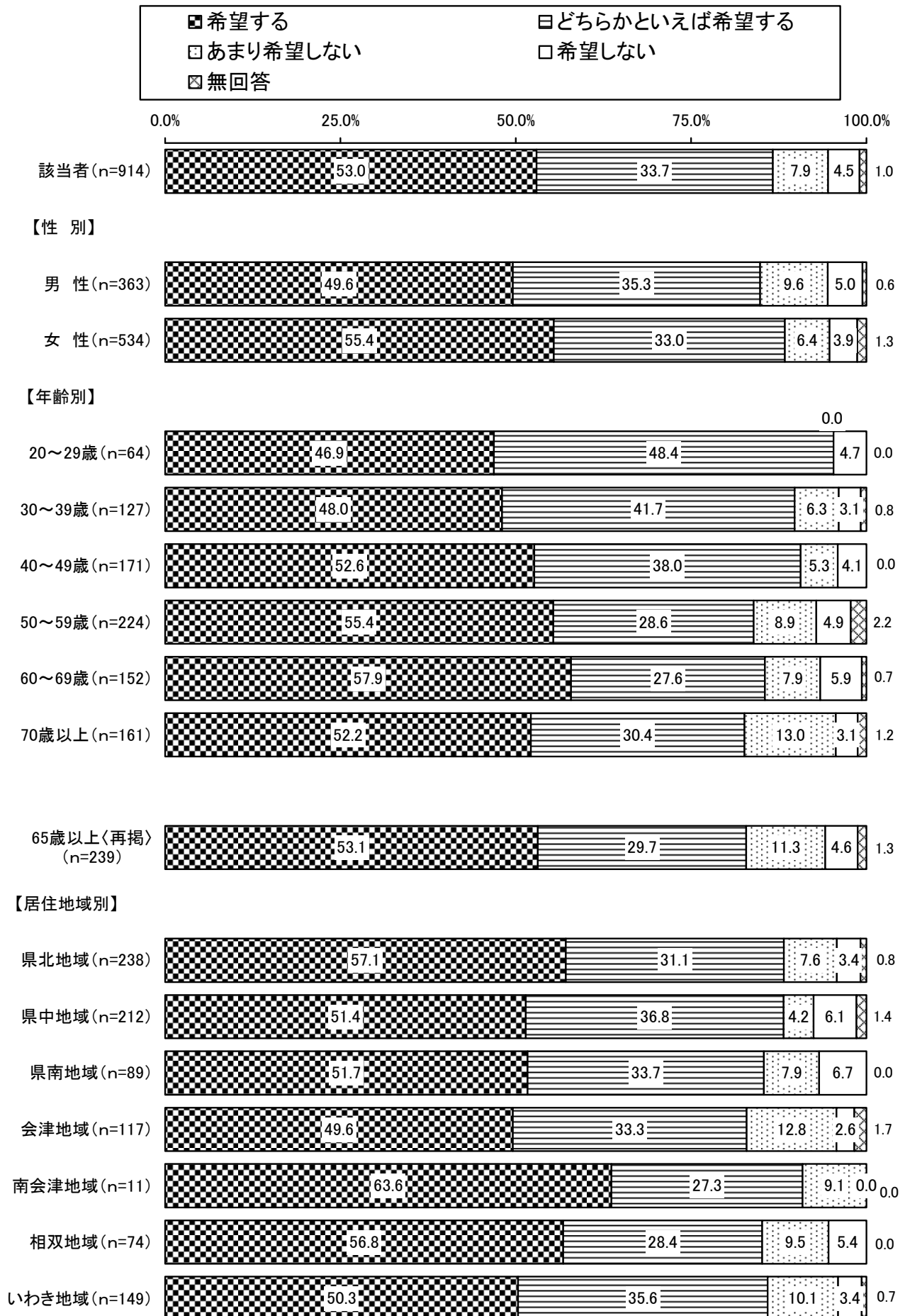
「希望する」の割合は20代(46.9%)から60代(57.9%)までは年齢が上がるほど上昇しているが、「どちらかといえば希望する」は年齢が上がるほど割合が低下している。このため、『希望する・計』の割合は年齢が上がるほど低下する傾向となっている。

#### 【居住地域別】

「希望する」の割合は、県北地域(57.1%)、相双地域(56.8%)、南会津地域(63.6%)で比較的高くなっている。

『希望する・計』を見ると、会津地域(82.9%)の割合が低くなっているのが目立つ。

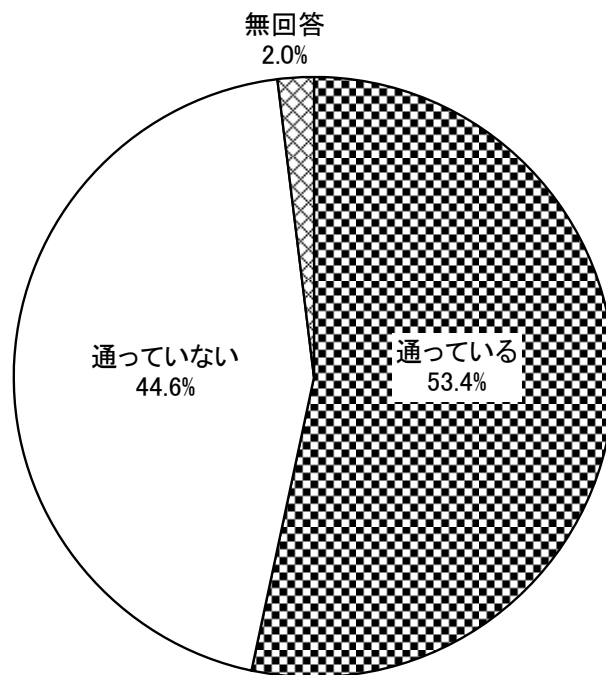
図 26 緩和ケアの受療希望（該当者／性別／年齢別／居住地域別）



## 10. 通院状況

### (1) 通院の有無

問 あなたは現在、病気やけがで病院や診療所（医院、歯科医院）に通っていますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



全体(n=1,436)

#### 【全体結果】

「通っている」(53.4%)が過半数を占めた。「通っていない」は44.6%となっている。

#### 【性別】

「通っている」(男性53.6%、女性53.3%)の割合は、男女で差が見られない。

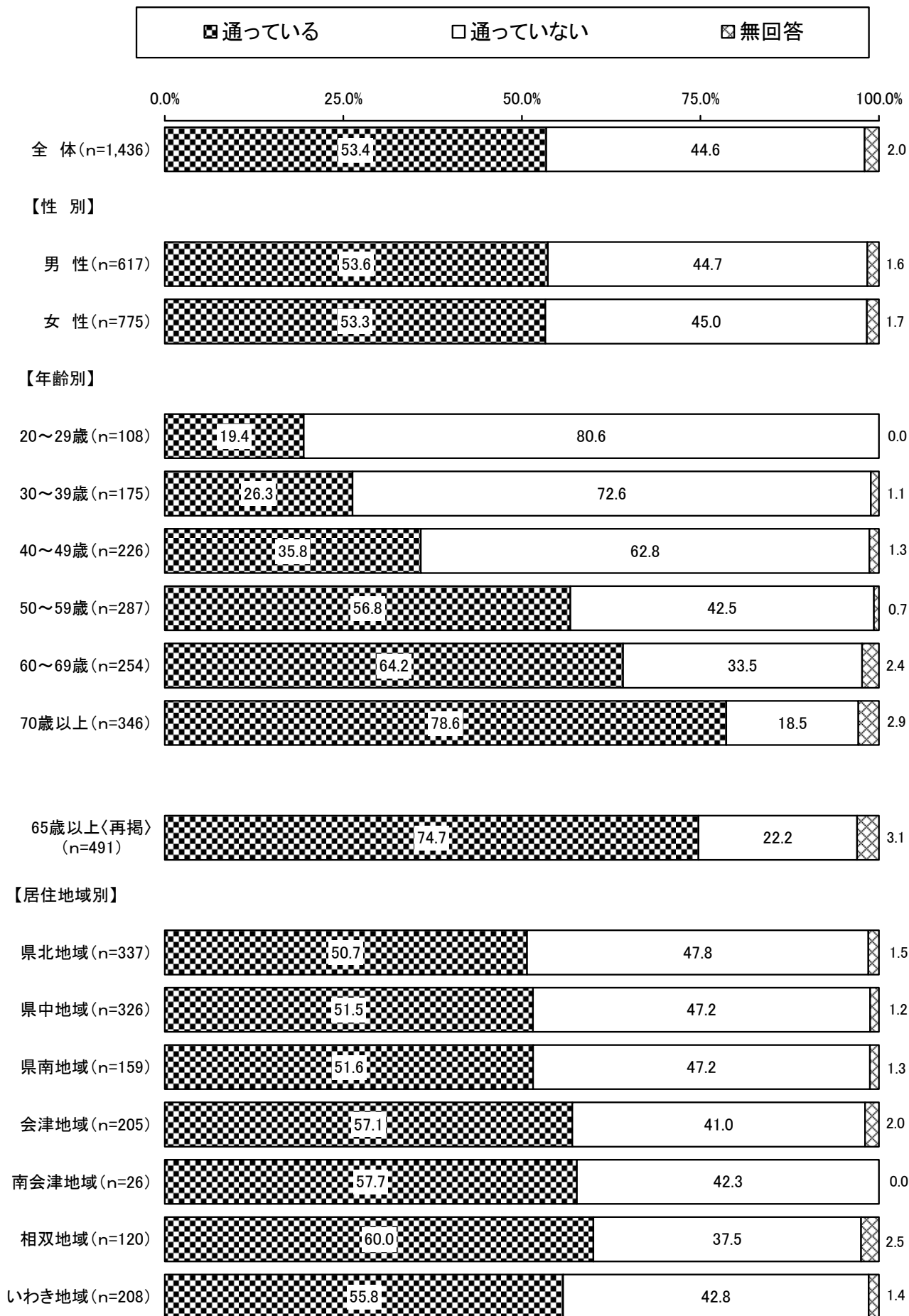
#### 【年齢別】

「通っている」の割合は、年齢が上がるほど上昇しており、70歳以上(78.6%)では8割弱に達している。

#### 【居住地域別】

「通っている」の割合は、相双地域(60.0%)、南会津地域(57.7%)、会津地域(57.1%)、いわき地域(55.8%)の4地域が県南地域(51.6%)、県中地域(51.5%)、県北地域(50.7%)の3地域に比べやや高くなっている。

図 27 通院の有無（全体／性別／年齢別／居住地域別）

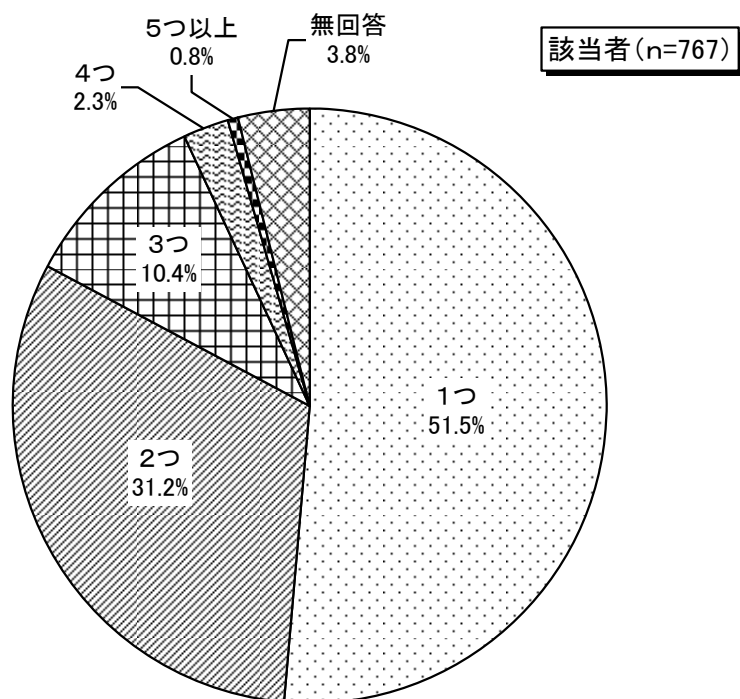


## (2) 通院している診療科数

(前問で「通っている」とお答えの方にお尋ねします。)

問 いくつの病院・診療所(医院、歯科医院)に通っていますか。診療科別に数えて、その数を記入してください。

(同じ病院で、耳鼻咽喉科と眼科に通っている場合は2つと数えます。)



### 【全体結果】

通っている診療科数は、「1つ」(51.5%)が過半数を占めた。「2つ」(31.2%)が3割強、「3つ」(10.4%)が1割となっている。

診療科数の平均(無回答を除く平均値、以下同じ)は1.65となっている。

### 【性別】

「1つ」(男性 56.8%、女性 47.5%)の割合は、男性の方が高い。女性は「2つ」(男性 26.9%、女性 34.4%)の割合が高い。

診療科数の平均を見ると、男性が1.62、女性が1.68でほとんど差が見られない。

### 【年齢別】

30代、40代、50代は「1つ」が過半数を占めている。

診療科数の平均を見ると、70歳以上(1.93)の次に20代(1.86)が多い。

### 【居住地域別】

県南地域、会津地域、県中地域は「1つ」の割合が比較的高い。

診療科数の平均を見ると、県北地域(1.75)、いわき地域(1.73)、相双地域(1.71)が比較的多くなっている。

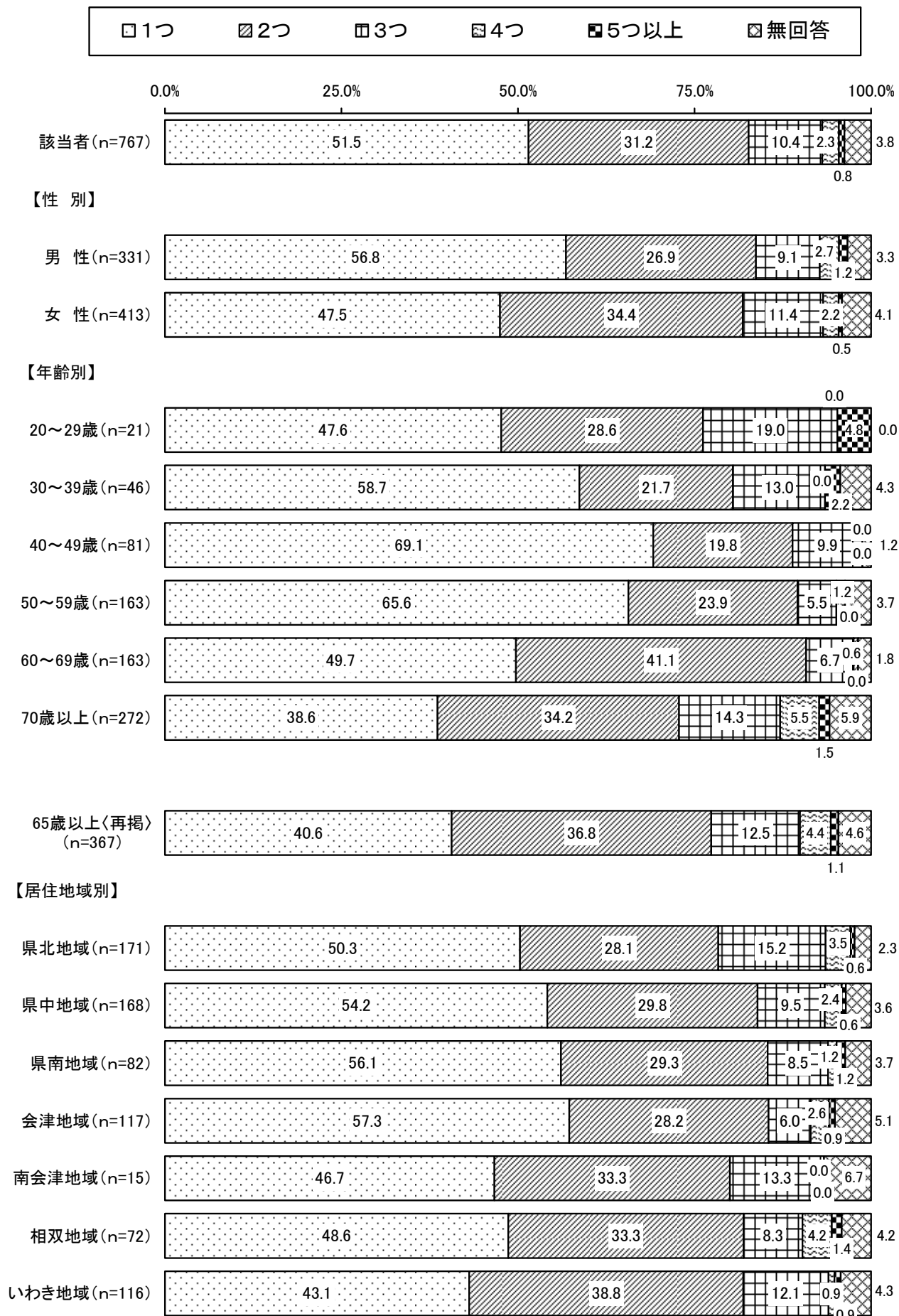
診療科数の平均

区 分	診療科数 の平均
該当者	1.65
【性 別】 男性	1.62
女性	1.68
【年齢別】 20～29 歳	1.86
30～39 歳	1.59
40～49 歳	1.40
50～59 歳	1.40
60～69 歳	1.58
70 歳以上	1.93
65 歳以上 〈再掲〉	1.85

区 分	診療科数 の平均
【居住地域別】 県北地域	1.75
県中地域	1.60
県南地域	1.57
会津地域	1.54
南会津地域	1.64
相双地域	1.71
いわき地域	1.73



図 28 通院している診療科数（該当者／性別／年齢別／居住地域別）

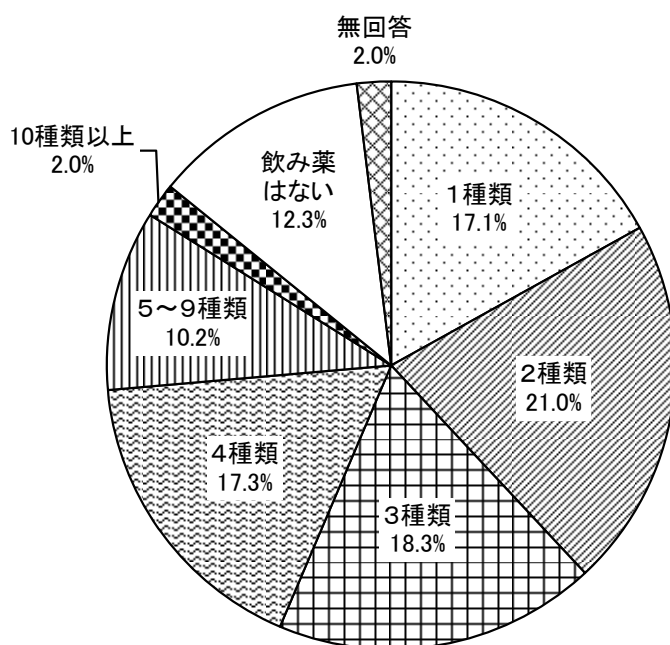


### (3) 飲み薬の種類

(前問で「通っている」とお答えの方にお尋ねします。)

問 あなたは、通っている病院・診療所（医院・歯科医院）から処方された薬を1日に何種類飲んでいきますか。

該当者(n=767)



#### 【全体結果】

飲み薬の種類は、「1種類」が17.1%、「2種類」が21.0%、「3種類」が18.3%となっており、『3種類以下』(56.4%)で過半数を占めている。

「5~9種類」(10.2%)が1割、「10種類以上」が2.0%となっている。

また、「飲み薬はない」(12.3%)が1割強を占めている。

無回答を除く平均（「飲み薬はない」は「0種類」として含めた、以下同じ）は、2.88種類となっている。

#### 【性別】

飲み薬の種類の平均を見ると、男性（3.03種類）の方が女性（2.73種類）よりもやや多い。

#### 【年齢別】

飲み薬の種類の平均を見ると、70歳以上（3.69種類）が最も多く、最も少ない20代（1.72種類）の2倍以上となっている。

#### 【居住地域別】

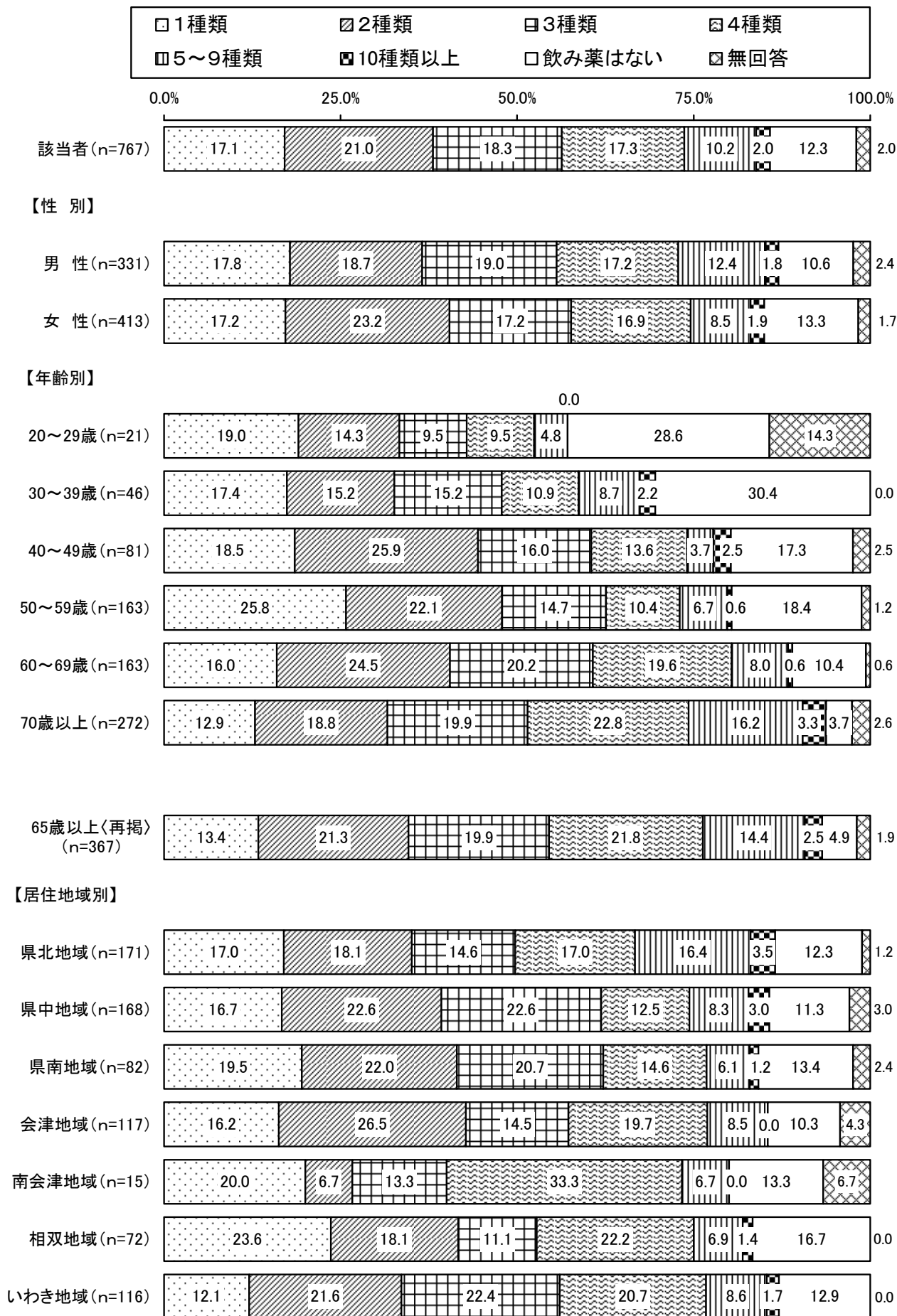
飲み薬の種類の平均を見ると、県北地域（3.31種類）が最も多く、県南地域（2.51種類）、相双地域（2.57種類）は比較的少ない。

飲み薬の種類（平均）

区 分	飲み薬 の種類 (平均)
該当者	2.88
【性 別】 男性	3.03
女性	2.73
【年齢別】 20～29 歳	1.72
30～39 歳	2.20
40～49 歳	2.32
50～59 歳	2.15
60～69 歳	2.79
70 歳以上	3.69
65 歳以上 〈再掲〉	3.47

区 分	飲み薬 の種類 (平均)
【居住地域別】 県北地域	3.31
県中地域	2.80
県南地域	2.51
会津地域	2.68
南会津地域	2.86
相双地域	2.57
いわき地域	2.93

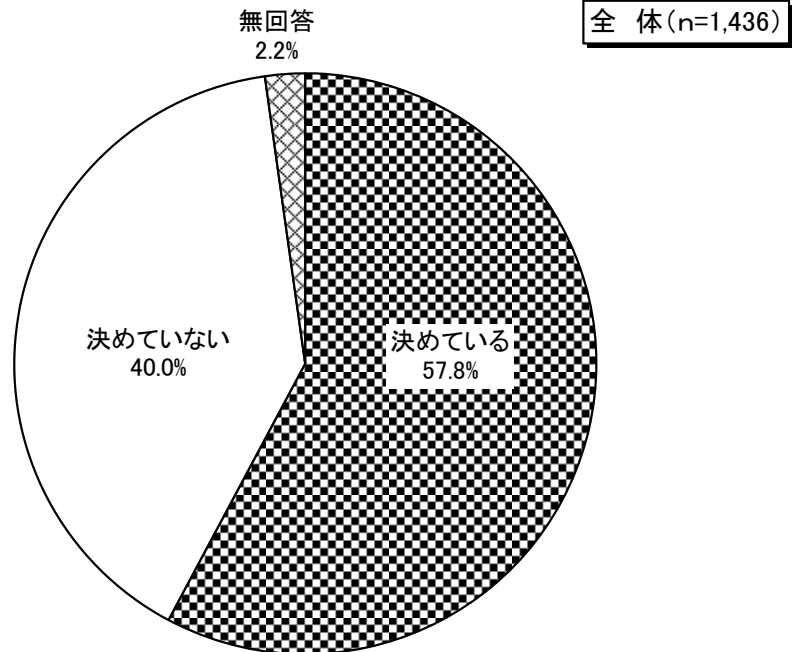
図 29 飲み薬の種類（該当者／性別／年齢別／居住地域別）



## 11. かかりつけ薬局

### (1) かかりつけ薬局の有無

問 あなたは、自分の『かかりつけ薬局』（病院・医院などでわたされた“処方せん”を持って行って薬を出してもらう薬局）を決めていますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



#### 【全体結果】

「決めている」(57.8%)が6割弱を占めた。「決めていない」(40.0%)は4割となっている。

#### 【性別】

「決めている」(男性52.4%、女性62.5%)の割合は、女性の方が高い。

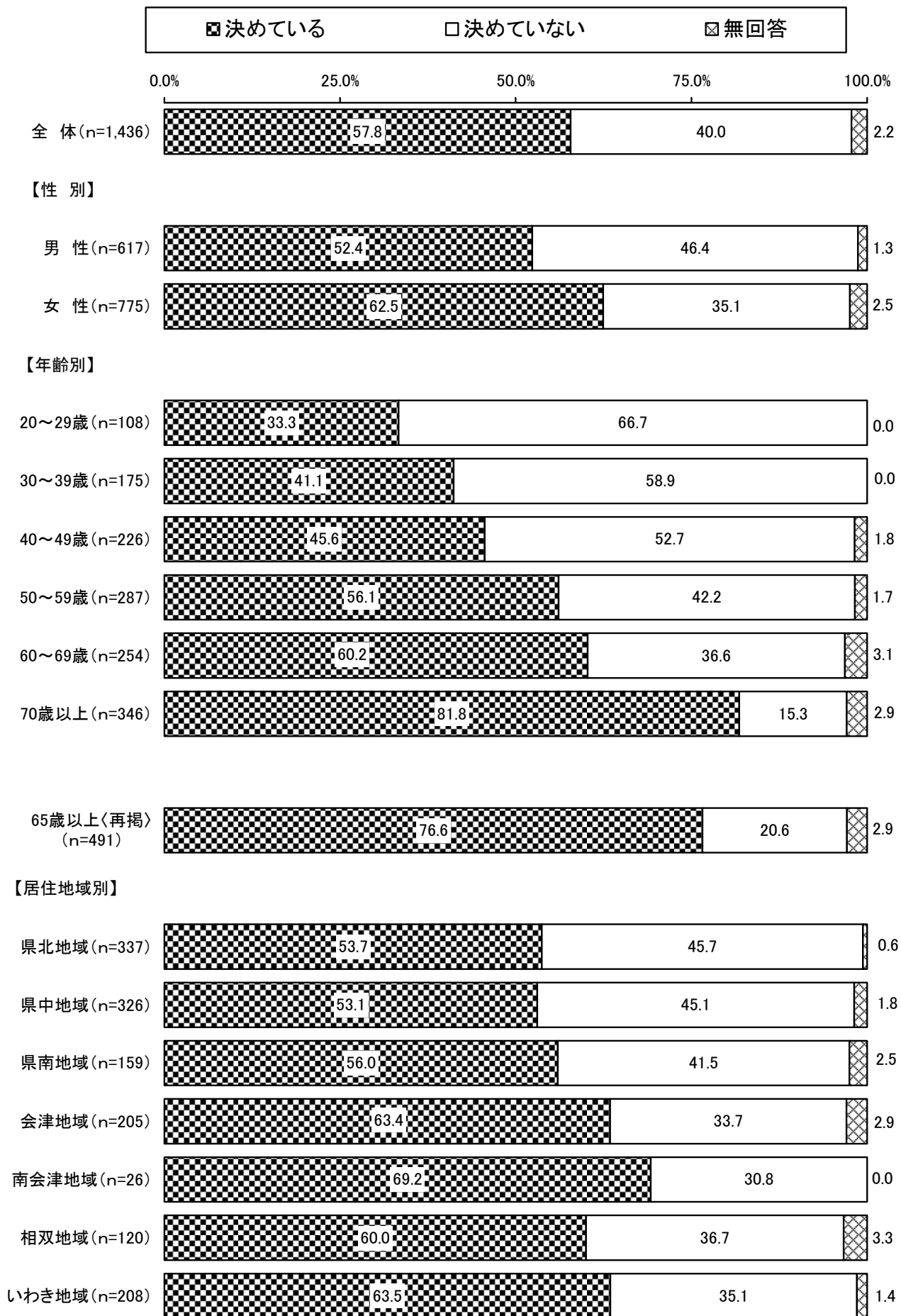
#### 【年齢別】

「決めている」の割合は、年齢が上がるほど上昇しており、70歳以上(81.8%)では8割強に達している。

#### 【居住地域別】

「決めている」の割合は、いわき地域(63.5%)、会津地域(63.4%)、相双地域(60.0%)、南会津地域(69.2%)の4地域が比較的高い。

図 30 かかりつけ薬局の有無（全体／性別／年齢別／居住地域別）

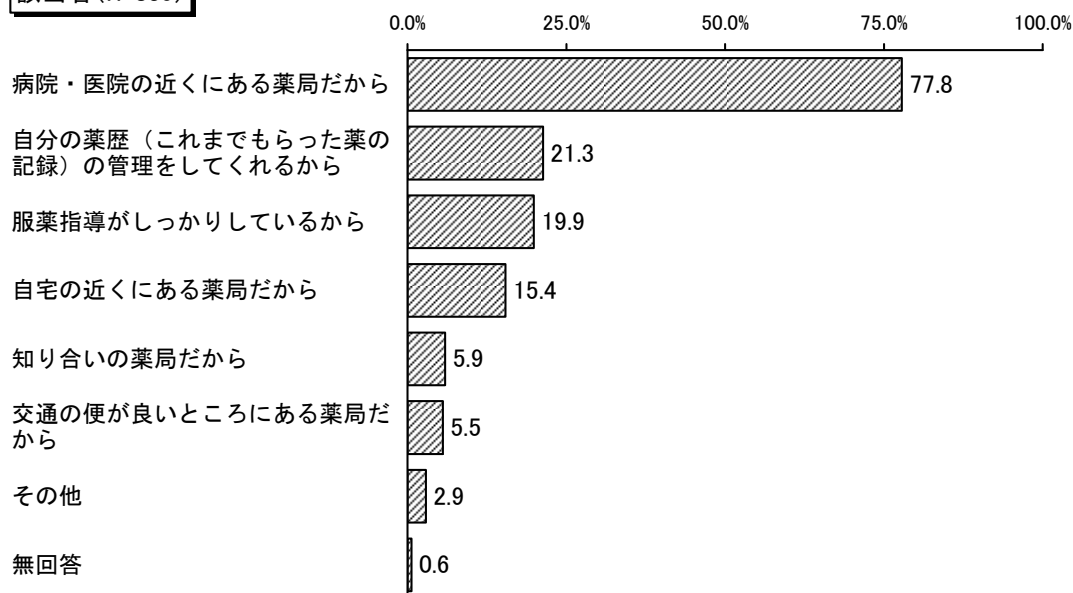


## (2) かかりつけ薬局を決めている理由

(前問で「決めている」とお答えの方にお尋ねします。)

問 『かかりつけ薬局』を決めている理由は何ですか。  
あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。

該当者(n=830)



### 【全体結果】

『かかりつけ薬局』を決めている理由は、「病院・医院の近くにある薬局だから」(77.8%)が最も多くあげられた。

かなり割合が低下するが、「自分の薬歴（これまでもらった薬の記録）の管理をしてくれるから」(21.3%)、「服薬指導がしっかりしているから」(19.9%)が2割前後で続く。

「自宅の近くにある薬局だから」(15.4%)が1割台、「知り合いの薬局だから」が5.9%、「交通の便が良いところにある薬局だから」が5.5%となっている。

### 【性別】

「病院・医院の近くにある薬局だから」(男性 75.5%、女性 79.5%)の割合は女性の方がやや高い。他は男女の差がほとんど見られない。

### 【年齢別】

「病院・医院の近くにある薬局だから」の割合は、30代(80.6%)、40代(81.6%)、60代(81.0%)でやや高い。

「服薬指導がしっかりしているから」は70歳以上(27.6%)の割合が高い。

「自宅の近くにある薬局だから」は20代から40代で2割を超え、50代以上に比べ高くなっている。

### 【居住地域別】

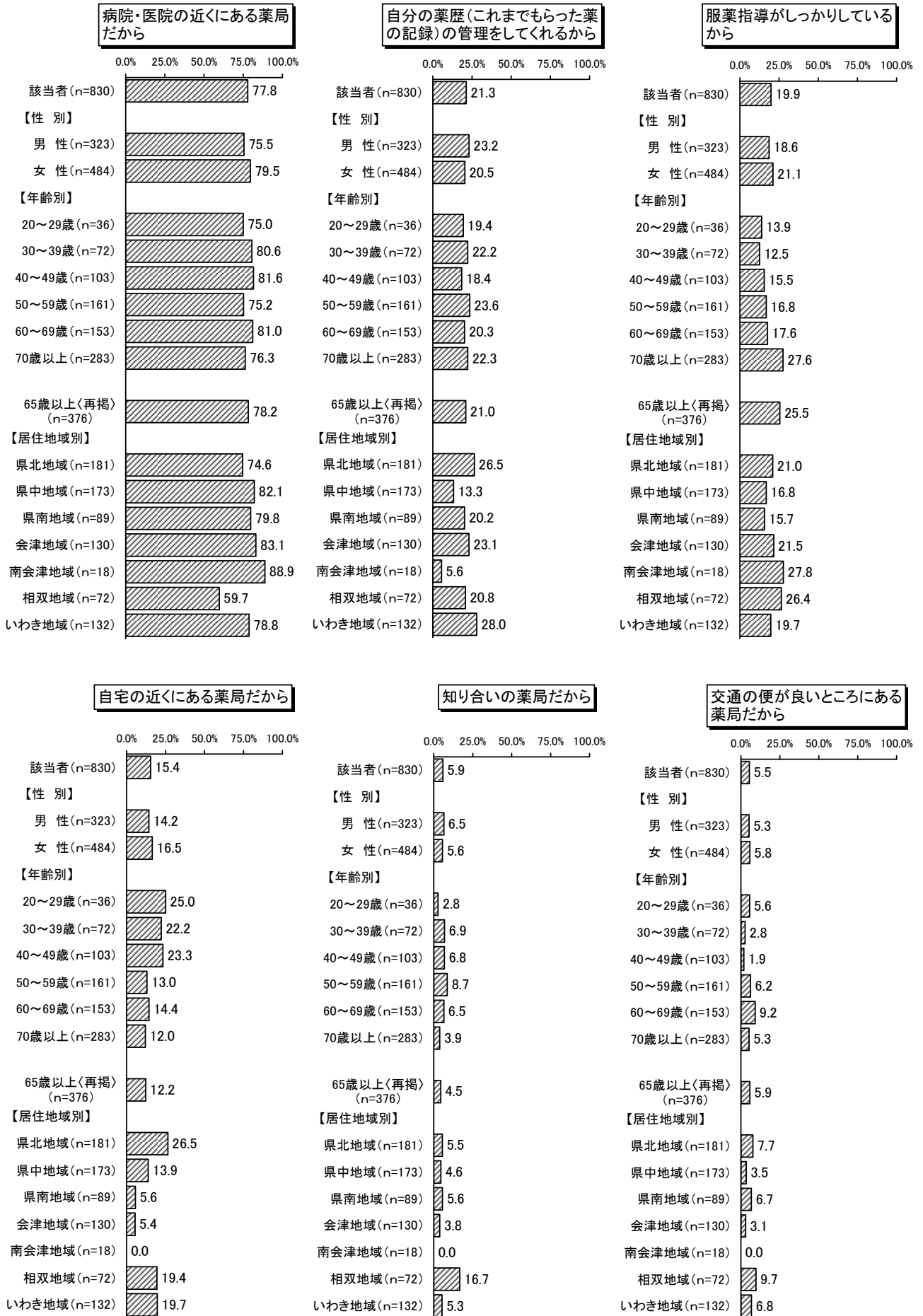
「病院・医院の近くにある薬局だから」の割合は相双地域(59.7%)で低い。相双地域は「服薬指導がしっかりしているから」(27.8%)、「知り合いの薬局だから」(16.7%)の割合が高い。

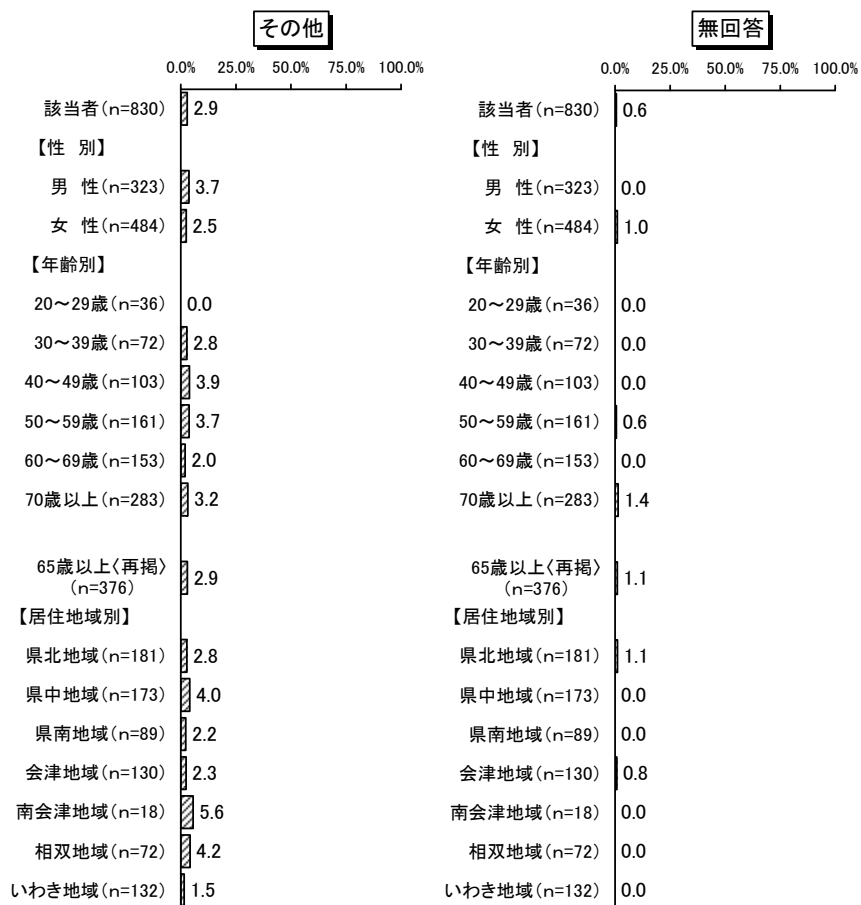
「自分の薬歴（これまでもらった薬の記録）の管理をしてくれるから」の割合は、いわき地域（28.0%）、県北地域（26.5%）で比較的高くなっている。

「自宅の近くにある薬局だから」は、県北地域（26.5%）、いわき地域（19.7%）、相双地域（19.4%）で比較的高くなっている。



図 31 かかりつけ薬局を決めている理由（該当者／性別／年齢別／居住地域別）



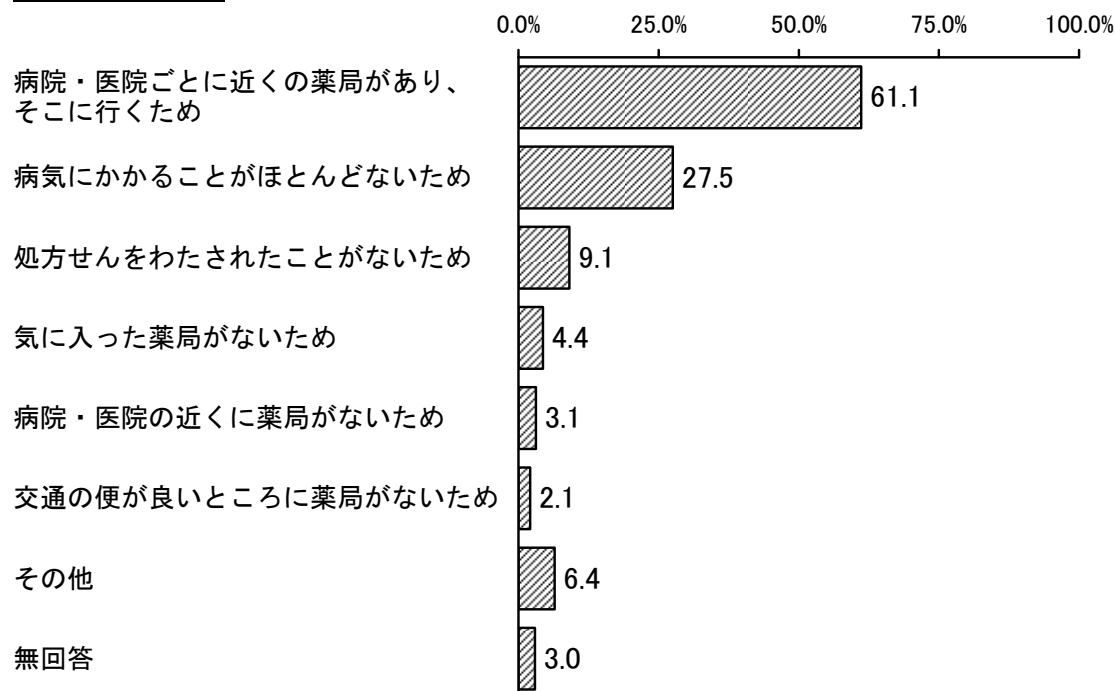


### (3) かかりつけ薬局を決めていない理由

(前問で「決めていない」とお答えの方にお尋ねします。)

問 『かかりつけ薬局』を決めていない理由は何ですか。  
あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。

該当者(n=574)



#### 【全体結果】

『かかりつけ薬局』を決めていない理由は、「病院・医院ごとに近くの薬局があり、そこに行くため」(61.1%)が最も多くあげられた。

かなり割合が低下するが、「病気にかかることがほとんどないため」(27.5%)が3割弱、「処方せんをわたされたことがないため」(9.1%)が1割弱で続いている。

「気に入った薬局がないため」が4.4%、「病院・医院の近くに薬局がないため」が3.1%、「交通の便が良いところに薬局がないため」が2.1%となっている。

#### 【性別】

「病院・医院ごとに近くの薬局があり、そこに行くため」(男性 59.8%、女性 62.5%)、「病気にかかることがほとんどないため」(男性 28.3%、女性 26.1%)で若干男女差が見られる程度で、他はほとんど差が見られない。

#### 【年齢別】

「病院・医院ごとに近くの薬局があり、そこに行くため」の割合は30代(72.8%)が最も高く、40代以上は年齢が上がるほど低下する傾向が見られる。

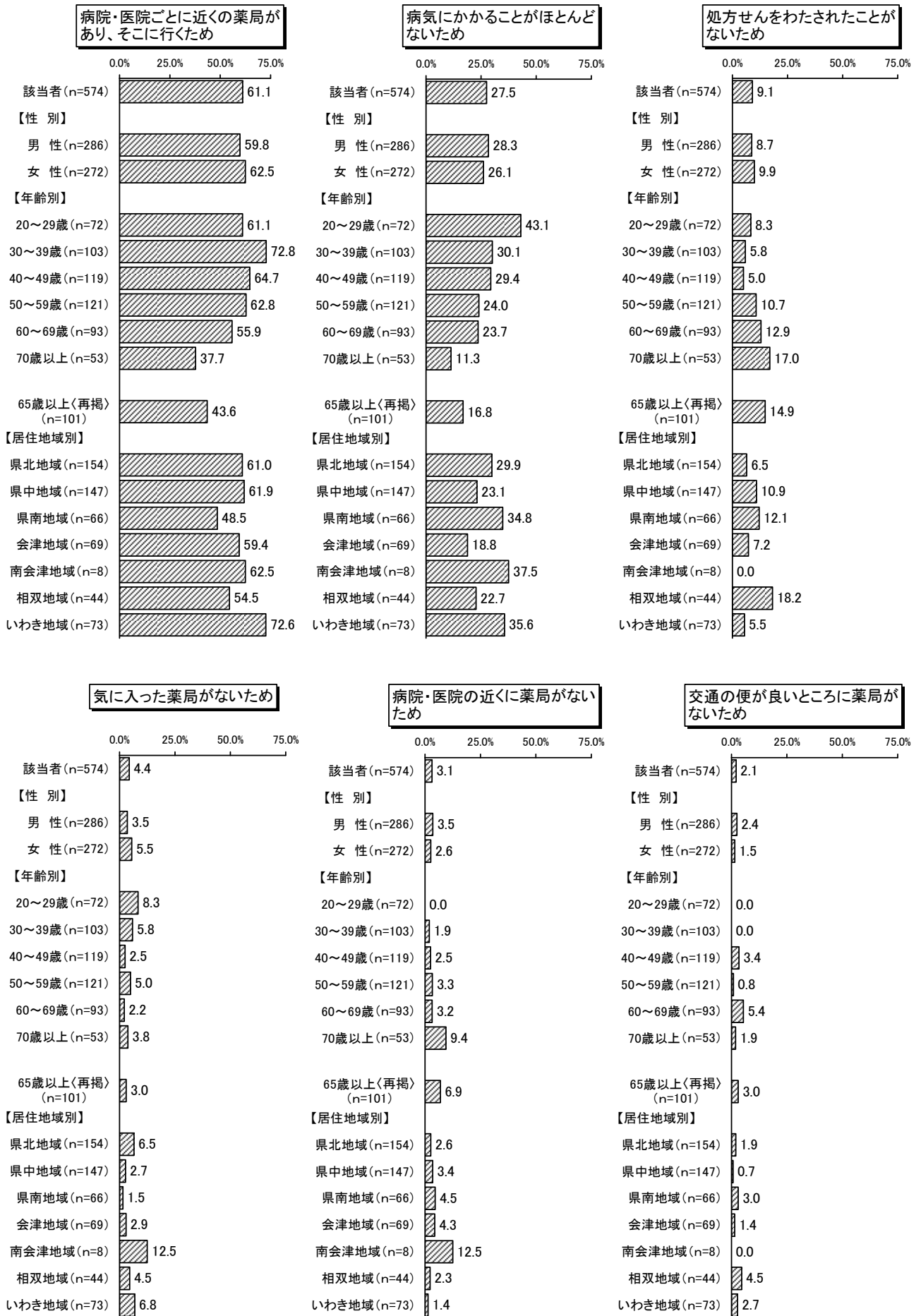
また、「病気にかかることがほとんどないため」は20代(43.1%)が最も高く、年齢が上がるほど割合が低下している。

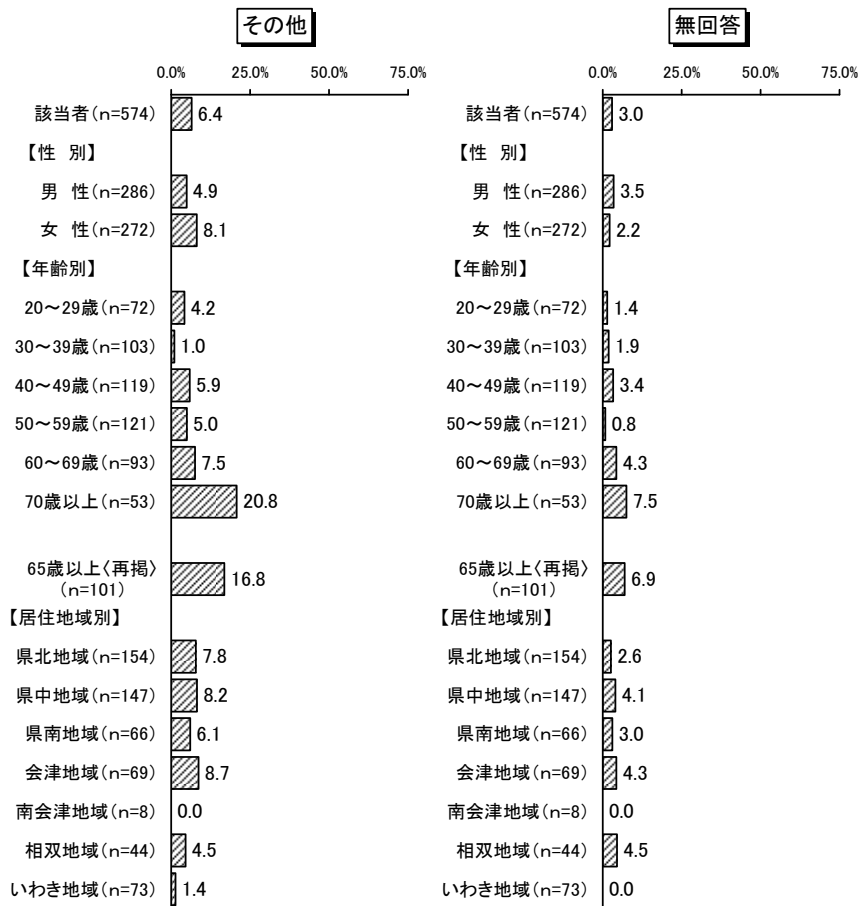
**【居住地域別】**

「病院・医院ごとに近くの薬局があり、そこに行くため」の割合は、いわき地域（72.6%）が最も高い。

「病気にかかることがほとんどないため」は、いわき地域（35.6%）、県南地域（34.8%）、南会津地域（37.5%）で比較的高い。

図 32 かかりつけ薬局を決めていない理由（該当者／性別／年齢別／居住地域別）

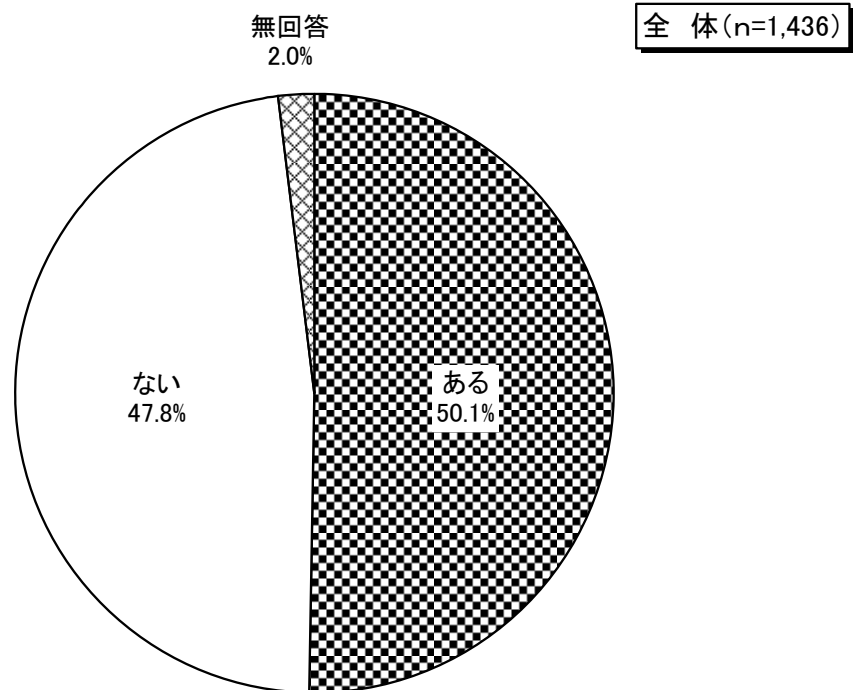




## 12. 献血

### (1) 献血をした経験の有無

問 あなたは、献血をしたことがありますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



#### 【全体結果】

「ある」(50.1%)が半数を占めた。「ない」は47.8%となっている。

#### 【性別】

「ある」(男性58.8%、女性43.6%)の割合は、男性の方が高い。

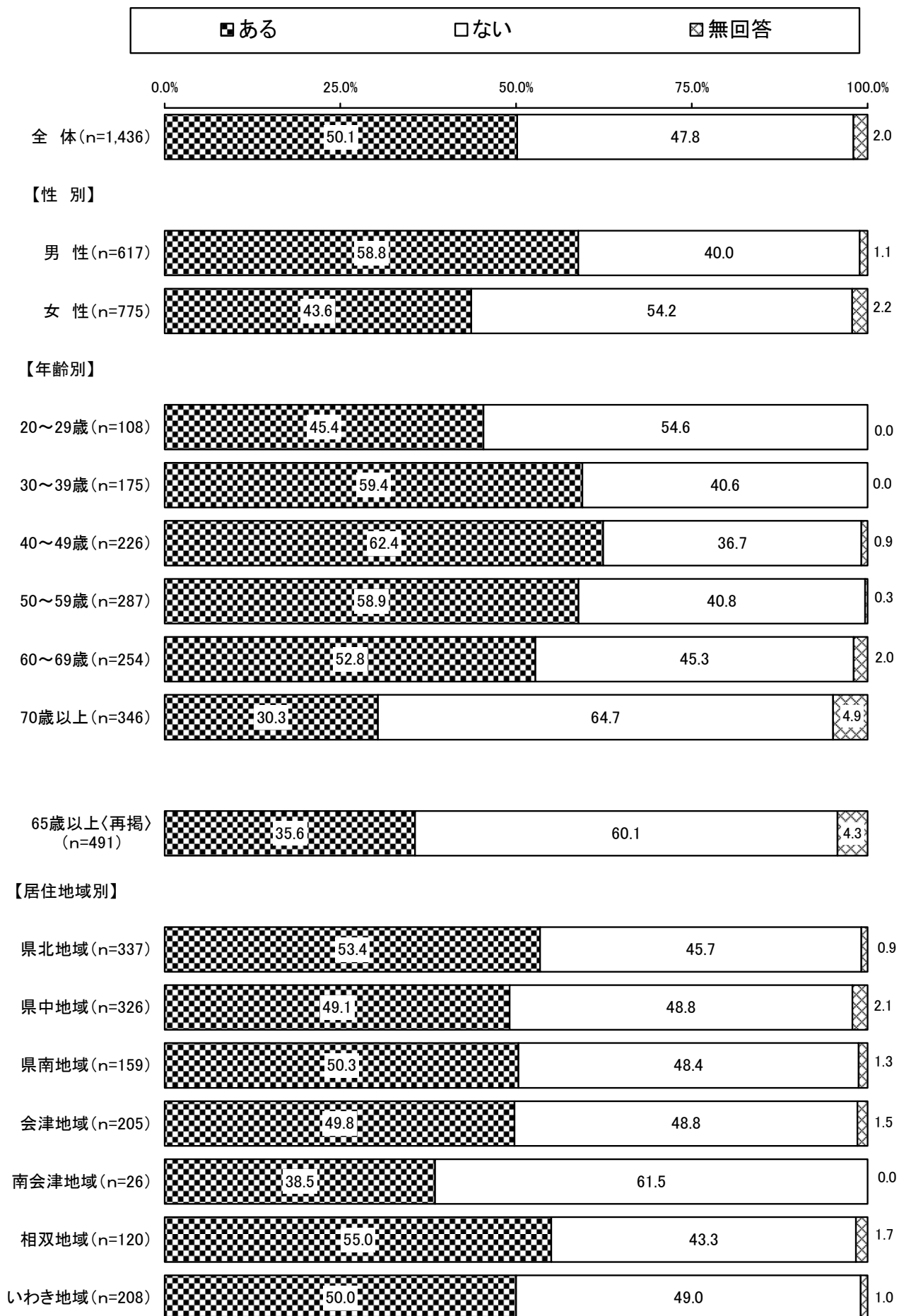
#### 【年齢別】

「ある」の割合は40代(62.4%)が最も高い。20代から40代まで上昇し、40代をピークに低下している。

#### 【居住地域別】

「ある」の割合は、相双地域(55.0%)と県北地域(53.4%)が比較的高い。

図 33 献血をした経験の有無（全体／性別／年齢別／居住地域別）



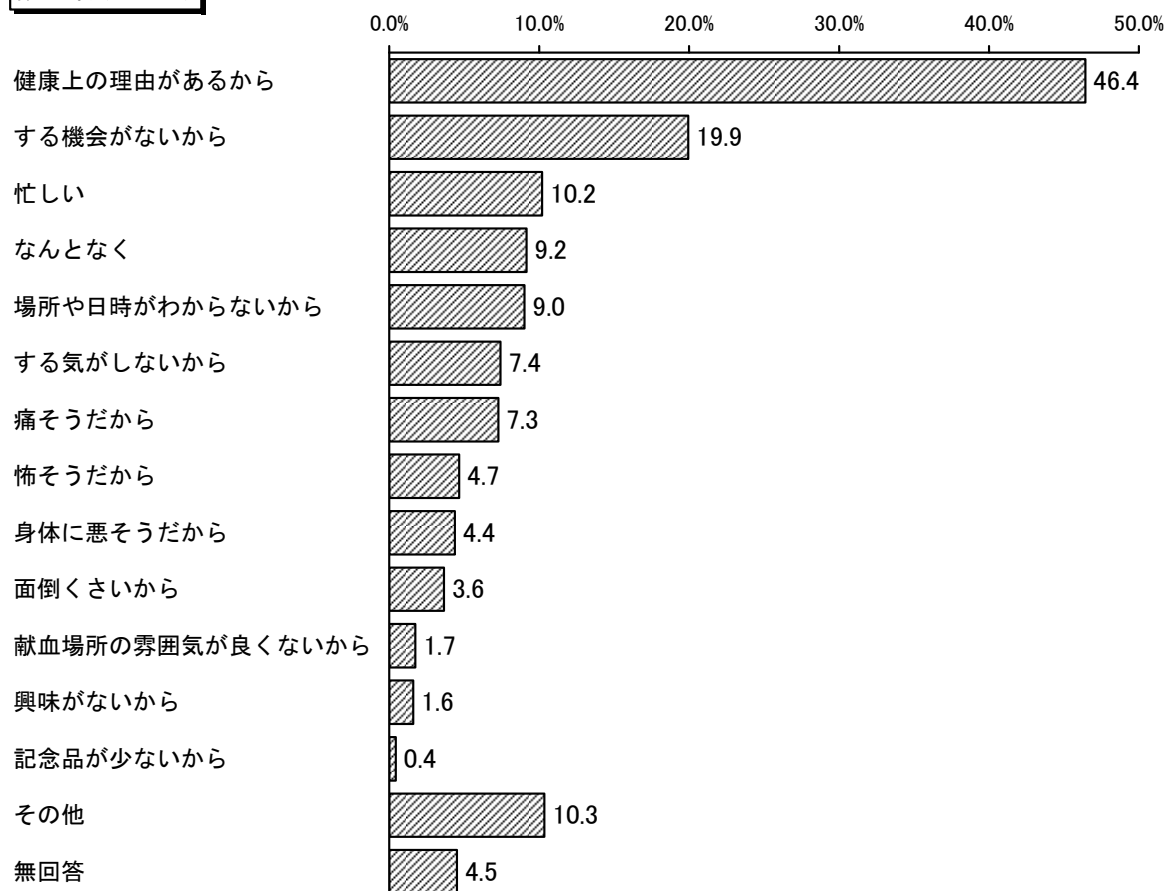


## (2) 献血をしない理由

(前問で「ない」とお答えの方にお尋ねします。)

問 あなたが献血をしない理由は何ですか。  
あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。

該当者(n=687)



### 【全体結果】

献血をしない理由は「健康上の理由があるから」(46.4%)が最も多くあげられた。かなり割合が低下するが、「する機会がないから」(19.9%)が2割で続く。

以下、「忙しい」(10.2%)、「なんとなく」(9.2%)、「場所や日時がわからないから」(9.0%)が1割程度となっている。

### 【性別】

「健康上の理由があるから」(男性 38.1%、女性 52.9%)の割合は、女性の方が高く5割を超えた。「する機会がないから」(男性 28.3%、女性 15.5%)、「忙しい」(男性 17.0%、女性 6.7%)、「なんとなく」(男性 11.3%、女性 8.3%)、「場所や日時がわからないから」(男性 14.2%、女性 6.2%)は、いずれも男性の方が高い。

### 【年齢別】

「健康上の理由があるから」の割合は、年齢が上がるほど上昇する傾向が見られる。50代以上になると5割を超えている。

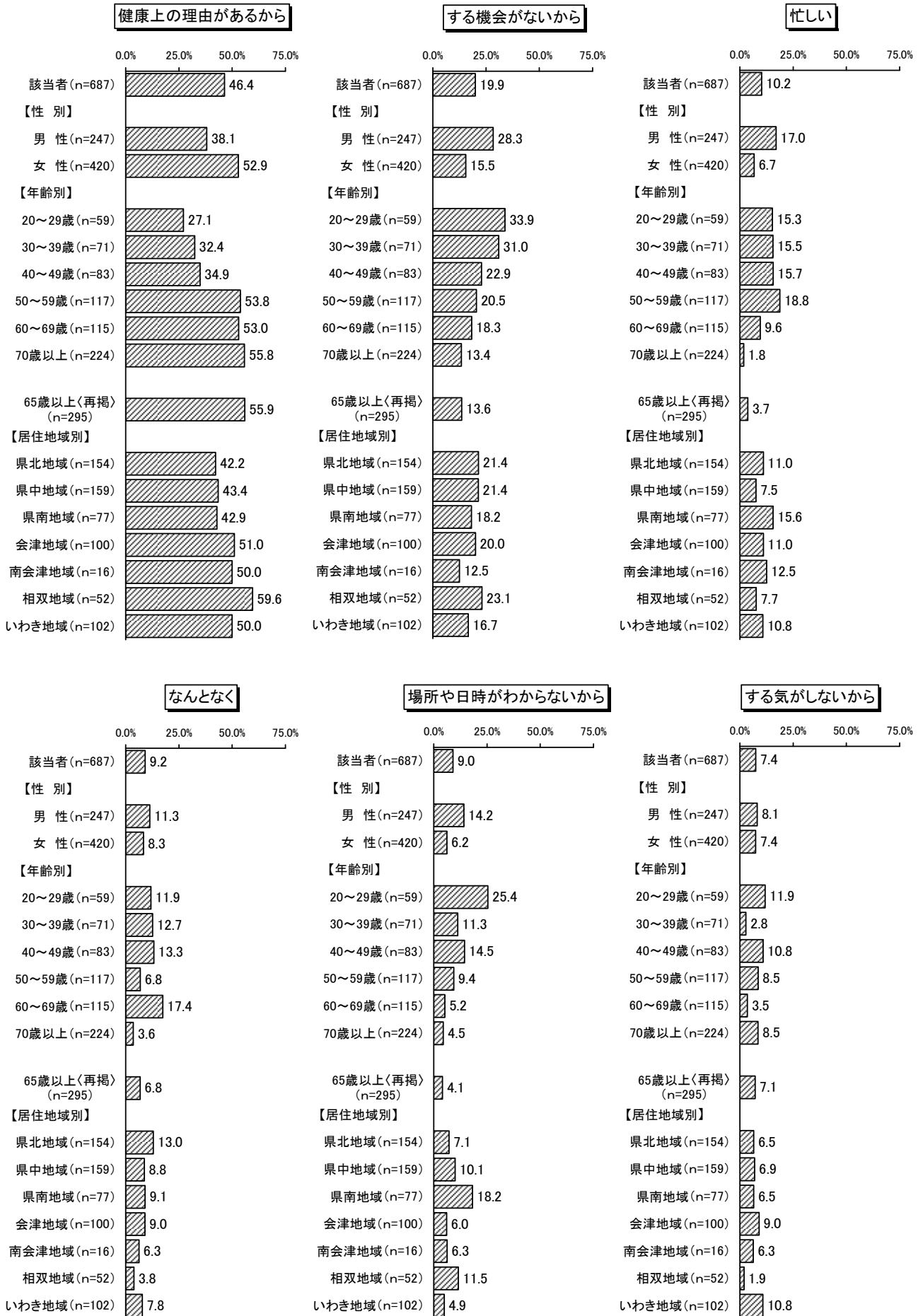
「する機会がないから」は20代(33.9%)が最も高く、年齢が上がるほど割合が低下し

ている。また、20代では「場所や日時がわからないから」（25.4%）の割合も高くなっている。

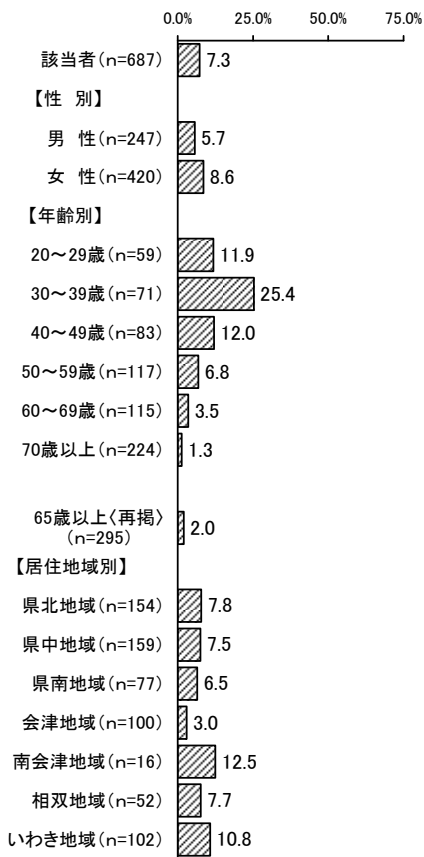
**【居住地域別】**

「健康上の理由があるから」は相双地域（59.6%）で、「場所や日時がわからないから」は県南地域（18.2%）で、それぞれ高い割合となっている。

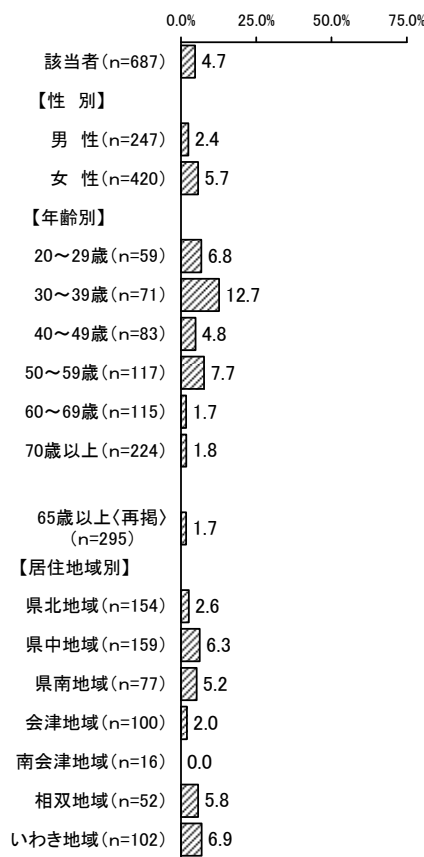
図 34 献血をしない理由（該当者／性別／年齢別／居住地域別）



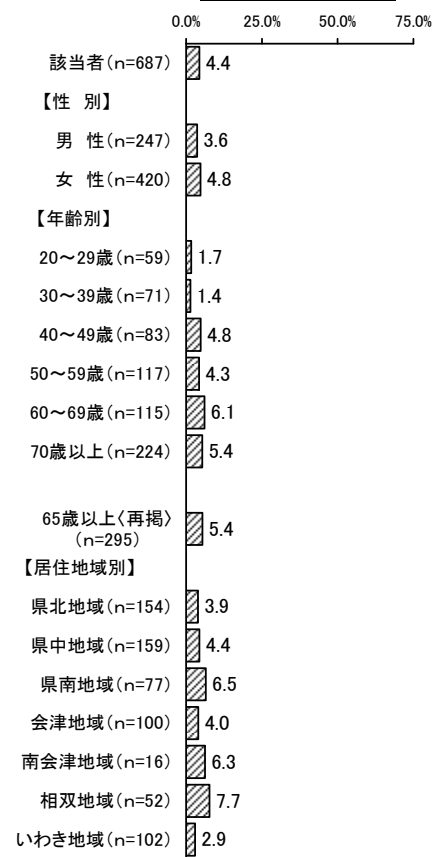
痛そうだから



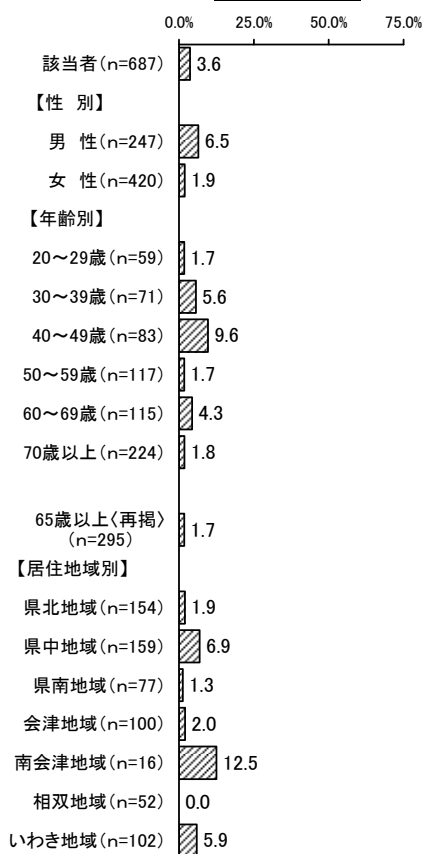
怖そうだから



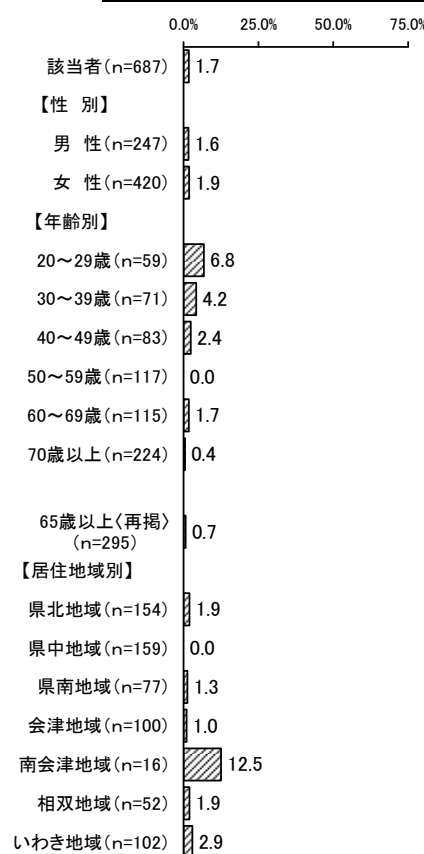
身体に悪そうだから



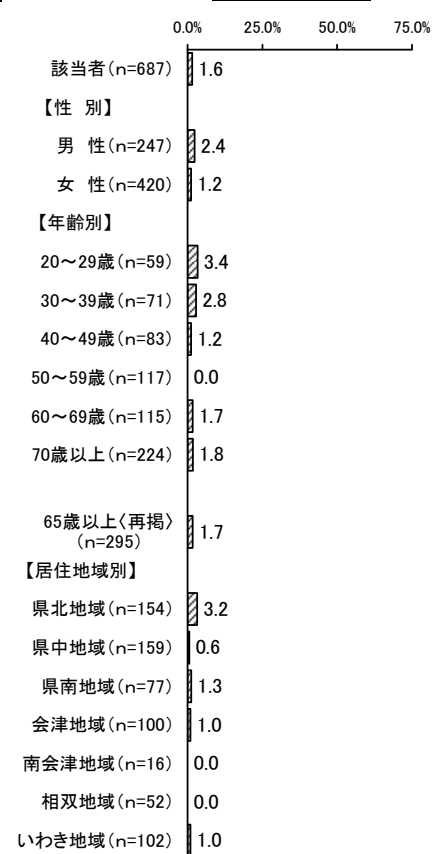
面倒くさいから

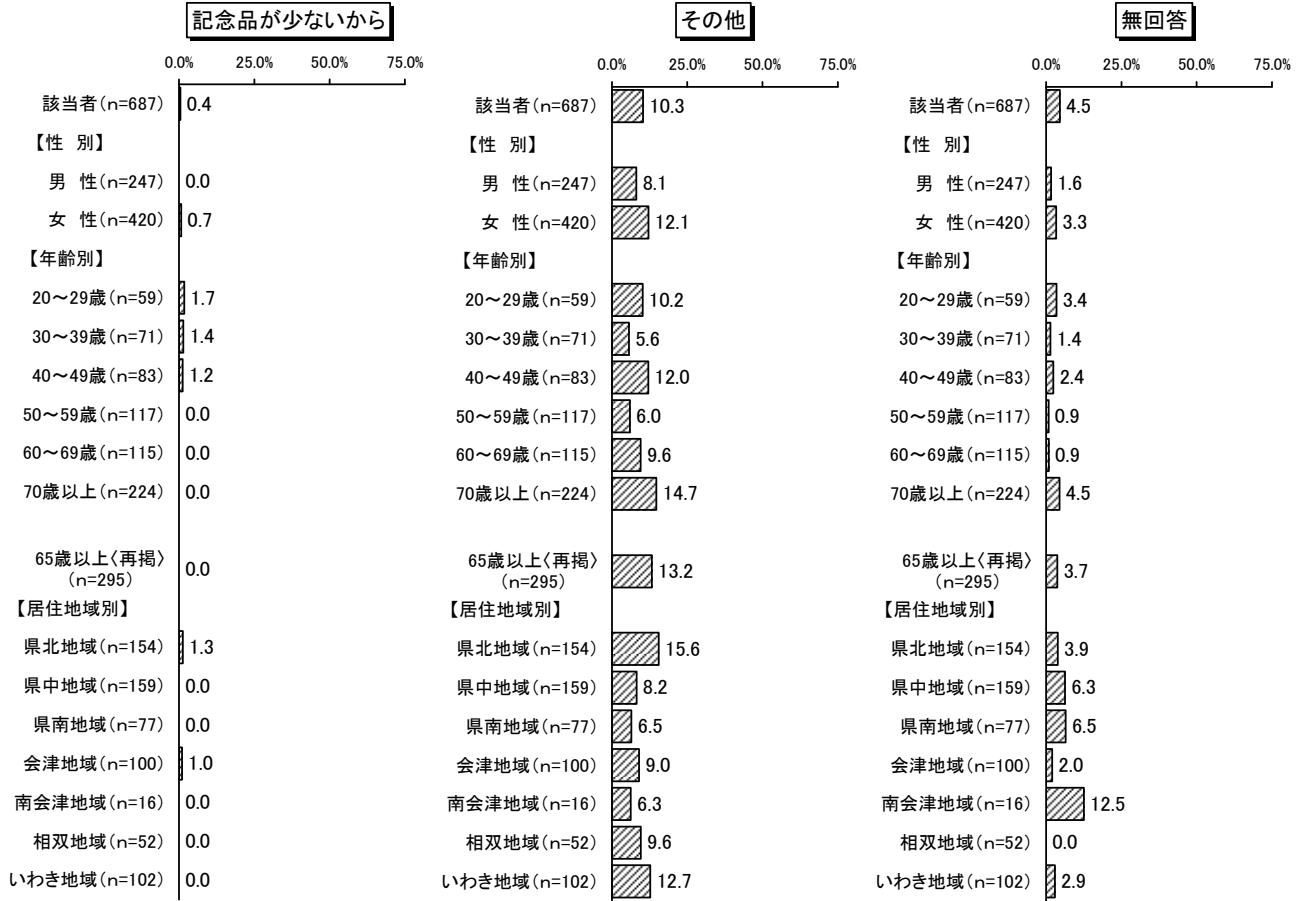


献血場所の雰囲気が良くないから



興味が無いから

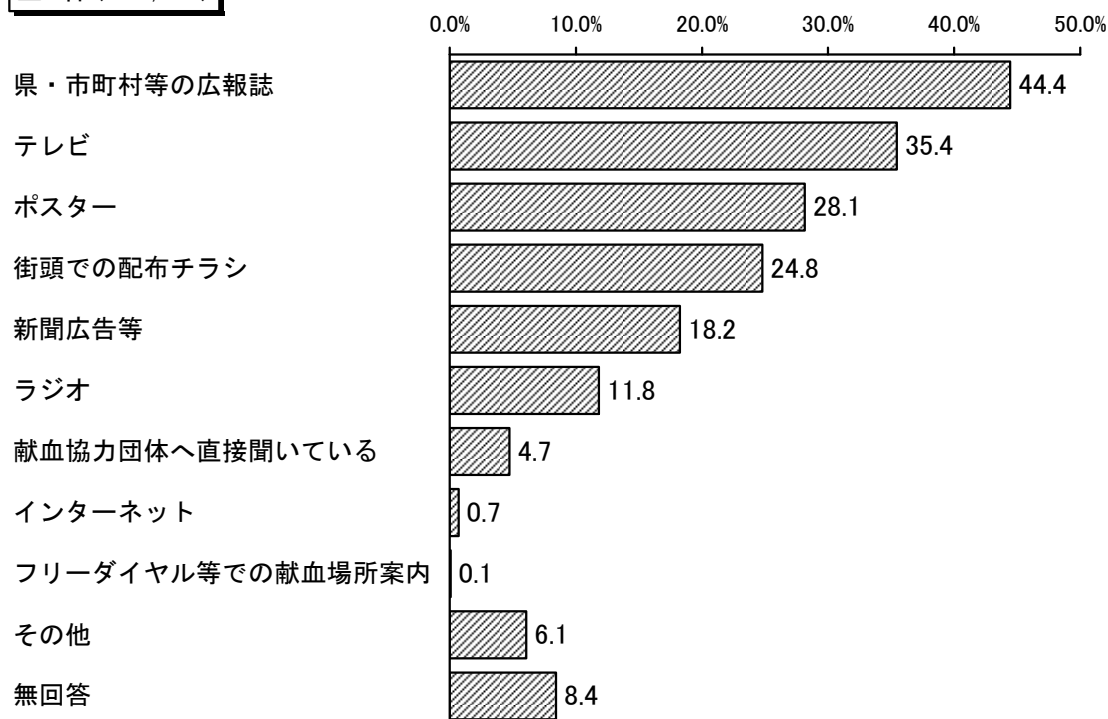




### (3) 献血についての知識・情報の入手経路

問 あなたは、献血についての知識や情報をどのようなものから得ていますか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

全体(n=1,436)



#### 【全体結果】

「県・市町村等の広報誌」(44.4%)が最も多い。次いで多かったのは「テレビ」(35.4%)である。以下、「ポスター」(28.1%)、「街頭での配布チラシ」(24.8%)、「新聞広告等」(18.2%)、「ラジオ」(11.8%)などとなっている。

#### 【性別】

「県・市町村等の広報誌」(男性 47.2%、女性 44.4%)と「ラジオ」(男性 14.4%、女性 10.3%)は、男性の方がやや高い割合となっている。

逆に「テレビ」(男性 34.4%、女性 38.3%)と「街頭での配布チラシ」(男性 23.0%、女性 27.4%)は女性の方が高い。

#### 【年齢別】

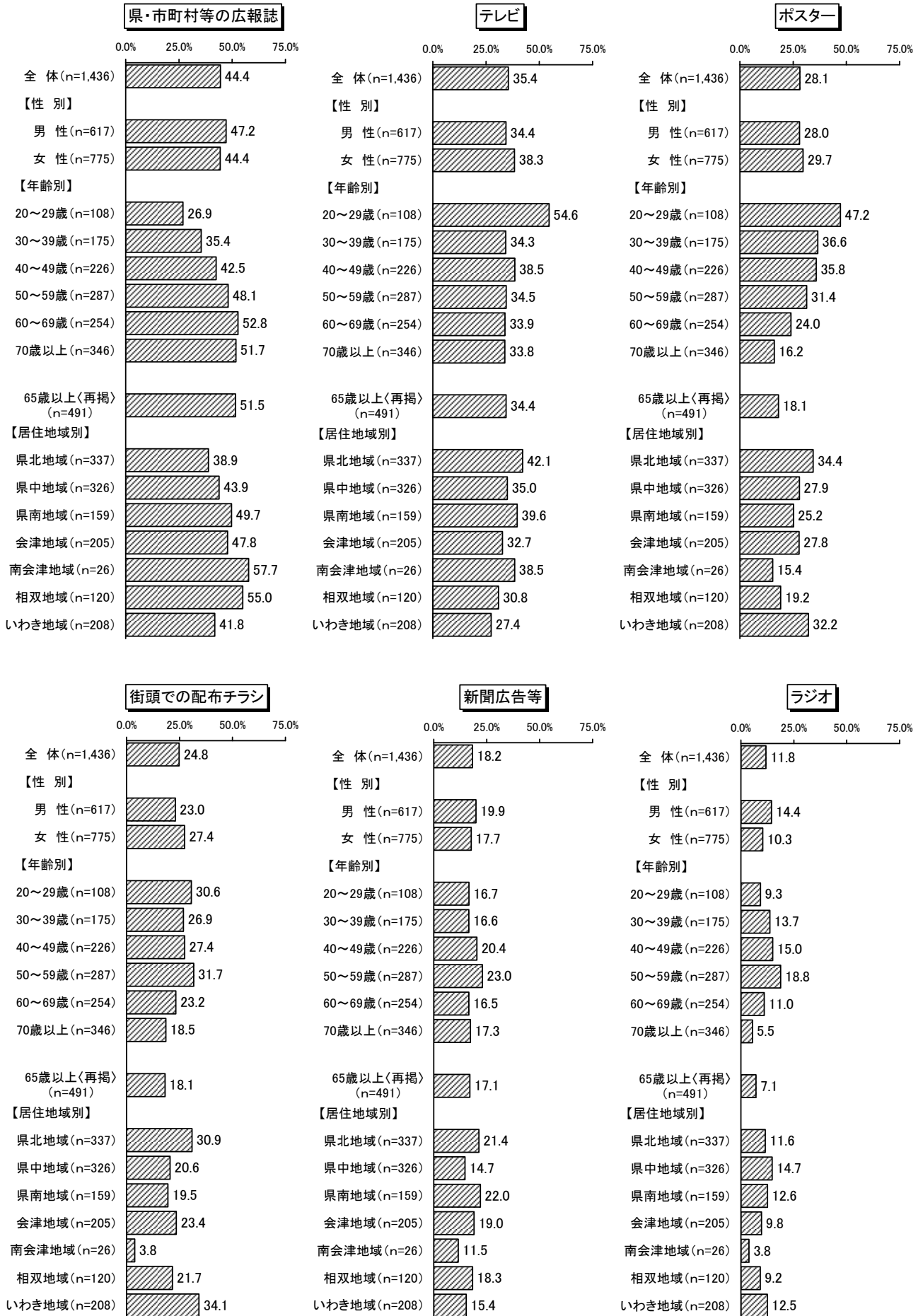
「県・市町村等の広報誌」の割合は60代(52.8%)と70歳以上(51.7%)で高く、年齢が上がるほど上昇する傾向が見られる。

逆に「ポスター」は20代(47.2%)が最も高く、年齢が上がるほど割合が低下している。また、20代では「テレビ」(54.6%)の割合が30代以上に比べ高い。

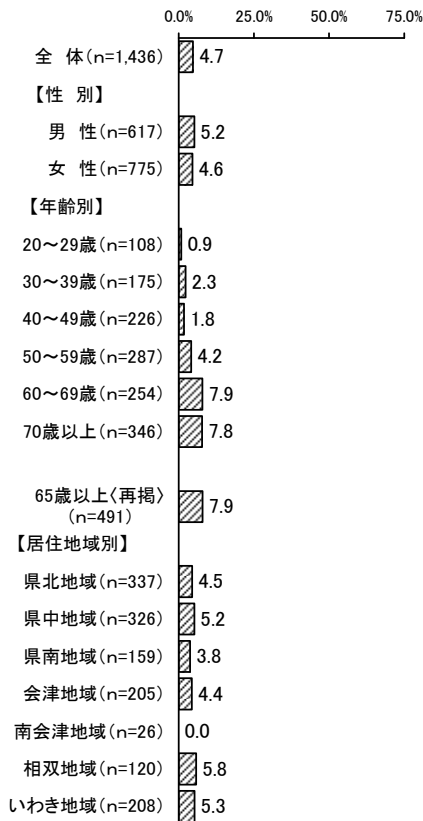
#### 【居住地域別】

「県・市町村等の広報誌」の割合は、相双地域(55.0%)と南会津地域(57.7%)が比較的高い。「テレビ」は県北地域(42.1%)で、「ポスター」は県北地域(34.4%)といわき地域(32.2%)で、「街頭での配布チラシ」もいわき地域(34.1%)と県北地域(30.9%)で、それぞれ高い割合となっている。

図 35 献血についての知識・情報の入手経路（全体／性別／年齢別／居住地域別）



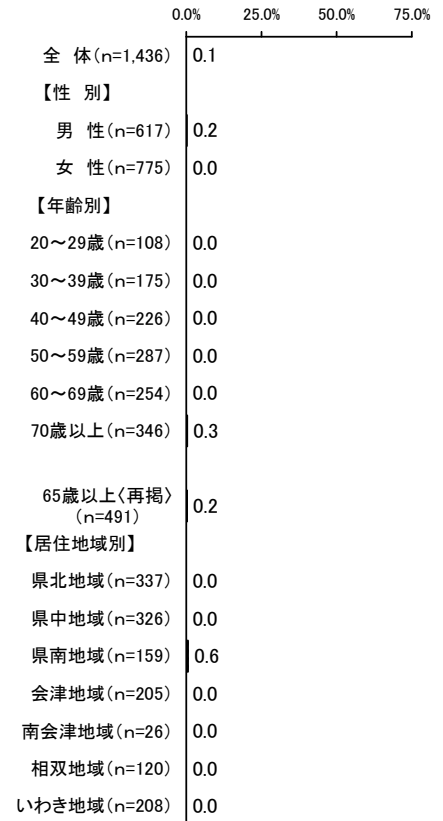
献血協力団体へ直接  
聞いている



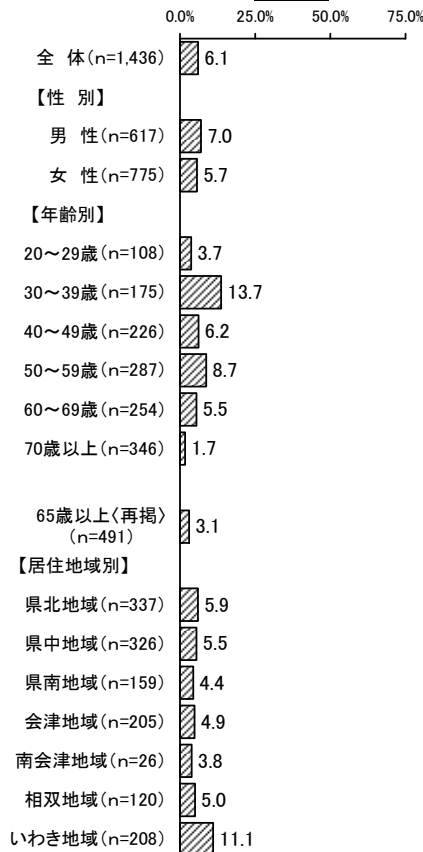
インターネット



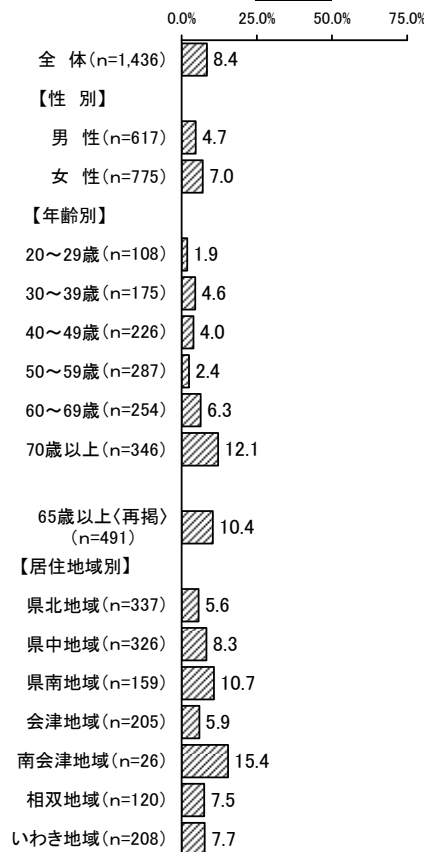
フリーダイヤル等での  
献血場所案内



その他



無回答



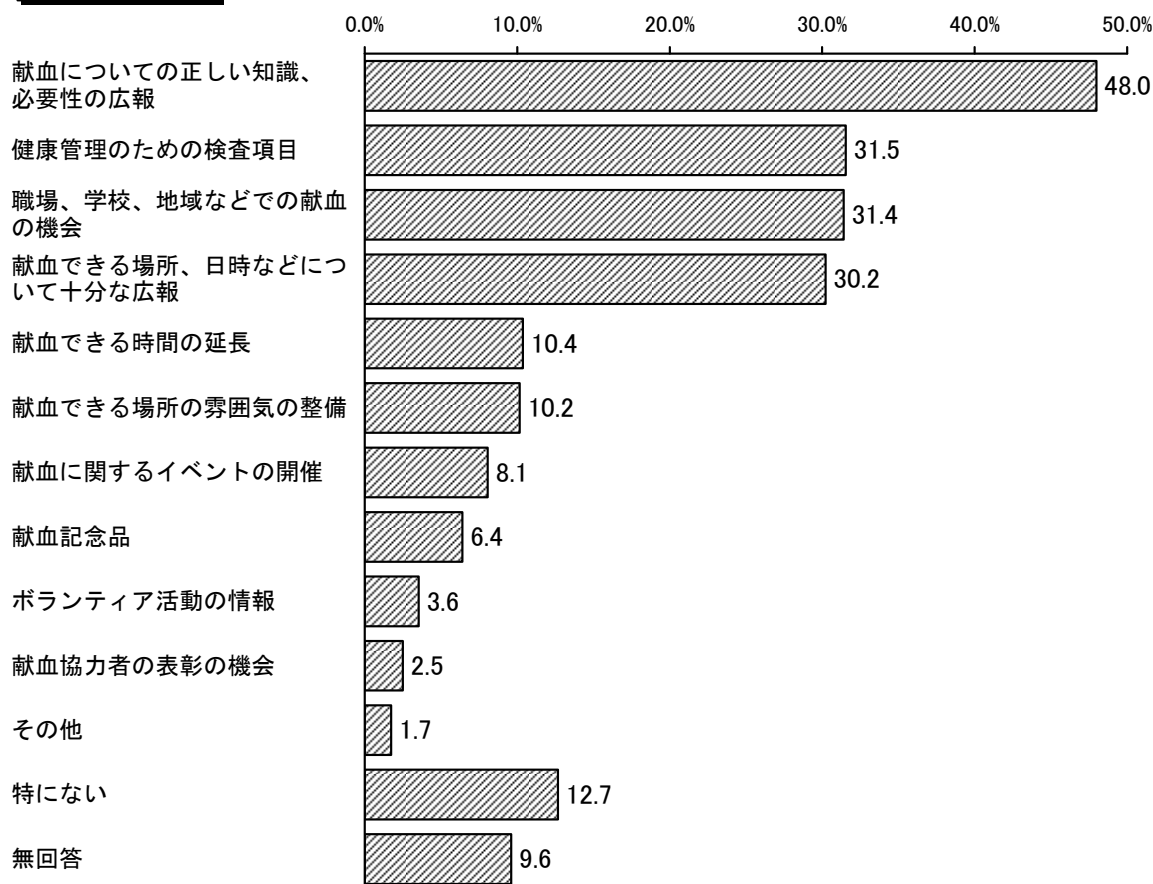


#### (4) 今後充実してほしい献血の推進策

問 あなたは、献血の推進方策について、これから充実してほしいと思うことは何ですか。

あてはまるものに3つまで○をつけてください。

全体(n=1,436)



#### 【全体結果】

「献血についての正しい知識、必要性の広報」(48.0%)が最も望まれている。「健康管理のための検査項目」(31.5%)、「職場、学校、地域などでの献血の機会」(31.4%)、「献血できる場所、日時などについて十分な広報」(30.2%)が3割強で続き、「献血できる時間の延長」(10.4%)、「献血できる場所の雰囲気の整備」(10.2%)が1割となっている。

また、「特にない」(12.7%)が1割強を占めている。

#### 【性別】

「献血についての正しい知識、必要性の広報」(男性52.5%、女性46.8%)、「職場、学校、地域などでの献血の機会」(男性35.5%、女性29.5%)、「献血できる場所、日時などについて十分な広報」(男性35.0%、女性28.0%)は、いずれも男性の方が高い割合となっている。

一方、「献血できる場所の雰囲気の整備」(男性8.6%、女性11.9%)は、女性の方がやや高い割合となっている。

#### 【年齢別】

「献血についての正しい知識、必要性の広報」の割合は50代(56.8%)、60代

(52.0%) で高い。

「健康管理のための検査項目」は30代から60代の幅広い年代で4割から4割弱となっている。20代(19.4%)と70歳以上(21.7%)は低い。

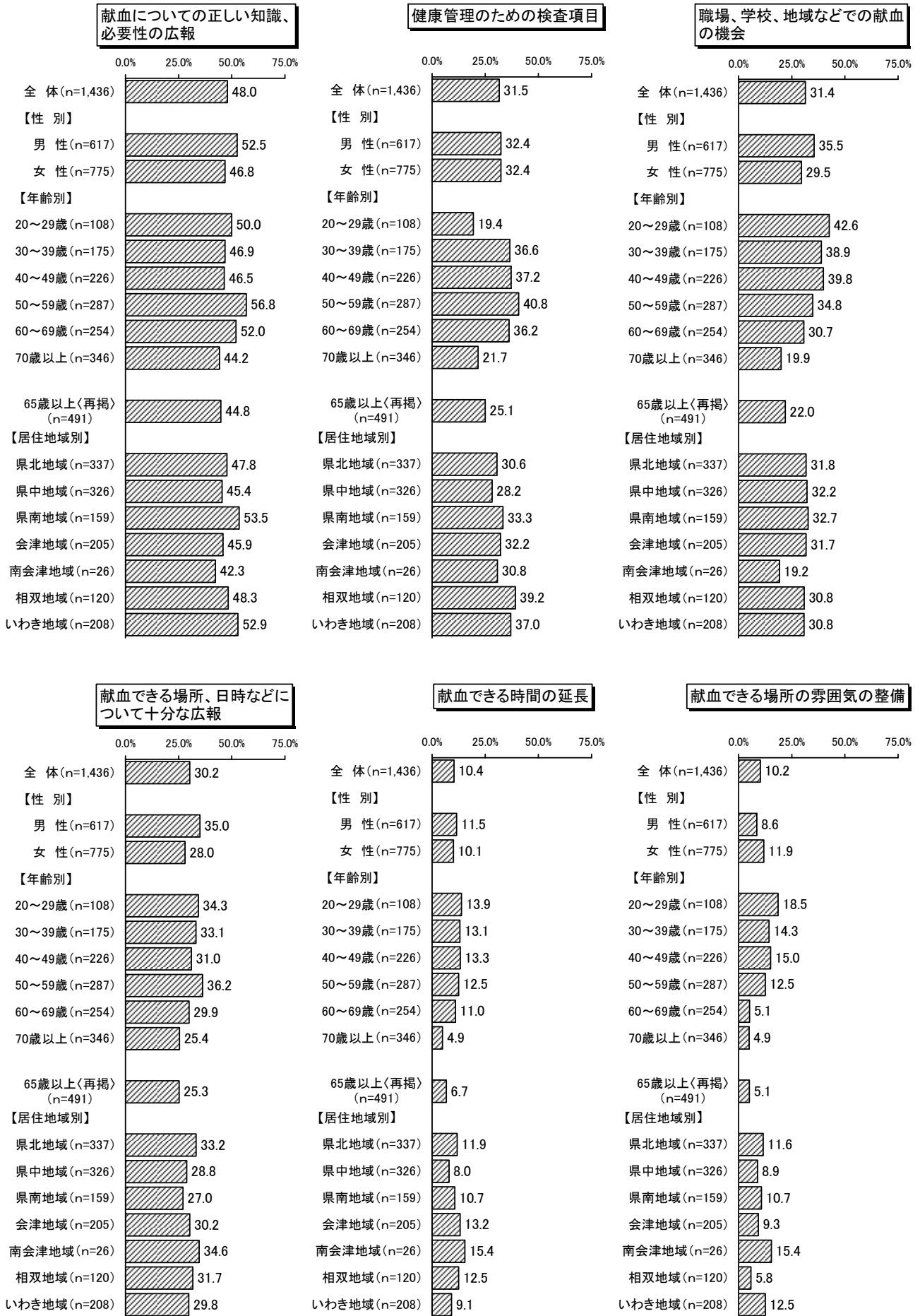
「職場、学校、地域などでの献血の機会」「献血できる場所の雰囲気整備」「献血記念品」はいずれも20代の割合が最も高く、年齢が上がるほど低下する傾向が見られる。

#### 【居住地域別】

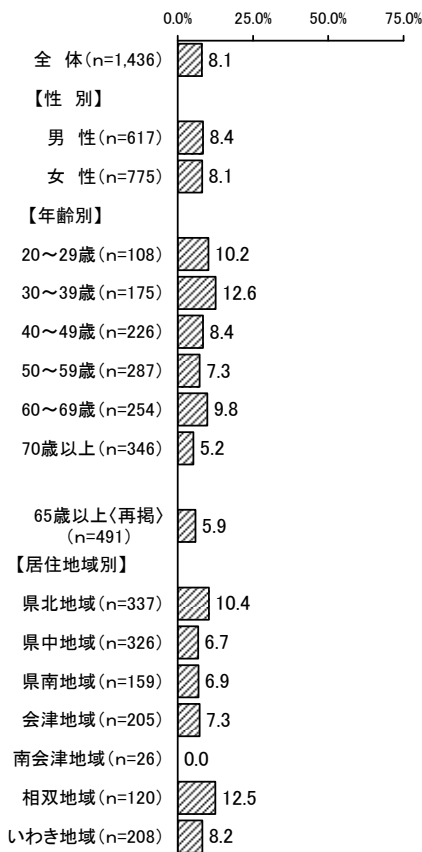
「献血についての正しい知識、必要性の広報」の割合は、県南地域(53.5%)といわき地域(52.9%)で高い。

「健康管理のための検査項目」は、相双地域(39.2%)といわき地域(37.0%)で高い割合となっている。

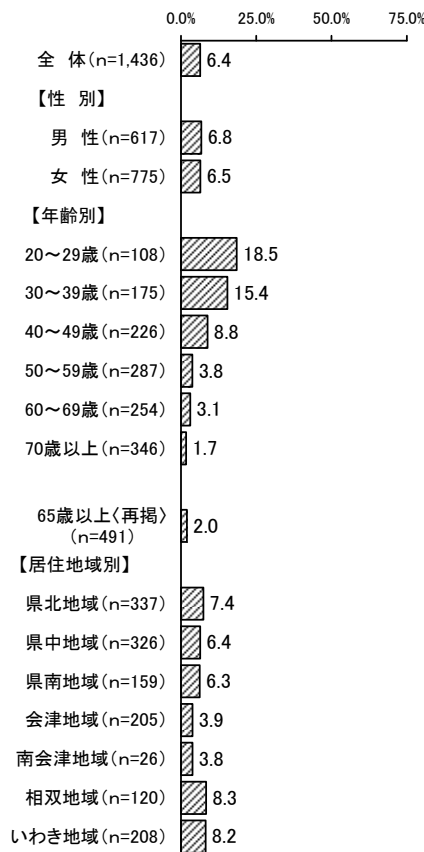
図 36 今後充実してほしい献血の推進策（全体／性別／年齢別／居住地域別）



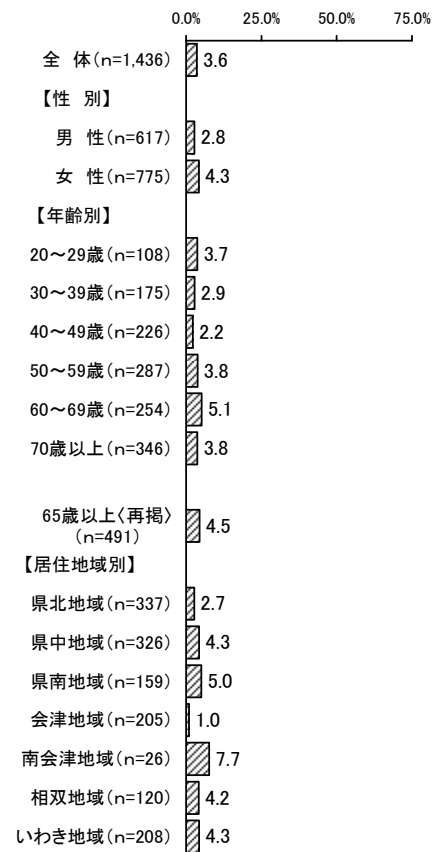
献血に関するイベントの開催



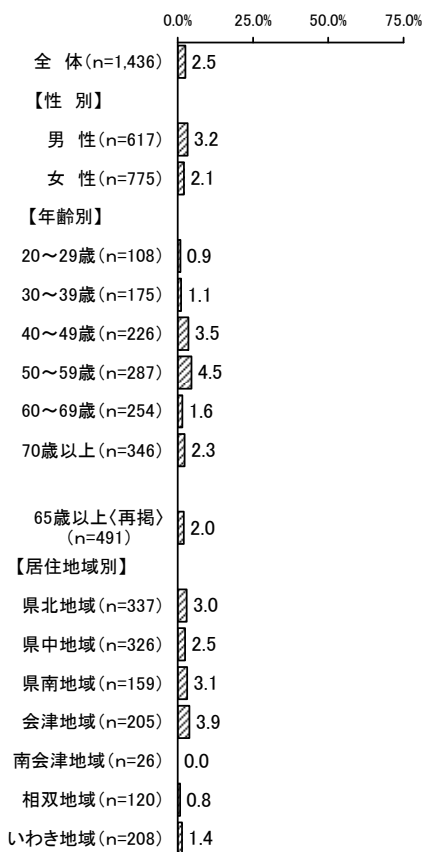
献血記念品



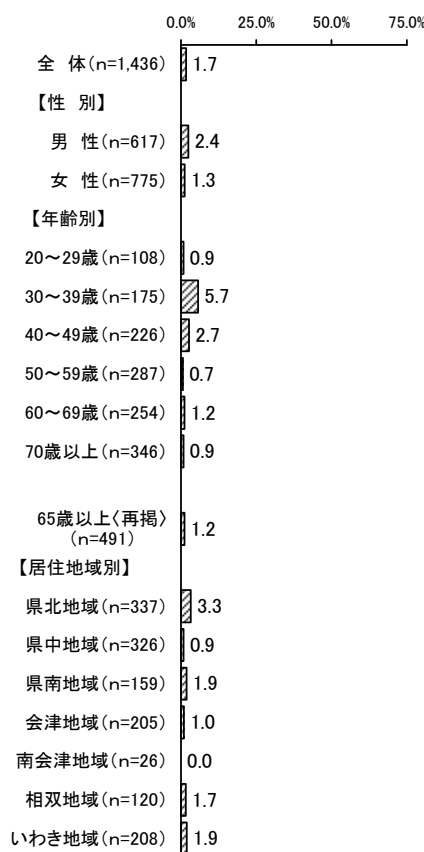
ボランティア活動の情報



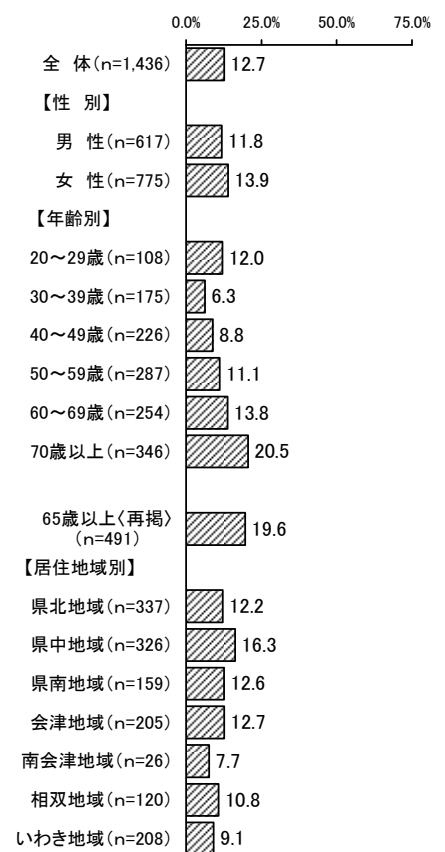
献血協力者の表彰の機会



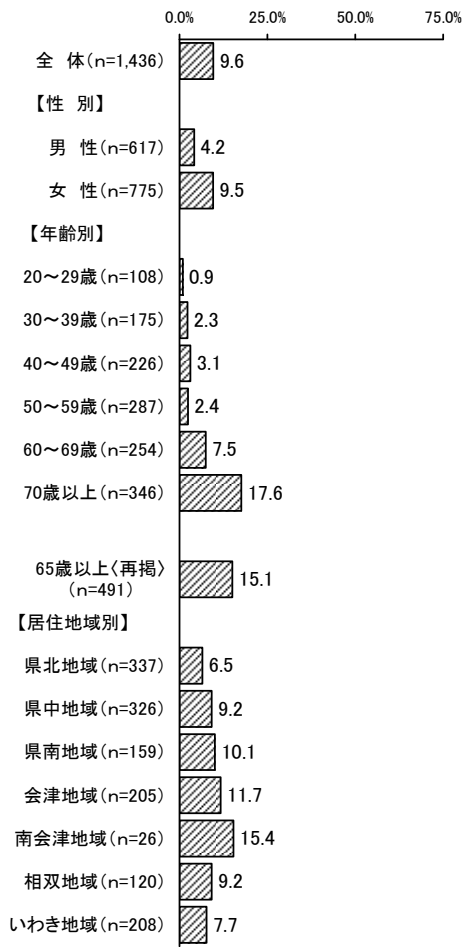
その他



特にない



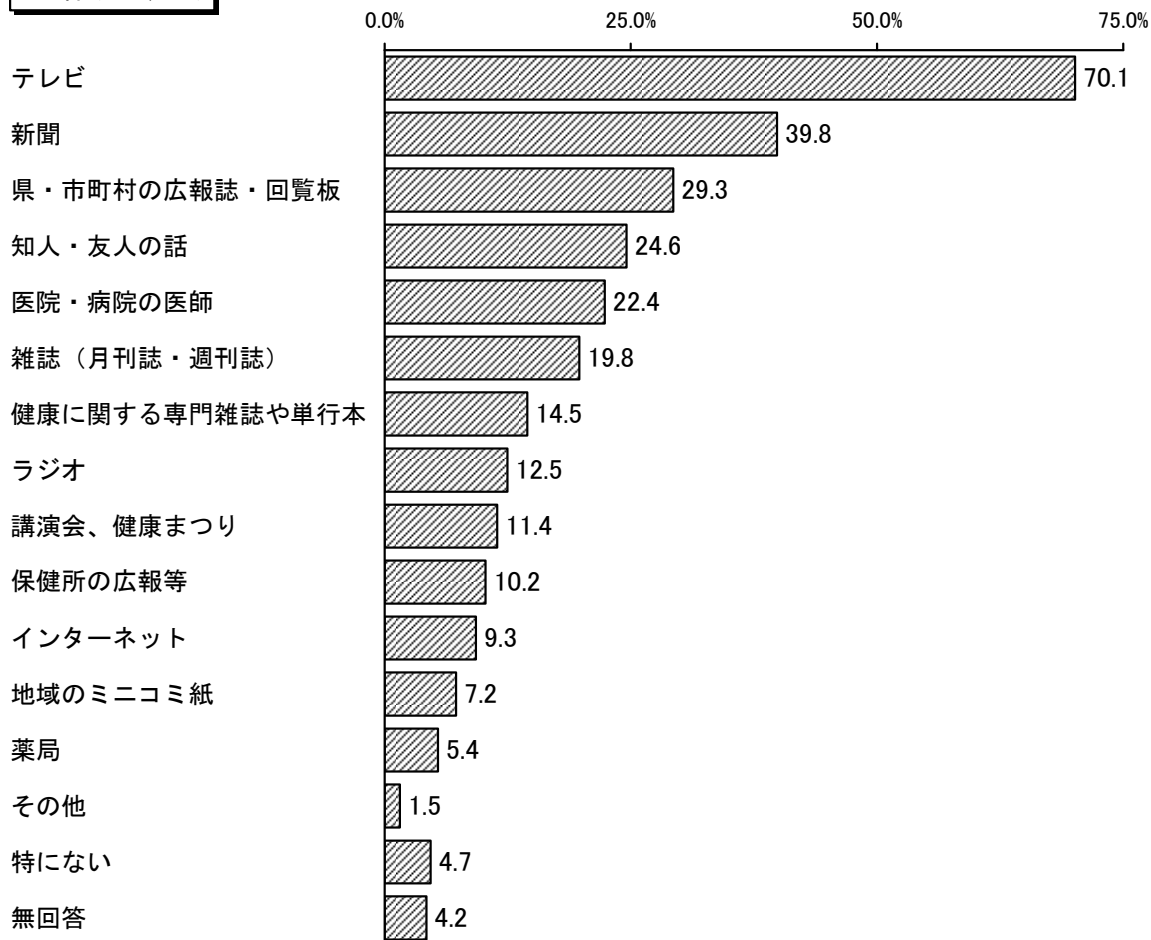
無回答



### 13. 健康づくりの知識・情報の入手経路

問 あなたは、健康づくりについての知識や情報を何から得ていますか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

全体(n=1,436)



#### 【全体結果】

「テレビ」(70.1%)が最も多い。かなり割合が低下するが、「新聞」(39.8%)が次いで多く、以下、「県・市町村の広報誌・回覧板」(29.3%)、「友人・知人の話」(24.6%)、「医院・病院の医師」(22.4%)が2割台、「雑誌(月刊誌・週刊誌)」(19.8%)、「健康に関する専門雑誌や単行本」(14.5%)、「ラジオ」(12.5%)、「講演会、健康まつり」(11.4%)、「保健所の広報等」(10.2%)が1割台となっている。

「インターネット」は9.3%、「地域のミニコミ紙」は7.2%、「薬局」は5.4%で、「特にない」が4.7%を占めている。

#### 【性別】

「テレビ」(男性67.1%、女性75.9%)、「新聞」(男性39.2%、女性42.5%)、「友人・知人の話」(男性18.8%、女性30.5%)、「雑誌(月刊誌・週刊誌)」(男性15.2%、女性24.3%)などは女性の方が高い割合となっている。

「医院・病院の医師」(男性24.3%、女性21.9%)、「インターネット」(男性11.3%、女性8.0%)は、男性の方がやや高い。

#### 【年齢別】

「テレビ」の割合は20代（79.6%）がやや高く、70歳以上（67.6%）がやや低い。

「新聞」は40代（46.9%）、50代（47.7%）、60代（43.3%）の割合が高い。

「県・市町村の広報誌・回覧板」「医院・病院の医師」「保健所の広報等」は、年齢が上がるほど割合が上昇する傾向が見られる。

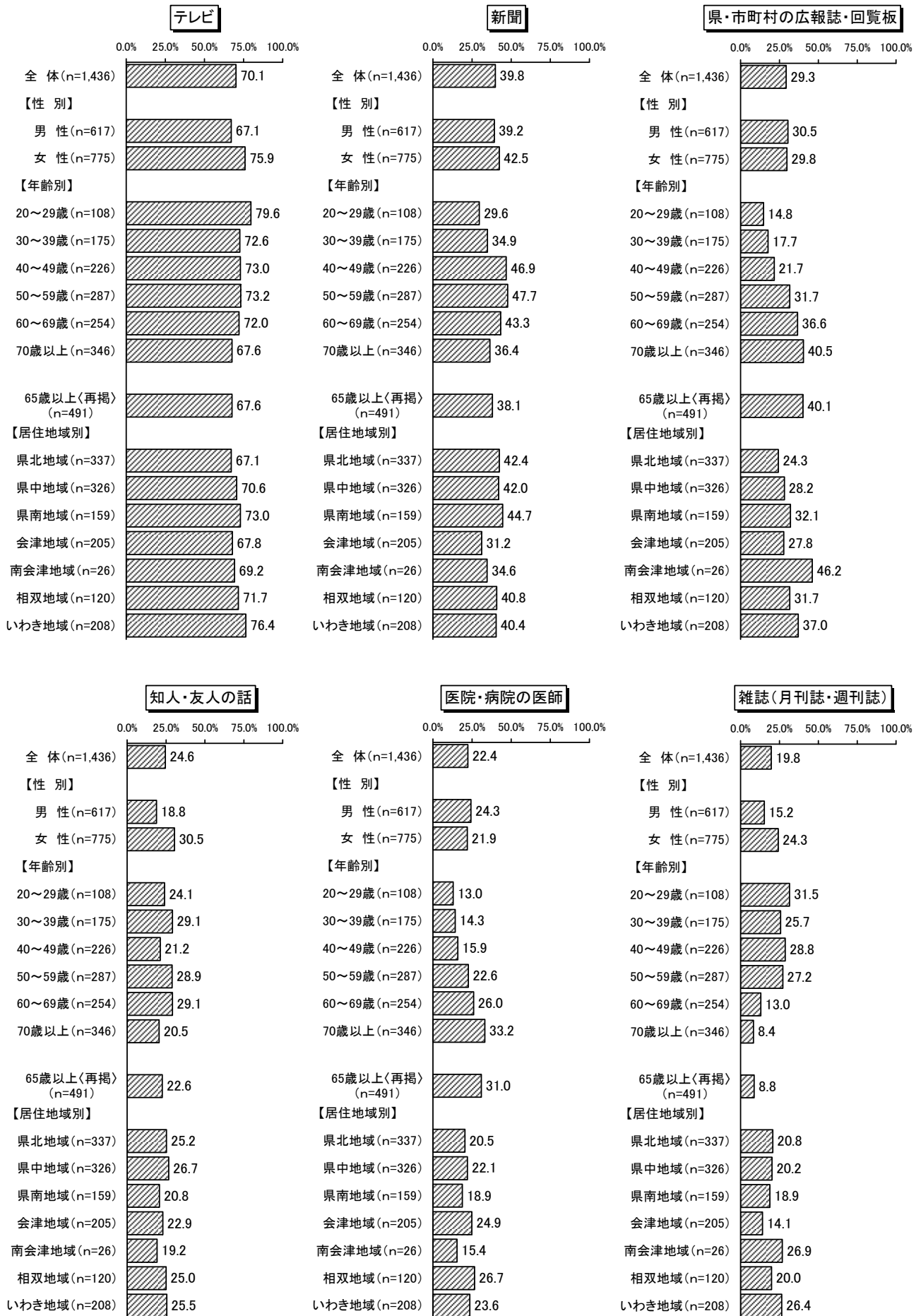
また、「インターネット」は20代（26.9%）で高い割合となっており、年齢が上がるほど割合が低下している。

#### 【居住地域別】

「テレビ」の割合は、いわき地域（76.4%）が比較的高い。

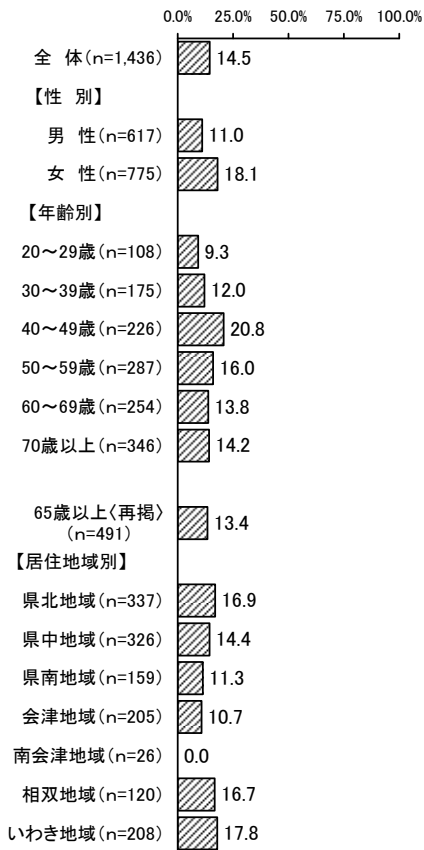
「新聞」は県南地域（44.4%）が比較的高く、会津地域（31.2%）と南会津地域（34.6%）は低い。

図 37 健康づくりの知識・情報の入手経路（全体／性別／年齢別／居住地域別）

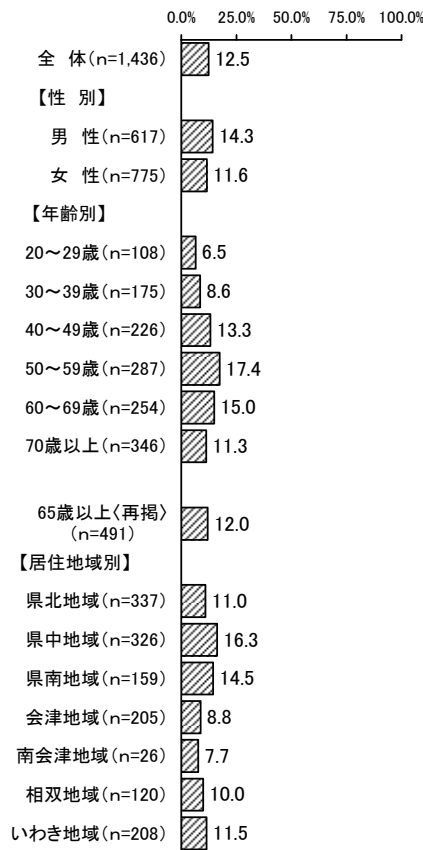




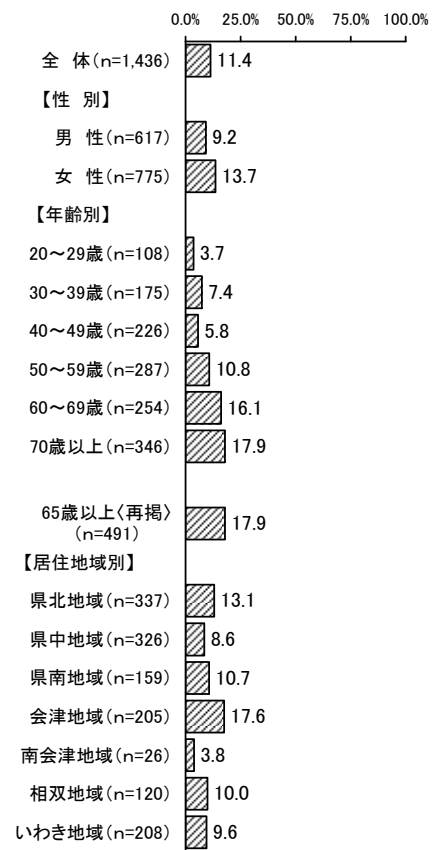
健康に関する専門雑誌や単行本



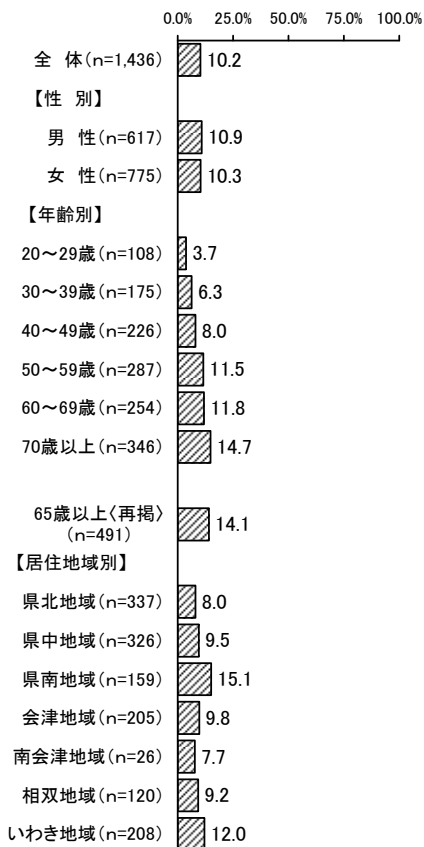
ラジオ



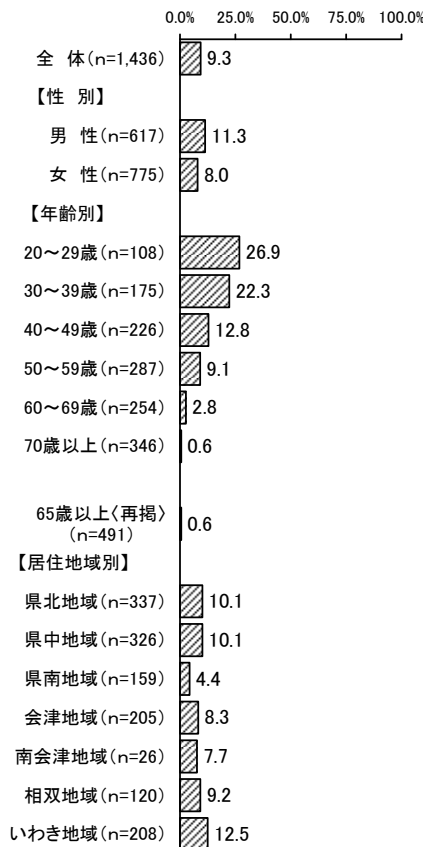
講演会、健康まつり



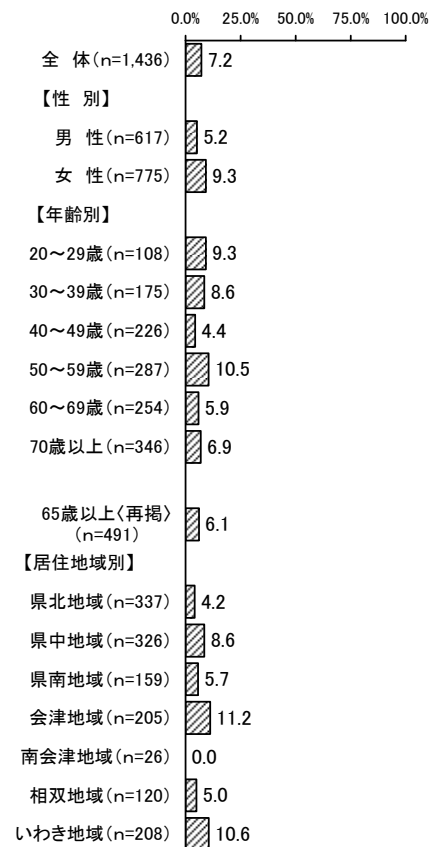
保健所の広報等

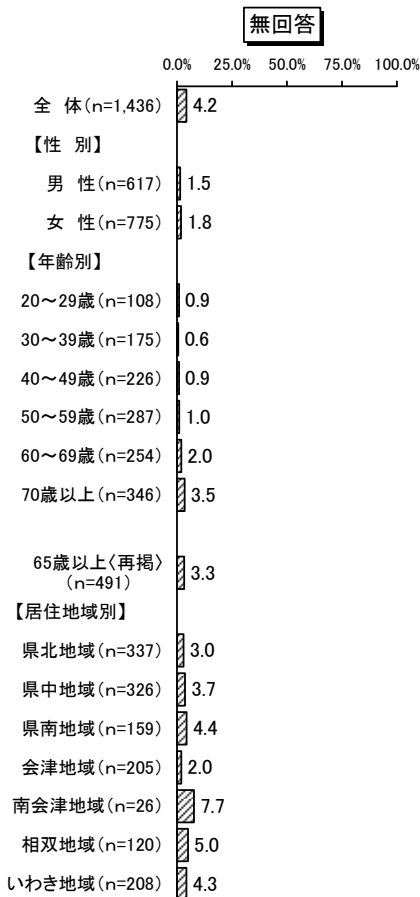
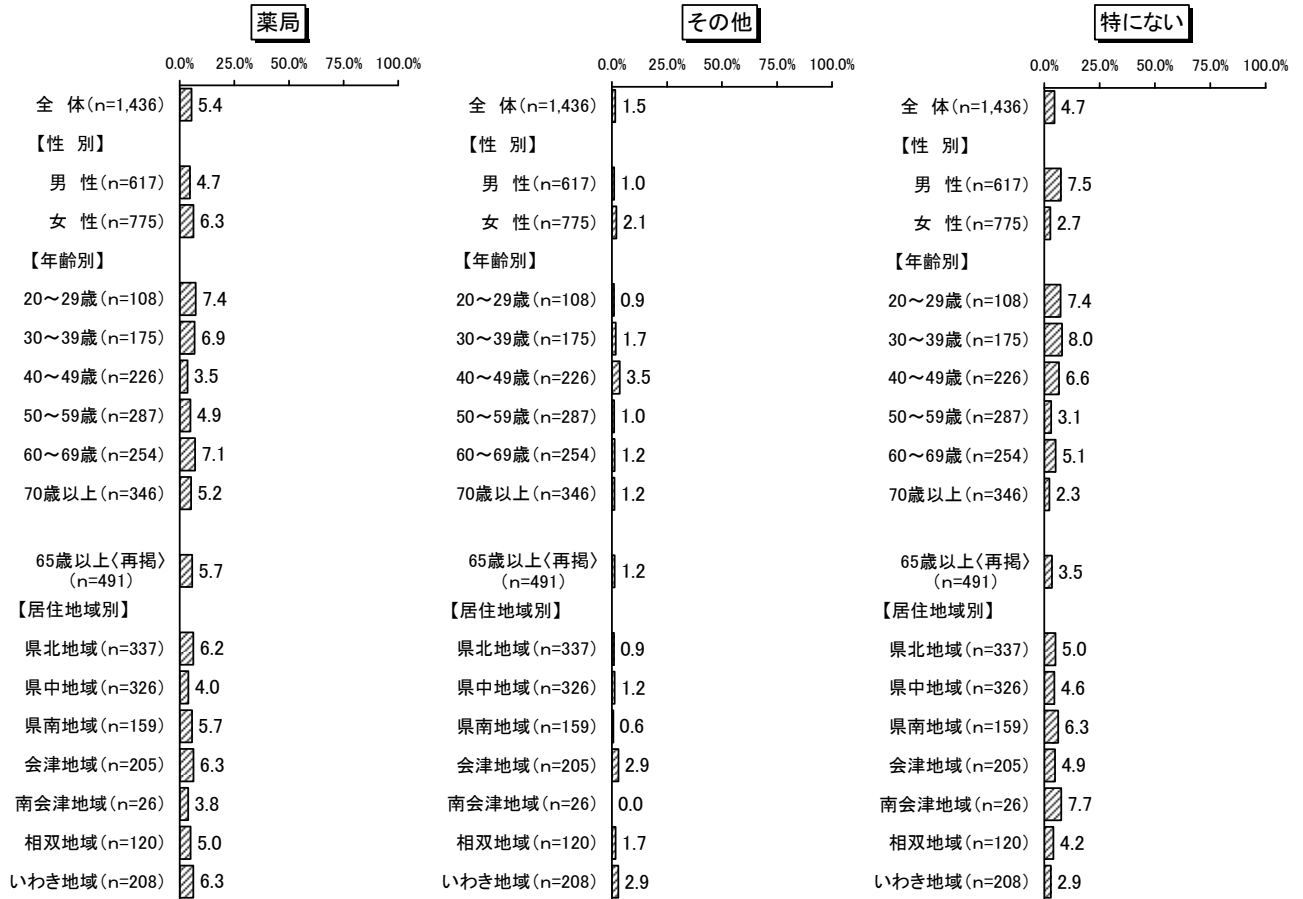


インターネット



地域のミニコミ紙



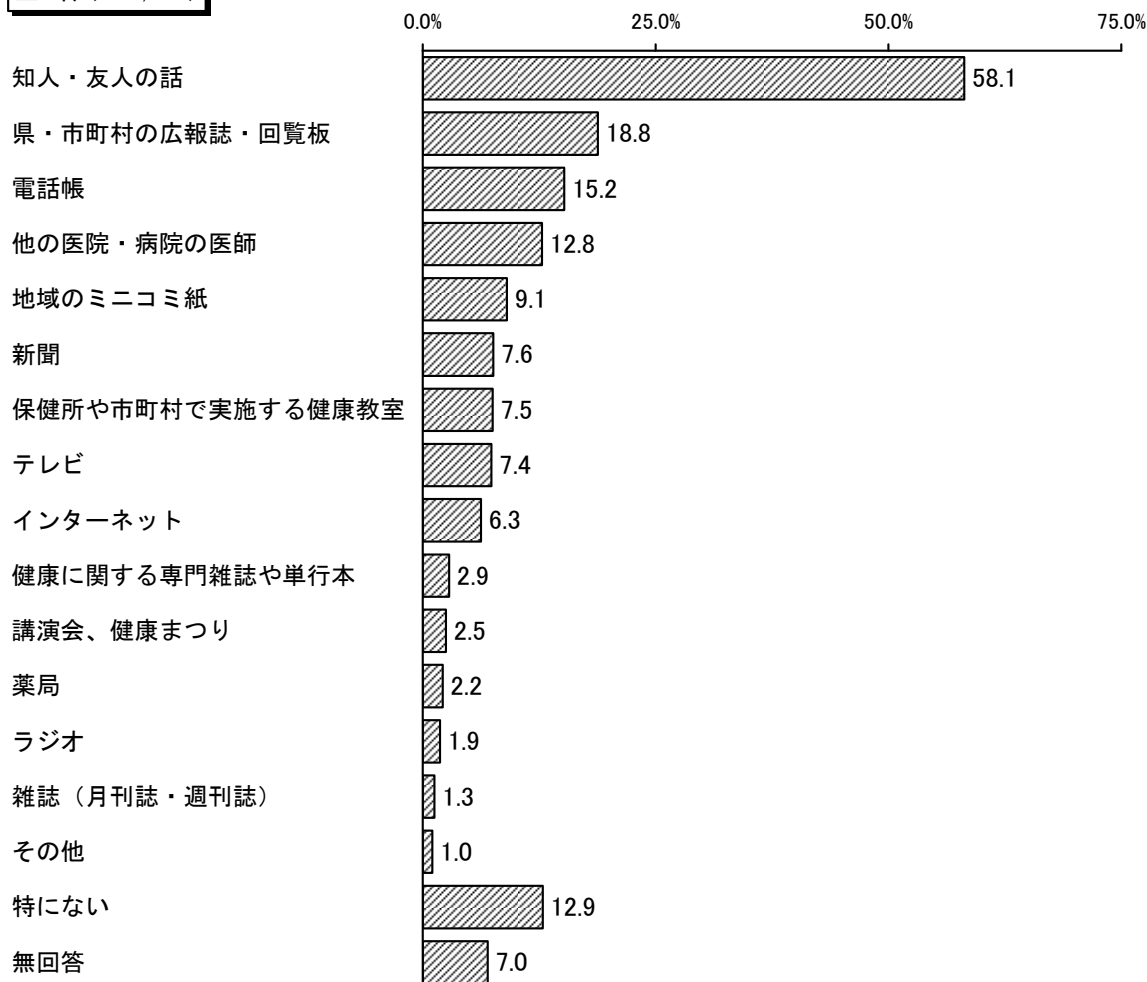


## 14. 病院・診療所に関する情報の入手経路

問 あなたは、かかろうとする病院・診療所（医院・歯科医院）についての情報を何から得ていますか。

あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。

全体(n=1,436)



### 【全体結果】

「友人・知人の話」（58.1%）が最も多い。かなり割合が低下するが、「県・市町村の広報誌・回覧板」（18.8%）が次いで多くあげられた。以下、「電話帳」（15.2%）、「他の医院・病院の医師」（12.8%）が1割台となっている。

「特にない」（12.9%）が1割強を占めている。

### 【性別】

「友人・知人の話」（男性 56.2%、女性 62.5%）の割合は女性の方が高い。「県・市町村の広報誌・回覧板」（男性 21.2%、女性 17.9%）は男性の方が高い割合となっている。

### 【年齢別】

「友人・知人の話」の割合は20代（68.5%）が最も高く、60代までは6割台となっているが、70歳以上（46.0%）になると急激に低下している。

「県・市町村の広報誌・回覧板」は60代（27.6%）で高い。「電話帳」は30代

(27.4%)で高く、40代以上は年齢が上がるほど割合が低下している。

「インターネット」も20代(15.7%)で高く、年齢が上がるほど低下している。

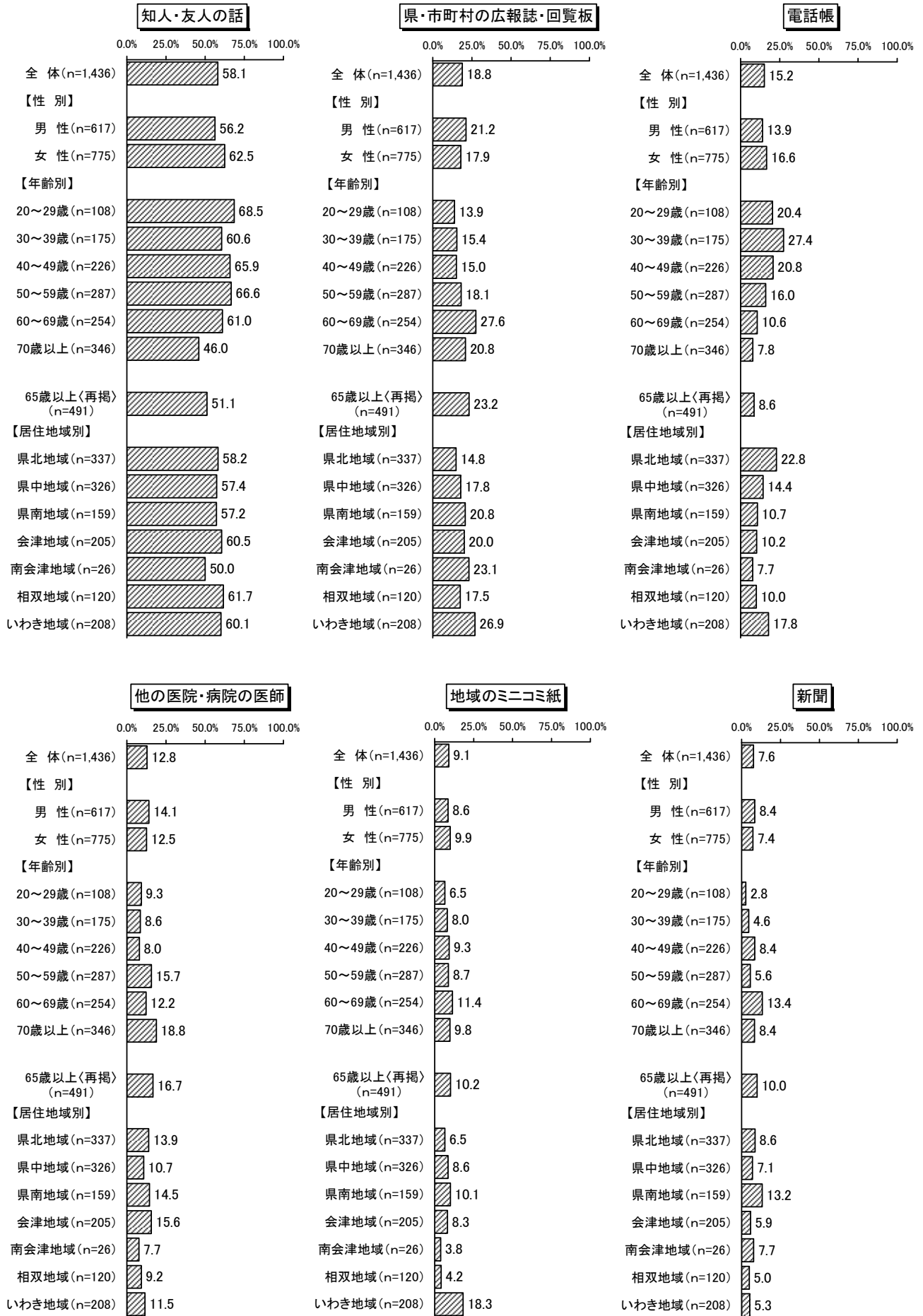
逆に「保健所や市町村で実施する健康教室」は年齢が上がるほど割合も上昇し、70歳以上(17.1%)が最も高い。

#### 【居住地域別】

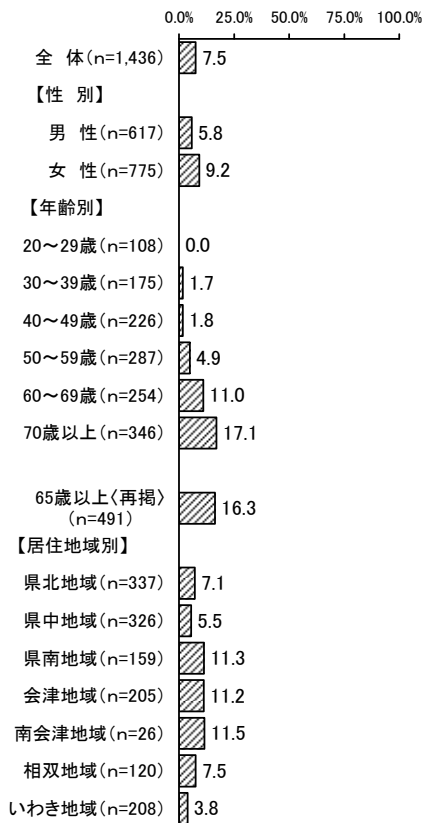
「県・市町村の広報誌・回覧板」の割合は、いわき地域(26.9%)が高い。同様に「地域のミニコミ紙」もいわき地域(18.3%)が高くなっている。

「電話帳」は県北地域(22.8%)、「新聞」は県南地域(13.2%)で、それぞれ高い割合となっている。

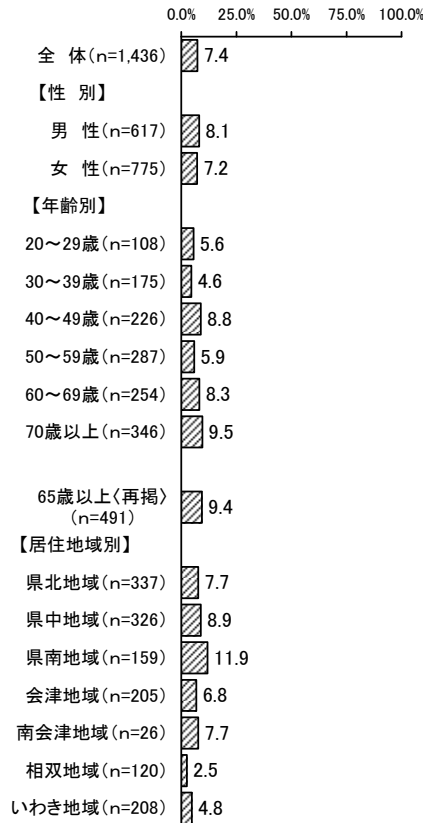
図 38 病院・診療所に関する情報の入手経路（全体／性別／年齢別／居住地域別）



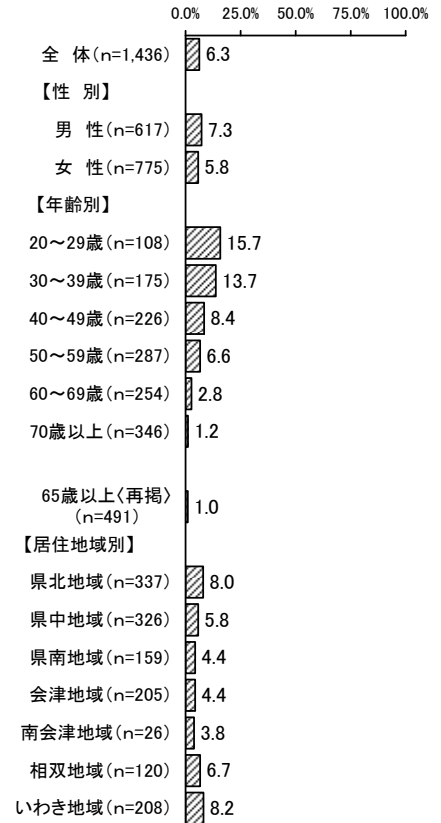
保健所や市町村で実施する健康教室



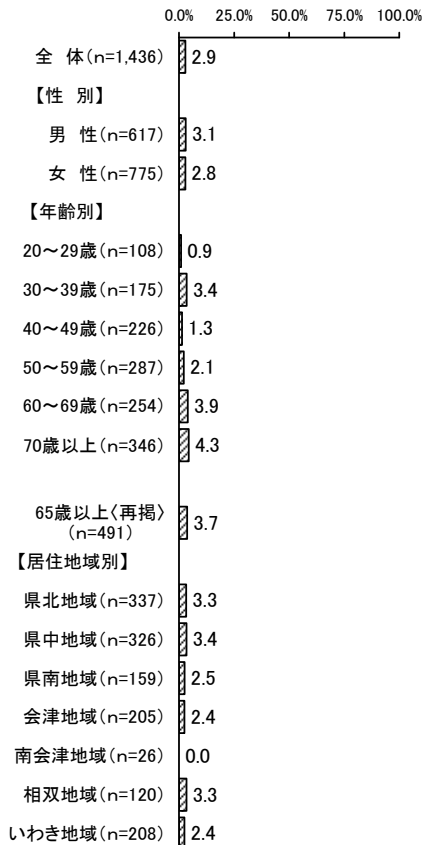
テレビ



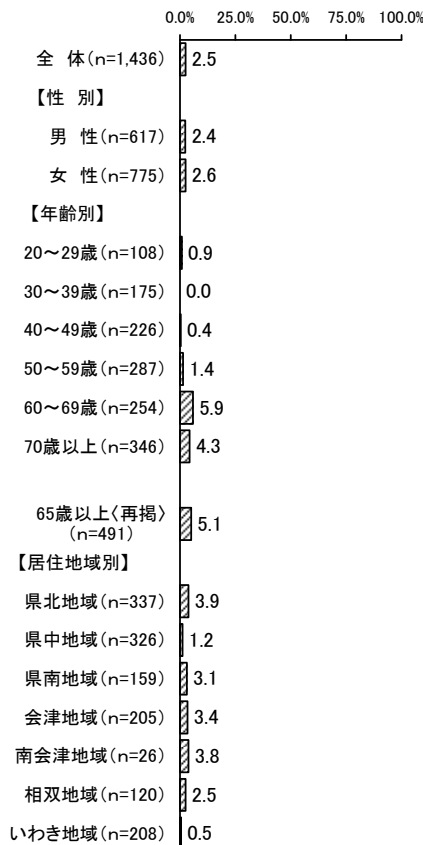
インターネット



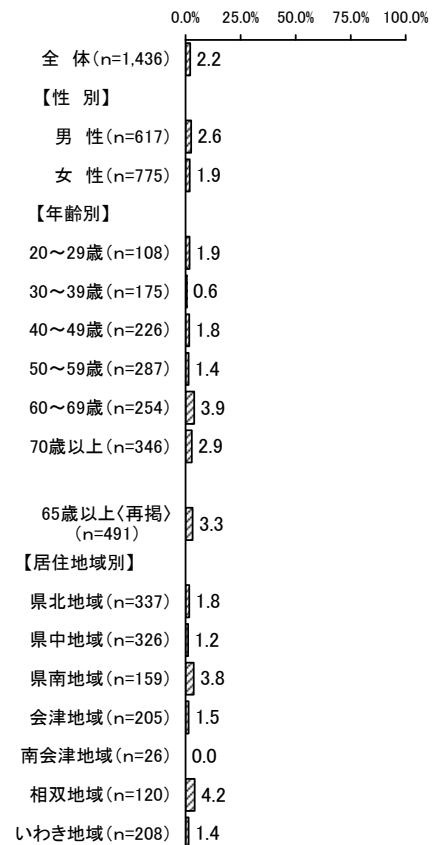
健康に関する専門雑誌や単行本



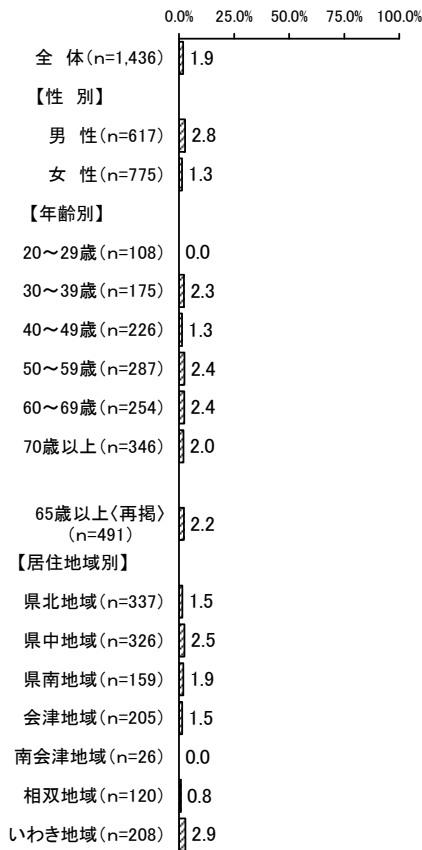
講演会、健康まつり



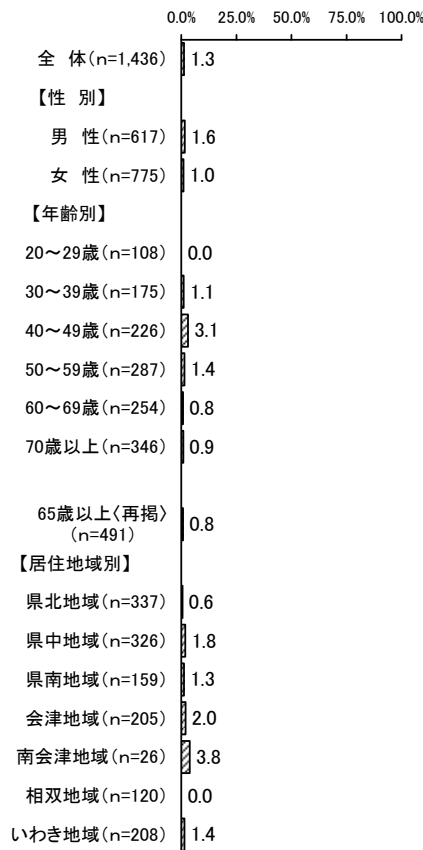
薬局



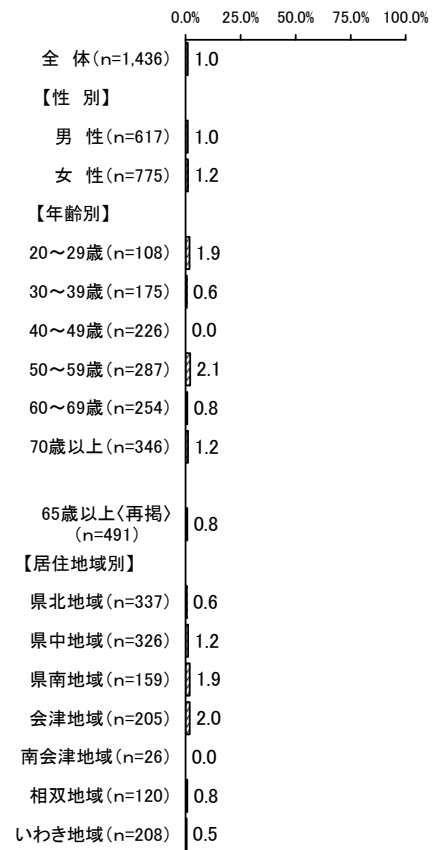
ラジオ



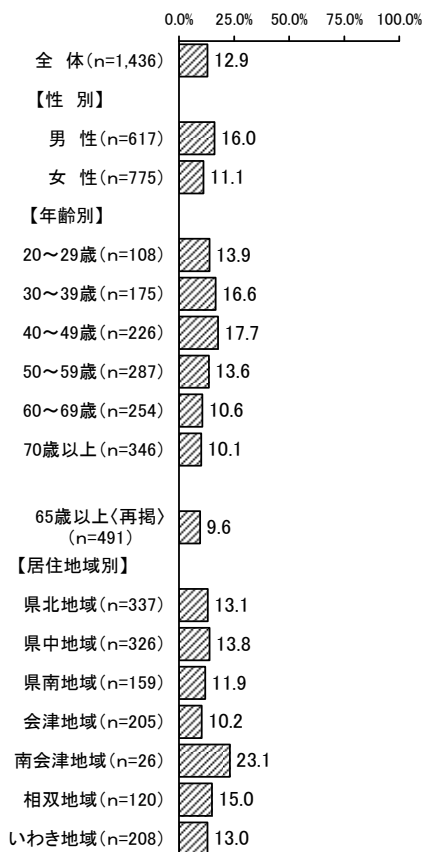
雑誌(月刊誌・週刊誌)



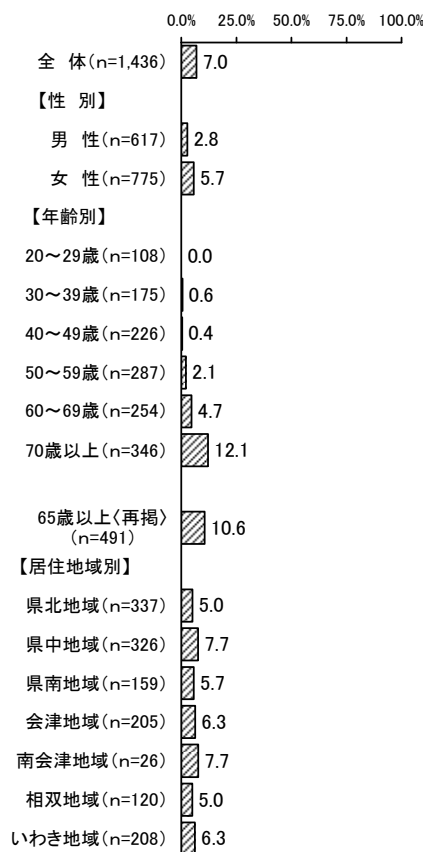
その他



特にない



無回答



## 15. 保健医療に関する自由意見

問 保健医療に関して、普段感じていること、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

保健医療に関して、普段感じていることなどを自由に記入してもらったところ、441 人から回答を得た。

記入内容別の件数（人数）は下表の通りである。なお、一人で複数の内容について記入している場合があるので、件数の合計は441（人）を超えている。

記入内容	件数
「医師の配置、診療科目、時間など」について	109 件
「医療行政」について	87 件
「医療費・薬代」について	81 件
「医師・看護師の対応」について	74 件
「検査・治療・処置など」について	41 件
「健康診断・人間ドック」について	30 件
「保険制度・保険料」について	24 件
「救急・時間外対応」について	23 件
「介護・介護保険」について	22 件
「予防医学」について	21 件
「医療相談相手・窓口・ケア」について	16 件
「歯科医療」について	11 件
「薬局・薬剤師」について	10 件
「その他」	40 件

記入された内容の全文を以下に掲載した。（居住地域、年齢、性別で並べ替えてある）



- ◇ 自分自身にはまだまだ関係ないが、今後の高齢者（70歳以上）の一般所得の医療費が2割になるのはおかしい。高所得者の割合をもっと増やすべきであると思う。（県北地域・20代・男性）
- ◇ 地域医療に対して病院の治療だけではなく、薬局でも相談など出来る事も認識して欲しい（医療費の高騰につながらないのでは？）。（県北地域・20代・男性）
- ◇ 医療費抑制のためにジェネリック薬品の使用促進。医師会等への指導が必要なのではないか。第一次予防の重要性についての住民への広報及び自治体や民間による施策。（県北地域・20代・女性）
- ◇ 去年、会社からの連絡を受け、子宮がん検査を受けました。設備はとても良かったと感じましたが、婦人科の先生（男の方）に、私の小さな悩みや不安を話すと、鼻で笑われそっけなく答えられました。私は女なので生理の事や妊娠の事などでずっと悩みがあり、勇気を出しいい機会と思って先生に聞いたのに、私が26歳で若いから、見た目が茶髪でチャラチャラしているように見えたのか「ハハ…」と鼻で笑われたのが、もう1年近くになるのに今でも忘れられません。私は他の人が同じ事をされ、気にしないのだろうか？と何度も思いました。どんなくだらない内容や小さな内容でも、もっと誠心誠意接していただきたかったです。そこにはもう行きたくないです。やはり医者もただの仕事のうちですか？先生方の苦労は想像以上大変でしょうが、1人1人を大事には、仕事だとできないのでしょうか？（県北地域・20代・女性）
- ◇ まだ全然理解できていませんが、高齢者がいるので色々感じる事はあります。入院するにしても近い病院に入らせていただきたいし、薬を受け取るにしても時間がかかり過ぎます。診察までも待たされるのに、その後さらに待たされるのはとてもイライラします。お年寄りの通院が多いので、たまに病院に行った時に、もう来たくないと思いました。（県北地域・20代・女性）
- ◇ 受付係の対応が感じが悪い病院が少なくなく、気分が悪い事があります。また医師も納得のいく十分な説明がない事が多いと思います。分からないから、知りたいからこちらから質問すると「考えすぎだよ」「そんな事も知らないの？」とされているかのような返答をされたりします。患者は医師を信じて受診、治療を続けるしかありません。病院側には慣れた事でも、患者1人1人には重要な事です。不安もあります。大変だとは思いますが、もっと心の通った診療を行って欲しいと思います。それから勉強をして曖昧ではなく、自信を持った返答をして欲しいです。（県北地域・20代・女性）
- ◇ 近頃は完全予約や予約優先のところが増えていますが、予約をしていっても毎回1時間以上も待たされます。子どもを見てくれる人がいないので、2人連れて行きますが、とても大変なので、本当に悪くならないと病院にかかれません。院内で子どもを見てくれるサービスがあればと望んでいます。（県北地域・20代・女性）
- ◇ 健康に関する講演会（セミナー）の実施とその広報に力を入れて欲しい。適切な診断を行って欲しい（以前風邪で病院に行き、花粉症の検査をされた事がある。あきらかに風邪なのに…）。エイズや性感染症についての情報発信及び教育の強化。待ち時間が長く、診療時間が短い。保健センターで何をやっているのかが広く情報を発信して欲しい。行政で医療に関する情報を発信して欲しい。例えばHPや情報紙などで。症状によりどこの科に行けばいいのかなど…。セカンドオピニオンの受けやすい医療の連携。（県北地域・20代・女性）
- ◇ 家族とも話しておりますが、どうして歯医者さんは何度も何度も行かなくてはならないのか不思議です。時間、お金、労力がたくさんあるわけでもないのに。いつまで位にどのくらいの金額で、とうのを事前に分かればと思います。また、希望の金額、回数を提示しても、それを超えている時もありあります。自分の場合「治るまで」と確かカルテか何かに印をしたのですが、回数、金額、特に金額は本当にどのくらいかかるのか分かりませんでした。虫歯でなく検診で行って、それも虫歯がないと認められた人がどうして何度も何度も病院に行かなくてはならなかったのか不思議です。日本の行政は何を管理して何を施策しているのか訳が分かりません。理解できません。それで医療費を上げるのどうだと国会の場で審議しているのはおかしいのではないのでしょうか。何でもない人の治療代を保険からお医者さんになぜたくさん払わなくてはならないのでしょうか。こうした無駄をなくせば、医療に関する保険の3割負担はこれ以上増やさなくて済むのではないのでしょうか。（県北地域・30代・男性）
- ◇ 新聞等でリハビリ日数の件がありましたが、介保と医療の連携があまり感じられない。病院ごとに差があるから分かりませんが。相談室の方のレベルもまちまちで、ソーシャルワーカーで解決できない事が多すぎると思います。厚労省に頑張ってくださいたいです。あと、3割負担はかなりきついです。1～2割の時との支出が全く違うので、病気になっても前みたいには病院には行けなくなっています。何らかの対策を希望します（高齢者や乳幼児医療以外の一般

向けで)。(県北地域・30代・男性)

- ◇ 現在東京に単身赴任しているが、東京と福島では医師の数が圧倒的に少ない。特に専門性の高い医師の不足は深刻である。地域医療を担う福島県立医大についても、医師の県外流出や県外出身者の入学者が増え、医師を育て地域に貢献させる体制ができているのだろうか？また専門性の高い医師が少なく、難病といわれる病気になった場合は、東京を始めとする県外に治療に行かねばならず、3割負担(個人)も含め、家族の負担は多大なものと思う。私は今30代後半であるが、健康について関心が高まってきているが、基本的に健康管理は自己責任と思うが、今後国、自治体が健康、福祉についてどのような施策をするのか不透明であり、もっと県民に対し色々なメディアを使って方向性を示す努力が必要であると思う。(県北地域・30代・男性)
- ◇ 適正な医療機関の整備を希望します。(県北地域・30代・男性)
- ◇ 医療、介護、福祉の世話になるかならないかは保険の推進にかかっていると思う。医療機関がたくさんあっても、医師によって治療に差が出てくる。評判の良い医師に患者が集中し、逆によく診てもらえないこともありそう。ジェネリック医薬品を効果、効能が全く同じというような宣伝を目にするが、同じではないはず。県立病院などは地域医療も必要だが、休日、夜間など民間があまり手を出さないところに力を入れてみては。(県北地域・30代・男性)
- ◇ 私達の市には総合病院とか医院はあるのですが、少子化のために入院するような病気になった場合はよその市に行き、入院可能な小児科を探さなければいけませんので、ぜひ総合病院に入院のできる小児科をぜひお願い致します。(県北地域・30代・男性)
- ◇ 乳幼児医療費の統一(全国で延長)で中学3年生ぐらいまでにして欲しい。必ず実現して下さい。無理ならば1割負担まで…。(県北地域・30代・男性)
- ◇ 出産費用が高すぎると感じている。他の自治体では出産に関するサポートが充実しているところもあると聞きます。少子化、少子化と叫びながら、そのあたりの環境整備もしてくれないと、当然お金のかかる出産、育児に踏み切れない人も多いのではないかと思います。それとアンケートにもあった歯科医師についてはもっと技術レベルの向上を求めるとあります。直接生命に関わらない医療とはいえ、歯科医師によるバラつきが激しすぎます。中にはとんでもない治療をしている所もあります。歯はなくなると2度と元には戻りません。「80、20運動」などと言っていますが、歯を治療する立場の医師らがガンガン歯を削っては何の意味もありません。歯科に限らず医療従事者はもっと患者の目線、立場になった対応がこれからはもっともっと求められるのではないのでしょうか？(県北地域・30代・男性)
- ◇ 院内感染を防ぐ事を重要視して欲しい。通院によってインフルエンザ、風邪等にかかることがある(ように思う)。(県北地域・30代・男性)
- ◇ 二本松市に住んでいますが、小児科の入院できる病院がないため、子どもが入院しなければならない時、他の市へ行かなければならず、付添する際など自宅から通うのが大変です。以前のように二本松の病院に常勤の小児科医をお願いしたいと思っています。(県北地域・30代・男性)
- ◇ 救命救急指定病院の情報をもっと知りたい。やっぱり都会だと医療関係はしっかりしているイメージがあるから。(県北地域・30代・男性)
- ◇ 身内が健康診断で異常となり、胃潰瘍で1年以上も病院にかかっていたが、がんを発見する事ができなくて、見つかった時には手遅れの状態でした。がんが肝臓だったので、胃とは違っていたとしても、血液検査などで見つけることはできなかったのでしょうか？血液検査などで今はある程度の病気を見つけることができる聞いた時があります。1人1人の医者能力UPを希望します。専門医も必要と思いますが、まず始めに医者にかかるのは内科だと思います。総合的なもの、特に血液で異常が見つけれたら最高だと思いますが…。看護師さんはいつも笑顔で対応してくれて、病人やその家族にとっては心強い存在です。特に入院施設や緊急センターなどに勤めている看護師さんが気持ちよく働ける環境を作して下さい。薬をして給与を多くもらっている県職員の看護師さんがいると聞いています。病人やその家族の方が安心できる医療をお願いします。(県北地域・30代・女性)
- ◇ 薬局の薬剤師に不満を持っています。いつも薬をもらう時「今日はどうしたのですか？」と聞かれますが、どうして医師でもない薬剤師に再び自分の病気について話さなければならないのでしょうか。「アレルギーはありますか？」とか「この薬はこういうものなので、このように飲んで下さい」という説明なら分かるのですが、「あなたはどこが悪いのですか？」という質問を薬剤師がなぜするのでしょう。薬剤師は自分の仕事の役割をもう1度考えるべきです。(県

北地域・30代・女性)

- ◇ 大きい病院で、年齢が高い看護師（管理職でない）ほど、無神経な言葉遣いをするように思う。（県北地域・30代・女性）
- ◇ 今まであまり関心がなく、今回の調査が来た事でもう少し気にしてみようと思いました。（県北地域・30代・女性）
- ◇ 子どもの治療方法の弱い所が分かっているため、早めに診察してもらって重くならないようにと考えるのですが、病院の先生は咳止め、たんを切れやすくする薬とかを出してくれます。その後熱を出したり症状が悪くなったりすると、病院の経営のために弱い薬しか出してくれないのではないかと考えてしまいます。最初診察してもらった時に抗生剤を出してくれれば、何度も通院したり仕事を休んだりする必要がないのですが！それもかかりつけなので、扁桃腺が大きいなど分かりきっているのに。もっと診察を受ける側の事を考えてくれる病院を教えて欲しいです。保険証が使える整体院は郡山しか分からず、とても通う事ができません。交通費、時間がかかり過ぎます。近くに良い医院があれば、ぜひ教えて欲しいです。（県北地域・30代・女性）
- ◇ 待ち時間が2～3時間のため、本当に具合の悪い時は行けない病院がある。改善して欲しい。病気や治療について相談できる地域の場所があったら助かる。（県北地域・30代・女性）
- ◇ 私の勝手な思い込みかも知れませんが、大きな病院だと高齢者の方が診察検査と広いところを1階から2階とか行ったり来たり、また待ち時間が長いのは大変だと思います。高齢者社会なので、もう少し1ヶ所で診察と検査ができるような病院態勢にしていきたいです。（県北地域・30代・女性）
- ◇ 誰にでも分かりやすい医療サービスを1番に希望します。分かりやすい説明、料金、治療等。福祉の充実。ドクターの確保。（県北地域・30代・女性）
- ◇ 子どもの医療費無料を引き上げて欲しい。（県北地域・30代・女性）
- ◇ 治療が進むにつれて保険が使えなくなるので、とても考えてしまいます。お金があれば受けられるけど、お金がなければ治療をあきらめなければいけない。治療が進むと通院時間も日数も多くなるので、その分仕事に遅れるのでお給料がひかれます。年間手取りで150万円くらいでボーナスも退職金もなく、でも治療もしたいが…。お金のために夜バイトもしましたが、体に負担がかかるのでやめました。収入に応じて保健医療が使えるといいなと思います。治療を続けたいと死ぬわけではないけど…望みがあるなら続けたいとも思うし…でもお金が…と毎日考えています。（県北地域・30代・女性）
- ◇ 昨年胆石で手術をしたのですが、もともとその病院にかかりつけの医者がいるのですが（内科です）、特殊な病気なので診療所にかかる時は全てこの病院でやって下さいと言われてましたが、外科、皮膚科、歯科とも最悪でした。胆石の手術を我慢してその病院で受けようとしたのですが、手術の検査が2ヶ月以上かかっても入院できず、他の医療機関では難しいので手術をやらしてもらえないと言われ、説明もきちんとしてもらえず、結果的に診療所をこっそり調べてその病院では手術はしませんでした。皮膚科は皮膚を（同じ所）2回切ったのですが、きちんと取り除いてはもらえず、結果的に他の診療所に行って治りました。その診療所で治療が雑だなと言われましたが、素人の私の目から見てもそう思います。しかも切った先生はクレームを言った日から診てはもらえず、他の先生になり、行く度に違う先生でした。待ち時間が長いのでこのような対応では、いざ入院するような事が起きた時、安心して入院できません。その病院には内科以外の時は入院しないと決めました。（県北地域・30代・女性）
- ◇ 県北地方の産婦人科の充実を切に望みます（特に総合病院）。（県北地域・30代・女性）
- ◇ 総合病院は確かに技術面や設備が整っているので信用できるのですが、診察の待ち時間の長さや受付が午前中など、日中働いている人達にとってはかなり不便だと思います。もっと個人の医院でも同じ診察をしてくれる所があるならば、もっと情報を広げて欲しいと思います。（県北地域・30代・女性）
- ◇ 娘（4歳）が耳鼻科と皮膚科に長期間通院しています。仕事をしているためなかなか平日には行けず、土曜日に行っているのですが、終了するまでに2時間近くかかりぐったりしてしまいます。待ち時間にも色々工夫はしていますが、小さい子どもだとなかなか待ってられず大変です。しょうがないとは分かっているのですが…。（県北地域・30代・女性）
- ◇ 国民健康保険料が高いうえに65歳以上の受診時の自己負担が増えている事は問題です。保険制度の是正を強く求めます。福島県としても県民の健康を守る独自の手立てを講じて、国保制

度を改善して下さい。(県北地域・40代・男性)

- ◇ 小児科の専門医が少なくなっているのが、子育てに不安があるのでは困る。ぜひ増やして欲しい(産婦人科医も)。地域間で医療格差が広がっている。山間部に対する医療の充実に努めて欲しい。(県北地域・40代・男性)
- ◇ 所詮役人が考えている事。民間人のために、立場に立ち考える事をしなくては地域医療の改善はないと思います。アンケートではなく、生の声を聞いてこそ充実した答えが出るのではないのでしょうか？(県北地域・40代・男性)
- ◇ 家族が入院した時に先生から説明していただきますが、専門用語を連発され、聞き返してもまだ分からないなんてことが何度もあり、まいて高齢の方では余計分かりにくいと思いました。その先生の人間性だとは思いますが、私達が安心して任せられるようにしていただけたらと思います。(県北地域・40代・女性)
- ◇ 医療費の負担が大きく、少々の病気なら通院せず自宅で休む方が良くと考えてしまう。慢性の病気を持っており、長期にわたる薬の服用に対する不安を感じる事があるが、担当医師から「大丈夫」と言われると、それ以上は聞けなくなる。相談窓口や同じ病気を持った人が情報交換できる場があれば良いと感じる。(県北地域・40代・女性)
- ◇ 病院での診察時、流れ作業のようにせず、病気についての説明や、薬を服用時のその薬の副作用や効き目などの説明をもう少し詳しく分かりやすく説明して欲しいです。あとは医者教育の徹底(人に対する接し方、話し方等)。全部の医者がそうだとは言いませんが、横柄な人が多いように思います。(県北地域・40代・女性)
- ◇ 子どもが小さかった時、近くの診療所で診てもらったら、そのまま総合病院に行かせられました。「すぐに」と言われ(かかりつけだったので保険証も持たずに行きました)、そのまま保険証のコピーを持たせられて行きました。けれども「保険証は必要」と言われ、手続きが大変でした。初めから保険証を持っていけば良かったと思いました。病院間での連絡はうまく行かないものなのではないでしょうか。また当番医に行った時も必ず診察券を作るようになりますが、必ずしも次に行かないことが多いので無駄だと思います。総合病院の小児科は、具合が悪くて連れて行っても、待ち時間が長く、検査で連れ回されて、かえって病状が悪化しそうです。本当に大変そうなどころもありますが、見ていて要領が悪いような所もあります。病院側の問題とは思いますが。(県北地域・40代・女性)
- ◇ 病気になって病院に行くのではなく、病気にならない、予防医学に力を入れるべきではないかと思えます。それには食事「地産地消」「身土不二」地域の農漁業が安心、安全な物を提供できる環境作り、流通、消費を一体化して農業医療を関連して考えていくべきではないかと思えます。お年よりも寝たきりではなく、健康なお年寄りで老人ホームがあちこち郊外にできているが、田畑、山をホームが建って農作物が作られるのではなく、農地が荒れていく事が人の健康から遠のいていくのではないかと思えます。(県北地域・40代・女性)
- ◇ 保健医療についてはではないのですが…問 264 について、気づいた事があります。専業主婦はなぜ無職に含まれるのでしょうか。子を育て、教育し、夫をサポートするのがなぜ行政の考えの中で「無職」なのでしょう。女性にとって子を産み育てる以上に価値のある「職」があるのでしょうか。男性にはどうしたってできない事に女性自身が自覚し、社会が認めていかなければ少子化は進む一方と考えます。子を産まなかったり、例え産んでも外に預けてばかりでは次の世代を担う様々な人格を備えた人間は育っていかないのではないのでしょうか。「働きながら子育てをしやすくする社会」よりは子育てに専念する事を重視し、価値を見出す社会が欲しいと常々感じております。(県北地域・40代・女性)
- ◇ テレビなどで色々な現状を見聞きはしますが、割と元気にしていると医療に対しての情報というのは意識にとまらないで過ぎがちです。夫が定期的に通院(2ヶ月に1度)していますが、薬代も含め毎回4万円という額を用意しても、これが命につながるからと気持ちを前向きにしないととても重く感じるものです。健康が1番であっても、いつ病をしようかかもしれません。家庭の事情で働きに出ていない私にとっては、夫の稼ぎが頼りですから、夫に倒れられたらお手上げです。体が悪くても金がない→保険料を納めていなくて保険証を取り上げられる→治療も受けられない→死、なんていう特集も見たことがあります。生活水準の違いはあれ(ずるい人もいるだろうから)、全ての人が医療の心配をしなくても良くなって欲しいと願います。(県北地域・40代・女性)
- ◇ 乳がん検診としてマンモグラフィーの検査を受けたいが、技師が男性だとやはりはずかしくて行かないままになってしまうので、女性技師をもっと増やして欲しい。医師の説明不足を感じる事がよくある。こちらから質問しないと答えてくれない。質問しても誠意ある返答をしてく

れない→「そんなこと」という感じで片付けられてしまう…など。(県北地域・40代・女性)

- ◇ 院内処方の場合でも、きちんとした説明が欲しい。と言うのは院内処方でもまだ薬についての説明が全くない所がある。(県北地域・40代・女性)
- ◇ この程度のアンケートで意識やニーズを把握できるのか、甚だ疑問に感じます。医療行政には不信感しかありません。(県北地域・40代・女性)
- ◇ 病院にかかりたいと思っても医療費(自己負担)が高く、かかりにくいと思います。もう少し負担を少なくして欲しいと思います。(県北地域・40代・女性)
- ◇ 高齢者がいて義父が痴呆が日々進んでいて、家族は困っています。どう対応したらよいか、誰も教えてくれないので、毎日義母は怒ってばかりです。私も一緒にいるのが嫌なのでなるべく1日家にいないようにしていますが、毎日おかしくなっているから怖いです。気が休まる日がないくらいで、同じ事を何度も言ったり、お風呂を炊いたのにまたオフにしたりして、毎日注意したりするけど本当に疲れてしまいます。どうしたらいいのでしょうか？(県北地域・40代・女性)
- ◇ 保険が負担している費用を、もっと分かりやすくないか？医者への支払いと本当(?)の医療費の差が分かると、無用の医療が少なくなるのでは…。(県北地域・50代・男性)
- ◇ 情報をもう少し簡単に手に入れられるようにして欲しい。(県北地域・50代・男性)
- ◇ 現在まで大病をした経験がないが、高齢になった時の健康状態が不安。老人介護等、高齢者対策を自治体における強化を希望します。(県北地域・50代・男性)
- ◇ ①昨年、単身赴任中にがんの摘出手術を受けましたが、福島県内の適当な病院が現地の医療機関で分からず、都内の大学病院で受けました。現在も治療のために月2回都内の大学病院へ通院しています。適当な時期に県内の病院への通院を考えたいのですが、これまでの病歴や治療経歴が適切に引き継がれるか不安です。また医療水準についても差があるのではないかと不安があります。②がんの治療費は高額であり、高額の治療費を払っていても完治するとは限りません。健康保険が適用されていますが、それでも経済的な負担は大きいものがあります。社会保障の充実を望みます。現在は収入があるので、その範囲で何とかなっていますが、失業や配偶者が新たに発病したらお手上げです。また、最新の治療を受けられる病院を身近なところで増やして欲しいと思います。(県北地域・50代・男性)
- ◇ 宮城県には県立のがんセンターがありますが、福島県には他県と同様以上の医療施設が何かあるのでしょうか？現在は市内に住んでいるので病院へ通う事になったとしても一応大丈夫と考えていますが、広い福島県の場合、郡部、山間部に住んでいる方は大変ですね。「健康づくり」の必要性は医療費削減のためにも重要ですから、取り組んで下さい。福島県に住んで良かったと言える、他県に誇れる水準として下さい。(県北地域・50代・男性)
- ◇ 病気は難病、重症度、性別、年齢などによって感じ方、とらえ方が全く異なると思うので、関係者(機関)からの広報、相談体制、受け入れ体制などはターゲットを定めて効率的効果的に行うような工夫が必要と思う。様々な情報を新聞や本、インターネットで入手しようとする人たちは心配ないが、若い時からそのような訓練をしない人や訓練をしないまま年寄りになった人達をどのようにケアしていくかが課題だと思う。医療サービスの過疎の問題は難しい。過疎地に都会並みのサービスを提供する事は現実的でないので、過疎地に住む人が高度医療を必要とする時に、社会全体としてどのようなサポートができるかを考えなければならないと思う(悪公平、悪平等は目指すべきでないと思う)。(県北地域・50代・男性)
- ◇ <願いです>「不治の病」を簡単に治す方法を早く見つけて下さい。特にがん、ダウン症など。(県北地域・50代・男性)
- ◇ 医師に対する患者の不安、不満を吸い上げるようなシステムと、その声を反映できるようなシステム作り。①過度と思われる薬の投与へ不満。②患者の症状不安を聞かない医師への不安、不満。③乱暴な無神経な医師の言葉。(県北地域・50代・男性)
- ◇ 特に大きい医療機関での診察待ち時間短縮を図るべきと思う。診察5分程度で、受付から精算まで2~3時間を要する所もある。カルテが巡回する手順とスピードアップが課題だと感じる。製造業のような1分1秒を詰める仕事ではないが、事務処理や薬の処方等のスピード化はまだまだ他の業種に比べ遅れている。時間がかかるため、医療機関に行かない人もその辺が改善されれば行くのではないかと考える。(県北地域・50代・男性)
- ◇ がんに対しての考え方をもっと親切に、どこに気をつければ良いかと、どのくらいで手術かと、乳がんで死亡での妻の過去の病院通院状況を考えます。切除すれば治る、そんな思い込みにな

り早期治療ではなく、手遅れでした。世の中忙しく働き、聞く耳も作動しない事。もっと初期の病気の考え方、病気の重大さを指導してもらえればと、また妻は別の病院へ行かなかった事が残念でなりません。(県北地域・50代・男性)

- ◇ 特定の専門的開業医（歯科など）ばかりが多く、内科、胃腸科等が少なく、果たして医は仁術という言葉は死語になっているのかと腹立たしく思う時がある。(県北地域・50代・男性)
- ◇ 年齢の割に健康なので（病気をしない）あまり実感がありませんが、これからも健康第一で生きていきたいと思います。(県北地域・50代・女性)
- ◇ 私は障がい者手帳で病院にお世話になっています。お医者さん、看護師さん、医療に関わる方々の患者に対するご苦勞、努力、心遣い、頭が下がる思いでいっぱいです。ただ、開業医が多くなり、便利で良いなと思ったり、総合病院に経験の積まれたお医者さんがいなくて、これでいいのかな～とか疑問に思うことが多々あります。これは私の事ですが、5、6年前の土曜日の17時頃にある病院に行き、診察を願った所、手帳では請求が面倒なのでと断られ、2日間苦しんだ思いがあり、医者と患者、医者と障がい者手帳との係わりに不信と疑問を抱いた思いがあります。また目まいで病院を訪ねた時、本人目の前にして、何でこの科に来た、こんなの病気でないと言われ困った事がありました。病気をした時、患者はどこに行ったら良いのでしょうか。医者とは何ぞや、開業医とはなんぞや、患者とは何ぞや、そんな思いでいっぱいです。ただ1人、私も信じる女医さんはおります。(県北地域・50代・女性)
- ◇ 私の住んでいる市には、病院があまりありません。交通の便も悪いので、早く近くに診療所ができると思うと良いと思っています。(県北地域・50代・女性)
- ◇ 福島市に転居して丸4年になりますが、その間眼科、皮膚科のみの通院（短期）で、あまり医療機関の利用がないため、問7、910については回答出来ませんでした。年金生活でもあり、日頃病院に行かなくても済むように健康管理に気をつけ、体力づくりをしています。これから先も医療費にはお金を使えませんので、もし内科的な病気にでもなった際には必要以上の投薬等はしないで欲しいと思います（知人などから投薬の量が多いと聞いています）。(県北地域・50代・女性)
- ◇ 患者が不安がらないような治療を望む。無駄な検査はして欲しくない。患者に分かるような説明が大事かと思う。(県北地域・50代・女性)
- ◇ 福島県の医療水準は全国的より低いように思う。もっとレベルアップが望まれる。(県北地域・50代・女性)
- ◇ 普段から特に注意しているわけではないのですが、健康のためほとんど病院のお世話にはならないので（現在は足にできたイボの治療中）、医療機関のことに關してはよく分かりませんが、知人の話によるとやはり医師の資質が落ちているので、専門医を何軒かはしごするのが良いと聞きます。またテレビ、新聞などで見るのは、産婦人科医の不足です。少子高齢化対策も安心して子どもを産める環境作りも、まず信頼できる産婦人科医がいらないのでは始まらないと思えますが。医療機関の薬の出しすぎも問題と思われます。ひいては健保の破綻にもなりかねず、保険料の値上げだけが続き、不払いの人も増えてくるのではないかと思います。(県北地域・50代・女性)
- ◇ ①妊婦の健診、診察料、投薬全て無料にして欲しい。②子どもも小中学生まで無料にすべきだ。今の若い働き盛りの親御さんは給料も安く、いつリストラにあうか分からない状況で不安定である。せめて子どもの医療費は無料にして欲しい。③高齢者は結構高い年金をもらって旅行に行ったり、お金持ちの方が多い。暇なので病院に行くのを楽しみにしている人もおり、薬をたくさんもらってきてもゴミ箱に投げてしまっている人が現にいる。高齢者は医療に甘えている人が多いので、自分で運動したり、食に気をつけて若い人達に少しでも迷惑をかけないようにしなければならないと思う。そのためにもあまり補助してあげないで、生活に（収入のない人）困っている人にだけ補助してあげるようにして下さい。④介護者（年寄り、子どもの）の賃金を上げ待遇を良くしないと（とても大変な仕事なので）誰もなりたくない仕事なので給料を上げて働きやすいように国で援助すべきである。(県北地域・50代・女性)
- ◇ 定期的に治療中、検査、薬代が高価で、年間支払いが13万円ほどかかる（自己負担）。働いているから何とかなるが、年金生活になると負担が大きい。(県北地域・50代・女性)
- ◇ この町は高齢者のための施設が色々あるので、大変良いと思います。(県北地域・50代・女性)
- ◇ A病院で知人ががん患者で死亡したが、A病院の診断では別病名を言われ、本人がどうしても体調が回復しないため、B病院の診断を受けたところ手遅れのがんだった。A病院の医療水準

を望みます。内科医は若すぎる。C病院には以下の理由から改善を望む。受付までは非常に迅速に処理されるが、診療科窓口受付から診察を受けるまでの時間が患者が2～3人なのに40分～1時間以上も待たされ、挙句の果てに検査結果も説明も「尿酸数値が高い」のみで、どの程度の数値かも話さなく、話し方も不親切医師です（泌尿器科）。本当に多くの患者を受け入れて、赤字解消の真剣さがあるのだろうか疑問である。県の幹部就任から医師の改革（意識）をして欲しい。（県北地域・60代・男性）

- ◇ 病気の状態、特に検査結果に対しての治療、方法を十分説明してもらいたい。（県北地域・60代・男性）
- ◇ 高齢者の3人家族です。今後の医療等について、医療費も含め不安です。高齢者が希望を持って暮らせる計画を作ってください。県の予算も少ないようですが（今まで必死になって働きづめでしたので、のんびり暮らしていきたい年齢になりました）、高齢者への負担を軽減する施策をお願いします。大変でしょうが、頑張ってください。（県北地域・60代・男性）
- ◇ 現在は健康維持に努め、幸いにしうまくいっているが、近い将来「もしも…」の事になった時を考えると、不安材料がとても多い。適切な治療を受ける事ができるのだろうかという事に「心配ない」という答えが見い出せないのが、昨今の医療環境だと感じている。私達の頼りは医療制度と医師の充実だという事を訴えたい。（県北地域・60代・男性）
- ◇ 福島市政だよりは月1回配布されますが、何ページでも良いですから健康に過ごせるアドバイスを医師や保健師さん達がまとめたものを載せて欲しいです。栄養士さん達が考えた健康料理の方法も市政だよりに載せて欲しいです。（県北地域・60代・男性）
- ◇ 近くの医院に月2回通っています。大きい病院は月1回で済むのに、2回（同じ病名です）通う事はお金もかかるし、時間もかかるので、1回で済ませればありがたいと思います。待合室等で狭い場所で他の人に聞かれない病名とかは、病院関係者は小さい声とか、人がいない場所等で話して欲しい。受付の女性は忙しいのか、機嫌が悪そうで気を遣う。（県北地域・60代・女性）
- ◇ 看護師に人間性の向上を望む。（県北地域・60代・女性）
- ◇ 病院の医師によって診療がだいぶ違う事が分かった。それは小児科に行った時に感じました。風邪をひいた時、たしか食事のことをたずねたところ、一方の医師は食べさせてもいい、一方は食べさせない方がいい、どちらをとったら良いか分からない時があった。（県北地域・60代・女性）
- ◇ ①医、薬分業は、患者のためになっているか。薬価が高い。病院から薬局に回らなければならないので、不便である（特にやっと歩く人もいる）。時間がかかるし、利点は1つもない。②患者のためだろうか、過剰診療がある（無駄な医療費がかかる）。たとえば逆さまつげを取りに行っているが、頻繁に視力検査をする。薬を多く与えるのはないか、すぐ内視鏡をやるところも。前述したが、白内障手術など、日帰り治療ができる時代なのに、1週間も入院させて関係ないような診療までやっている（この診療はいくらでも理由付けはできる）。いつも疑問を感じている。（県北地域・60代・男性）
- ◇ 高齢者の医療負担の多さ。（県北地域・60代・男性）
- ◇ 健康保険の適用範囲をもっと大きくして欲しい。（県北地域・60代・男性）
- ◇ 夫婦2人だけの生活なので、老後病気で倒れた場合の介護をしてくれる人がいない不安があります。今は妻に介護してもらっていますが、妻も体が弱いので心配です。（県北地域・60代・男性）
- ◇ 常に休日、夜間診療に不安を持っています（特に時間外診療の対応）。午後6時以降。（県北地域・60代・男性）
- ◇ 私は若い頃から病気持ちで医療機関に大変お世話になっています。最近病院内の改革が進んでおり良くなりました。診療時間の予約制で待ち時間が短縮されました。1冊のカルテが次の診療科に回って行きますので、採血検査表もカルテと一緒に持って行きますので大変便利になりました。（県北地域・60代・男性）
- ◇ 地域＝ホームドクターであって欲しい。友人的会話をして欲しい。先生を中心に会合、レクリエーションをやって欲しい。（県北地域・60代・男性）
- ◇ 特にないが、かかりつけの病院でも人間ドックが開設されることを望みます。その病院には主治医がいるため、他の病院で人間ドックをやってきましたが、治療にあたる時困難さがありま



す。特に 70 歳以上になる方々は、検査と治療が同じ方向へ行く方が患者にとっては安心して医療が受けられます。(県北地域・60代・女性)

- ◇ 看護師の資格をネームの下に提示して欲しい。機械検査が多く、営利主義と見受けられる。触診がない場合がある。子宮を引っ張ってリングを使うよう説明された。(県北地域・60代・女性)
- ◇ 現在 68 歳ですが、近所に話し合える相手もなく(主人はいるが)身体も弱く、病院に通院しています。月に 1 回ですが、3ヶ所に行っています。家にいても話す相手もなく、話し合える相手のいる所へ週 1 度でも良いので通いたい。夜は子どもも仕事から帰ってくるのでおしゃべりに夢中です。主人とは不仲で会話がない。毎日が不安です。(県北地域・60代・女性)
- ◇ ①マッサージとか整骨院で助かっている人がたくさんいるので、保険の対象にして下さい。②大きな病院が郊外に移っています。市の中心部に大型の救急病院が必要です。(県北地域・60代・女性)
- ◇ 病院の医師が少ない。親切さがない。(県北地域・60代・女性)
- ◇ お陰様で今のところは健康なので、あまり医療に関心がありません(今のところは)。(県北地域・60代・女性)
- ◇ 国の保健医療に関する制度が変わってきて、色々大変に感じています。私は障がい者(3級)なのですが、昨年の 8 月まで(?)は医療費の優遇がありましたが、段階的に解消されました。今は障がい者手帳を出しても出さなくても同じです。タクシーとか電車は少々優遇があります。出さなくとも同じです。タクシーとか電車は少々優遇がありますが、肝心の医療費がないのは本当に残念です。(県北地域・60代・女性)
- ◇ 病院までの送り迎えがないので、歩けなくなった時のサービスがあれば良いと思う。(県北地域・70代以上・男性)
- ◇ 健康に注意し生活し、暮らして生きたいと思う。(県北地域・70代以上・男性)
- ◇ 健康保険証は本人の写真が付いてもいいですから、カードとして預ければ。旅行または本人の証明するためにも助かります。ぜひご再考のほどお願い申し上げます。(県北地域・70代以上・男性)
- ◇ たくさんありすぎて何から書いたらよいか分かりません。①現在の医療制度のあり方について。入院した場合 3ヶ月以上は同じ病院にいられないとか。別の病院に転院すると、最初から検査検査で何のためか?患者不在で病院の経済的な理由ではないのか。②介護保険の問題。介護度 1~5 段階の件では、認定する方の個人意見でどうにでもなる事が見聞きするたびに疑問に感じる。なるべく家族介護を勧めているようだが、家族の負担の重さを感じている。独り暮らしの老人なので、経済的な事から行く末の不安はつきない。③行政の血の通ったやり方を願いたい、あまりにも老人、弱者切捨ての行政に、辛い思いでいっぱいです。(県北地域・70代以上・女性)
- ◇ 耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション科があると助かる。(県北地域・70代以上・女性)
- ◇ 今までに大きい病気をした事がありません。だから分かりません。(県北地域・70代以上・女性)
- ◇ 年に 1 回の健診は本当に助かります。あまり大きな病気もしないので、少しくらいの事は気にしない。働いていますので定期的に診ていただける事は早期発見になりますので助かっています。保健医療とは違いますが、産婦人科の病院がなくて困ります。若い人達が安心してお産できるようなしていただきたい。お願い致します。(県北地域・70代以上・女性)
- ◇ ①医師の説明、相談に多忙のせいか懇切さが不足気味に思われます。②待ち時間の短縮が望ましい。通常 2 時間半の医院もある。(県北地域・70代以上・女性)
- ◇ 患者として病名、病状、予後、診療計画、処置、そして副作用(薬)などについて納得できるまでの説明をしていただきたいと思います。待ち時間が長いために、自分の診察に詳しく説明がなかなかしてもらえなく、患者自身も遠慮して聞く時間がないし、いつでも必要かつ十分な医療サービスを、と思います。かかっている医師から紹介状をもらう時はあまり気分が良くない態度をとる事があります。患者が医者を選ぶ時代はまだ遠い様子です。(県北地域・70代以上・女性)
- ◇ 特にありませんが、今は元気で暮らしておりますが、身体が不自由になった時お世話になりた



だと思います。ありがとうございました。(県北地域・70代以上・女性)

- ◇ ①新市になっても1年前は町だったため、医療機関は小規模のクリニック、医院のため安心感は満足とは思われないため、やはり手間や金をかけても設備の整った病院に通い検査の結果を知り、自分で納得出来る事です。②住み家から通院するにも高齢のためタクシーを利用すると、医療費よりも交通費の方が高くなるので悩んでいます。子どもたちの自家用車を利用するにも、子ども達は生活があるので通院日時の毎回とはいかないので困っている現況です。(県北地域・70代以上・女性)
- ◇ 病院に行っても待っている時間が長く、具合が悪くて行くので辛いです。先生に診てもらう時に悪い患者を早く診てもらえるようにA、B、Cに分けてスムーズに早く診てもらえたら良いと思います。(県北地域・70代以上・女性)
- ◇ 今現在は医療も何かとかかりつけの先生方で満足しています。健康までもないですが、何とか頑張っています。これから看護でお世話になる時、スムーズに手続き、待ち時間のないようにお世話になれる事を願っています。(県北地域・70代以上・女性)
- ◇ 嫁が子宮筋腫で葉山まで行って手術しました。保険が利かないので、百万円かかった事を聞きました。貧乏人にはきつい事でした。(県北地域・年齢不明・性別不明)
- ◇ 紹介状がない場合の負担金をやめて欲しい。少しの金額ではあるが、負担が大きく、初診の場合のリスクが大きい。病院は忙しいのは分かるが、待ち時間を短くして欲しい。また体の具合が悪くて行くので、休める場所を提供して欲しい。(県中地域・20代・男性)
- ◇ 予約していても1時間くらい待つので長く感じる。(県中地域・20代・男性)
- ◇ 自分の健康について、気軽に相談できるように病院の体制を整えて欲しい。最近花粉症になり病院に通ったが、アレルギーの薬は高い。検査にもお金がかかる。日本人にとって花粉症は身近なものになりつつある。もっと気軽に治療、検査を行えるようにして欲しい。(県中地域・20代・女性)
- ◇ 歯科医療が高額なので、もう少し保険適用して欲しいです。病院に行くと病気をもらってしまう事が多いので、伝染病等の患者さんと待合室を分けるなどのシステムを考えて欲しいです。(県中地域・20代・女性)
- ◇ 大きな病院でも医師不足で産婦人科がなくなってしまうところがあります。なかなか難しい問題だとは思いますが、少子化対策の上でも重要なことだと思いますので、ご対応の程よろしくお願い申し上げます。(県中地域・20代・女性)
- ◇ 私には80歳の祖母がいます。同居はしていないため、健康状態の把握が難しく持病に対しても適切な治療ができていないような気がします。現在かかっている病院では往診をしていないので、日々外出を渋る祖母にとっては通院も負担となっています。これから高齢社会がますます進んでいくというのに、在宅医療はまだまだ整っていないように感じます。誰でもどんな状況でも平等に受けられる医療を望みます。(県中地域・20代・女性)
- ◇ 医師の確保を重点的にして欲しい。感染症、生活習慣病などの予防法のセミナーを行って欲しい。耳鼻科、眼科、産婦人科の開業医が少ないように思うので、増やして欲しい。子どもの健康診断の義務化、ならびに1年ごとに行うようにして欲しい。子どもの予防接種も義務化にして欲しい。(県中地域・20代・女性)
- ◇ 自己負担額が大きい。今日テレビ等で騒がれている税金を見直し、本当に必要な物に当てて欲しい。政治家(知事、市長、町長等)も見直しをして欲しい。頼れる政治家が1人もいない。国民、県民、市民の事をもっとよく考え、目線を合わせた対応をしろ!このアンケートで何が変わりますか?変わった事があれば(改善された所)発表して欲しい。(県中地域・20代・女性)
- ◇ まだ21という若さなので実際あまり保健医療等に関心はないが、いずれ年を重ねる事を考えると、これからもっともっと充実して行けば良いと思う。日々病と闘っている人々がいる限り、保健医療は欠かせないものだし、明日は我が身と他人事でいられなくなる時がいつか来るだろう。未然に防ぐためにも定期検査などを受けたり、個人の意識を高めていくべきだ。そういった認識を持てるような情報源、気軽に行ける検査などが必要だと思う。(県中地域・20代・女性)
- ◇ 子どもの医療費を6歳までだが、小学校6年まで無料にして欲しい。出産費用をもっと安くして欲しい。(県中地域・30代・男性)

- ◇ 医療費を安くして下さい。(県中地域・30代・男性)
- ◇ 前にかかっていた医療スタッフがでたらめな対応しかしてくれなかった。今の病院はましな方になった。医師があまり詳しい事を教えてくれない。ある病院の看護師はとくにひどかった。(県中地域・30代・男性)
- ◇ 薬局が間違っ薬を渡すということを、複数の知人から(体験談として)聞いており、少し不安だ。自己負担が結構高いので、少し具合が悪くてもすぐには行かない。(県中地域・30代・男性)
- ◇ 総合病院でなければ信用できない、といった事をよく聞きます。私自身は近くの先生に診てもらえれば、身体にも経済的にも負担がかからないので、わざわざ遠くに出向く事はありません。が、もし近くに総合病院、もしくは出張で来てくれる幅広い専門的な先生がいるならば、安心して子育てもしくは老後も暮らせると思います。医療の充実を望みます。(県中地域・30代・女性)
- ◇ 特にがんに関する情報提供をしてくれる窓口があれば良いと思う。様々な治療方法、専門医、実績のある医療機関(全国の)等。(県中地域・30代・女性)
- ◇ 医薬分業が進む中、未だ診療所で薬を出している所があります。そこに行くと「お薬手帳」に記入してもらった事も悪く言えず、違う病院に行った時に困った事がありました。薬局でいつも同じ薬をもらう時は(情報料?何という名称か忘れてしまいましたが)薬の内容を教えてもらわないようにするといくらか安くなるという事をテレビで知りました。しかし誰もその事を話題にしていないので、こちらから聞く事もできずあやふやになっています。省略できる点をはっきり明示して欲しいです。子どものシロップの容器代も、薬局に持っていくと有償で回収してくれるところと、回収していない所があります。これも明示していない薬局がほとんどです。(県中地域・30代・女性)
- ◇ 高齢者の入院医療費が高すぎる。家族の負担が多い。寝たきりの人たちの病室の臭いがすごい。(県中地域・30代・女性)
- ◇ やはり緊急時は即対応していただき、医療費を安くして欲しい。(県中地域・30代・女性)
- ◇ 小さい子どもを持っていると、病院とか長時間待っている事ができない。(県中地域・30代・女性)
- ◇ 市町村によって介護保険料や乳幼児医療の年齢が違うのを、県で統一して欲しい。してはいかがと思う。医療についての情報提供をもっとして欲しい。(県中地域・30代・女性)
- ◇ 誰かが入院して付き添いが必要な場合、付き添いの人の精神的ケアも考えて欲しいものです。看護師さん等は入院患者の人の話や世話をよくしてくれますが、付添い人の精神的疲労や悩みが相談できる環境にないので、そのあたりをもっと考えて環境を整えて欲しいものです。金額のおおよその一覧表などがあると助かります。場合によっては申請すると金額の一部が戻るような場合、手続きの仕方など「あなたはこの薬を使用しているので、このように手続きすれば戻りますよ」とか事務的な事もちゃんと教えて下さい。(県中地域・30代・女性)
- ◇ 国民健康保険が高い。全く病院にかからないのに、あんなに払いたくないし、払えない。(県中地域・40代・男性)
- ◇ 休日、夜間、子どもが具合が悪くなった時診察してくれるが、調剤薬局で処方しているので、とりあえず出せる薬をもらってきて飲んだが、次の日また診察するために病院に行くようになったことがあった。皮膚や眼科は予約していても待ち時間が長い(また、病院自体が少ない)。妻が車を運転できないので、交通費も大変。休日、夜間診察はしてくれても、専門医でないと分からない場合もあるので、対応の仕方に問題あり。(県中地域・40代・男性)
- ◇ 怪我をして泣き叫んでいる子どもを病院に連れて行った時、また39度を越える発熱でふうふういっている子どもを連れて行った時に1時間以上待たされ、その間病院の方から一言も声をかけられなかった事があり、とても不安に感じました。先生方や看護師さん達もお忙しいのだとは思いますが、昨今の医師不足や診療休止のニュース等をあわせて考えると、人材の確保の手立てが必要なのではと感じます。医療費についても、もっと分かりやすく、できれば低くしてもらえると助かります。(県中地域・40代・男性)
- ◇ 耳鼻咽喉科の医院が少なく、近所の医院は名医のため、5時間待ちは当たり前という始末。子どもは風邪を引くたびに中耳炎になるため、その都度うんざりしてしまう。かと思えば、歯科医院はやたらと多く、今も1つまた歯科医院を建設中です。ぜひ耳鼻咽喉科の増設を望みます。

(県中地域・40代・男性)

- ◇ 予防医療の充実と、医療費負担の軽減について。(県中地域・40代・男性)
- ◇ 高齢者の自己負担が大変だと思う。自分たちもこれから年をとっていく事を考えると、少子化で自己負担がどんどん増えてくると思うと生活していけない。病院に通院していると思うのだが、働く人の環境がかわいそうである。医師が少ないので待ち時間が長くなってしまふのは仕方ないと思うが、あやまっているのにも関わらず大声で看護師さんが怒られて、物を投げつけられている場面を見たことがある。あれでは辞めていく看護師、医師が増えないのは当然である。医療者に色々注文する前に、患者も現在の医療の状況を理解していくべき。医師も自分の手に負えない病気は早めに他の病院などを紹介してほしい。「自分に任せておけ」と言われ手術をしてひどい目にあった。医師にとっては自信があるのかもしれないが、痛い目にあったのはこちら側だ。(県中地域・40代・男性)
- ◇ 夫婦で50歳近くなり、色々と体に対して関心が高くなってきました。妻はここ数年大腸がんの検診を受け、その都度ポリープを除去しております。インターネットで色々薬についての効能を調べたり、医者手術について回数を公表したりする記録を見たり、意識は高いです。とにかく県内の医療機関の情報がすぐに分かるシステムが必要だと思います。よく新聞で手術の回数を病院名を載せながら掲載しています。私はよく見ております。まだまだ医療ミスが隠されていたり、明確になっていないことも多いように思います。カルテを自由に見れることも大切な事と思います。情報の開示を求めます。(県中地域・40代・男性)
- ◇ 病気というほどのものではないけれど、何か思わしくない時、身近に気軽に相談できる人がいたならいいのと思うことがあります。昔で言えばおばあちゃん、学校でいえば保健室の先生みたいな人。今は核家族化が進み、小さい子どもがぐずっている時等、なぜそうなのか、誰かに相談したいけれど相談できる人がいませんでした。病院に行けば薬を出してくれるけれども、できるだけ薬に頼らない、自然治癒力を高め、害の少ないもので子どもを育てたいと思っていました。そのためにも地域に知恵袋的な人がいて、指導していただけるようでしたら救われる人は多いのではないのでしょうか。(泣きやまない我が子への)虐待も減らす事ができるのかも…。(県中地域・40代・女性)
- ◇ せっかく見てもらっても、薬局も休日、夜間だと遠くになってしまったり、時間がかかったりするので、夜間、休日にも充実した対応をして欲しい。体調が悪い時なので、考えて改善していただきたい。(県中地域・40代・女性)
- ◇ 医療費が高い。院内薬局にして欲しい。(県中地域・40代・女性)
- ◇ 病気になった時の症状によって、どの病院に行けば良いかが分からない。各病院の情報が入ってこないで、病院を選ぶ基準が分からないので、もっと情報を開示して欲しい。(県中地域・40代・女性)
- ◇ 開業医の情報はインターネットにも載っていないで、得られる情報が少ない(例えば家から近い、とか診察時間が長いとか)。どの分野が専門なのか、例えば内科でも呼吸器か消化器か内分泌かなどの情報があればかかりやすいと思う。また開業医はなぜかこの病院も木曜日の午後が休診となっている。診療時間の設定はその開業医の先生次第なのでしょうが、木曜日の午後、子どもが熱を出したりするととても困った。(県中地域・40代・女性)
- ◇ 今現在3ヶ月に1回、治療のため病院に通っているが、1回に払う負担額が大きく、経済的に困っている。4万くらいかかり、これに検査などがあると5~6万位かかってしまう(3割負担で)。私と同じ病気の人は、同じ治療をしていれば同じ負担を背負っているわけだが、もう少しどうにかできないのでしょうか。(県中地域・40代・女性)
- ◇ 病気ごと信頼のできる医師がどの病院にいるのか、検査設備がどの程度整えられているのか、治療と共にリハビリもできる病院はあるのか、県内医療施設の正しい情報を相談窓口や情報誌で明確に知れるようにして欲しいです。(県中地域・40代・女性)
- ◇ テレビでジェネリック医薬品の広告をする製薬会社が増えてきましたが、ジェネリック医薬品についての中立、公正な情報及びどんな治療があるのか、などの情報を掲示する公的情報源があると良いと思います。(県中地域・40代・女性)
- ◇ 病院は夜間や休日など緊急を要する時にこそ診て欲しいので、救急診療体制は充実して欲しいと思います。(県中地域・40代・女性)
- ◇ 病院は待ち時間が短い方がいいですね。あまり長いとお年寄りの人が疲れて横になっている人をよく見かけるので。短い方がいい。(県中地域・40代・女性)

- ◇ 今後もどうぞ力を入れて頑張っていって下さい。よろしくお願ひ致します。ありがとう。(県中地域・40代・女性)
- ◇ 「臓器提供意思表示カード」についての設問がありましたが、知ってはいるが実際に見たことはありません。公報等によれば、行政窓口にあるとの事ですが、よく分かりません。健康保険症等と共に配布する事はできないでしょうか(役所内の横連絡ができていれば難しい事ではないと思いますが)。医師の高額所得ばかりが見えてくる昨今ですが、金ではなく誇りを高めるような行政を求めます。(県中地域・50代・男性)
- ◇ 当アンケートの結果について、集計と分析を公表して欲しいと思います。(県中地域・50代・男性)
- ◇ 待ち時間を短くして欲しい。(県中地域・50代・男性)
- ◇ 第一に医療費の負担増が心配です。(県中地域・50代・男性)
- ◇ 下記の通り回答します。①大手病院は医療費が高く、また待ち時間が長い。なぜ?②大手病院は平日朝、例えば朝5時より行っている。サラリーマンは大手病院にはかかれない。③問診など5分くらいしか診ない。それで分かる?④ベテランがいない。人件費か分からないが、ベテラン不在。⑤痛いとかそんな時に診る医者がない。⑥個人としては医者不在であれば外国の外国人の医者を導入しても良いと思う。かえって水準が高いのでは?アメリカ、ドイツ、フランス、イギリスの医者に診てもらった。親切であり、話を聞く。⑦医者の数が不足している。また医者の給与が高い。必要ないと思う。⑧高い医療費を払うなら、なぜ日本人でなくてもいいと思う。⑨医者、病院のステータスは外国では決して高くない。診るのが当然としている。(県中地域・50代・男性)
- ◇ 1年間医療に保険を使わなかった場合、保険料を還元する。がん診断まで含めた定期健康診断を義務化し、保険の適用を受けられるようにする。早期発見や健康管理に生かせるように指導をしていく。各人が自己管理するよう、風邪くらいのは保険の適用は除外し、本当に必要ながん治療などの高額な医療負担の軽減をもっと考えて欲しい。(県中地域・50代・男性)
- ◇ テレビ等の情報によると「近年医師不足が深刻な状況にある」事を心配しています。県内には医大があるにも関わらず、特に郡部においては必要な医療が受けられない状況が現実となっていると聞いています。もう少し医療関係のネットワークを強化し、県内で医師が活躍できる基盤作りを検討して欲しいと思います。(県中地域・50代・男性)
- ◇ 老人医療を真剣に検討して欲しい(安心して老後を送れる社会福祉の拡充)。(県中地域・50代・男性)
- ◇ 自分がかかりつけ医としていつも診察してもらっていたが、往診、夕方、休日の家族の診察を拒否された。先生は不在ではなかった。(県中地域・50代・女性)
- ◇ 臓器提供の意思がありますが、どこでもらったら良いか分かりませんが…。(県中地域・50代・女性)
- ◇ 小学生まで医療費が無料になるということは、大変良いことだと思います。(県中地域・50代・女性)
- ◇ 同居している主人の両親2人(介護5と3)を介護しており、1人は寝たきり状態ですが、1日3回車椅子におこして自己流ですがリハビリをしてあげ、もう1人は介護3で動き回るためケガばかりして、大小が出るのも分からずオムツです。2人ともオムツ、夜も2回ほど寝返りをさせたり、たんをとったりするため起きなくてはならず、自分の身体も限界…と言いたい位になっております(時々腰の筋を悪くしたり、手が痛くなったり…片方の手は2年前に腱鞘炎で手術をしました)。そんな訳で自分が病院に行く…ということはなかなか大変なことで、待たずに見てもらいたいなあいつも思っています。関係のないことですが、主人の兄弟の方たちはたったの1度も介護には手を出した事はありませんが、私は介護をもう12年も続けています。自分の身体が具合悪くても休めずに、とても大変です。時々私のほうが倒れてしまうのでは…と思うことがあります。でも近くにある医院の先生が、どんな事でも話を聞いて診て下さり、とても助かっております(例えば内科ですが、遠くの病院までは行けないので、腰の筋を悪くして痛いと言うと湿布を出してくださったり…)。(県中地域・50代・女性)
- ◇ 健康診断の結果を基にした、後日の保健師さんによる健康相談は、食事とか運動とか具体的に良いと思います。(県中地域・50代・女性)
- ◇ 高額医療の事ですが、自己負担金が多すぎ、月8万円以上でないと思いません。それも月をまたいだりすると何にもなりません。先日夫が入院して月がまたがり、全部で20

万位でしたが、10万、10万で1万2000円位ずつと2万くらいでした。病気なんていつするか分からないのだから、1回の入院が月をまたごうがまたがらなからうが、その時を1回に数えて欲しい。この時を例にすれば良い。20-8=12で、12万円返金になるのと2万円とじゃ違いが分かるでしょう。私達老人はお金なんてありません。やっと年金と借金でやっと払って通院してきました。皆お金を持っている人ばかりじゃないんです。年金で生活しなくてはならない人も、病気にはなるんです。その事をもっと知って欲しいと思います。(県中地域・50代・女性)

- ◇ 健康を保つ(維持、増進)のための施設(施設、研修会等)を設けて欲しい。病気医療だけでなく、予防対策が大切かと考えています。(県中地域・50代・女性)
- ◇ 社会保険庁に申込みの健康診断は、年々内容が少なく、自己負担が大きい。人間ドックも数万円かかり、症状が出てから医療機関にかかる事が多い。費用の面で毎年受診する事が困難である。(県中地域・50代・女性)
- ◇ 現在80歳になる義父がいます。施設介護サービスを受けさせたいのですが、本人が行こうとしません。保健所などからの声かけでもあればと思うのですが。(県中地域・50代・女性)
- ◇ 医療費が高いのでなかなか医者に行けない。お金がないと医者には行けませんね、困ります。(県中地域・50代・女性)
- ◇ 主人がリストラになってから2人で医院通い、医療費が高いので大変です。医院によって金額が全然違いがあります。(県中地域・50代・女性)
- ◇ もし看護師さんに知り合いがいた時、守秘義務を守れない方がいる時など残念に思います。特に更年期で症状があれこれと出て苦しんでいる時に、久しく会っていなかった方に症状を言われた時はかえって苦しみ、症状が思わしくなくなった事がありました(悩んだけど前向きに、看護師に治せるわけじゃないのに気にしても…と自分を奮い立たせました)。多分その看護師は地方の広いようで狭い土地柄を知らなかったのか…と思うようにしました。でも悔しかったのが本音です。薬局→副作用をもっと詳しく書いて欲しい。ありがとうございます。忙しい中大変ですね。福島の医療の発展を望みます。大きな市に住んでいるので困る事はないですが、その他の地区も早く充実してくるといいですね。(県中地域・50代・女性)
- ◇ 現在、おかげさまで健康であるので、特に各質問には違和感はないが、実際病に倒れたならば色々な要望が出てくると思う(患者の立場になるとわがままになるので)。(県中地域・60代・男性)
- ◇ 今の医療制度は非常に不備であると思います。ますます高齢化社会になるのに、医療付き療養型病院が不足していると思います。子どもと高齢者にもっと目を向けて安心できるものにすべきだと思います。私の例として、72歳の母が脳梗塞で倒れ、救急車で運ばれ、1ヶ月の治療を受け口からの食事はできず、経管栄養となり、幸いにも身体の麻痺は少なく、リハビリをやり、人の手を借りてベッド上に腰掛ける事がやっとできるようになりました。その時点でこの病院は医療目的の病院で、これ以上の改善は見られないし、もう治療は終わりですから既退院して下さいと勧告されました。自宅で看病するしかありません、とのことでした。次の療養型病院は全く入れる様子もなくコネに頼るしか方法はありませんと言われました。公共性のある病院からこの先はコネしかないと言われ、ショックでした。家庭の事情はみな各々あってのお願い(居宅介護できない今の状態、本人もまだリハビリや飲み込みのリハビリ等、高齢とはいえ改善できそうに思っていました)。だからそこまで考えてあげられませんかとの回答でした。今はこういうシステムだから私達(病院側)も困っているのです、と全て政治、行政が悪いと言っています。本当に実際の現場の事をもっともっと知ってやるべきだと思います。全ての人が平等に受けられてこそ真の医療といえると思います。そのような不平等がなくなるよう、審査基準を公開するとかできないものではないのでしょうか。(県中地域・60代・男性)
- ◇ 孫の病気について、市の総合病院を受診したけれど、専門の先生でもよく分からず、インターネットで調べて東京の大学病院にて手術しました。診察5分、待ち時間2時間。小学校卒業までの医療費免除。(県中地域・60代・女性)
- ◇ 問16に関する適当な医療機関が近くにあるかどうか?介護、看護医療設備が必要とする人がなかなか空き待ちと聞いています。家族で看護できる場合は良いが、様々な事情で人の手が必要不可欠(介護疲れがひどくなった)な場合ができてくると思う。先々が心配です。(県中地域・60代・女性)
- ◇ 大病院に夫が通院しているが、詳しい説明がない。早く結論付けてしまう。会社が一方的である。若い医師が多い。(県中地域・60代・女性)

- ◇ 予約して行っても1～2時間待たされるのは曖昧。ひどい時は3時間も待っている時があります。何のための予約なのかと思います。大きな病院ほど待たされます。待たされるのが嫌で病院に行かないと言っている方がたくさんいるんです。(県中地域・60代・女性)
- ◇ 老人介護を受けている家族がいますが、常にやっと息をして生きているような感じですが、ケアマネージャーやヘルパーの人たちの来日には病人でないようなところを見せたがる所が多いので、本当に悪いのか良いのか、またあまり家族で分からない所が多いので残念です。(県中地域・60代・男性)
- ◇ 最近病気の回復が望めない患者さんが、3ヶ月ごとに別の病院へ移らなければならないお話を、お見舞いに行きうかがいました。とても悲しい思いです。どうにかならないものでしょうか。(県中地域・60代・女性)
- ◇ 私は今年秋で69歳になります。年を加えるごとに健康について切実であります。高血圧の降圧剤を服用してありますが、通院している医院は1ヶ月分お薬をいただきますが、診察といっても血圧を測定するのみで、高くなっても(160以上)あまり気にもせず事務的な事が多く、不安を感じる事があります。病状を言っても診察をせずに薬だけ頂き、薬が合わなくて専門の病院にかかった事があります。眼科医院にもかかっておりますが、杉花粉症と言われ目薬をいただきましたが、3回点眼しただけで目がはれて、治るまで1ヵ月かかりました(検査をすれば分かるはずだと思います)。内科医院は近くにあり、便利でお世話になっていますが、薬に関しては問診だけでなくきちんと検査をして薬を出してもらいたいと願っているこの頃です。(県中地域・60代・女性)
- ◇ 保健医療に関する事は特にありませんが、ごく一部の方と思いますが、特に目立って根性(態度)の悪い看護師さんがいました。あれではいくらお医者さんが良くても行かなくなるでしょう。人間は感情の動物です。特に患者に対する行動は謹んでもらいたいです。訴えてあげようと思っていました。病院ではなぜあのような看護師さんを選んだのでしょうか。いくら良いお医者さんが言っても、その人1人のために評判の悪い病院に話が伝わっています。病人はお医者さんを信じていくわけですから、そのような態度、言葉の悪い看護師さんがいたならどうなりますか。特に看護師さんの態度に注意していただきたいと思います。先生は知らないと思いますよ、そのような方が先生には大変良くて、患者側に感情を出すのだと思います。看護師さんには大変親切で明るい方が多くいます。1人のために評判の悪い病院では困ります。(県中地域・60代・女性)
- ◇ 市でお世話になりがん検診を受けていますが、半年に1回受けてと聞いていましたが、毎年受けていると1年おきで大丈夫ですと言われました。それで良いのでしょうか。不安です。(県中地域・60代・女性)
- ◇ 歯の治療(歯周病)を受けたいと思っている。近くには歯医者があるが、どこの歯医者さんで治療を受ければ良い結果が得られるのか、皆目分からない。口コミを頼るしかない状態である。従って治療を受ける時に参考になる資料があればと考える。(県中地域・60代・女性)
- ◇ 近くの医院から紹介されて総合病院に定期的に通っていますが、待ち時間が長く、2時間待つて診察は5分弱と、どうにかならないものでしょうか。(県中地域・60代・女性)
- ◇ 以前地域の開業医に診察してもらっていたが、病院と地域開業医の間に診察料、処方箋料等に大きな差があることに驚いた。初めて病院に受診に行った時、紹介状の有無しで料金が違うのも不思議だった。(県中地域・70代以上・男性)
- ◇ 診療時間が短いのに、なぜ待ち時間が長い不思議に思っている。(県中地域・70代以上・男性)
- ◇ ①大きな病院ほど患者が多い。1番待ち時間が長いのが気になる。次は私の番と告げられ、個人控所で待っていると、診察者と先生の私語が多い時は閉口した。私の診察時間は2～3分で終わる。②診察途中に急患！先生は急患に先行。代わりの先生が診察された。同じ医療に係わる先生方がいるのに、なぜ引き抜くのか。(県中地域・70代以上・男性)
- ◇ 政府の医療改悪行政には憤りを強く感じております。今までの健保の良いところや、ここまで来た水準を覆す高負担を強いる悪政では何らかの国民の強い意志を表す必要があると思います。数で押し切る自民政治では限界でしょう。欧米のようにデモンストレーションをゼネストの型でやるべき時です。これは福祉関係も含めての少子化、高齢化の逆をいくもので、世界に自慢できる健保制度ではなくなりました。国民も言うべきだけではなく、改悪の動きを止めなければなりません。強いリーダーが必要です。(県中地域・70代以上・男性)

- ◇ 私のかかりつけの医院は、感じの良い人たちで気分が良い。(県中地域・70代以上・男性)
- ◇ 集団検診で血液検査をやっていたのですが、その結果見つからなかった肺気腫が病院で見つかりました。おさなりにやっている訳ではないでしょうが、もっと細部に渡って検査をやってもらいたいと思います。(県中地域・70代以上・男性)
- ◇ ①早期診断。②個人に応じた適度な運動(計画的に意欲的に実施する)。(県中地域・70代以上・男性)
- ◇ 現在は健康普通ですが、近い将来は医療設備にお世話になる事と思います。今後の生活に不安なく生活できるように保健医療関係の充実にご努力お願い致します。(県中地域・70代以上・男性)
- ◇ 私は色々な病気で通院しておりますが、来ている患者の90%ぐらいは高齢者のようです。以下に健康な高齢者を作るのが根本のように思います(テレビで観ましたが、どこかの市町村で実績がある)。(県中地域・70代以上・男性)
- ◇ 今のところ病気もなく元気で暮らしておりますので、医療に関してのお答えが出来ず、申し訳ございませんでした。(県中地域・70代以上・男性)
- ◇ 通院している病院では予約制度を取り入れています、時間通りの診察がほとんどなく、予約時間を60~90分待ちとなり、診療時間は3~6分位で終わります。待ち時間の短縮を特に希望します。(県中地域・70代以上・男性)
- ◇ 現在の保健医療に関しては別にどうこうとはないが、私(77歳)と妻(82歳)で私は約20年前にトラックから振り落とされて約2週間の入院等はありませんでしたが、それ以前また以後病院等に入院した事もなく過ごしておりますが、妻は今月に1度予約して行っております。野良仕事等をしており、長男夫婦は健在で長男嫁は現在ケアマネージャーとして働いておりますが、私たちは年金(国民)生活で、できれば介護保険料から年金額からすれば少し重すぎるのではないかと思うのは、近所の老人会での話合いでもいつも話題になっている現況です。我が郡山市はどうなっているのかと。つい思いのままを記して。(県中地域・70代以上・男性)
- ◇ ①病気の説明不足と結果の徹底。②同じ病院の診療内容を変更した場合のカルテ内容を病状とあわせ回覧する事務づけ。③定期的健康診断と、その説明の充実。④医師の専門知識の強化。(県中地域・70代以上・男性)
- ◇ 市町村の無料検診は必要ないと思います。例えば肺癌では、レントゲンで異常なしでもマルチスライスCT検査結果、X線で見つからなかった癌が写るそうです。私はX線検査で「ここがおかしい、肺気腫では…」と言われました。フィルムの見方が分からない先生でした(湿性肋膜炎の治療をした後で)。他の病院でCT検査の結果、肋膜炎も綺麗になっていると言われました。最初から大きな病院での検査を望みます。(県中地域・70代以上・女性)
- ◇ 病気になってから、または怪我をしてから医療機関を探すといった状態で、常に安心できる医療機関を知るための資料が欲しい。(県中地域・70代以上・女性)
- ◇ 車がないので、内科、眼科が近くにあって欲しい。バスの便が悪い事。(県中地域・70代以上・女性)
- ◇ 医療費について。小学生(6年生)までの医療費の無料化の実現。歯科矯正について。歯並びは頭痛など身体にも悪い影響を及ぼす事から、保険の適用を強く望みます。歯科医は治療中心の医療から予防中心の医療にし、インプラントや安易に抜歯をしないで、歯を残存させるように技術力の向上を図って欲しい。インプラントを保険適用して欲しい。(県中地域・70代以上・女性)
- ◇ 病院、医院の薬が多く感じられます。最少限度にできないもののでしょうか。(県中地域・70代以上・女性)
- ◇ 昔と違って、最近の時代は村自体も福祉に重点を置かれますので、高齢者におかれましては安心して余生を送っております。有難うございます。(県中地域・70代以上・女性)
- ◇ がんのみが終末医療と考えているようですが、高齢者で他の病気による終末を迎える場合、自宅でどのようにして気持ちを穏やかにさせて身体の不調を緩和させていけばよいかと考えています。介護サービスを使うといっても、家族による時間がほとんどの現状。本人の意識がはっきりしているだけ難しいです。また父が土曜日朝腰痛で近くの診療所で整腸剤をもらい、午後痛みのため動作が鈍くなり、総合病院へ。色々調べ判断がつかず入院。日曜、月曜の昼過ぎまで点滴のみ。夕方盲腸で緊急手術。ギリギリ間にあったが、傷は大きく長引き。こんなに時間

をかけないと見つからない？どこか科目ごとに回すという診療に疑問が残りました。(県中地域・70代以上・女性)

- ◇ 待ち時間が長すぎる。(県中地域・70代以上・女性)
- ◇ 接骨院に通院して治療していた際(4年前)、実際にかかった治療日数(8日)と3ヶ月後に市から通知された日数が3倍も多くなっていたのでビックリして接骨院で確かめたら「1週間位待って下さい」と言われ、やはり私が通院した日数のように接骨院では少ない日数だった。この事はその後私ばかりでなく、知人の3人からも聞いた。そこでその接骨院は日数を水増ししていると思い、通院を中止して別の医院に行った。いつ世話になるか分からないので(近くなので)。そこで市の医療通知はなるべく早くして欲しい。そして「日数が合わない時は連絡して欲しい」と1項目書いてあれば良いと思うのですが。(県中地域・70代以上・女性)
- ◇ まだ合併したばかりで、びんと実感が来ない時があります。(県中地域・70代以上・女性)
- ◇ 私は現在夫との2人暮らしです。社会的高齢者ですが、現在は生活習慣病の薬を服用中です。今1番の関心事は、やはり介護の事です。数年前まで10年近くを親のための遠距離介護を続けて来ました。知人にも独り暮らしの高齢者が多く居りますが、子どもの世話には「なれない」「なりたくない」と大半の方は言われます。自分のことを考えても、やはりうなずける事です。最近立派な老人病院が完成しましたが、巨額を投じてわずか100余床…。老人は立派な設備は望んでいないと思います。安心して暮らせる低料金で、入りたい時に入れる施設を整備して欲しいと思います。(県中地域・年齢不明・女性)
- ◇ なぜ同じ悪い部分の名称でかかれぬのか、たまたま今回は近所の方の話を聞いていたからなのですが、例えば腰痛でかかっていたのに、足痛にさせられてまでじゃなければ継続できないのか、とても納得できません。(県中地域・年齢不明・性別不明)
- ◇ ①ケアマネジャーの役割。Aのケアマネジャーは「要支援1」、Bのケアマネジャーは「要介護1」の判定差はどこから来るのか？分からない。患者は、認定が重いほどいいから文句を言わない。でも機関は損をする。国の態度も刻々と変わるので、マネージャーも「過剰」と申請許可の狭間で動いているのだろう。事務手続き、書類の提出に追われて患者を「見る」までは、これは医学的見地から見るのであって、「節穴」で見ないのでない。②看護師について。病院そのものは養老院化するのではなくて、患者の治療、治癒を目的にしなければならないのに、老人ホーム化している病院も多数見かける。看護師自体、看護の技術、知識を研鑽しなければならないのに、「ここをクビになったら他の病院が」なおと、態度そのものが看護師失格が多数います。准看護師と正看護師の「差」など患者から見れば「無」である。アルバイト的(週1~2回)医師しかいない病院、いない科は保険の点数を下げて患者数と看護師数と医師の勤務時間を最低月1回以上県・市に報告させる。注射も満足にできない看護師が多数いる。30日以上もタオルケット、シーツが「血」で染まって、毎日クリーニングした記憶がある。「ナイチンゲール」は、いない！改善案①市区町村は、点数ばかり取られていないで、年間点数の多い順に職員を派遣させてナースの経験(1年程)をさせて、医療制度改革に役立ててはどうだろうか？そうすれば、問題点、不正請求等も浮かび上がる。ラーメン店に派遣された例もある。②「勤務時間」で医師も看護師にも過労死が出てくると思う。医療機関の経営の苦しさから、質の悪い、スタッフ揃い、ナース・コールも患者から手の届かないところにある。医師の勤務実態を報告させ、虚偽の場合点数をやらない。(県中地域・年齢不明・性別不明)
- ◇ 仕事上歯科に通えないので不便にしている。夜でも通える所を増やして欲しい。(県南地域・20代・男性)
- ◇ 医療費が高い。乳児医療費の際、社会保険も国民保険と同じ扱いをして欲しい。地域の医療制度を高めて欲しい。(県南地域・20代・男性)
- ◇ 市に大きな医療機関が集まっているので、入院する事になると色々な面で家庭に負担がかかる。厚生病院とか公立病院を石川町に移転してもらいたい。(県南地域・30代・男性)
- ◇ 保健医療のレベルは上がってきていると思うが、個人が受けられる保険医療に地域格差があり、今後格差は正が求められているのではないかと思う。(県南地域・30代・男性)
- ◇ 医療費が高すぎる。毎月社会保険を結構支払っているのに、それに対して医療費が高いと思う。(県南地域・30代・男性)
- ◇ 友人や親戚の家族が介護保険の改悪により経済的負担が大きくなった事をよく耳にします。病院では生かさず殺さずのような治療を老人にしているの、入院期間も数年から数十年の人もいます。家族の負担は大変です。無理な延命治療には意義を感じません。(県南地域・30代・



女性)

- ◇ 身近にがんや介護状態になっている人がいないとなかなか具体的な（費用など）事が分からないので、情報があれば良いと思う。（県南地域・30代・女性）
- ◇ 現在病院にて点滴治療中です。なかなか主治医の先生とのコミュニケーションが取れません。それを補ってくれる認定看護師の方がいらっしゃるのととても助かっています。先生があまり説明してくれなかったことを分かりやすく説明してくれるので、不安が取り除けました。このような患者の相談相手になってくれるような看護師さんは必要だと思います。もっともっと人数を増やしていただきたいと思います。よろしく願い致します。（県南地域・30代・女性）
- ◇ 以前市に住んでいて、町へ転居して来たのですが、医療機関の数、質ともにあまりの違いに驚きました。特に産婦人科がなく、近隣の市まで行かなければいけないのには、これから子育てをしていく立場として2人目、3人目を希望しても、現状として難しいのかなと感じています（現在第1子妊娠中のため）。「子育て支援」と唱える前に、そういう現実を受け止め、県・国全体として取り組んで欲しいと思います。（県南地域・30代・女性）
- ◇ 医療費に関して生保会社とかの説明でなくて、公的機関による具体的な事例があると良い。例えばがんとかその他高度先進医療の費用とか、保険会社が不安をあおるような感じを受ける。（県南地域・40代・男性）
- ◇ 予約以外でも診てもらいたい。（県南地域・40代・女性）
- ◇ ある程度の区切りでしか人間ドックを市は開催しないが、なかなか個人ではできないので、40歳過ぎたら毎年受けられるシステムを作って欲しいと思います。そうでないとなかなか自分自身では行わないと思うので！また、この検診を行う事で早期に病気を発見できると思うので、ぜひ実行して欲しい！（県南地域・40代・女性）
- ◇ 実家の母が長年町の診療所に通っていましたが、今、他市の病院に入院中で10日ぐらい自宅療養をしている中、診療所の先生に往診をお願いしました。適切な処置をしていただいたのには感謝をしているのですが、機嫌を損ねた事を（家族の言い分）を言った所「お前らはバカか？…その他もろもろ」暴言を吐いて行きました。医師側の立場はよく分かっているつもりですが、私達素人でも、懸命に母を看取りたいと思い、でも現実には心に傷だけ残りました。私達の選択は間違っていたのかな？と毎日悔やんでいます。結局現在入院中。いつ終わるとも分からない。出来ればもう少し私達の話しを聞いてもらいたかったですね。在宅医療、最期を迎えさせたいと思っていた私たちはやはり甘かったのかなって思っています。（県南地域・40代・女性）
- ◇ 白河市には信頼できるお医者さんが少ないと思う。歯科はたくさんあるが、実際にかかってみて医療ミスのようなことも2医院であった。自分が産科等で受診した時も、納得してその医師を選んだわけではない。これから何か重大な病気にかかった予感がした場合、自分としては郡山まで行くしかないと考えている。郡山市のある病院はきちんとしているし、医師も優秀な方が多いと思う。（県南地域・40代・女性）
- ◇ まず東京から越してきて白河の医師や病院に対して感じるのは、医療機関の数に対して有能な医師が少ないという事です。医師としての自覚が足りない方が多いように感じます。例えば休日診療でカルテを見せて欲しいと言ったら「今書いているところだから…」と渋り、やっと見せてくれたかと思えば汚い文字で読み取り不能なカルテで、色々聞けば適当な事しか答えず、挙句の果てには休日担当医にも関わらず「休みの日だからかかりつけの医師に電話すれば診てもらえるよ」とはき捨てるような言い方をされ、全く言語道断としか言えないような態度で呆れてしまいました。やはり医師の資格についても更新が必要と強く感じます。（県南地域・40代・女性）
- ◇ 病院に行った時に診療費、薬代を含めた総額を示してもらって、保険からいくらで自己負担はいくらですよ…と言ってもらえると分かりやすいのですが。どこの病院、医院に行っても、お医者さん、看護師さん共に変えられてきたのが嬉しいです。これからもよろしくお願い致します。（県南地域・50代・男性）
- ◇ 早急に治療をしてくれる救急医療機関が欲しいです。（県南地域・50代・男性）
- ◇ このような物にお金と時間をかけるより、違う方向にお金と力を入れるべき。（県南地域・50代・男性）
- ◇ 将来自分が年をとり、介護医療を受けたいと思った時、現在施設等がだいぶ少なく、大変困った経験があります。自分の将来も現在治療中という事もあり、健康で年をとりたいと思いますが、未来に不安がないわけではありません。いざという時の施設の充実を心より願います。

(県南地域・50代・女性)

- ◇ 実際入院中の祖母がおります。老人なので病院の転院をどこにしますか、と言われてもどの病院に行っても良いか決めるのが大変でした(3ヶ月過ぎていたので)。それに入院の費用が高いことに驚きました。これが何年も続く事を考えると、自分達の生活はどうなる事かと不安でたまりません。市町村で1年に1回の検診が、日曜日でも受ける事が出来る事は大変ありがたいと思っております。(県南地域・50代・女性)
- ◇ 昨年7月大病をし、救急車にお世話になり病院に行きました。近くに大きい病院がなく、時間をかけ遠くに行きました。その間の痛さを耐え手術をしていただきましたが、救急車の方の優しさ、有難さには今も感謝しています。医学の発達にも驚き、数日で退院できました。この間の看護師さん、お医者さんの優しさ、手厚い看護にも感謝します。また健康保険の有難さもとても身にしみ、病気をした事は大変でしたが、そのために得た色々な経験、体験は宝物です。毎朝お世話になって夫、家族、病院、先生、たくさんの方に感謝して生きています。とても素晴らしい保健医療にできたら少しでも恩返しできたらと思っています。(県南地域・50代・女性)
- ◇ 医療に関するお仕事をしている人に感謝しています。急に熱が出たり、歯が痛くなった時に診てもらえる医者があると助かります。お医者さんは大変でしょうが。がんで亡くなった実父、妹の姿を見ていた時、別の医療機関、立派なお医者さんに診てもらったらがんが治ったり、もう少し生きる事ができたのではないかと思います。でもお金の事やどこにがんのよい先生がいるかなどという事が分からず、手助けをしてやれなかった事が残念に思っています。(県南地域・50代・女性)
- ◇ 1番は子どもが具合の悪い時に、やはり専門医がいないのが困ります。(県南地域・50代・女性)
- ◇ ある病院に行き、毛抜きで1分ともかからずトゲを抜き、会計が1万円以上かかりました。「異物除去、手術」と書いてありました。高額医療に驚きました。また、ただのかぶれが意外な病名を言われ、薬を飲み、毎日通院し2週間後高熱と全身に発疹が出て病院に行き「はしか」の検査を受けました。その帰り他の病院で診察していただき、薬疹との事。発疹が消えるまで1週間以上かかり、ひどい思いをしました。金儲けとしか思えません。高額医療をとり、治療に不信を持たせる病院があることに情けないです。(県南地域・50代・女性)
- ◇ 持病をかかえながらも仕事をしなくてはならない状況にある事など、医療費の負担…。また仕事を通じて感じている事は、自立支援等々の処理がかなり面倒なので、本人はもちろんの事、医療機関においての窓口処理を考えていただきたいと思えます。(県南地域・50代・女性)
- ◇ 普段から健康には気をつけており、できるだけ運動して体を動かすようにしています。今住んでいるのが村なので、村立病院しかなく、何かあった時不便さを感じています。(県南地域・50代・女性)
- ◇ 病院にもっと医師がいてくれたらと思えます。科によっては少ないと感じる事があります。(県南地域・50代・女性)
- ◇ 外来で待ち時間が長い。薬の数が多く出され、副作用が心配な時もあり、本当に必要なのか疑問に思う事もある。(県南地域・50代・女性)
- ◇ 会社にいた時は健保組合から月1回本が送られて、健康に関する知識等が得られたが、退職してからはそれがなくなり、知識が得られなくなった。国民健康保険も健康に関する広報が必要と思われまます。医療の充実も必要と思われまますが、どういう日常生活(運動等も含)を年代ごとに過ごせば良いのかとの広報活動が必要と思われまます。(県南地域・60代・男性)
- ◇ 医療費の負担が重過ぎる。(県南地域・60代・男性)
- ◇ 何か病気になった時に、どの病院または医師に相談したら良いか、また安心してかかれる医療機関を探す事ができるか不安です。(県南地域・60代・男性)
- ◇ 県が保健医療に関して実施している事柄を、もっと県民にPRして欲しい。医療機関に行くと、初めて知る事がある。(県南地域・60代・男性)
- ◇ 田村市にも総合病院があれば良いと思っています。検査入院の時は郡山の病院まで行かなくてはなりません。(県南地域・60代・女性)
- ◇ 医療費、薬代が高額だと思います。老人は生きて行くのは大変な世の中です。(県南地域・60

代・男性)

- ◇ 急な病気の場合、専門病院が遠いので心配です。(県南地域・60代・男性)
- ◇ 医師はよく話を聞く事。すぐ薬。忙しいと話を聞かない。検査、検査そして投薬。不要のことが多すぎる。(県南地域・60代・女性)
- ◇ 病院の先生は診察の時声が小さい。(県南地域・60代・女性)
- ◇ 私は父が寝たきりなので、長男と2人で農業 40 アール、トマト作りをしながら。お嫁さんがいないので困っています。長男 41 歳です。(県南地域・60代・女性)
- ◇ 我が村は医療看護等は持続していると思っている。小生、昨年末に肺がんを摘出いたしました。その結果、日常生活で毎日呼吸する苦しさに耐えられません。小生も国民年金のため食生活も苦しく、小村の介護の有る方に不服申し上げたいと思う。手術後何の介護サービスもありません。一筆申し上げます。(県南地域・70代以上・男性)
- ◇ 昔と今とでは非常に変わって、今は先生も薬局も親切で、必ず内容を示した紙を頂けます。私達 70 年台の昔は、医者も看護婦も不親切で、病院に行くことを躊躇したものでした。いまでも一部病院の中に受付の女性の不親切な人はいますが、その女性の性格だろうと思っています。私はある程度元気のうちは難病患者のボランティアに協力して行きたいと考え参加しています。また私は死亡した後は福島医大に献体を登録してあり、医学の発展のために役立てていただきたいと思っています。(県南地域・70代以上・男性)
- ◇ あまり病気にかかった事がないので、これまでの回答は思っている事で回答したものです。保健医療について感じる前に、健康をいかに保つかを考えた方が得策なので、現在友人、知人、会う人々に健康維持についての話をしているものです。医療設備がどんなに良くなるうとも、それにお世話になるのではなく、それを必要としない普段の努力が必要ですね。(県南地域・70代以上・男性)
- ◇ 私は長年精神病で困っております。認知症で病んでおり、毎日毎日薬を飲んでいるが、今もって薬は切らさず飲んでおります。続けても体頭等には害にならないのでしょうか。いつまで飲んでも治らない。何か治療、あるいは方法がないのでしょうか。あれば病院の方へお知らせくださいと幸いです。厚生病院。(県南地域・70代以上・女性)
- ◇ 今通っている医院の先生が少ないような気がします。個人医院ですが、どうでしょうか。(県南地域・70代以上・女性)
- ◇ 病院、薬局同様に同じ事をして、同じ薬でも金額が全然違うので、その点はどのようになっているのか知りたいです。もう1つは、救急車が来ても受け入れてくれる病院がないので不安です(カルテがないと受け入れてもらえないケースがある)。(県南地域・70代以上・女性)
- ◇ 医師との距離を感じる。(会津地域・20代・男性)
- ◇ 入院費 10 万円先払いはちょっと考えて欲しい。(会津地域・20代・男性)
- ◇ 私自身、医療に携わる仕事をしているので、実際にこのような質問をされると考えさせられる部分があります。先日、とある産婦人科に行ったところ、あまりにもそっけない対応でがっかりしました。初診の際はもっと分かりやすい説明や対応が欲しいと思いました。また、夜間救急の際に、担当の先生が異なる科の先生だったり、その時の症状だけを抑える治療だけだった時にすごく不安になりました。特に検査があるわけではないのに、点滴だったり…。あと、家族が入院している時、先生のお話を聞いたり質問したりする時間をとりたくて相談したところ、融通が利かず看護師に冷たい対応されたりしてとても頭にきました。もっと患者さんの病気だけでなく、患者さんの家族の心のケアにも目を向けて欲しかったです。(会津地域・20代・女性)
- ◇ 今は環境問題や食品生活環境から来る病など、今まで聞いた事のないような病気をメディアなどで耳にします。そういった本当に稀な病気にもし自分がかかったら、病院の先生は見つけてくださるのだろうか？と不安を感じる事があります。地方に住む私たちにとって、中央からの情報に関してはメディアを通じて早く入手できますが、実際の現場の実情はついていっているのか？何か対策などはなされているのだろうか？と不安になるとともに、疑問でもあります。大型病院での医師不足も深刻だと思いますので、早急に何か対策をと願っております。(会津地域・20代・女性)
- ◇ 医療費を安くして欲しい。小児科、産科の減少の不安。(会津地域・20代・女性)

- ◇ 病院に時間がかかりすぎるので、10分くらいで行ける総合病院があったら良いと思っています。今住んでいる所は、町の診療所にも車で20分かかります。総合病院には40分以上かかります。せめて夜診療所で検診したり、時間外に診てもらえたら年配のいる家族は安心して暮らせると思います。(会津地域・30代・男性)
- ◇ 患者の話を良く聞いて、アドバイスながら診察してくれる親切な病院と、一切話を聞かず、平気で誤診する病院と、同じ病院でもその差が激しすぎる。なので、自分にあった病院を選んだり探したりするのに、かなり慎重になってしまう。(会津地域・30代・女性)
- ◇ 歯医者待ち時間が長くてイライラ。(会津地域・30代・女性)
- ◇ ここ2～3年で医療費が高くなったような気がする。東京のように小学生も医療費を無料にして欲しい。また病院で薬を大量に処方されるが、本当にそんなに必要なのか疑問です。(会津地域・30代・女性)
- ◇ 以前に子どもが具合が悪くて夜間診察を受けに病院に行った時に、その夜勤の先生に子どもが吐いたぐらいで病院に来るなどと言われました。親としては心配で病院に来たのに、そんな態度を取られてしまうと今後安心して病院で診察を受けたくないと腹立たしかった。夜間診察でも安心して診察を受けられる先生がいる病院にして欲しい。(会津地域・30代・女性)
- ◇ 乳幼児医療費免除をもっと長くして欲しい。また県内では手続き不要になればもっと良いと思う(保険証のような物を発行して)。子どもの予防接種専用の機関があると、病気がうつらなくて良い。(会津地域・30代・女性)
- ◇ 現在、同居ではありませんが、妻の実家の親が入院しており半年近くになります。仕事の終わりに顔を出してきます(毎日)。子どもたちも元気付けに通っています。医療のミスやちょっとした間違いがあり、命に関わる事もありました。しかし、担当医はいなくなって詳しく説明をしませんでした。別の担当医がいたため、何とか助かりましたが、人間が信じられなくなりました。間違いやトラブルは病院にはつき物であるという観念があります。自分の母親もそのような問題で命をなくしております。父もまた命をなくすミスがありました。私が子どもの頃です。毎日病院に顔を出す事が、家族を救う事だと思っています。(会津地域・40代・男性)
- ◇ 専門の高度な医療を受ける場合、福島市等に行く必要があります(今会津に住んでいるため)。その医療施設については、もっとお金をかけても良いと思います。各地域の病院は広く浅くで良いと思う(会津浜通り、中通り)。ただ県に1ヶ所だけは、もっともって設備、人員等お金をかけて下さい。そして、その周辺には検診等に利用しやすいように安価な県営のホテル等があれば助かります。(会津地域・40代・男性)
- ◇ 優秀な医者を整備して欲しい。優秀な医者は開業するが、開業医には大病院でしかできない検査などがあり、二度手間になる。(会津地域・40代・男性)
- ◇ インフルエンザワクチンを無料にして欲しい。医療費の負担をもっとして欲しい。(会津地域・40代・男性)
- ◇ 医者、病院の良し悪しの情報を知りたい。評判だけでしか病院を選ぶ基準がない。医者のランクがあればいいと思う。(会津地域・40代・男性)
- ◇ 乳がん検診、子宮がん検診は、もっと女性医師に診てもらえるようにして欲しい(市町村の診断の時)。(会津地域・40代・女性)
- ◇ 入院、通院治療費の負担を少なくして欲しい。(会津地域・40代・女性)
- ◇ 子どもが小さいときは小児科が近くになかったため、夜間等不安がありました。都会には医師がいるのに、僻地にはいない。平等に医療が受けられない。近く入院施設もないので、老人が入院となると大変でした。医師からの説明となると19～20°は当たり前。仕事をしながら家庭の事をしながらの病院通いは大変です。医師も忙しいのは分かりますが、お互いに時間を有効に使えるようにするため、インターネットで症状説明を受けられるようにしてはどうでしょうか？(会津地域・40代・女性)
- ◇ 市町村の健康診断の時、健康相談、栄養相談等、待ち時間にできたら良いですね。または長寿村ではこういう傾向があるとか、知って得する情報等のパンフレットを配るとかどうでしょうか？(会津地域・40代・女性)
- ◇ 医療費負担の軽減策をもっと充実して欲しい。(会津地域・50代・男性)

- ◇ 医療費負担の軽減を望む。(会津地域・50代・男性)
- ◇ 特にありませんが、県立病院は公立病院としての役割や任務は大変大きなものであり、地域のよりどころの性格もありますので、現状を維持していただきたいと思っています。(会津地域・50代・男性)
- ◇ 医療機関の情報開示、患者や家族に対して十分な説明。私の住んでいる所では皆おしゃべりが好きなのか、情報がすぐに伝わります(何年経ってもひとり歩きしている噂もあります)。××病院で、××が亡くなったとか、医療ミスじゃないかと家族が問いただしても病院は受け入れなかったとか、数多く聞きます。それによって××病院は設備は1番だが医師はダメとか。××病院は××科に良い先生がいるとか、救急車に乗っても××病院だけは行かないでくれと言ったとか。実は私も皆さんの話を参考にして選んでいます。でも本当は巷の噂だけでなく、医療機関からの情報が欲しい。医者だって人間だもの、ミスはある。それを素直に認めてもらった方が信用できる。以前に新聞で医療ミスとか、情報を見た時に自分はそれはあるだろうと軽く受け止めている。噂で聞くと隠している医療機関に不信を抱いてしまう。ミスは素直に認めて原因をつきとめ改善して欲しい。そのような医療機関の方が信用できる。私が医療機関の望む事です。このような事を書いても無駄だと思いましたが、書いてみました。(会津地域・50代・男性)
- ◇ 自宅近くの個人医院の夜間対応が、ある程度できた方が良いと思う。総合病院の待ち時間の長さには大変不便です。(会津地域・50代・女性)
- ◇ 仕事の帰りにいつももらっている血圧の薬を頂くため、医者に行ったのですが、運悪く先生が留守だったので薬だけ出しますといわれ、処方せんを出してもらったのですが、先生の診察もないのに前回と同じ料金を請求されたのに対し、お金の問題じゃなく気分的に納得いかないような面白くないような気になってしまいました。薬局に持っていく処方せんの代金だけで良いような気がしてなりません。(会津地域・50代・女性)
- ◇ これからの事を考えると、知らない事が多く不安になることもある。(会津地域・50代・女性)
- ◇ 最近身近な何人かが前立腺がんになった。一命は取り留めましたが、やはり女性が子宮がん検診をしているように、男性も前立腺がん検診を公的機関で導入していただければ、早期発見につながると思いますので、検診項目に入れていただきたいと思います。(会津地域・50代・女性)
- ◇ 大きい病院に行くと待ち時間が長くて大変です。(会津地域・50代・女性)
- ◇ 会津地区は緩和ケアをする医院、病院が専門にいないと思う。そういう病院があって欲しいと思う。情報も少ない。病人の意見を尊重して欲しい。そういう病院施設を知りたい。医療機関(市)は中間層の(初老の)健康予防の情報が少ない。市民にもっと呼びかけや(行事)施設で運動なども行って欲しい。(会津地域・50代・女性)
- ◇ ①同じAという病院で弟は十二指腸潰瘍で手術し、若いインター生の方3人ぐらいで行った結果、20歳の若さで死亡しました。手術の失敗でした。数年後父が直腸がんで手術しましたが、30代半=40歳までのバリバリの先生でしたので成功し、術後10年ほど生きられました。その時思ったのは、先生を選ぶ事ができたらどんなに良いだろうなという事です。弟も体力もあり、若さもあったため死亡しなくても良かったと思います。②1年ほど前指先にばい菌が入り加濃し病院に行きました。2時間位待たされて診察を受けましたが、指先をチラッと3回位見ましたが、後はパソコンに向かい私のカルテ作成に一生懸命でした。3回位通院しました。3回とも先生が違っていました。どの先生も対処が同じで、私の指よりカルテ作成のパソコン画面が大事なのかなど不安を感じました。③息子の手の甲にイボイボが広がってとてもひどい状態でした。県立や個人の皮膚科に診てもらっても従来の処置で治らず、2年も通いました。ところが別の病院で新しい治療をもらったところ、3回位の通院で今ではすっかりきれいになりました。先生方も日々新しい勉強をして、どこでも治せるようにしてもらいたいです。(会津地域・50代・女性)
- ◇ 地域によっては医者がほとんどいない地域もある。義母は只見町で独り暮らしであるが、高齢(84歳)になって内科、眼科に行かなくてはならないが、1人では足もなく、月に1回会津若松市へ娘の夫の送迎で通院している。医療だけでなく、都会一極集中の形を変えなければ、もうどうにもならないところに来ているのではないか。部門部門では問題の解決にはならない。解決を図るとすれば、福島県も郡山一極集中か…。他地域は奥から撤退させる事。(会津地域・60代・男性)
- ◇ 県立医大の生徒の数(定員)を増やして、将来郡部への配置をお願いしたい。(会津地域・60代・男性)

代・男性)

- ◇ ①検診は大事だという事。②病気にならないようにいつでも気軽に運動できる場所（フィットネス）とか体育館を利用するのにインストラクターを置くとか考えて欲しい。③今健康な 40 代、50 代に目を向け、病気にならないように努めて欲しい。④年寄りを孤独にしない事。お願いします。（会津地域・60 代・男性）
- ◇ ①私は 11 年前に腰が痛くなり、歩く事ができなくなり、厚生病院に入院しました。レントゲンも CT もやりましたが、先生は疲れたのでしょうか、と言いました。痛み止めの薬や注射をして 11 日入院しても入院前と同じで辛い毎日でした。息子が来て「ここではダメだから」と言っ て家から 40 キロくらい離れた大きな病院に連れて行かれました。その病院で 1 週間後に腰の手術をして、今は何事もなかったように元気に働いています。②このことも 5 年前の事です。春先 3 月雪どけの頃、滑って頭を打って約 1 ヶ月後になって頭痛や目まい、吐き気で立つ事もできなくなって、また近くの病院に連れて行かれました。入院 1 週間で又 CT も撮ったが、どこも悪い所はないので又痛み止めや注射で過ごし、頭痛が激しいので馬鹿になりそうでした。又息子が来て、先生に CT の写真を借りて 40 キロも離れた病院に連れていかれました。その病院の脳外科の先生は借りてきた CT を一目見て、明日まで置けない。これからすぐ頭の手術をします、親兄弟に連絡しなさいと言われた。手術は 1 時間で終わって、今は何事もなかったかのように元気で暮らしています。かかりつけ医ではなく、かかりつけ病院です。地方の病院にも高度な技術を持った先生を配置してもらいたいと思っています。良い先生は短期間で出て行ってしまいます。（会津地域・60 代・女性）
- ◇ 介護施設等、長くいる事ができず点々とする話を聞いています。次の施設を探す事も大変だとか…。なぜでしょう？（会津地域・60 代・女性）
- ◇ 医療費が高い。（会津地域・60 代・男性）
- ◇ 我が会津地区には県立を含み優良大型病院があります。近い将来、県立病院が新しく建設される事になり、私共県民はやはり県立だと何となく安心できるように感じます。ますます厳しくな っ て高齢化社会、私共は病院に頼る事なく自分の健康に留意して若い人達の言うことに耳を傾け、努力していく事が大切だと思います。（会津地域・60 代・男性）
- ◇ 皆様ご苦勞様です。いつも真心従事をお願いします。（会津地域・60 代・男性）
- ◇ 息子の事なんです、歯が悪くて歯科にかかった時のことなんですけど、かかっていたかえって悪くなって別の歯科を紹介されてそこに行ったら、なぜこんなになったか分からないと言われ、最初の歯が痛くてかかった時より段々悪くなって手術まで大きな病院でしましたが、未だに治らなくて何でなったか分からないとの事だそうです。私はかかる前よりも悪くなった事を悔しく思っている次第です。（会津地域・60 代・女性）
- ◇ 身体障がい医療費が所得に応じて割引にならないというのは、不自然である。何とか正常にしたい。（会津地域・70 代以上・男性）
- ◇ 介護保険料が少し×。（会津地域・70 代以上・男性）
- ◇ 歯科以外の医療は特に受けたことがないので、これから先のことを考えると、かかりつけの病院も持たないので、総合病院しかないかと思っているところです。個人病院とのつながりを作っておいた方がいいでしょうか（75 歳の女です）。（会津地域・70 代以上・女性）
- ◇ 安心して任される医師（能力のある医師）を増やして欲しい。（会津地域・70 代以上・女性）
- ◇ 診察に行った時にお年寄りが子どもを（小さい）連れてきた人が、院外処方を持って出て行かれる姿を見て、寒い吹雪の時に感じたのは、やっぱり院内処方せんで出していたら待つ時間は長くとも温かい所で待っている方が良いのではないかしらと思いましたが（今さら仕方がない事とは思いますが）。感じた事を書かせてもらいました。集計ご苦勞様でございます。（会津地域・70 代以上・女性）
- ◇ 最近よくかかりつけ医を持つようにとの声がありますが、残念ながら適当な医療機関がなく不安に思っております。喜多方の医療が介護にばかり偏りが目立ち、普段健康にこまめに気をつけたいと思っております。私共が気楽に安心していける医療を受けにくくなっている気がします。健康を気をつけているものにとって身近に機関がないのは困った事だと常日頃感じております。町医者的なものをもっとあればと思っております。（会津地域・70 代以上・女性）
- ◇ 自分の健康は本人の健康に対する意識にかなり差が出ると思う。①食事→コンビニ、外食ではなく手作りで。②運動→少なくとも毎日続ける、無理せずに。③心→コタツやテレビの番をするのではなく、気持ちを外に向けることが大切。人との対話等、自分に合う趣味を持つ。この

①～③のバランスが良ければ、健康で長生きができると思い実践しております。昭和 12 年生まれ 70 歳の趣味多き「バーさん」。日々感謝ですが、いつ何があってもおかしくない年齢です。「保健福祉の充実」を願っております。(会津地域・70 代以上・女性)

- ◇ ①居宅から救急車が来れる幹線道路まで 200m程の坂道があり、2 回ほど困った事があった。冬場であったらと、ぞっとする。②部落集落から診療所や病院までの直接バス(車)の運行がない。全く不便を感じている。(会津地域・70 代以上・女性)
- ◇ 高齢者 74 歳、診療所は歩いて 2、3 分の所にあります。独り暮らしなので、病気になった場合どうしたら良いか、その時のことだけ考えています。(会津地域・70 代以上・女性)
- ◇ 市内にたくさんの病院がありますが、専門的な救急の場合、他市へ行くしかないのこれから高齢の時代を迎え、地元でも対応できるような県立の専門病院ができてくれればと願っています(高度医療というのですか)。(会津地域・70 代以上・女性)
- ◇ ①都市と地方の医療機関設置に大きな格差があり、そのために緊急疾病などに不安があります。②産婦人科ならびに小児科などの医療機関の充実が重要である。少子高齢化時代に対応するためにも地方医療機関の充実が必要である。③山間地帯及び過疎地の最低医療行為を受診できる診療所の充実が必要である。④医師と患者の共通理解、特に中規模病院や大規模病院は稀薄である。⑤県立医大の充実と医師派遣制度の確立及び県立病院の構造改革により品格のある医療機関として再発展して欲しい。(会津地域・70 代以上・女性)
- ◇ 病気ですが動けなくなった時、国保ではとても施設に入設できません。今の自分の経済状況では、子どもの負担が大きい。どうすれば良いかが 1 番の心配です。健康でないの今ところは難病を持っていますが、一応何でも 1 人でできますが、病院で 2 ヶ月位治るまでかかります。私が 1 番嫌なのは国保でも何万も年間介護保険料が取られる事です(今のところ人の手は借りておりません。ブルの通った通路、片付けた所にブルの大雪を置いて行かれるのには全く切ないです。腹が立ちますが、片付けないと大変です。大きな山になり動けなくなります)。私は自分の生活を本当にやりくりしています。人様の生活を見るためのお金は、悪いけれど一銭もありません。私は通院のお金もかかります。人を助けて自分が沈没してしまいます。考えると私の出費は 1 番大きいのが介護保険です。上層部の年金、その他の事について、金(国民の)を無駄に使って、そのつけを国民にまた押し付けて、国民をあまりにも馬鹿にしています。国会議員の皆様、国民あっての国です。しっかり政治をして欲しい。命がけで望んで欲しい。もう少し人間らしい生活がしたいです。人の生活を見るほど私は賢人君子じゃない。自分の生活は自分で守りたい。(会津地域・70 代以上・女性)
- ◇ 施設などで健康教室やリハビリ、手先の仕事の指導(パッチワーク、花、編み物他)があるといい。(会津地域・70 代以上・女性)
- ◇ 人間ドックは町、村によって違うと思いますが、年間 2 回くらいに分けて、少しでも多くの人を受けられるようにしてもらいたいです。(会津地域・70 代以上・女性)
- ◇ 私は若松市内の病院に通院していますが、問 9 に関しては何もいう事ありません。先生も看護師もいい人ですので、待合室の前に行くのとホッとす思いです。(会津地域・70 代以上・女性)
- ◇ 今のところ何とか過ごしておりますが、もう少し先になって常に家にいる、しっかりしている人がいたらと望んでおります。(会津地域・70 代以上・女性)
- ◇ 今主人は認知症で介護施設にお世話になっております。本当にありがたく思っております。この先々心配になりますが、良い制度ができて安心して頑張る生きようと思っております。(会津地域・70 代以上・女性)
- ◇ 目が不自由なお年寄りにとって、病院は適切な対応をとっているのでしょうか。もっと医療が発展した市町村になって欲しい。お年寄りは先のことが不安で仕方がないと思います。もっと分かりやすく病状の説明や薬についての説明をしてあげた方が良いかと思ひます。お年寄りは薬の量が多い分、薬の効果が上がると思っているかたが多数だと感じています。間違った薬の服用の仕方など、病院側できちんと説明できるようになれば、もっと良くなっていくのではないのでしょうか。(南会津地域・20 代・女性)
- ◇ 休日や夜間の救急医療を充実して欲しい。当番の医師が専門外だと不安である。私の父は夜間整形外科の先生に診察してもらい、帰宅後すぐに心筋梗塞で死亡してしまった。私の個人的な考えで申し訳ありませんが、個人病院はやたら検査や投薬が多いような感じがします。(南会津地域・40 代・女性)

- ◇ 市町村の乳幼児の医療費無料が進められているが、自分の子どもがその対象になることが1度もなく子育てが終わってしまった。特に子どもは突発的に病気になる事が多いので、町村の対応が非常に遅いと思いました。特に南会津は医療機関が少ないため、どうしても若松市内に行く事が多い。行き帰りの交通費だけでも経済的負担が大きい。現在はその制度が充実しているようですが、もっと広く対応して欲しかった。(南会津地域・40代・女性)
- ◇ 子どもを連れて行く耳鼻科、眼科、皮膚科等、曜日や時間の都合が合わず、少し遠くまで行くことになってしまうので、近くの医療機関がもう少し充実するとういなと思います。(南会津地域・40代・女性)
- ◇ 格差社会の低賃金で健保料が払えない人が多くなっている状況(病院にかかれない)。国また医療機関は国民全体を守るべき義務があると思う。(南会津地域・50代・男性)
- ◇ 高齢者を自分の家で看護し、昔みたいに自宅で一生を終える事ができる体制や、意識作りが必要だと思う。自分の親は自分で看るという事が最高だと思う。このための社会体制の整備が必要ではないかと思います。(南会津地域・50代・男性)
- ◇ 検査時期が長く、病名が分かるまで通院が大変である。病名によっても違うとは思いますが、1週間内位に入院か通院か分かるようにしていただきたいと思います。(南会津地域・50代・女性)
- ◇ 僻地における医療機関、医師不足について、早急に解決努力をしていただきたい。(南会津地域・60代・男性)
- ◇ 私は南会津に住んでいる者です。私が嫁に来た頃は交通が不便で、病院に行くにもとても大変でした。少しぐらいの事は富山の薬を飲んで治したものでした。特に歯の痛いのは困っていましたが、今は電話ですぐに来ていただけるので助かります。今現在91歳の母が自宅療養ですが、先生が月に2回ほど来てくださるので安心していています。(南会津地域・60代・女性)
- ◇ 現在ある医院、病院等に不足の医師の充実をはかって欲しい。(南会津地域・70代以上・女性)
- ◇ 診察していただいたが歩くにも困難な状態の時、帰っても良いと言われた時、全く不安でした。ベッドがあってもベッドが足りないと言われる時があります。医師が足りないのかと感じております。(南会津地域・年齢不明・性別不明)
- ◇ 保健医療に関しては、やはり医療機関・専門医が少ない事が難点です。小児科や皮膚科、眼科など、土曜日午後以降～日曜日、休日、祝日もという休診が1番困るところです。土日が仕事休みの人々がいますので、当番制で休日も診察していただければ助かります。また、医療費の問題もあります。小児科にかかる子どもで小学6年生までは医療費の負担がない、と我が町では決まっています。しかし、病院で1度支払い、後日振込みという形ですので、その手間が面倒です。市内ではカードを見せるだけで無料になるのですが、相双地区も早くそうなる事を願います。次に健康診断(一般)を多く増やして欲しいです。増やすというのは、検査の種目を増やして欲しいということです。事故費用というとなかなか受けられない方々がたくさんいると思います。ぜひよろしくお願い致します。(相双地域・20代・女性)
- ◇ 昔と比べて領収書に点数なども加えられ、診察してもら側からは内容が分かるようになってきたが、医療スタッフ側から言わせると、やる事が多くなり就業時間内で仕事をする事が大変です。患者の立場で考えるのも大事な事だと思いますが、スタッフ側の負担も考えて欲しいと思います。負担(仕事内容)が増えるのに、給料が上がらないし、仕事時間も延びたのではこちらがめいってしまいます。逆の立場からの意見でしたが取り入れてくだされば幸いです。(相双地域・20代・女性)
- ◇ 東京で10年サラリーマン生活をしましたが、後半は鬱になってしまい、薬を飲みながらコントロールしていました。東京ではメンタル系のクリニックが充実しており、どこでも気軽に、とは言えませんが、軽い薬だったら内科でも処方してもらえ安心でした。転職してこちらに来てから、ほとんど体調を崩す事もなく、家族との時間もできて何よりの治療になりましたが、今度は家族が鬱のようになり、知っている病院もなく行きづらいついていました。噂で色々家庭内の事が分かってしまうような地域の密着しすぎる場所もあり(「鬱病になって病院通いをしているらしいよ」という会話を耳にしたりします)ので、安心して先生に鬱の悩みを話せるような病院、診療科があるとういと思います。(相双地域・30代・男性)
- ◇ ほとんどの医療施設が日曜祭日が休みであるが、各々に休診日が違って良いのではないかと。(相双地域・30代・男性)



- ◇ 県立病院をもっと良くしてもらいたい。(相双地域・30代・男性)
- ◇ 病院の待ち時間が長く、診察時間が短すぎる。待ち時間を短くして下さい。入院をするとお金が高く払えません。そういう場合どうすればいいのか教えて欲しいと思います。うちの市では耳医者がありませんので、増えて欲しいと思います。(相双地域・30代・男性)
- ◇ 私はほとんど病院に通った事はありません。しかし保険料を納める事については文句は言いませんが、医療関係、保険福祉関係者の高収入や無駄遣いには納得がいきません。(相双地域・30代・男性)
- ◇ 相双地区在住ですが、大きな病気を急に患った場合は、救急車で約1時間かけていわき市内の総合病院に運ばれるというのが現状のように思えます。自分や家族がこのような状況になってしまった場合の事を考えると、非常に不安です。中通り、浜通り、会津、いずれの地区に住む人間も同じ福島県民であり、均一的な充実した医療サービスを受けられる事を切に望みます。居住する地区によって救える命、助けられない命があってはならないと思います。(相双地域・30代・男性)
- ◇ 医療費の内訳が点数制で分かりにくいので、具体的に金額表示をして欲しい。知人の話で、子どもを小児科に連れて行き、病状を医師に説明したら、他の専門的診療科へ行くように言われたとのこと。交わした言葉は2〜3言。特に何かの治療を受けたわけではない(身体に触れず)。時間にすれば1分程度。会計で普通に診察料を支払わされたとの事。納得いかないと云っていた(例えば聴診器を当てる、身体に触れ様子を見る等の処置があればべつだが)。会計の支払い理由が、医師と会話をすれば診察に該当するとの事。処置も全くないのに疑問を感じた。(相双地域・30代・女性)
- ◇ 同じ福島でも医療機関の不足や質の違いがあると思う。各地域に1つずつは高度医療に対応できる病院があると良いと思う。またがんは誰もが一生に1度はかかる病気と置いていいほどの病気になってきていると思うので、各科の医師がタッグを組んであらゆる面から治療をスムーズに行えるチーム医療がこれから大切ではないかと思う。また緩和ケアや心理面での(患者の家族も含め)サポートなども大事であると思う。1つの病院でも横の連携がなかなか上手く機能していないケースもあると思う。それは人手不足だったり、単に連携がうまくいっていないのか?病院へ行っても医師も看護師にもゆとりの対応が見られない。全ての検査(病気発覚前の)検診が保険がきくといいと思う。自ら検診を受けることにより、健康に気を遣い病気を減らす事につながると思う。病気になってから治療のために多額のお金を使うのは、個人にとっても国にとっても金の無駄遣いだと思う。(相双地域・30代・女性)
- ◇ 専門医のいる病院はとても混んでいて午前中時間がかかる。土曜日も休みなので、仕事を1日休んで行かなくてはいけない。小さな子どもが病気になると何回も足を運ぶ事になり、会社からもあまり良く思われない事がある。働く主婦としては土曜日でも大きな病院は診察してくれたらといつも思う。(相双地域・30代・女性)
- ◇ 医師のいない過疎地域の診療状況を充実して欲しい。(相双地域・40代・男性)
- ◇ 専門医療がもっと増えるといいと思う。市町村の医療の相談のできる、親身になってくれる所があるといい(公的ケアマネージャーなど)。(相双地域・40代・男性)
- ◇ 市町村で行っている健康診断などの結果が本人に届くまでかなりの時間を要するので、もっと短い期間で分かるようにして欲しい。(相双地域・40代・女性)
- ◇ 町内に大きな病院がないため、町外に行かなくてはならない。そのため急病になったりする場合に、時間がかかる。遠くから行けばその分時間がかかるし、1日がつぶれてしまう。順番を取りに行くのも大変ですし、年寄りや子どもの場合負担が大きくなる。産科なども少なくなり、これからの若い人達が安心して出産する事ができないのでは!(相双地域・40代・女性)
- ◇ 現在人口が減少しつつ、高齢化社会になり、仕事も共働き。その中で高齢者との同居でなかなか十分な介護ができない。同居の際、あまり年齢差があり、子育てと老人介護が必要な高齢者を見ていかなければいけないのはとても精神的にも経済的にも厳しい現状です。介護保険内でサービスを利用するには、介護認定の段階で金額が違ってくるので、認定する基準によってはとても寂しく感じています。(相双地域・40代・女性)
- ◇ 婦人科医療が身近に欲しい。(相双地域・40代・女性)
- ◇ 昨年子どもが休日、夜間に熱を出した時は、かかりつけではなく総合病院で診てもらっていたので、21時頃電話したところ「子どもは診れない!専門医がいない!」「どこか夜間当番医に行け!」こちらが「今まで夜間に診てもらってカルテもあるのに…どこに行けばいいのか分か

らない」と言っているのに「消防署に電話して聞いてみたら…！」そこで救急隊員に隣の市の病院に連絡していただき、隣の市まで連れて行った事がありました。ひどい！！（相双地域・40代・女性）

- ◇ 病院の医療と看護の質を向上させて欲しい。病院の転院などももう少し気楽にできるようにして欲しい。外の病院で治療する事になった時、以前かかっていた病院のカルテをそのまま移せるようにして欲しい（例：歯科医などの場合、またレントゲンをとらなければならなくなる）。先生の病状についての患者に理解できるような詳しい説明が欲しい。（相双地域・40代・女性）
- ◇ 皮膚科が少ない。整形外科に通院しても痛み止めと湿布をもらうくらいで、たいした治療もない。長時間待つのが辛い。守秘義務を守って欲しい。看護師の態度が良くない。（相双地域・40代・女性）
- ◇ 土曜日、午後とか、日祭日も開いているとありがたい。相談できる施設も…。（相双地域・50代・男性）
- ◇ 待ち時間が長い事。（相双地域・50代・男性）
- ◇ 専門の病院の情報が少なく、近くに病院もなく困っています。気楽に相談ができるような病院、医者が多くなると安心です。（相双地域・50代・男性）
- ◇ 大学病院で治療中です。セカンドオピニオンを希望していますが、なかなか言い出せません。気軽に言えるようにして欲しいです。（相双地域・50代・女性）
- ◇ 病院の待ち時間を短くする方法を本気で取り組んで欲しい。朝早くから並んで順番を取る。始まってから行くと、受付後3時間は待つという方法が相変わらずされている。次回の診察は時間を予約しておくとか、受付後何時頃という知らせがあった方がよい。（相双地域・50代・女性）
- ◇ 薬代がもう少し安いといいです。（相双地域・50代・女性）
- ◇ 数年前になります。お腹に激痛が走り、徒歩で10分くらいの所に公立病院があり、やっとの思いでたどり着き、救急室に入り看護師さんが1人内線で担当医師を呼んだようです。午前2時頃のためか再三に渡って医師を呼んだ状態です。なかなか起きてこない。私は腹が痛くて痛くて我慢できない。やっとなをこすりながら医師が起きてきた。云々。以上。（相双地域・60代・男性）
- ◇ 病気をすると本人は非常に不安なので、医者は治療の事や薬の事など、分かりやすく説明をして欲しい。（相双地域・60代・男性）
- ◇ 医師にお尋ねした場合、分かりやすく（納得いくまで）ゆっくりと教えて欲しいと思います。パンフレットでなく、手書きにしたもの（料理献立等）。（相双地域・60代・女性）
- ◇ 夫が町社協の居宅介護を受けて、大変助かっております。又かかりつけの医院でもよく診ていただいています。私が運のいい患者ではなく、当たり前の患者になるといいなと思います。関係各位のますますのご尽力を願っております。（相双地域・60代・女性）
- ◇ 65歳になって医療の地域格差を強く感じるようになりました。隣の町に信頼する医院があり助かっていますが、早急に対処が必要な脳神経外科、心臓血管外科がありません。今まではいわき市の病院を頼りにしていましたが、医師不足でそれらの手術もできない状態で不安です。せめて県立病院の充実化をしてもらいたい。医師不足というが好条件、好待遇で広く声をかければ解決すると思う。激務の上に条件が悪ければ集まるわけがない。今は郡山市の医療が羨ましい。このアンケートを書き終えた翌朝、県が「ドクターバンク」創設の記事が新聞に載った。遅すぎるくらいだが効果はあると思う。（相双地域・60代・女性）
- ◇ 医院により領収書を出してくれない所がありますが、どちらが本当なのでしょう？（相双地域・60代・女性）
- ◇ 公的病院の医師不足、その代わり開業医は多い。医師の収入が多すぎ、高額所得者が多い。税金に優遇されすぎており、医師会に遠慮せず普通に徴収する事。その税収で医療従事者の待遇の改善に資する事。また公的医師の給料を改善し、いたずらに開業に走らないようにする必要があります。政治の問題！！（相双地域・70代以上・男性）
- ◇ 私も80歳となり、殊に身体はどうということもない訳ではございません。10年位前より少々血圧が高く、医院に通院しておりますが、何年も先生のお陰でいつも34~80と変わらないの

で安心しています。自分なりに野菜畑に出る。そして鉢物を手入れし、今トキ草の花が3鉢ピンクの色も鮮やかに咲いています。できる限り身体を動かし、若い人達に迷惑をかけないようにと心がけております。先月胃カメラの結果も異常なかったので、安心しています。(相双地域・70代以上・女性)

- ◇ 健康であれば問題はないのです。しかし段々高齢になり歩く事はできても、思うように歩けなく、病院に行くまでが大変です。病院で送迎用の車があれば行きやすく、家族に迷惑をかけずに済むと思います。(相双地域・70代以上・女性)
- ◇ 特にございませんが、年に1度の健診の折は本当にお世話様になっております。待ち時間をもう少し短くしていただければ幸いです。(相双地域・70代以上・女性)
- ◇ ①私はひざが痛いので、歩くのが辛いので、病院から車で送ってもらえれば嬉しい。②薬代は安くなってもタクシー代が大変です。お金がなければ医者に行くにも行けません。これ以上年金が少なくなればとても困ります。年金を全部医療費にだけ使うのではなくて、生活費にも使いますので、とても大変です。(相双地域・70代以上・女性)
- ◇ 処方せんを書くだけで、診察料を取らないで欲しい。(いわき地域・20代・女性)
- ◇ 回覧板とかがくればもっと良く知る事ができるのですが、どうやってそういうのに入るのか、他から引っ越してきたため特に分からなくて困る事がある。かといって市役所等まで行くのもなかなかできないし…。保健医療に関してははっきり言うと、「よく分からない」と言うのが今の自分の現状だと思います。(いわき地域・20代・女性)
- ◇ 保険の負担を3割から2割にできれば減らして欲しい。(いわき地域・30代・男性)
- ◇ 大きな病院がなく、困る。夜、診てくれる病院が少なく、待たされる。(いわき地域・30代・男性)
- ◇ 子どもが小学校に入学して1年が経ちますが、いわき市は小学生からは医療費が出ないため、できる限り病院へ行かないようにしている。他の市町村では小学校6年生になるまで医療費がかからない場所もあり、県内様々である。医療費が出ないから病院へなるべく行かないという考え方は正しいとは思えないが、他の家庭でも同じような考えを持っている方々が多いと思う。病気の早期発見が鍵を握るといった病気が数多くある中、こういった風土(病院へは行かない)ができてしまうような気がします。県内全て医療費に対する考え方を統一すべきと感じます。変だと思ったら病院へいけるような仕組みができれば、理想的だと思います。(いわき地域・30代・男性)
- ◇ 主婦でも気軽に(簡単に)定期健診が受けられるシステムを作って欲しい。(いわき地域・30代・男性)
- ◇ 総合病院は現在診療科が減少傾向にある。この市内で安心して生活していくためには、市に1つ以上の診療科が充実した総合病院が必要である。また、この地区で充実した医療が受けられない場合、適切な近場の医療機関を紹介してもらえらるシステムを確立して欲しい。(いわき地域・30代・男性)
- ◇ 総合病院等は待ち時間が長い上にたらい回しにされる。あまり大きくもなく、小さくもない中規模の病院が複数あると良いと思います。(いわき地域・30代・男性)
- ◇ 医療過誤により辛い思いをされた方も多いたと思います。がしかし、患者の権利主張、マスメディアの報道過熱等により医療機関が積極的な診察、治療をできなくなっている事を危惧しています。浜通り(北茨城も含めて)については医師数の減、診療料の閉鎖が顕著であります。県医大入学者の半数が県外出身者である事も心配です。地域医療の整備については根本的にやり直す必要があると考えます。(いわき地域・30代・男性)
- ◇ てんかんが治らないので、治す外科が0%なので0.1%でも1%でも作って欲しい。(いわき地域・30代・男性)
- ◇ 子どもが夜間、休日で行った時、断られた。病状が軽いと、この位で来る事ない、と言われた。別な病院では症状が軽く笑われた。(いわき地域・30代・男性)
- ◇ 総合病院、中核病院等、診療所より設備の整っている病院の診療時間が短くなってきている(午前中の診療のみ等)。病院によっては対応の悪さが目立つ看護師がおり、安心して医療サービスが受けられない。保健医療を使用し受診していても、医師の態度の横柄さが目立ち、気分を害する事もあり、病院の医師の質の低下を感じる病院もある。(いわき地域・30代・女

性)

- ◇ 昨年末に3人目の子どもを出産しました。少子化と騒がれていますが、産婦人科が非常に少なすぎるのにはガッカリさせられてしまいます。毎回検診時には上の子2人を連れての3~4時間待ち当たり前!! 人気のある産婦人科とはいえ、これではサイクルが悪すぎるような気がします。私も出産を終えるまで検診に行くのが気が重く、こんな状態で少子化を解消できるのだろうか…と思います。安心して出産できるような場所がどんどん増えていって欲しいです。(いわき地域・30代・女性)
- ◇ 最近4ヶ月健診がありました。小児科担当の女医者の態度が十分でなかった。総合病院内の小児科の医師の説明が十分でなく、上から物を言う態度でした。私達市民は、何も分からなく、ただ不安で病院に行きます。なのに最近ドクハラが目立ちます。たまに泣きたくなる事もあります。治してもらう事に感謝はしていますが、もう少し患者の立場になって真剣に向き合っていて欲しいです。お願いします。1つの案で、これから上記の場合、実名を書いて意見箱みたいなものを作り、その中に入れて3ヶ月に1回会議を開き、1人1人個別指導があっても良いと思う。(いわき地域・30代・女性)
- ◇ 今後、小学生になる子どもがいます。3月末日で乳幼児医療が受ける事ができなくなり、とても不安です。県内でも小学6年生まで受給できる地域が増えていますが、残念ながら私の住んでいる地域は該当しません。市町村別に受けられる地域と受けられない地域があるのは不公平だと思います。ぜひ県をあげて積極的に取り組んでいただきたいです。身体の弱い子どもがどれだけ助けていただいたか…。本当に切実な問題です。子どもとお年寄りに優しい福島県であって欲しいと思います。(いわき地域・30代・女性)
- ◇ 共働きなので、仕事が終わるのは夕方6時ごろになります。子どもが風邪をひいて受診したくても、時間に間に合わずあきらめてしまう事が多いです。夜間診療所は「救急」という時ですし…。また小学校からは医療費がかかり、気軽に受診というわけにもいきません。子どもはすぐ熱を出します。病後児施設をもっと増やして欲しいです。いつも定員がいっぱいで、事前に予約という事は難しいです。子どもに対する保健医療に対する情報、支援をもっと充実させて欲しいです。歯科医療に対してもです。(いわき地域・30代・女性)
- ◇ 私は精神神経科に長期通院していますが、医者看護師によるパワーハラスメントが度々あり、病気回復を目指す患者の心に大きな傷になる事がとても辛く残念です。精神神経科は特に信頼第一なので、心から安心し、自分の全てをさらけ出す辛さ、そして患者さんの秘密は絶対に関係者の方々は守っていただきたいといつも思っています。私の両親は65歳以上の高齢者なので、老後が非常に心配です(特に経済的に負担になるのではと不安に思っています)。医療に携わる方は深い哲学が必要だと思っています。私達患者も「患者学」を学び、頑張っ生きていきたいと思っています。(いわき地域・30代・女性)
- ◇ はっきりとした話をしない先生が多い(病名を告げない)。症状を話ただけで…薬を出すだけ。そういう医師が多いので不安です。(いわき地域・30代・女性)
- ◇ 休日に家族が怪我をして電話でどの病院が今日の急患受入の担当の病院なのか聞いて、その病院に電話したが、看護師さんに冷たく「先生が今日は休みなので診れません」と言われた。他の病院に電話をしても「今日は松村病院が担当だし、整形の先生もいるから」と何軒かに言われたので、もう1度松村病院に電話をしてみたが「だから〜!」みたいな感じで断られた。何のための担当なのか! 先生が休みで診れないなら、はじめから今日の担当の病院を替わっておいてくれればこちらも無駄な時間を費やさずに済んだ。救急は病人やけが人が一刻を争って医師にかかりたいのに、いわきの担当制は意味がない。病院同士の連絡をちゃんと取り合っていて欲しい。(いわき地域・30代・女性)
- ◇ 最近テレビや雑誌等で目にする新型インフルエンザ。何だかとても怖いです。県としてどのような対応策を考えているのか知りたいです。(いわき地域・30代・女性)
- ◇ 待ち時間が長いので、もっと短くして欲しい。(いわき地域・30代・女性)
- ◇ 病院、医院の数はあるが、住んでいる所から遠く、行けば待ち時間が多く、よほどひどくなければ病院へ行く事はない。ある地域に集中しないで、もう少し分散して開業していただきたいと思う。(いわき地域・40代・男性)
- ◇ 私はよく歯医者にかかるのですが、仕事が忙しくて月に予約を入れても時間の都合で2、3度しか治療してもらえず、「半年、1年」と治るのに時間がかかる事があります。夕方8~9時頃までの治療、休日の治療をしてくれる歯科医院を望みたいと思います。(いわき地域・40代・男性)

- ◇ もっと病院を増やして欲しいが、それが無理なら医者を増やして欲しいです。特に小児科などは少なく困っています。子どもはちょっとした事でケガをするし、病気も急変します。夜間でも診てくれる病院が近くにあればと思います。(いわき地域・40代・男性)
- ◇ 医療に格差をつけてはいけない。今多くの市民が高すぎる保険料を払えず、国保証が奪われている。命にかかわる事に格差をつけるべきではない。保健医療を国民全員が受けられるよう、国保料をもっと引き下げてもらいたい。(いわき地域・40代・男性)
- ◇ 娘が足(太もも)の生まれつきの血管腫で悩んでいます。最近レーザー治療が出来る事を知り通院していますが、保険証の適用にならず困っています。ぜひこのような治療でも補助がいただけるようにしてもらいたいです。(いわき地域・40代・男性)
- ◇ 人間ドックが格安にできる病院を教えてください。(いわき地域・40代・男性)
- ◇ ①同じ内容の医療に関して、病院によって医療費が違うのはなぜか？②手術によっても完治せず、一生薬によって体調を維持しなくてはならない病気に関しての医療費補助をもっと広げて欲しい。(いわき地域・40代・女性)
- ◇ 知人の話…お金がないと歯の治療も満足に受けられないとの事でした。(いわき地域・40代・女性)
- ◇ 先日まで股関節の手術をし、入院していました。しかし病院側は自分自身に自信が持てるまで、自分自身が納得する結果がないまま退院を言われ、不安が残るまま退院していく方が多いようです。私もその1人ですが…。先生方のもう少しの思いやりの言葉や、不安を和らげるような説明が足りないと思います。(いわき地域・40代・女性)
- ◇ いわき地区は総合病院の医師が少なく、開業する先生たちが多い。脳外科、心臓外科のドクターがあまりに少ないと思う。(いわき地域・40代・女性)
- ◇ 休日、夜間に病気になった場合、診療できる病院が近くにあっても担当医がいなくて診てもらえない。遠くの病院まで行かなくてはならないので、不便です。総合病院にはドクターがいつでも対応できるようにしてもらいたいです！(いわき地域・40代・女性)
- ◇ 先日母が交通事故にあい救急車の中で30分以上も受け入れ病院が見つからなかった。休日でもないのにこんな事で良いのだろうか。実際人命に関わるほどの怪我ではなかったが、1分1秒をあらそう場だったらと思うとぞっとします。充実した救急病院が欲しいと思う。(いわき地域・40代・女性)
- ◇ 私は何年前に交通事故にあい、ムチ打ち、打撲などで通院していましたが、外から見た感じは普通の人と変わりませんが、体の中は骨がずれて病院ではなく整体の方でズレを治してもらいながら治療しています。通院していた病院では見た目何ともないという理由で本人の痛みとか聞いてくれず、打ち切られてしまいました。きちんとその人の事を考えて、治療できるようにしてもらいたいです。(いわき地域・40代・女性)
- ◇ 待ち時間が1～2時間がかかり、診査が5分足らずの病院が多すぎるので、何とかならないものかと病院に行った時はいつも思います。(いわき地域・50代・男性)
- ◇ 医療費の負担が家計の中でも支出が多いです。病院へ行くと何種類もの薬を処方されますが、本当にそんなに何種類も必要なのか気になる事があります。(いわき地域・50代・男性)
- ◇ 夜間で診てもらったのですが(蕁麻疹)薬も何もくれなくて、ただ話だけで終わり。高いお金だけ支払ってきました。もう夜間にも診てもらいたくありません。(いわき地域・50代・男性)
- ◇ 医師、開業医とも優秀な先生の配置を希望します。患者は「ワラ」をもつかむ心境です。医療の発展を願います。特にながんです(胆管、胆嚢、膵臓)。(いわき地域・50代・男性)
- ◇ 家族に難病をかかえていたが、地域医療に不安があり、現在は都心近郊に引っ越している。私自身もし大病になれば、同様に受診したい病院が都心近郊にある。日頃から健康管理として、ライフスタイルに留意しており、できるだけ自分の責任で管理したい。ただ、専門家からアドバイスを受れたり、予防レベルで充実した生活を送りたいと考えている。そのためにセミナーや図書館、また信頼のおける知人、友人から情報を得るよう心がけていきたい。特に西洋医学だけでなく、東洋医学にも注目し、ホリスティックにとらえていきたい。(いわき地域・50代・女性)
- ◇ 病院で待ち時間が長い。1時間～2時間は当たり前で、診療時間が短い。病院によっては半日

以上待たされる所もある。特に小児科が少ない。(いわき地域・50代・女性)

- ◇ 20～30歳の3人の娘の母親です。3人とも出産適齢期の真っ最中ですが、頑張って仕事をしながら出産もと考えている所ですが、他県で8件回っても診察してもらえず亡くなる事がありました。他人事ながら本当に悲しくて悔しくてやり切れません。安心して妊娠や出産ができるのでしょうか。子どもを産み育てる環境充実を願っています。費用も高く若人達には大変です。出産費用の他に準備、1回の診察料5000円位、交通費と1人産むのに高額です。両家の親の援助を受けられる人ばかりではないのです。せめて出産時の30万は差し引いて支払いができれば良いと思います。お祝い金を国からいただけたら、もっと嬉しいです。出産して病院に子どもを捨てる女性も減るのではないのでしょうか。議員の高額マンションより切実です。どうぞよろしく。(いわき地域・50代・女性)
- ◇ いわき市のある病院は、町医者で紹介状がないと直接にはかかれなくなりました。通常の風邪や腹痛ならば町医者でも良いのですが、何回町医者に行っても診断される病名が同じで、処方される薬が合わなかったりすると共立で投薬をお願いしたくなりますが、共立病院を紹介して下さいとは言えません。以前の医療体制が懐かしく、その点で不便を感じています。また娘が出産の年齢に達し、産科が少なくなり、共立病院など大きな病院に産科がなくなりました。後進国並みの地域になり、時代が進んでいるのに何たる事かと寂しさを感じます。また少子化と言われながらも国は何も産科の医者等を増やす努力をしないのは怠慢だと思います。元気な赤ちゃんを産める、安心した地域を作りたいと思っております。ぜひよろしくお願ひします。(いわき地域・50代・女性)
- ◇ 病院の評価を知る事がないので、歯医者様はたくさんあるが余り上手ではない所もある(行ってみたい)。医者も技術を向上させて欲しい。またMRIのある病院を増やして欲しい。(いわき地域・50代・女性)
- ◇ ①入院の出来る医院が近くになくて困っている。②小児科が少なくて困っている(孫がいるため)。③検査がある時、どうしても大きな病院に行くようになってしまい、午前中しか検査はしてくれないので仕事をしている者にとっては仕事もなかなか休めないのが大変困っています。午後からも検査ができるようにして欲しい。(いわき地域・50代・女性)
- ◇ 一人当たりの医療費が高騰する現代、予防医学に徹するべく一人一人が健康に関心を持つ事が大切だと思います。健康を保つ事は、日々の食生活にあると思います。「食は命なり」と言いますから、命を縮めるも長寿も食生活にあることに他なりません。私は歯科にはかかりますが医療機関には平成7年以来かかっていません。好き嫌いが無いので、バランスよく食べていると思われまふ。「まごたちは(わ)やさしい」と食べると栄養のバランスが取れると言われていふ。花粉症はありますが、毎日ヨーグルトを食べる事によって体質が改善され、緩和されました。メタボリックシンドロームという言葉が耳目を集める昨今ですが、今後は病気になって医療機関を利用するのではなく、予防医学で病気にかかりにくい身体を作るよう努力しなければならぬと思います。そしてさよならメタボリックシンドロームの時代が到来する事を願ってやみません(乱筆乱文お許し下さい)。(いわき地域・50代・女性)
- ◇ 少子化問題が言われているが、私が住んでいる地域は産婦人科、小児科がとても少ないと思う。公的病院も診療科が充実してなく、救急対応してくれる病院も少なく、たらい回しの状態で、病気になったらと思うととても不安な状況である。脳外科も郡山まで搬送するような状態と聞いている。あまりに開業医が多く、夜間救急対応してくれる病院が少ないと感じています。(いわき地域・50代・女性)
- ◇ いわき市の平地区は産科が少ない。お産をする場合(私の娘を第2子を産みたいが)、受け入れていただける産科が少ない。(いわき地域・50代・女性)
- ◇ 母子家庭の医療費の免除、または減少して欲しいと思ひます。(いわき地域・50代・女性)
- ◇ 高齢者介護に携わる人達の地位の向上、報酬のアップを考えて欲しい。さもないと年寄りが増えて、介護する若い人達はいなくなるという事になりかねない。社保庁に無駄な金を使うより、上記の対策に回して欲しい。(いわき地域・50代・女性)
- ◇ 地域の保健医療がもっと充実したものになる事を期待したい。1番頼りにしている総合病院の医師不足や専門的な診察や治療を受ける事が難しい事などが不安である。又セカンドオピニオンについても医師や病院のプライドが邪魔をする部分もあるように思える。(いわき地域・50代・女性)
- ◇ ①いわき市内の病院(呼吸器科)で定期的に診察を受けているが、待ち時間が推定時間より2時間以上である。何度もコメントしたが改善されず、他の人々の苦情も多い。指導願ひたい。  
②いわき地区南部に総合病院(公立が望ましい)が欲しい。(いわき地域・60代・女性)

代・男性)

- ◇ 成人病等慢性的な医薬品の投与については、ジェネリック医薬品等価格の安い薬を使用するよう、病院側に指導して欲しいと思います。(いわき地域・60代・男性)
- ◇ 成人病が長く続いているが、薬の効果があまりない。2週間分の薬では、又すぐ病院に行かなければならない。4週間分出してくれると良いのですが。薬も時々変えて欲しい。いつも同じなので。(いわき地域・60代・女性)
- ◇ 保健医療の事について。たいしたことの無い身体でも、退屈だから病院のデイサービス、また病院、医院にかかるという話をよく耳にする事があります。もう少し考えて欲しいと思います。(いわき地域・60代・女性)
- ◇ 人間ドックをもっと低い費用で受診できるように、また市からの健康診断をもっと気軽に、時期も限定せず、もっと幅広い期間受診できれば幸いだと思っております。(いわき地域・60代・女性)
- ◇ 自分の病状、治療法、生存可能期間などを詳しく自分にも知らせて欲しいと思います。先進的技術=都会を地方にも望みます。(いわき地域・60代・女性)
- ◇ 車で15分くらいの所に大きな病院に眼科があるが、個人の医院が欲しい。(いわき地域・60代・女性)
- ◇ 以前は会社員だったので組合健保でしたが、国保に加入した現在は国保保険料が高額で大変です。(いわき地域・60代・男性)
- ◇ 総合病院にても医師不足が報道されておりますが、何年後にこのような問題が解消される計画なのかが心配です。特に産婦人科の減少が気がかりです。政府がいかに関人口増加を計画しても、安心して賛成できないのではないのでしょうか。(いわき地域・60代・男性)
- ◇ 医療費(入院、治療費)の負担が多すぎるように思います。特にがん検診については定期的に日時、場所を明確に検診できるようにお願いします。(いわき地域・60代・男性)
- ◇ 国民健保料が高いので、年金生活が大変です。病院も結構あると思うのですが、なかなか良い病院がない。私共の所は、医師がいないなどで病院側は受け入れないそうです。これでは病気になる時、1番困ります。国保料、病院の受け入れ、診察料など、もう少しお考えいただきたいです。よろしくお願いします。(いわき地域・60代・女性)
- ◇ ①今後長期入院～老人施設等に入った場合の負担を、自分の年金で支払いできるか?②植物人間状態になった時、延命治療は望んではいないのですが、その時自分の意思を一筆残しておいた方が良いのか?子どもたちに私自身の命の責任の可否を決定させる事は難しいと思うし、死後心に負担を持たせたくないから。(いわき地域・60代・女性)
- ◇ 私は今非常に元気で、半年ごとの健康診断でも100点をもっているほどです。私の周りの兄弟は高齢のため入退院を繰り返しています。非常に良い先生に恵まれて喜んでいる次第です。ただ今、私達の娘たちが妊婦です(産院は決まっています)、今騒がれている産院が少なくなっているの、これからの人達はどうするのかなあと心配しています。(いわき地域・60代・女性)
- ◇ いわき地区には大きい病院がありますが、休日、夜間は1ヶ所(市内のクリニック、医院)に集中し、医療スタッフが大変なので、近医でも夜間、休日でも診療して欲しいと思います。かかりつけ医でも夜間、休日は診てくれません。困っています。(いわき地域・60代・女性)
- ◇ 患者さん同士の話からサロン化している診療所も結構多い。老人になれば当たり前なのに、かけもち受診が多い。地域で簡単に体操、リハビリ、電気かけ、おしゃべりできる場所があれば、医療費節約できるのではないかと思います。今日は来ないのは、病気になってしまったのかという話も聞きます。少子化といえども3歳以上は一部有料化した方が良く思う。すり傷、切り傷、絆創膏を貼れば済む程度、鼻水くらいで受診してかえって重い病気にかかってしまう人も多。子どもの親の健診の時等に昔の経験談などを話す機会を作ってあげたら少しは違ってくると思います。若い人の生活保護などは観察を厳しくして、市は色々な面で優遇しすぎる面があると思う。本当に困っている人には救いの手を伸べていただきたい。(いわき地域・60代・女性)
- ◇ 規模の大きな総合病院に行くと、患者さんの立場に立った思いやりのある言動が少ないように感じます。特に若い医師は口のきき方からして締め切り型で不親切です。以前週に何度も通院する事が大変だった時、できれば1日の中で検査を続けてできればお願いしたいのですが…と

申したところ、こっちの都合があるのに何勝手な事を言っているのだと大変なご立腹でした。年寄りなので、ゆっくり分かりやすく説明してもらえると良いのにと思ったことがあります。それ以来とても行く気になれません。現在治療を受けている個人病院ではそういった事もなく、満足して通院中です。(いわき地域・60代・女性)

- ◇ 各市町村の中心となる病院、診療所に、各専門の医師が揃っていないので不安を感じております。緊急時、専門がいないとたらい回しされる例をよく聞きます。財政上の問題はあろうかと思いますが、医療体制の充実を図っていただきたいと思っております。(いわき地域・70代以上・男性)
- ◇ 常に思っておることは、医療費が高額の事です。私個人は老人医療でするのでそれほど感じませんが、国民年金課より病院に支払われた金額を見て驚きました。血圧測定して個人は1000円程度ですが、支払い書によりますと9000円、眼科にて看護師が視力測定をして700円、国保の支払額が7000円。年度末多額納税者のランク枠の8割が医師(病院)である。このような状況では、国民健康保険、共済保険等の維持が困難となるのは当然。継続することも困難となるのでは。早急の改革を望むものです。国保医療制度の維持のために。(いわき地域・70代以上・男性)
- ◇ 医者の方の言葉について。老人の方は大抵耳が遠いので、はっきり、ゆっくり説明してもらいたい。早く話をされると、意味が分からないので早合点して返事をして、後で医者から怒鳴られた事があった。このような医者は失格だと思います。医者自身も老人になれば分かると思っております。(いわき地域・70代以上・男性)
- ◇ 現在通院中の科目の医者が週に1日とか3日となっているので、待ち時間が3～4時間となる。医者不足は分かるが、常駐できないものか？(いわき地域・70代以上・男性)
- ◇ ①医師不足。重労働から完全な対応になっていないようだ。②検査結果のデータ控えを持ち帰れるようにしてほしい。紙の無駄が優先しているようだ。コピーを要求すれば出す所もありますが、明示してほしい。(いわき地域・70代以上・男性)
- ◇ 問16の件ですが、今は痛みはないようですが、徐々に痛みとかが出てくるでしょう。緩和ケアとかホスピスとかは自宅でできるのでしょくでしょうか。できる限り家で診てやりたいと思う。(いわき地域・70代以上・男性)
- ◇ 年金生活の者にとっては、1割負担は非常に助かっています。(いわき地域・70代以上・男性)
- ◇ ①老人2人での生活、現在は元気。その後はどうなるのか心配である。②10月から医療費が3割になり、2人合わせて年金520万円とぎりぎり。健保、市税、固定資産税と支払いがあり、生活も大変である。(いわき地域・70代以上・男性)
- ◇ 病院では薬を増やすだけでなく、生活の指導もしてほしい。(いわき地域・70代以上・女性)
- ◇ 総合病院であるならば、すべての診療科目を行ってほしいと思っております。よろしくお願い致します。(いわき地域・70代以上・女性)
- ◇ 年々子どもの数が少なく、高齢者が増えている日本の現状。若い人が安心して子どもを産む事ができるような環境作り、日本の国が本気になって考えていかねばと思っております。いわき市の病院でも婦人科がなくなり困っております。まずは婦人科医と小児科医を増やしてほしい。(いわき地域・70代以上・女性)
- ◇ 待ち時間が長いので、短くしてほしい(半日かかります。待っている内に血圧が上がります)。(いわき地域・70代以上・女性)
- ◇ 無駄な検査が多い(血液検査等)、軽い症状なのに2ヶ月毎の検査とか。(いわき地域・70代以上・女性)
- ◇ 市町村等で行っている高額医療費等の払い戻し請求など、面倒な手続きは高齢者の私たちにとっては忘れて、億劫なだけでついそのままにしてしまう事が多く、恩恵を被る事が少ない。(いわき地域・70代以上・女性)
- ◇ 体を動かして、バランスの取れた食事、食べ過ぎないように。(いわき地域・70代以上・女性)
- ◇ 県内医療機関全て診断検診平等の精神でお願い致します。人間全て平等である。(いわき地域・70代以上・女性)



- ◇ 年を重ねていくと、共にお世話になる事が多くなると思います。医療費が現在のままだと良いと思います。今は通院でお薬を頂いておりますが、年老いても自宅で看護が受けられれば良いと思います。(いわき地域・70代以上・女性)
- ◇ 現在 83 歳で老人ですので、体中痛く、特に腰が痛く、整形外科に何年もかかっていますので、病院等に迷惑をかけています。(いわき地域・70代以上・女性)
- ◇ 心を開いてお話の出来る先生にかかりたいので、それを心がけて先生の人柄また技術的面を考えて選んでおります。80 歳過ぎますと、まず優しくよく説明してくれる先生を選んで行きます。(いわき地域・70代以上・女性)



# Ⅲ 調査票様式



# 福島県保健医療に関する県民意識調査

平成 19 年 3 月  
福島県保健福祉部  
医療看護グループ

ご回答にあたってのお願い

- (1) この調査は無記名式であり、ご協力いただいた方にご迷惑のかかることは一切ございませんので、ありのままをお答えください。
- (2) この調査は個人を対象にしていますので、あなた（あて名の方）ご自身の判断で記入してください。
- (3) お答えは原則とし、問 1 から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなた（あなたのお考え）にあてはまる番号を○印でかこんでください。「その他」にあてはまる場合には、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- (4) 記入は、黒または青のボールペンか鉛筆でお願いします。
- (5) 記入後は、同封の返信用封筒に入れ、3月27日(火)まで に投函してください。
- (6) このアンケートについてのお問い合わせは、下記担当までお願いいたします。

福島県保健福祉部 医療看護グループ  
〒960-8670 福島市杉妻町 2 番 1 6 号  
電話：024-521-7221（直通） FAX：024-521-2191

問 1 あなたご自身の「現在の健康状態」について、お答えください。  
あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- |          |             |
|----------|-------------|
| 1 非常に健康  | 4 あまり健康ではない |
| 2 だいたい健康 | 5 健康でない     |
| 3 普通     |             |

問2 あなたは過去1年間に、健康診断（定期健康診査や一般住民健診）や人間ドックを受けたことがありますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 ある	2 ない ⇒ 問3へ
------	------------

問2-1（問2で「1 ある」とお答えの方にお尋ねします。）

いちばん最近の健康診断や人間ドックは、どのような健康診断でしたか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 市町村から連絡があった健康診断	
2 職場や事業所で行っている健康診断	
3 個人が自分で病院等に申込み、自分で全額払う健康診断	
4 学校で行っている健康診断（学生のみ）	
5 その他（具体的に	）

問3（全員にお尋ねします。）

あなたは、過去1年間に、がん検診を受けましたか。

あてはまるものいくつかでも○をつけてください。

1 胃がん検診	4 乳がん検診	→ 問4へ
2 肺がん検診	5 大腸がん検診	
3 子宮がん検診	6 がん検診は受けていない	

問3-1（問3で「6 がん検診は受けていない」とお答えの方にお尋ねします。）

がん検診を受けなかったのはなぜですか。

あてはまるものいくつかでも○をつけてください。

1 病気があると言われるのが怖いから	
2 時間の都合がつかなかったから	
3 健康に自信があるから	
4 受ける場所が不便だから	
5 信用できないから	
6 費用がかかるから	
7 はずかしいから	
8 日時、場所を知らなかったから	
9 医師にかかっているから	
10 面倒くさいから	
11 その他（具体的に	）

問4（全員にお尋ねします。）

あなたご自身または同居のご家族の中で、最近1年間に病気やケガで入院や通院治療を受けた方、または現在入院や通院治療を受けている方はいらっしゃいますか。（出産は除きます）

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 自分自身	2 同居の家族	3 いない ⇒ 問5へ
--------	---------	-------------

問4-1（問4で「1 自分自身」「2 同居の家族」をお答えの方にお尋ねします。）

入院や通院治療の時には、どのようなことに困りましたか。（困っていますか。）

あてはまるものに3つまで○をつけてください。

1 適当な病院（医院）がなかなか見つからなかった
2 よい病院（医院）があってもすぐに診療を受けたり入院できなかった
3 休日、夜間など緊急の時に診てもらえなかった
4 病状や治療について、十分な説明がなく不安だった
5 医師や病院（医院）を変えたかったが、できなかった
6 病人の看護や介護をする人がいなかった
7 医療費（治療費、入院費など）の経済的な負担が重かった
8 医療費以外の費用（交通費や付添料、差額ベット料）の経済的な負担が重かった
9 働けなくなったり、事業がたち行かなくなり、経済的な打撃を受けた
10 病人の看護、介護に追われ、家庭生活に支障がおきた
11 その他（具体的に
12 特に困ったことはない

問5（全員にお尋ねします。）

あなたは例えば、“熱が出たり”、“お腹が痛かったりするとき” 医者にかかるとしたらどのようにしますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 はじめから大きな病院に行く ⇒ 問6へ
2 まず、家や職場の近くの診療所（医院）に行く

問5-1（問5で「2 まず、家や職場の近くの診療所（医院）に行く」とお答えの方にお尋ねします。）

このような場合、かかる診療所（医院）を決めていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 決めている	2 特に決めていない
---------	------------

問6 (全員にお尋ねします。)

あなたが住んでいる地域の医療施設(病院・診療所)について、どのように感じていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 医療施設はたくさんあるので十分	} 問7へ
2 医療施設はかなりあるので特に不便はない	
3 医療施設はあるが、自分の受けたい診療科が無くて不便	
4 医療施設が少なくて(無くて)困っている	

問6-1 (問6で「3 医療施設はあるが、自分の受けたい診療科が無くて不便」または「4 医療施設が少なくて(無くて)困っている」とお答えの方にお尋ねします。)

あなたが住んでいる地域に「無くて困っている診療科」は何ですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 内科	7 眼科	13 脳神経外科
2 小児科	8 皮膚科	14 心臓血管外科
3 外科	9 泌尿器科	15 リハビリテーション科
4 整形外科	10 精神科・神経科・心療内科	16 歯科
5 産婦人科	11 アレルギー科	17 その他
6 耳鼻咽喉科	12 リウマチ科	(具体的に )

問7 (全員にお尋ねします。)

あなたが住んでいる地域の休日・夜間における医療体制は、どの程度整っていると思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 安心して生活できるくらい整っている	} 問8へ
2 だいたい整っている	
3 あまり整っていない	
4 まったく整っていない	

問7-1 (問7で「3 あまり整っていない」または「4 まったく整っていない」とお答えの方にお尋ねします。)

どのような点が整っていないと思いますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 休日・夜間に診てくれる身近な診療所(医院)がない
2 休日・夜間に診てくれる病院がない
3 休日・夜間だと専門医に診てもらえない
4 休日・夜間だと病院のスタッフが少ない
5 休日・夜間に診てくれる病院に行くまで時間がかかる
6 どこに行けばよいかわからない
7 その他(具体的に )



問8 (全員にお尋ねします。)

あなたは、「歯科」の保健・医療についてどのようなことを望みますか。  
あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- 1 地域や職場で歯科の健康診査（健診）を実施してほしい
- 2 保健所などの公的機関で、歯科の衛生指導（歯のみがき方など）を強化してほしい
- 3 乳幼児のむし歯の予防対策を強化してほしい
- 4 休日や夜間でも、歯科の治療が受けられるようにしてほしい
- 5 寝たきり老人など通院できない人に対する歯科医療体制を整備してほしい
- 6 歯科医師は、治療についてもっと詳しく説明してほしい
- 7 歯科医院（診療所）は、もっと歯科の衛生指導（歯のみがき方など）をしてほしい
- 8 保険の適用範囲をもっと広くしてほしい
- 9 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 10 特にない

問9 あなたが住んでいる地域の医療機関に対してどのようなことを望みますか。  
あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 病気の状態や治療方法をよく説明してほしい
- 2 検査はもっと十分にしてほしい
- 3 検査はあまりしないでほしい
- 4 待ち時間を短くしてほしい
- 5 往診の依頼に応じてほしい
- 6 差額ベッド料・付添料・保険外負担などの費用がどれくらいかかるのか、前もって教えてほしい
- 7 注射や投薬は、あまりしないでほしい
- 8 受付職員や看護師は、もっと親切にしてほしい
- 9 難しい病気のときは、専門の医療機関を紹介してほしい
- 10 休日や夜間でも、救急のときは診察してほしい
- 11 待合室や病室などをもっと快適にしてほしい
- 12 薬についての内容などを説明してほしい
- 13 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 14 特にない

問10 あなたが住んでいる地域の医療について、これから充実してほしいと思うことは何ですか。

あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 日常の健康管理や診察を行う身近な医療施設の充実をしてほしい           |
| 2  | 休日や夜間など救急診療体制をもっと充実してほしい                |
| 3  | 医師の乗っている救急車の整備をしてほしい                    |
| 4  | 医院（診療所）や病院が不足しているので、何か対策をたててほしい         |
| 5  | 眼科、耳鼻いんこう科などの専門的診療科目の整備をしてほしい           |
| 6  | 規模の大きな総合的な病院の整備をしてほしい                   |
| 7  | 難しい病気をみてもらえる専門の医療施設を整備してほしい             |
| 8  | 自宅で安心して療養できるように、往診や訪問看護を受けられるように充実してほしい |
| 9  | 自宅で療養しているお年寄りなどが通えるリハビリなどの医療施設を充実してほしい  |
| 10 | 入院施設や医療費について、気軽に相談できる窓口がほしい             |
| 11 | 医療に関する情報の提供や相談窓口を充実してほしい                |
| 12 | その他（具体的に _____ )                        |
| 13 | 特にない                                    |

問11 あなたは、自分が病院・医院にかかった時、自分のカルテ（診療録）を見たいと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |                  |   |          |
|---|------------------|---|----------|
| 1 | 毎回見せてほしい         | 3 | あまり見たくない |
| 2 | 見たいと望んだ時には見せてほしい | 4 | 見たくない    |

問12 あなたは、これまでに自分や家族などの病気について、かかっている医師以外に相談したいと思ったことがありますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |    |   |           |
|---|----|---|-----------|
| 1 | ある | 2 | ない ⇒ 問13へ |
|---|----|---|-----------|

↓  
問12-1（問12で「1 あり」とお答えの方にお尋ねします。）

その時、かかっている医師に続けてかかりながら、実際に他の医師に相談したことがありますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |             |   |           |
|---|-------------|---|-----------|
| 1 | あり ⇒ 問12-2へ | 2 | ない ⇒ 問13へ |
|---|-------------|---|-----------|

問12-2 (問12-1で「1 ある」とお答えの方にお尋ねします。)

そのときの状況はどのようなものでしたか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1 | かかっている医師に内緒で別の病院・医院にかかった |
| 2 | 知り合いに医師がいて、その医師に相談した     |
| 3 | かかっている医師に紹介状をもらって相談した    |
| 4 | その他 (具体的に                |

)

問13 (全員にお尋ねします。)

医療機関が下記のことについて広告するとしたら、あなたは知りたいと思いますか。

あなたが特に知りたいと思うものに3つまで○をつけてください。

- |    |                            |
|----|----------------------------|
| 1  | 紹介することができる他の病院又は診療所の名称     |
| 2  | カルテ等を開示することができること          |
| 3  | 医師又は歯科医師の略歴、年齢及び性別         |
| 4  | (財)日本医療機能評価機構※が行う医療機能評価の結果 |
| 5  | 対応することができる外国語              |
| 6  | 医師をはじめ、医療スタッフの数            |
| 7  | 高度医療機器 (CT、MRI等)の有無        |
| 8  | 病気ごとの患者数・手術件数              |
| 9  | 病気ごとの治療成績                  |
| 10 | 病気ごとの平均的な支払額               |
| 11 | その他 (具体的に                  |
| 12 | 特になし                       |

)

※病院を始めとする医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関。

問14 あなたは、臓器移植のための「臓器提供意思表示カード」を知っていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 知っている

2 知らない ⇒ 問15へ

問14-1 (問14で「1 知っている」とお答えの方にお尋ねします。)

あなたは、臓器提供意思表示カードを持っていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 持っている

2 持っていない

問15 (全員にお尋ねします。)

在宅医療や介護保険による居宅介護サービスの充実により、自宅での療養が身近なものとなりつつあります。あなたは、在宅医療や居宅介護サービスが必要となった場合、可能であれば在宅での療養を望みますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1 希望する         | 3 あまり希望しない |
| 2 どちらかといえば希望する | 4 希望しない    |

問16 がん患者などに対して、治療や救命を最優先するという考え方ではなく、痛みを抑えること、日常に近い生活をおくれることなど、生活の質を重視した、“緩和ケア”(ホスピス、終末期医療・末期医療、ターミナルケア)というものがあることを知っていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |         |               |
|---------|---------------|
| 1 知っている | 2 知らない ⇒ 問17へ |
|---------|---------------|

問16-1 (問16で「1 知っている」とお答えの方にお尋ねします。)

あなたは、もしもの場合“緩和ケア”を望みますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1 希望する         | 3 あまり希望しない |
| 2 どちらかといえば希望する | 4 希望しない    |

問17 (全員にお尋ねします。)

あなたは現在、病気やけがで病院や診療所(医院、歯科医院)に通っていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |         |                 |
|---------|-----------------|
| 1 通っている | 2 通っていない ⇒ 問18へ |
|---------|-----------------|

(問17で「1 通っている」とお答えの方にお尋ねします。)

問17-1 いくつの病院・診療所(医院、歯科医院)に通っていますか。

診療科別に数えて、その数を記入してください。

(同じ病院で、耳鼻咽喉科と眼科に通っている場合は2つと数えます。)

	つ
--	---

(問17で「1 通っている」とお答えの方にお尋ねします。)

問17-2 あなたは、通っている病院・診療所(医院・歯科医院)から処方された薬を1日に何種類飲んでいきますか。

1日に 



 種類 ・飲み薬はない

問18 (全員にお尋ねします。)

あなたは、自分の『かかりつけ薬局』(病院・医院などでわたされた“処方せん”を持って行って薬を出してもらう薬局)を決めていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 決めている	2 決めていない ⇒ 問18-2へ
---------	-------------------

問18-1 (問18で「1 決めている」とお答えの方にお尋ねします。)

『かかりつけ薬局』を決めている理由は何ですか。

あてはまるものいくつでも○をつけてください。

1 病院・医院の近くにある薬局だから
2 自宅の近くにある薬局だから
3 交通の便が良いところにある薬局だから
4 服薬指導がしっかりしているから
5 自分の薬歴(これまでもらった薬の記録)の管理をしてくれるから
6 知り合いの薬局だから
7 その他(具体的に )

問18-2 (問18で「2 決めていない」とお答えの方にお尋ねします。)

『かかりつけ薬局』を決めていない理由は何ですか。

あてはまるものいくつでも○をつけてください。

1 病院・医院の近くに薬局がないため
2 交通の便が良いところに薬局がないため
3 病気にかかることがほとんどないため
4 病院・医院ごとに近くの薬局があり、そこに行くため
5 気に入った薬局がないため
6 処方せんをわたされたことがないため
7 その他(具体的に )

問19 (全員にお尋ねします。)

あなたは、献血をしたことがありますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 ある ⇒ 問20へ	2 ない ⇒ 問19-1へ
-------------	---------------

問19-1 (問19で「2 ない」とお答えの方にお尋ねします。)

あなたが献血をしない理由は何ですか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1 忙しい                 | 8 場所や日時がわからないから   |
| 2 痛そうだから              | 9 する機会がないから       |
| 3 興味がなから              | 10 する気がしないから      |
| 4 身体に悪そうだから           | 11 面倒くさいから        |
| 5 健康上の理由があるから         | 12 記念品が少ないから      |
| 6 怖そうだから              | 13 なんとなく          |
| 7 献血場所の雰囲気が<br>良くないから | 14 その他<br>(具体的に ) |

問20 (全員にお尋ねします。)

あなたは、献血についての知識や情報をどのようなものから得ていますか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1 ポスター       | 6 新聞広告等            |
| 2 テレビ        | 7 フリーダイヤル等での献血場所案内 |
| 3 ラジオ        | 8 インターネット          |
| 4 県・市町村等の広報誌 | 9 献血協力団体へ直接聞いている   |
| 5 街頭での配布ちらし  | 10 その他 (具体的に )     |

問21 あなたは、献血の推進方策について、これから充実してほしいと思うことは何ですか。

あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- |                         |
|-------------------------|
| 1 献血についての正しい知識、必要性の広報   |
| 2 職場、学校、地域などでの献血の機会     |
| 3 献血できる場所、日時などについて十分な広報 |
| 4 献血できる場所の雰囲気の整備        |
| 5 献血できる時間の延長            |
| 6 献血に関するイベントの開催         |
| 7 健康管理のための検査項目          |
| 8 献血協力者の表彰の機会           |
| 9 献血記念品                 |
| 10 ボランティア活動の情報          |
| 11 その他 (具体的に )          |
| 12 特になし                 |

問22 あなたは、健康づくりについての知識や情報を何から得ていますか。  
あてはまるものにくつでも○をつけてください。

1 テレビ	9 講演会、健康まつり
2 ラジオ	10 医院・病院の医師
3 新聞	11 知人・友人の話
4 地域のミニコミ紙	12 薬局
5 雑誌（月刊誌・週刊誌）	13 インターネット
6 健康に関する専門雑誌や単行本	14 その他
7 県・市町村の広報誌・回覧板	（具体的に）
8 保健所の広報等	15 特にない

問23 あなたは、かかろうとする病院・診療所（医院・歯科医院）についての情報を何から得ていますか。  
あてはまるものにくつでも○をつけてください。

1 テレビ	9 電話帳
2 ラジオ	10 講演会、健康まつり
3 新聞	11 他の医院・病院の医師
4 地域のミニコミ紙	12 知人・友人の話
5 雑誌（月刊誌・週刊誌）	13 薬局
6 健康に関する専門雑誌や単行本	14 インターネット
7 県・市町村の広報誌・回覧板	15 その他（具体的に）
8 保健所や市町村で実施する健康教室	16 特にない

---

お答えいただいた内容を統計的に分析するため、  
あなたご自身のことをもう少しお聞かせください。

---

問24 あなたの性別をお知らせください。

1 男	2 女
-----	-----

問25 あなたの年齢をお知らせください。（平成19年3月1日現在）

1 20～29歳	5 60～64歳
2 30～39歳	6 65～69歳
3 40～49歳	7 70歳以上
4 50～59歳	

問26 あなたのご職業(職種)は何ですか。主なものを1つだけお知らせください。

(複数の職業をお持ちの方は、最も収入の多いものをお選びください。)

(パート、アルバイト、嘱託でお勤めの方も該当する職種をお答えください。)

- |    |  |
|----|--|
| 1  | 農林漁業の自営者及び家族従業者                            |
| 2  | 商・工・サービス業(小売店、工場、修理店、飲食店、理髪店など)の自営者及び家族従業者 |
| 3  | 自由業(開業医、弁護士、芸術家、代議士、僧侶など)及び家族従業者           |
| 4  | 会社・団体などの経営者・役員・理事                          |
| 5  | 管理職(会社・団体・官公庁の課長級以上)                       |
| 6  | 事務職・専門技術職(事務職員、技術者、教員など)                   |
| 7  | 技能職・労務職(職人、工員、販売員、飲食店員、外交員、運転手など)          |
| 8  | 無職(専業主婦・主夫を含む)                             |
| 9  | 学生   |
| 10 | その他(具体的に )                                 |

問27 今、一緒に暮らしているご家族はあなたを含めて何人ですか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |    |   |    |   |    |   |      |
|---|----|---|----|---|----|---|------|
| 1 | 1人 | 3 | 3人 | 5 | 5人 | 7 | 7人以上 |
| 2 | 2人 | 4 | 4人 | 6 | 6人 |   |      |

問28 今、一緒に暮らしているご家族に、次の(1)、(2)の中にあてはまる方がいらっしゃいますか。あなたご自身も含めたご家族についてお答えください。

(1)(2)のそれぞれについて、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

(1) 子ども、高齢者

- |   |         |
|---|---------|
| 1 | 乳児(0歳児) |
| 2 | 1~3歳児   |
| 3 | 65歳以上の方 |
| 4 | いずれもない  |

(2) 妊婦または入院中・療養中の方

- |   |         |
|---|---------|
| 1 | 妊婦      |
| 2 | 現在入院中の方 |
| 3 | 自宅療養中の方 |
| 4 | いずれもない  |

問29 あなたのお住まいの地域をお知らせください。

- |   |      |   |      |   |       |   |       |
|---|------|---|------|---|-------|---|-------|
| 1 | 県北地域 | 3 | 県南地域 | 5 | 南会津地域 | 7 | いわき地域 |
| 2 | 県中地域 | 4 | 会津地域 | 6 | 相双地域  |   |       |

お住まいの地域がわからない場合は、下のカッコ内に市町村名をご記入ください。

[ ]







**保健医療に関する県民意識調査  
報 告 書**

平成 19 年 3 月

福島県保健福祉部医療看護グループ

〒960-8670 福島市杉妻町 2 番 16 号

電 話 : 024-521-7221 (直通)

ファクシミリ : 024-521-2191

U R L : <http://www.pref.fukushima.jp/>